

350
229

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

始



現代日本美術家全錄

350
229

350-229

現代日本美術家全錄



大正
3. 2. 24
内交

緒言

一本書は曩に發行したる日本美術年鑑第參卷附載の日本美術家人名の部を分離し之に増訂を施したるものにして現在の畫家、彫刻家、金工家、漆工家等一切の美術家及び建築家、藝術評論家其他關係官者及び諸團體の要部にある人士三千六百八名を包容す、登載人名を概別すれば左の如し

日本畫家一、五八三名 洋畫家 五三九名 彫刻、彫塑家 二七五名
圖案家 二六六名 彫金、鍍金、鍍銀家二五七名 建築家 二五〇名
漆器、蒔繪家 一二九名 陶業家 五〇名 其他の美術工藝家一二五名
藝術批評家 九二名 美術に關係せる官職にある人 四二名

一配列方法は姓氏の「いろは」順に據り本名をも擧げあるが故に雅號のみを知られるものは卷末掲載の雅號索引により直に所載の頁數を知り得べし
一各人の經歷は簡明を旨とし略字を使用したるが故に左の用例を熟知するを要す

【略語一】 明治一〇年一二月二三生 明治十年十二月二十三日生
 日畫(日本畫) 洋畫(西洋畫) 師橋本雅邦 橋本雅邦に師事す(美術學校圖
 科卒(東京美術學校圖案科卒業) 正五(正五位) 勳五(勳五等) 功五(功五級)
 伯(伯爵) 工博(工學博士) 東帝大(東京帝國大學) 高師學校(高等師範學校)
 高女學校(高等女學校) 美術協會員(日本美術協會員) 彫工會員(東京彫
 工會員) 研精會員(美術研精會員) 建築學會員(建築學會正員) 寫眞研究
 會員(東京寫眞研究會員) 電話(振替貯金口座)等住所地名にあり
 ては市を省きたるものあり 二の五(二丁目五番地) 其他類推すべし
 一 第七回文部省美術展覽會(大正二年十月開催) 受賞者及び國民美術
 協會會員は經歷中記入を缺く(但し補遺の部を除く)
 一 位階、勳等、現住所は印刷中多少の時日を経過したるを以て異動あ
 るを保し難し
 一 △の記號を附せるは登載の士より回報を得ざりしもの或は其他
 の事由により調査登載したるものとす
 一 書中餘白の部分は近時物故の人名を削除したるものなり

大正三年二月上浣

現代日本美術家全錄

目次

イ(附る)	伊一井三猪五五	飯五茨六一六市六	入七乾七庵七岩七	巖八磐九板九磯九	泉二和一稻二生二	今二池三出二鴨二	石四芋七	ろ	六七	は	羽七波八拜八埴八	八七峰八春八畑八	泰九幡八服八花九	英九原九腹九白九	早三速三林三演三	藤三三橋三三端三
に	長三牛三伴三番三	丹三二三新三庭三	西三	堀三毛三細三六三波三六三保三六	北三六三星三六三本三元	別三元	土三元戸三元都三元森三元	遠三元鳥三元富三元磯三元	利三元豐三元東三元藤三元	登三元股三元德三元時三元	友三元飛三元	千三元秩三元長三元中三元	陳三元	笠三元龍三元	三三	
を(附る)	沼三	小三尾三毛三織三乙三元	落三元折三元岡三元大三元	太三元王三元奥三元大三元	沖三元置三元帶三元恩三元	和三元若三元波三元綿三元	臨三元湧三元鷺三元	加三元香三元狩三元鹿三元	甲三元貝三元開三元垣三元	海三元蟹三元門三元角三元	葛三元川三元河三元片三元	堅三元勝三元桂三元金三元	兼三元唐三元鎌三元蒲三元	掛三元鏑三元笠三元柿三元	龜三元上三元神三元櫻三元	柏三元杵三元嶋三元數三元

巨一四 五二 後一四 護一四
 衣一四 香一四 甲一四 幸一四
 神一四 鄉一四 合一四 國一四
 駒一四 米一四 越一四 今一四
 近一四 紺一四 權一四 一四
 (附卷) 江一四 惠一四 板一四 海一四
 遠一四 圓一四 一四
 て 手一四 出 寺一四
 あ 阿一四 安一四 相一四 藍一四
 跡一四 味一四 有 一四
 青一四 粟一四 赤一四 明一四
 足一四 我一四 姉一四 新一四
 荒一四 天一四 油一四 燈一四
 淺一四 朝一四 麻一四 旭一四
 秋一四 鮎一四 給一四 雨一四
 蘆一四 葦一四 一四
 さ 佐一四 齋一四 里一四 澤一四
 一五五

目次

酒一六 阪一六 坂一六 櫛一六
 相一六 眞一六 櫻一六 三三
 征一六 崎一六 咲一六 一六二
 紀一六 木一六 鬼一六 喜一六
 來一六 切一六 桐一六 清一六
 北一六 菊一六 岸一六 金一六
 錦一六 一六
 ゆ 湯一六 弓一六 袖一六 由一六
 結一六 祐一六 一六
 め 目一六 祐一六 一六
 み 三一六 美一六 御一六 明一六
 溝一六 水一六 滿一六 光一六
 峰一六 湊一六 南一六 箕一六
 宮一六 右一六 一六
 し 斯一六 志一六 滋一六 清一六
 椎一六 白一六 芝一六 柴一六
 一七五

鹽一七 鹿一七 城一七 淨一七
 庄一七 小一七 莊一七 正一七
 惺一七 紹一七 設一七 品一七
 十 篠一七 信一七 島一七
 繁一七 茂一七 重一七 進一七
 執一七 下一七 霜一七 一七
 新 神一七 一七
 ひ 樋一七 楡一七 日一七 肥一七
 廣一七 弘一七 人一七 土一七
 東一七 鱈一七 平一七 彦一七
 正一七 引一七 姫一七 一七
 も 母一六 茂一六 毛一六 諸一六
 本一六 元一六 望一六 森一六
 守一六 奴一六 桃一六 一六
 瀬一六 世一六 清一六 關一六
 仙一六 一六
 す 須一六 菅一六 砂一六 陶一六
 末一六 杉一六 住一六 鈴一六
 鱸一六 薄一六 一六
 一八九

三

菅一五 幹一五 壹一五
 萬一五 糶一五 壹一五 四一五 米一五
 横一五 奕一五 吉一五 芳一五 善一五
 田一五 多一五 大一五 谷一五
 橋一五 高一五 鷹一五 財一五
 龍一五 辰一五 立一五 柳一五
 宅一五 玉一五 竹一五 武一五
 伊一五 建一五 瀧一五 圓一五
 丹一五 一五
 そ 曾一五 宗一五 相一五 圓一五
 添一五 染一五 一五
 つ 津一五 都一五 築一五 堆一五
 椿一五 坪一五 土一五 鶴一五
 塚一五 高一五 筒一五 覆一五
 堤一五 常一五 綱一五 角一五
 筑一五 妻一五 月一五 辻一五
 一八五

根一八 名一八 那一八 内一八 成一八
 直一八 中一八 長一八 永一八
 夏一八 滑一八 並一八 波一八
 南一八 一八
 む 武一八 室一八 向一八 村一八
 梅一八 一八
 う 鷓一八 苑一八 宇一八 内一八
 瓜一八 漆一八 歌一八 移一八
 浦一八 馬一八 生一八 上一八
 植一八 浮一八 海一八 牛一八
 碓一八 一八
 の 野一八 能一八 乘一八 納一八
 信一八 一八
 こ 久一八 工一八 九一八 公一八
 黒一八 國一八 雷一八 栗一八
 一八七

桑一三 葛一三 倉一三 空一三
 熊一三 衆一三 櫛一三 補一三
 軍一三 郡一三 一三
 矢一三 耶一三 彌一三 八一三
 屋一三 鎗一三 策一三 柳一三
 藥一三 山一三 藪一三 安一三
 保一三 一三
 ま 間一三 眞一三 馬一三 的 一三
 町一三 丸一三 股一三 松一三
 幕一三 前一三 正一三 牧一三
 卷一三 増一三 益一三 一三
 け 毛一三 下 月一三 劍一三
 不 府一三 富一三 藤一三
 古 深一三 船一三 福一三
 筆一三 一三
 乙 小一三 古一三 兒一三 木一三
 一三六

目次

二

現代日本美術家全錄

い(附る)

伊井彌之助 △富山、圖案、足利圖案研究所
經營、明治四四年三月美術學校圖科卒、大正元年十月農商務省商品陳列館開館第六回商品改良會にて銀賞を受、栃木縣足利郡足利町

伊原六郎 △埼玉、日畫、明治三三年七月美術學校日畫科卒

伊藤 藤 巖 號 秋 畝 明治一九年一月八松山生、寫真業、師柴田常吉、寫真研究會會員、東京赤坂區田町一の一五柴田方

伊藤 とら子 號 耕 寅 明治一九年七月二九大阪生、畫家、日畫(四條)、師庭山耕園、彰施會會員、研藝會員、大阪東區北濱町四の三七

伊藤 豐 吉 號 綾 春 明治一四年一月二七東京生、畫家、日畫、師綾岡有真、荒木寛畝、三八七七月美術學校日畫科卒、美術協會會員、日本畫會會員、各種展覽會受賞數回、東京下谷區上根岸町九二

伊藤 友 市 號 天 冲 明治一三年一月一二月一群馬縣生、圖案家、日畫(四條)、師小林友介、田崎草雲、群馬縣勢多郡敷島村津久田

伊藤 龍 吉 △東京、鑄金、明治三五年七月美術學校鑄造科卒、(在米)

伊藤 一 雄 號 溪 水 明治一三年一月

六愛媛縣生、畫家、日畫、師平井直水、深田直城、巽畫會員、大正美術會會員、大阪南區天王寺松ヶ鼻町五四七三

伊藤 勝 芳 明治二年五月一五東京生、金屬彫刻業、彫金(江戸派)、師香川勝廣、金工協會會員、内外博覽會及展覽會にて銀銅賞以下十數回受賞、東京淺草區壽町二八

伊藤 快 彦 號 若 翁 慶應三年七月八京都市、關西美術院教授、菊花高女學校教師、油畫、師原田直次郎、明治二〇年二月京都府畫學校洋畫科卒、關西美術會幹事、京都市上京區冷泉通若王寺町五一

伊藤 爲 吉 △元治元年正月一七伊勢松坂町生、建築技師、職工新聞社長、建築學會會員、明治一八年渡米土木建築及機械學修業二〇年歸朝、發明に係るもの耐震家屋を始め機具類多し、東京牛込區赤城下町八八、電番町一七四一

伊藤 宗 琢 號 玉 浦 明治一四年二月二〇山口縣生、僧侶、日畫(四條)、師田中幽峰、美術協會會員、山口縣豐浦郡神玉村矢玉一一

伊藤 直 和 △東京、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒

伊藤 梅 子 △明治七年五月新潟市生、新潟縣長岡高女學校教員、日畫、師武村耕鶴、端館紫川、三七年三月女子美術學校日畫科卒、國香會女子部員

伊藤 安 次郎 △兵庫、圖案、神戸川崎造船所設計課員、明治四三年京高工學校圖科卒

伊藤 又 次 號 鷺 城 明治六年一月二〇姫路生、畫家、日畫、師谷口香橋、京都美術協會會員、京都上京區室町通夷川下

表 見 早 數 年

天	六	八	八	乙	慶	二	二	六	八	乙	文化
(10)	(20)	(30)	(40)	丑	應	(60)	(70)	(80)	(90)	亥	三
元	元	元	元	二	元	三	三	七	九	三	三
(9)	(19)	(29)	(39)	(49)	(59)	(69)	(79)	(89)	(99)	(99)	(99)
三	三	三	三	三	四	四	四	八	〇	四	四
(8)	(18)	(28)	(38)	(48)	(58)	(68)	(78)	(88)	(88)	(98)	(98)
四	三	三	二	戊	明	五	九	二	二	戊	文
(7)	(17)	(27)	(37)	辰	治	(57)	申	(77)	(87)	寅	政
四	三	三	三	二	元	六	二	〇	三	二	元
(6)	(16)	(26)	(36)	(46)	(56)	(66)	(76)	(86)	(86)	(96)	(96)
三	三	三	三	三	庚	三	二	庚	天	三	三
(5)	(15)	(25)	(35)	(45)	申	(65)	(75)	(85)	保	(95)	(95)
四	四	四	四	四	辛	四	三	二	元	四	四
(4)	(14)	(24)	(34)	(44)	酉	(64)	(74)	(84)	寅	(94)	(94)
壬	三	三	三	三	二	五	三	三	三	五	五
子	(13)	(23)	(33)	(43)	(53)	(63)	(73)	(83)	(83)	(93)	(93)
二	三	三	三	三	三	六	四	四	四	六	六
(2)	(12)	(22)	(32)	(42)	(52)	(62)	(72)	(82)	(82)	(92)	(92)
三	三	三	三	三	甲	六	三	三	三	七	七
(1)	(11)	(21)	(31)	(41)	子	甲	甲	甲	弘	(81)	(91)
					元	安	安	安	化		
					治	政	政	政	元		
					元	元	元	元	辰		

伊藤 正 見 明治一二年八月九崎玉縣生、金
屬品製造業、彫金、前兼康正壽、後海野勝珉に師事、美術
協會員、彫工會員、金工協會員、銀賞二銅賞一受賞、四一年
七月 皇太子殿下美術協會に開催の金工競技會(行啓の際
實技を台覽に供す、東京下谷區上野櫻木町二
月美術學校圖科卒
伊藤 啓次郎 △東京、圖案、明治三二年七
月美術學校圖科卒

伊藤 源次郎 號 石 櫻 文久二年三月七
周防國生、畫家、南畫、師藤野石、山口縣佐波郡宮市町
七五
伊藤 健 助 號 玄 海 明治一六年一〇
月八山口縣生、畫家、日畫(狩野)、師山内多門、巽畫
會員、東京牛込區原町二の七)

伊藤 武 一 號 百 川 明治元年五月二
一三重縣生、日畫、師今尾景年、三重縣鈴鹿郡龜山町龜
田二二
伊藤 小四郎 號 芳 峽 明治一九年七月
二六東京生、畫家、日畫 佛畫 巨勢 和洋折衷、肖像畫、
師奥村恭法、研精會員、巽畫會員、名古屋東區吳服町二の
一〇四

伊藤 てつ子 號 古 仙 文久元年八月江
戶生、畫家、日畫(土佐)、師在原古玩、美術協會員、巽
畫會員、各展覽會にて屢々受賞、東京小石川區音羽町八の
二三
伊藤 貞 夫 △新潟、洋畫、福岡縣立八女中
學校教諭、明治四一年三月美術學校洋畫科卒
伊藤 吉太郎 △建築技師、建築、建築學會
員、東京芝區高輪車町八五、電新橋一六九二

伊東 義 重 號 英 泰 明治九年一月
一〇長崎縣生、畫家、日畫(四條)、師川端玉章、右田年英、
村瀨玉田、天真社幹事、東京神田區北神保町一一上野館内
伊東 常 辰 號 紅 雲 明治一三年七
月一東京生、畫家、日畫(土佐)、師村田丹陵、第五回及
第六回文展にて褒狀を受、東京下谷區仲徒町二の五四
伊東 貞 文 △漆工家、蒔繪、漆工會員、東
京下谷區西町三
伊 上 純 藏 號 凡 骨 明治八年五月二
一德島市生、日本木彫彫刻及印刷業、日本木彫彫刻(新
派)、師大倉半兵衛、彫工會員、東京勸業博覽會にて一等賞、
彫工競技會にて銀賞三回、銅賞三回を受、東京神田區小川
町四一

伊丹美 德太郎 號 蘭 晁 明治二四年五月
三東京生、畫家、日畫、巽畫會員、東京芝區葺手町二三
伊良子 晴洲 號 柳浪閑人 安政四年二
月一〇攝津國生、美術叢誌主幹、聚美會主幹、大阪北區玉
川町四の三六〇
伊 澤 善 明 明治一八年七月七東京市生、彫
刻業、牙彫、師田村互真、彫工會員、萬象會員、彫工競技會
にて銅牌、東京府美術工藝品展覽會にて銅牌を受、東京本
所區石原町一九
伊島 正三郎 △香川、洋畫、明治四三年三月
美術學校洋畫科卒
伊 勢 寬 一 號 佳 溪(別號貞文) 明治
九年一〇月二長崎縣生、新潟縣立長岡中學校教諭、日畫、
三五年七月美術學校日畫科卒、師橋本雅邦、山名貫義、川端
玉章、寺崎廣業、白濱徹、長岡市上中島町一五一

伊藤 繁 延 號 龍 涯 明治一三年九月
一五東京生、畫家、日畫(寫生)、三六年七月美術學校日
畫科卒、師寺崎廣業、研精會委員、二葉會員、三七年二
葉會にて二等賞を受、東京芝區櫻田和泉町八
伊藤 順 三 △日畫、美術學校在學、凡々會
同人、東京下谷區徒町
伊藤 廣 直 應 明治一五年一月
二三山口縣生、畫家、日畫(四條)、師深田直城、大阪美
術會幹事、大阪繪畫會員、大正美術會員、戰捷記念博覽會に
て銅牌、第二回内國製産博覽會にて銀牌を受、大阪東區玉造
町眞田山三光社前
伊藤 成 一 △東京、洋畫、第三回文展入選、
早高女學校教員、洋畫(油繪、水彩)、岐阜市七軒町二七四
伊藤 靜 信 號 靜 啓 (別號山光堂)
明治一六年一月一〇三重縣生、僧侶、日畫、師鷹田其
石、三重縣名賀郡藏持村一五八
伊藤 善 一郎 △東京、洋畫、第一回文展入選
伊東 陶 山 △製陶業、製陶、京都美術協會
終身會員、京都下京區白川筋三條下
伊東 忠 太 慶應三年一〇月二六米澤生、東
帝大工教授、正五、工博、建築、明治二五年七月東帝大
工科大學建築科卒、師辰野金吾、中村達太郎、木子清敬、
大野幸彦、松岡壽、建築學會常議員、東京本郷區西片町一
〇七八
伊東 函 嶺 文久二年一〇月一神奈川生、畫
家、油畫、トモエ會員、東京牛込區神樂町二の二〇

井原 光 澄 號 春 山 明治二年六月二
〇京都府生、畫家、日畫(四條)、師藤川曾文、京都全國染
物圖案共進會にて金牌、其他受賞多し、京都上京區新町通
中立賣下仕丁町三三一
井川 虎 雄 號 松 齋 明治一一年六月
二東京生、金屬彫刻、師本間壽次、彫金、金工協會員、東
京下谷區西町三は一九
井川 洗 厓 △東京、都新聞社畫報記者、日
畫(浮世繪)、師富岡永洗
井 垣 嘉 平 明治二六年七月一七京都生、關
西美術院通學生、洋畫、師鹿子木孟耶、關西美術會准員、
京都岩上通水津屋橋下
井高 今 平 號 香 溪 明治一四年一二月
一一兵庫縣生、窯業、陶磁器、師黑田政憲、友田安清、宮川
香山、三二年九月兵庫縣津名郡陶器學校卒、窯業協會員、
美術協會員、彫工會員、北陸繪畫協會員、日本硬質陶器株式會
社技手東京全國陶畫共進會にて一等賞、聖路易萬國大博覽會
にて銀賞、凱旋記念五二共進會にて妙技賞等屢々受賞、金
澤市百姓町一〇八
井 波 六 華 明治六年一月二一金澤市生、
畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、巽畫會員、東京下谷區池
之端七軒町一一
井 村 芳 外 △東京、畫家、日畫、師寺崎廣
業、巽畫會員、第六回文展二部入選、東京神田區錦町三の
五竹尾方
井 村 貫 一 號 常 山 東京、日畫、
(南畫)、第六回文展にて褒狀を受、東京下谷區池之端茅町
二の八

井内 正平 號 秋 壽 明治六年二月一
 德島縣生、畫家、日畫(寫生)、師竹内栖鳳、浪華青年畫會員、
 戰後紀念博覽會にて二等賞、浪華繪畫競技會にて銅賞、内國
 生花博覽會にて銅賞を受、大阪東區小橋東之町一三四
 井上 早太 號 邦文 (別號等覺) 明治
 七年一月二佐賀縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二
 葉會員、東京神田區今小路二の一四
 井上 豐 號 文久元年一月一五岐早縣生、金
 屬品製造業、鑄金、美術協會員、金工協會員、第五回勸業博
 覽會にて三等賞、美術協會にて三等賞、關西共進會にて四等
 賞を受、京都下京區本町八の二五
 井上 利 號 春芳 明治二七年八月
 二福岡縣生、日畫(四條)、師十時春山、巽畫會員、松江
 市殿町
 井上 利正 號 島根、濱田中學校教員、日畫、
 明治四五年三月美術學校日畫科卒
 井上 良 號 明治七年一月一五新潟縣生、東
 京府立豐島師範學校教諭、日畫(狩野)、二八年七舞美術學
 校日畫科卒、師橋本雅邦、川端玉章
 井上 良 號 山口、日畫、明治三八年七月
 美術學校日畫科卒
 井上 大次郎 號 富山、漆工、明治四一年三月
 美術學校漆工科卒
 井上 直 號 伍 明治一九年九月一岡山縣生、彫
 塑、父井上鶴峰に學、四三年三月美術學校彫刻科卒、東京
 本郷區千駄木町二一〇
 井上 啓次 號 次 明治八年九月二四岡山縣生、神
 奈川縣立第一中學校教員、洋畫、師松岡壽、太平洋畫會

員、橫濱市西月部町九九〇
 井上 房太郎 號 揚南 明治二年二月一
 四愛知縣生、愛知縣常滑町立陶器學校助教諭、日畫(狩野)、
 及陶器製作、師橋本雅邦等、愛知縣知多郡鬼崎村多屋
 井上 弘 號 熊本、圖案、帝國劇場在勤、
 明治四三年京都高工學校圖科卒
 井上 榮 號 香雪 明治三年三月三
 〇滋賀縣生、畫家、洋畫、師田村宗立、大野吉康、二三年
 七月京都府畫學校洋畫科卒、津市二一六八
 井上 清 號 千葉、圖案、造神宮技手、
 勳八、明治三一年七月美術學校圖科卒
 井上 雄太郎 號 栃木、洋畫、明治三四年七月
 美術學校洋畫科卒
 井上 繁次郎 號 建築技師、建築、建築學會員、
 東京牛込區西五軒町四二
 井上 清一 號 廣島、洋畫、明治四五年三月
 美術學校洋畫科卒
 井上 清三郎 號 明治六年一二月六京都市生、繪
 畫應用染織物製作販賣業、京都美術協會員、柳櫻會員、京都
 美術協會にて三等賞、三越吳服店主催新柄品陳列會にて金賞
 を受、京都下京區室町錦北入山伏山町四、電一六四、西
 陣工場、上京區北小路町、岐阜工場、岐阜縣稻葉郡更木村、
 福井工場、福井市三ツ橋、刺繍工場、京都上京區御池通新
 町、同、大津市平藏町、染工場、京都上京區堀川三條、肩裏部
 工場、同市上京區衣棚竹屋町
 井上 專治郎 號 蘆仙 明治六年五月六
 岡山縣生、私立相愛高女學校囑託圖畫教授、日畫(四條)、
 師菊地芳文、中川廣月、大阪東區淡路町魚之堀北入

井上 居 號 照 居 明治一二年九月
 八京都府生、牙木彫品製作業、師齋藤美洲、京都美術協會
 員、彫工會員、工和會にて二等賞、京都美術協會にて二等賞
 を受、京都下京區祇園町南側一五八
 井之口 德次郎 號 東京、漆工、明治三八年八月
 美術學校漆工科卒
 井口 華 號 秋 京都、畫家、日畫、師竹内栖
 鳳、第三回文展入選、京都市佛光寺柳馬場西
 井出 伴藏 號 城山 明治五年二月四
 長野縣生、畫家、日畫、師久保田米德、美術協會員、長野
 縣北佐久郡北御牧村三城三六五
 井手 薰 號 臺灣總督府土木部勤務、建築、
 工學士、建築學會員、臺北三板橋庄大竹園一三三
 井澤 蘇水 號 東京牛込區喜久井町三四
 賞を受、巽畫會員、東京牛込區喜久井町三四
 井本 松太郎 號 竹雨 明治四年四月二
 六兵庫縣生、畫家、南畫、師姫島竹外、大阪市北區角田町
 三三九
 井芹 一二 號 蘇泉 明治一五年一月
 二熊本縣生、縣立佐賀高女學校教員、日畫(住吉)、師山名
 貫義、三六年六月美術學校日畫科卒、佐賀市小松町鬼丸八四
 猪飼 卯吉 號 嘯谷 明治一四年四月
 一二京都府生、京都市立繪畫專門學校助教諭、日畫(歴史、
 人物)、師谷口香嶺、三三年四月京都市立美術工藝學校圖科
 卒、京都美術協會員、後素協會員、京都美術協會にて銅牌を
 受くる事數回、京都上京區二條通室町西入
 猪飼 俊 號 二 愛知、洋畫、明治四〇年三月
 美術學校洋畫科卒

五十嵐 勝次郎 號 勝次 安政元年一月
 一江戸生、裝飾品製作業、鑄金、彫工會員、聖路易博覽會
 にて銀賞、ポルトランド博覽會にて銅賞、利榮博覽會にて
 銀賞、其他美術協會、彫工會等にて數次受賞、東京本所區外
 手町五
 五日市 玉東 號 安政元年一月一〇盛岡生、畫
 家、南畫、師川口月嶺、川村雨谷、美術協會員、南宗畫會
 員、東京下谷區入谷町一〇六
 飯尾 駒太郎 號 岐阜、日畫、明治三一年七月
 美術學校日畫科卒
 飯田 德三郎 號 山形、圖案、南滿洲鐵道株式
 會社勤務、明治四三年三月美術學校圖科卒
 飯田 爲二郎 號 兵庫、圖案、明治三九年京都
 高工學校圖科卒
 飯田 敬三 號 稻香 慶應三年八月一
 五江戸生、畫家、南畫、師瀧和亭、各展覽會にて屢々受賞、
 東京牛込區水道町四一
 飯田 愛之助 號 紫山 明治一五年七月
 一四東京生、赤十字社本部事務員、日畫(狩野)、師狩野壽信
 秋月可山、巽畫會員、東京府豐多摩郡大久保町東大久保一
 八東京生、造幣局技手、勳七、彫金、師加納夏雄、海野勝
 珉、二七年二月美術學校彫金科卒、大阪北區新川崎町造幣
 局四一官舎
 飯田 文一 號 富山、明治四四年三月美術學
 校圖畫師範科卒
 飯田 新七 號 安政六年一〇月二八京都市生、
 織物、刺繍、染織工藝品製作販賣業、勳六、美術協會評議

員、京都美術協會評議員、內國受賞の主なる種類を擧ぐれば名譽金牌一二、金牌七六、銀牌六五、銅牌三一、賞狀六二、又外國受賞はバルセロナ萬國博覽會銀牌、巴里大博覽會金牌、市俄古世界博覽會賞牌六個、アントワープ萬國博覽會金牌、巴里大博覽會名譽大賞一、金牌二、佛領河內萬國博覽會名譽大賞一、金牌一、露都服裝博覽會名譽大賞、聖路易萬國博覽會名譽大賞三、金牌三、巴里サロン出品金牌、利々露萬國博覽會名譽大賞二、露國萬國裝飾品博覽會名譽大賞、シヤトル萬國博覽會名譽大賞、日英博覽會名譽大賞等とす、本店、京都下京區烏丸通高辻下因幡堂町六六四、(吳服部)電長一〇〇、一八七、四〇一七、三三〇七、(貿易部)電長一一、三三一二、振東五一〇、同大四一、大阪店、大阪南區心齋橋筋二の一〇、電南長三一、三二、三四、三五、振大阪九二、東京店、東京京橋區西紺屋町一、電京橋長一五〇八、一五〇九、二六二六、丸之内店、東京麹町區八重洲町一の一、電本局長四一五、五一二、横濱店、横濱山下町八一、(直輸部)電長一四一(卸小賣部)電長一四二九

飯塚 高勝彦 號 溪雪 天保六年六月二日 四江戶生、畫家、勳八、南畫、師遠坂文雅、榊原文翠、東海繪畫協會幹事、靜岡縣志太郡西谷津村田中三七

飯塚 伊兵衛 △(商號、玉寶堂、貴金屬美術工藝品商、美術協會終身會員、東京下谷區池之端仲町二九、電下谷九六五

飯塚 塚 豐 號 蓉峰 明治一六年一月二日 千葉縣生、東京瓦斯株式會社圖案係、裝飾圖案、四月一年四月美術學校圖科卒、虹會員、東京小石川區白山御殿町一一〇

飯塚 聖林 明治一〇年六月二九 靜岡縣生、

畫家、日畫(容齋)、師松本楓湖、山本芳翠、東海繪畫協會幹事、巽會同縣支部長、東海繪畫協會展覽會にて特別銀牌を受、靜岡市鷹匠町三の九九

飯澤 傳之丞 號 天羊 △山形、洋畫、明治三八年七月美術學校洋畫科卒、東京下谷區谷中清水町

飯島 保次郎 號 撫山 神奈川、日畫、明治四〇年三月美術學校日畫科卒、神奈川縣橋本郡鶴見町

茨木 猪之吉 號 不仙 明治二〇年一月二九 靜岡縣生、小學校教員、洋畫、師淺井忠、太平洋畫會員、第一、五回文展入選、長野縣北佐久郡小諸町小學校內

一井 九平 △京都府土木工師、建築、從七、建築學會會員、京都今出川通相國寺門前東入

一江 義雄 號 芳秋 明治二二年一月一五 名古屋生、畫家、日畫(四條)、師水谷芳年、竹内栖鳳、巽會會員、東海美術協會會員、愛山會員、名古屋西區井井町三八

市原 直彦 △高知、圖案、明治四二年京都高工學校圖科卒

市岡 兼吉 號 紫雲 明治二二年八月二四 東京生、美術品製作業、鑄金、畫を狩野探美、鑄金を大島如雲に學、美術協會會員、彫工會員、鑄金會委員、彫工競技會にて銅賞、各展覽會にて銅賞二三個、鑄金會展にて銀賞を受、東京麻布區宮村町五一

市川 力藏 號 東山 安政五年七月一七日 江戶生、島根縣立濱田中學校教諭、洋畫及日畫、日畫は葦原眉山及大出東卓に、洋畫は國澤新九郎に學、明治一二年三月工部美術學校繪畫科卒、島根縣那賀郡濱田町淺井九六一

市川 鎌次郎 號 宇水 慶應二年八月一二日 江戶生、木版彫刻業、書畫彫刻、父市川文次郎に學、東

京芝區柴井町二〇

市川 幸次郎 號 泰山 明治二〇年三月三一 東京生、漆工業、蒔繪(古滿)、師池田泰真、池田泉哉、漆工會員、東京府荏原郡北品川宿一九五

市川 其考 號 鬼堂 明治一六年一月一八 東京生、彫刻業、牙角彫、堆朱、父市川如之等、彫工會員、東京淺草區馬道町七の一二 菊地方

市川 雄三 號 筑涯 明治一四年一月一 信濃國生、藝術的寫真、無師獨修、東京本郷區本郷六の二、電下谷五一五〇

市川 之雄 △內苑寮技師、建築、正六、建築學會特別會員、明治四四年一月日本大博覽會工事計畫設計圖案懸賞募集當撰、三等賞(金千圓)を受、東京内藤新宿一の一二

市川 七作 明治八年七月二六 東京生、印刷業、洋畫、東京本郷區眞砂町二五

市田 達吉 △大阪、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

市田 健治 號 龍畝 明治二五年九月二六 京都生、畫家、日畫、師荒木十畝、東京下谷區西町三

市田 菊次郎 △工學士、建築、建築學會會員、大連南滿洲鐵道株式會社土木課勤務

市村 道鳴 號 聲外 明治四年五月二〇 靜岡生、畫家、南畫、師姫島竹外、遊心會員、神戸市脇之濱

市島 市太郎 △東京、彫金、明治三四年七月美術學校彫金科卒

市島 富太郎 △新潟、漆工、明治三九年八月美術學校漆工撰科卒

入谷 昇 △香川、彫刻、明治四四年三月美術學校彫刻科卒

入江 幾次郎 號 波光 △京都、日畫、明治四四年三月京都市立繪畫專門學校卒、第一回文展入選

入江 爲守 △明治元年四月二〇生、美術審查員、貴族院議員、從三、勳四、伯、美術協會會員、東京府豐多摩郡大久保町西大久保四六六、電番町三一〇三

入江 清三郎 △東京、寫真師、寫真、日本寫真會展覽會にて二等賞を受、東京小石川區大塚町六〇

入江 善太郎 元治元年八月二五 常陸國生、臺灣總督府技師、建築、師工學博士中村達太郎、工學士石井敬吉、明治二八年東京高工學校工業教員養成所木工科卒、建築學會會員、設計に係る建築物長崎縣立病院、曹洞宗大本山臺北別院御堂等、臺灣臺北府後街六

乾 長光 號 南陽 明治三年八月一三 高知縣生、畫家、日畫、師橋本雅邦、山名實義、三〇年七月美術學校日畫科卒、研精會員、巽會會員、土陽美術會幹事、東京本郷區森川町一 中通二二六

庵原 勝吉 文久二年四月七 名古屋生、畫家、洋畫、師淺井忠、明治美術會第一回研究會三等賞、同第三回研究會にて一等賞を受、名古屋中區中之町二の三〇八

岩井 長三郎 △朝鮮總督府技師、建築、正七、工學士、建築學會會員、朝鮮京城京畿總督府官舎一一

岩井 昌三 號 漕浦 明治九年九月二日 津市生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、三四年七月美術學校日畫科卒、岐阜縣土岐郡泉村大宮一二八五

岩鼻 正修 明治一三年一月一五 京都府生、

大阪府立富田中學校教諭、油畫、三七年七月美術學校
洋畫科卒、大阪府南河内郡川西村甲田九三

岩田 豐 磨 號 秋 齋 明治八年十一月
二五津市生、畫家、日畫(土佐)、師小堀柄首、美術協會員、
巽畫會員、橫濱市北方四四

岩田 太 造 號 壽 石 嘉永四年九月四
越前生、畫家、南畫、師森琴石、大阪南宗畫會員、南越繪畫共進
會にて銅賞、其他數回受賞、福井縣南條郡武生町蓬萊區一九

岩田 正 義 號 半 掬 安政五年三月一
三岡山生、玉石彫琢及篆刻業(水月堂)、彫刻、美術協會に
て銀牌四回、銅牌四回、東京勸業博覽會にて銀牌を受、東
京芝區宇田川町一七

岩田 幸 七 郎 嘉永六年二月二八福井縣生、漆
器業、漆工、漆工會員、今立漆器獎勵會頭、福井縣今立郡
河和田村上河内一四

岩田 心 齋 文久二年二月七愛知縣生、畫
家、南畫、師山本梅莊、森琴石、愛知縣葉栗郡高田二六

岩瀧 多 磨 △千葉、漆工、明治三五年七月
美術學校漆工撰科卒、漆工會員、東京四谷區愛住町六〇

岩村 透 明治三年一月二五東京生、美術
學校教授、美術審判員、音樂會員、從四、男、美術に關
する文學の研究、東京本郷區前岡町二七、電下谷三七九三

岩佐 丈 助 號 古 香 明治一七年一月
三名古屋生、畫家、日畫、師谷口香崎、京都美術協會員、
京都上京區烏丸通竹屋町上

岩佐 信 也 △大阪、圖案、明治四〇年京都
高工學校圖科卒

岩崎 文 七 號 末 廣 △岩手、彫金、

九播磨國生、畫家、日畫(圓山)、師渡邊丹唯、巴里萬國大
博覽會にて銀賞牌受領、著書『繪畫哲學論』、京都上京區東
三本木上之町二

磐瀨 純 △東京、日畫、東京三越吳服店
員、明治三四年七月美術學校日畫撰科卒

板野 榮 一 號 芳 溪 明治一八年五月
二一岡山縣生、中學圖畫教員、日畫(四條)、新潟縣西頸城
郡糸魚川町

板倉 和 助 號 石 仙 慶應元年五月一
六長野縣生、畫家、南畫、師兒玉果亭、各地展覽會にて銅
牌以下受賞數回、長野市花咲町四〇二

板谷 嘉 七 號 波 山 △茨城縣、東京
高工學校講師、彫刻及製陶、明治二七年七月美術學校彫刻
科卒、窯業協會評議員、美術協會員、音樂會員、全國窯業品
展覽會にて金賞を受、東京府北豐島郡瀧野川村田端五一二

板谷 廣 永 號 桂 舟 明治四年一二月
二二東京生、畫家、日畫(住吉)、師山名貫義等、美術協
會員、巽畫會員、東京府北豐島郡瀧谷町中瀧谷五七二

板坂 平 四 郎 號 玉 園 明治九年二月六
東京生、彫刻業、牙彫、養父板坂弘齋に學、美術協會員、彫
工會員、東京府北豐島郡日暮里町谷中木一〇七〇

板坂 萬 吉 號 弘 齋 安政元年一月
一七下總國生、彫刻業、牙彫、幼時松若雲峨に畫を、彫刻
は高麗宗山に學、美術協會員、彫工會委員、彫工會にて銀賞
牌を受、東京府北豐島郡日暮里町谷中木一〇七〇

磯部 忠 一 明治一二年三月一五東京生、畫
家、油畫及水彩畫、太平洋畫會員、東京牛込區北町三一

明治四三年美術學校金工科卒、東京下谷區上野櫻木町三九
香川方

岩崎 廣 吉 號 湖 堂 明治一三年二月
一三東京生、畫家、日畫(四條)、師小林吳崎、川合玉堂、
日月會委員、明治繪畫會員、巽畫會員、紅兒會員、美術協會に
て三等賞(二回)、明治繪畫會にて石印賞、日月會にて日月賞
を受、東京牛込區新小川町二の八

岩崎 庄 太 郎 △建築、工學士、建築學會員、
福岡市中對馬小路二八

岩崎 元 長 明治一七年一月一三東京生、塗
師、勳八、道具塗、師龜井直齋、漆工會員、東京淺草區北
宮坂町一一

岩下 絹 子 △(舊姓犬塚)洋畫、女子美術學
校洋畫科本科高等部卒、英國に留學する事三年、明治四二年
歸朝、嘗てサロンに出品す、清國長春南滿洲鐵道會社々宅

岩本 寬 齋 江月生、貴金屬彫刻師、正倉院
御寶劍御模造鑿工、金工協會員、東京芝區濱松町一の一五

岩本 三 夫 △千葉、鑄金、明治四四年東京
府工藝學校鑄金科卒

巖本 生 次 號 圓 崖 明治二年二月一
一日姫路生、神奈川縣立第四中學校教諭、日畫(圓山)、父
巖本圓嶺に學、美術協會員、圖書教育會員、大阪開設の東洋
美術展覽會にて優等賞を受、權須賀市

巖本 定 次 號 冬 嶺 明治四年七月二
七姫路生、香川縣高松高女學校教諭、日畫及洋畫、父巖本
圓嶺に學、巴里萬國大博覽會に自著『畫學帖』出品し銅賞牌
受領、高松市六番町一〇

磯貝 寅 吉 號 隆 敬 明治二三年五月
二東京生、學生、日畫(土佐)、師幸山英洲、巽畫會員、東
京下谷區豐住町四六

磯田 長 秋 △東京、畫家、日畫、第六回文
展にて褒狀を受、紅兒會員、東京府在原郡大井町五一六

磯村 茂 湖 號 兼 卯 明治五年四月二
四金澤市生、意匠圖案業(東京印刷會社圖案部勤務)、印刷
物圖案、三五年四月富山縣工藝學校製漆科卒、虹會員、第五
回勸業博覽會、其他にて銅牌以下受賞數回、東京麹町區麴
町一の二

磯野 寅 藏 號 春 若 明治二三年七月
二四大阪生、畫家、日畫(四條)、師山元春舉、浪華青年畫
會員、大阪北區船大工町萬字ク辻西八一九九

磯野 富 之 助 △富山縣生、美術學校書記、圖
案、明治三九年四月美術學校圖科卒、東京下谷區南稻荷町
三深澤方

磯野 吉 雄 號 三 申 明治八年四月九
東京生、女子美術學校幹事、油畫、師夏井潔、能勢龜次郎、
五姓田義松、黒田清輝、三二年七月美術學校洋畫科卒、東京
勸業博覽會にて協賛銀賞を受、東京小石川區林町九八、電
番町二二九一

磯野 壽 吉 △佐賀、日畫、明治四〇年三月
美術學校日畫科卒

磯矢 邦 之 助 號 完 山 明治八年二月二
八大阪生、蒔繪品製作業、蒔繪、師小川松民、川之邊一朝、
三〇年七月美術學校漆工科卒、漆工會員、音樂會員、巴里萬
國大博覽會にて金牌、第五回勸業博覽會にて銀牌を受、東京
小石川區關口臺町二三、工場同上(日進工場蒔繪部)、電番町

九

磯島喜六 △滋賀、滋賀縣彦根高女學校教諭、圖案、明治三八年京都高工學校圖科卒、滋賀縣犬上郡彦根町

泉輝月 △京都、畫家、日畫、第一回文展入選

泉勢鳳泉 明治一九年三月二三東京生、畫家、日畫(四條)、師部永晴、望月金鳳、日本畫會員、巽畫會員、各所に展、受賞、東京本所區相生町五の一、電本所一八六〇

泉末彦眞哉 明治二一年一月四新潟生、漆器蒔繪製作販賣業、蒔繪、師高井得好齋、漆工會員、長岡市玉藏院町九二六

泉谷氏一號 黑白 明治九年一月一東京生、三越吳服店寫真部主任、寫真術、無師獨學、嘗て大日本寫真品評會に作品を出し受賞數回、寫真術研究の爲め歐洲へ漫遊したり、東京芝區高輪南町五二

和泉寅之丞 號 整乘 鑄金業、鑄金、彫工會員、金工協會員、各展覽會にて受賞多し、東京本郷區動坂町一二二

和泉忠兵衛 慶應二年正月二京都生、吳服半襟問屋、帛紗、刺繡製作業、京都美術協會員、京都刺繡同業組合會議長、各博覽會等にて賞牌褒狀數多受領、京都下京區寶町萬壽寺角二一八、電一七四三、出張店、東京日本橋區高砂町一三

稻葉越一號 小千 明治二年九月五駿河國生、私立麻布中學校圖畫科教員、油畫及圖案、師本多錦吉郎、著書、實用圖案裝飾文字等、東京府荏原郡目黒

生、木版畫彫刻及印刷、日本木版畫同好會を起し作品を同好者に頒布す、神奈川縣橋本郡保土ヶ谷町岩間

生田是文 明治一六年八月五愛知縣生、畫家、日畫、師水野年方、寺崎廣業、研精會員、巽畫會員、各展覽會にて銅賞二回其他受賞多し、東京下谷區上野櫻木町三八

生野恒太郎 號 秀峰 明治一四年三月二大分縣生、學校職員、日畫(四條)、師荒木寬敏、四二年三月美術學校日畫科卒、讀畫會員、東京本郷區森川町一

生山虎之助 號 東城 明治四年七月一五大分縣生、熊本縣立商業學校教諭、南畫、師竹下愚溪、守山湘顯、熊本市古城端町一〇〇

今井伴次郎 △群馬、東京府立第三高女學校教諭、明治四年三月美術學校圖畫師範科卒

今井爽邦 △畫家、日畫、巽畫會員、第六回文展入選、東京本郷區湯島天神町一の六一

今井藏六 明治一九年八月一長野縣生、美術品製作業、鑄金、大賀に師事す、鑄金會員、東京下谷區練堀町三六

今井孝吉 號 玉芳 明治一二年二月二六鹿兒島生、畫家、日畫、師平山東岳、川端玉章、天真會員、東京芝區巴町二九圍田方

今井天祿 慶應二年一〇月二〇生、僧侶(臨濟宗南禪寺派長福寺住職)、日畫(圓山)、師國井應文、神戶市兵庫長田村

今井傳次 號 琴谷 明治一二年六月六埼玉縣生、商業、南畫、師黑澤墨山、巽畫會員、埼玉縣秩父郡大宮町三一三

稻垣喜多造 號 喜道 安政元年三月二四江戸生、明治初年來數回渡歐、海外直輸出入貿易を開始又絹織物業を経營す、L. Verray-Ingenieur. Prof. Gerard, に師事す、Chimie Industrielle Conservatoire des Arts et Metiers, Paris, (一八七三年卒)、京都美術協會終身會員、京都上京區寺町頭高徳寺町一六、電五八五三

稻垣吉藏 △新潟、彫刻、明治三七年七月美術學校彫刻科卒、四〇年佛(渡航滞在中)

稻吉雲洞 明治二一年三月二五愛知縣生、畫家、南畫、師山本梅莊、巽畫會員、第二回瀨共進會にて銅牌、全國瀨共進會にて銀牌を受、愛知縣幡豆郡一色町二、電話三

稻田猪之助 號 吾山 明治一三年一月三米澤生、畫家、日畫、師寺崎廣業、研精會員、神奈川縣鎌倉郡扇ヶ谷今小路

稻積包 號 森 明治一八年二月二五大分縣生、福岡縣立東筑中學校教諭、圖案、師淺井忠、三九年七月京都高工學校圖科卒、福岡縣遠賀郡折尾村

稻村勝一郎 號 淑田 明治九年五月二二群馬縣生、會社員、日畫(四條)、師村瀨玉田、宇都宮市川向町六

稻生眞履 號 松庵 天保一四年九月二九三河國生、東京帝室博物館學藝委員、從六、勳六、師加藤之雄、鹽谷岩陰、萩原西崎、東京赤坂區表町四の六

生井平太郎 △岐阜、日畫、明治三三年七月美術學校日畫科卒

生田健次郎 號 可久 明治九年神奈川

今井吉太郎 號 光信 明治一〇年一月二一高岡市生、鑄造業、鑄金(後藤派)、及鑄型、彫工會員、高岡市横田町三八〇八

今井重信 號 津城 明治一二年一月二〇津市生、滋賀縣師範學校教諭、日畫(四條)、師川端玉章、三四年七月美術學校日畫科卒、圖畫教育會滋賀支部幹事、圖畫共勵會委員、大津市松本三三三

今泉雄作 號 也軒 (別號文峰)、嘉永三年六月一九江戸生、東京帝室博物館美術部長、美術審査員、古社寺保存會委員、從五、勳四、畫を市川其融、南畫を坂田臨客に學、美術協會特別會員、京都美術協會特別會員、國華俱樂部幹事、東京下谷區中根岸町八〇

今戸精司 號 蝸牛 明治一四年六月二五大分縣生、塑像、樂燒、木彫製作、師田中主水、山田克齋、高村光雲、三五年七月美術學校彫刻科卒、大阪型型實習會員、十五日會同人、大阪府東成郡墨江村長狹町五二

今尾景年 號 養素齋 (別號聊自樂居) 弘化二年八月一二京都生、畫家、帝室技藝員、美術審査員、日畫(寫生)、師鈴木百年、京都美術協會特別會員、後素協會委員長、明治四四年伊國萬國美術博覽會にて賞金を受、京都上京區堺町夷川上絹屋町一九

今尾掬翠 △京都、藝術寫真

今田直策 △宮城、學習院教師、日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒、東京小石川區小日向藥町二の一五

今田水之 △奈良、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

今津りう子 號 柳川 明治二〇年六月

二八岐阜縣生、下關市立高女學校教諭、日畫、四一年三月
女子美術學校日畫科卒、圖書教育會會員、圖書共勵會會員、下
關市細江畔一九二五

今中素友 △東京、畫家、日畫、巽畫會員、
東京牛込區喜久井町二〇

今永英世 明治二二年一月熊本縣生、建築
裝飾業、裝飾、圖案、師淺井忠、武田五一、鹿子木孟郎、四
二年七月京都高工學校圖科卒、第二回東京勸業展覽會にて
三等賞を受、東京牛込區若松町五八

今村保之助 興宗 明治六年三月二
〇横濱生、畫家、日畫(容齋派)、師中島亨齋、松本楓湖、巽
畫會員、東京下谷區上野櫻木町一九

今村壽三郎 紫紅 明治一三年二
月一六横濱生、畫家、日畫、師松本楓湖、巽畫會評議員、紅
兒會幹事、第五回文展にて褒狀、巽畫會にて二等賞、第六回文
展にて二等賞を受、其他展覽會にて受賞多し、神奈川縣足
柄下郡小田原町十字四丁目

今野清三郎 △宮城、圖案、三重縣第三中學
校教諭、明治四三年三月美術學校圖科卒、三重縣阿山郡上
野町

今關胤雄 甫 召 明治一五年一月
一千葉縣生、圖案、三九年四月美術學校洋畫科卒、東京
本郷區金助町八

池田猪一郎 紫洲 文久三年五月七
肥後國生、畫家、南畫、師梶山九江、堤石鼎、巽畫會員、熊
本縣下益城郡小野部田村中小野三九

池田治三郎 △京都、洋畫、第六回文展にて
三等賞を受、京都岡崎町關西美術院内
池田林之助 煙 郁 明治三年八月二
八大阪生、畫家、南畫、師守住貫魚、姫島竹外、大阪府西
成郡中津村下三番九九

池田芳太郎 △京都、彫金、明治三四年七月
美術學校彫金撰科卒
池田信太郎 秋方 明治二三年二月
二三東京生、畫家、日畫、師水野年方、川合玉堂、研精會
員、巽畫會員、美術研精會にて銅賞を受、東京下谷區上根
岸町五二

池田松之助 泉 哉 明治三年一〇月
一六東京生、漆工業、蒔繪(古瀧派)、父池田泰真に従ひ歿
後其遺業を繼ぐ、漆工會商議員、美術協會會員、東京府荏原
郡品川町南品川東淺間臺二四九

池田正治 香岳 明治一三年三月
二八新潟縣生、寫眞業、勳八、寫眞研究會會員、東京寫眞研
究會にて銅牌を受、東京本郷區元町二の五九

池田桂仙 元治元年九月二津市生、畫家、南
畫、父池田雲樵に學、明治一九年五月京都府畫學校卒、京
都美術展覽會にて三回銅賞、第四回及第六回文展にて褒狀、
美術協會にて二回銅賞を受、京都上京區富小路御池上ル守
山町一六六

池田賢太郎 △臺灣總督府陸軍經理部技師、
工學士、建築學會會員、臺北小南門街三の一

員、內國博覽會、其他美術展覽會へ出品受賞數回、東京京橋
區瀧山町一

池上豐子 綠 欽 明治八年一二月
一五山口縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬畝、三一年
三月共立女子職業學校造花科卒、東京下谷區谷中清水町一二
池上藤五郎 文 僊 明治二〇年一一
月一五東京生、畫家、日畫、師野村文學、東京下谷區西町
四六

池上 年 △廣島、福岡縣立中學修猷館教
員、圖案、明治四五年京都高工學校圖科卒

池上國次郎 秀 畝 明治七年一〇月
一一長野縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬畝、諸畫
會幹事、日本畫會評議員、美術協會會員、二十二年以後日本美
術協會、歷史風俗畫會、東京府美術工藝展覽會にて銅牌及銅
印を受くる七回、東京勸業博覽會にて二等賞、美術協會にて
銀牌(二回)、正派同志會にて二等賞、名古屋新古美術展覽會
にて銀牌、第四回文展にて三等賞、第五回同會にて褒狀、第六
回同會三等賞、其他各展覽會にて受賞多し、二八年西班牙政
府の依頼に由り日露戰爭に於ける我軍の活動を寫し、四〇
年七月皇太子殿下日本畫會へ行啓の御席畫を勤む、御望に
應じて楠公迎風鞞圖揮毫、四一年韓國皇太子殿下日本畫會へ
行啓の際献上畫揮毫、四三年七月八日 聖上、同十日 皇后
陛下前田家行幸啓に付御前揮毫の榮に浴す、東京下谷區谷
中清水町一二

池上榮治郎 掃 雨 元治元年一二月
二八伊勢國生、畫家、南畫、師山岡米華、日本畫會員、巽畫
會員、南宗畫會員、各所展覽會にて屢々受賞、東京本所區南
二葉町三

池田永治 △畫家、洋畫、第四回文展にて
褒狀を受、東京下谷區竹町一二番の一八安達方

池田儀助 惠 齋 安政二年一〇月
一〇福井縣生、唐木骨董品製作業、彫刻、美術協會會員、各
地共進會等にて銀牌一回、銅牌一回を受、福井縣南條郡武生
町浪花一七

池田ゆり子 蕉 園 (舊姓柳原) 明治
二一年五月一三東京生、畫家、日畫、師水野年方、川合玉堂
巽畫會員、美術研精會にて賞牌(二回)、東京勸業博覽會にて
賞牌、美術及美術工藝展覽會二等賞、巽畫會二等賞、文展にて
は第一回、第二回、第三回、第四回共に三等賞、第五回、第六回
にて褒狀を受、東京下谷區中根岸町九〇

池田勇 八 明治一九年八月二八香川縣生、牧
畜業、塑造、四〇年三月美術學校彫刻撰科卒、東京府美術
及美術工藝展覽會にて銅賞二個、名古屋開府三百年記念美術
展覽會にて銅賞、文展にては第四回、第五回共に褒狀を受、
巽手縣岩手郡小岩井農場

池田實 青 流 明治一一年四月
六福島市生、大阪府技師、建築、從六、工學士、三七年七
月東京帝大工科大学建築科卒、建築學會會員、大阪南區天王
寺烏ヶ辻町五七〇八

池田稔 星 河 明治九年一月四
信濃國生、日本大博覽會事務局技師、建築、古市、片山、辰
野、妻木諸博士に學、三五年七月東京帝大工科大学建築科
卒、正七、勳六、工學士、建築學會會員、設計に成りたるも
の横濱市役所廳舎、アラスカ、ニューヨーク、パンフィック萬國博
覽會日本出品館、羅馬帝國美術博覽會日本出品館等とす、
東京府北豐島郡高田村雜司ヶ谷旭出四三

池田正四郎 號 輝方 明治一六年三月
四東京生、畫家、日畫(風俗)、師水野年方、川合玉堂、巽畫
會員、日本美術院展覽會にて銅賞、第六回文展にて褒狀を
受、東京下谷區中根岸町九〇

池田讓次 號 大藏省臨時建築部技師、建築、
正七、工學士、建築學會員、東京府豊多摩郡代々幡村代々
木一〇一

池田善之助 號 寒山 (別號萬年) 明治
一一年八月五東京生、畫家、日畫(四條)、師寺崎廣業、浪花
青年畫會員、大阪東區産湯神社前

出浦高介 號 辯護士、特許辨理士、建築、
工學士、建築學會員、東京神田區今川小路三の三、電本
局四〇八二

鴨脚光詳 號 京都、圖案、明治三八年京都
高工學校圖科卒

石井德次郎 號 素堂 明治三年一月一
六高知生、畫家、日畫(四條)、師柳本洞素、川端玉章、今尾
景年 後素協會員、聖路易萬國博覽會にて銀牌、其他諸會に
て褒狀及金賞を受る事十數回、京都柳馬場高辻上西入

石井鶴三 號 明治二〇年六月五東京生、彫塑
及畫家、師小山正太郎、加藤景雲、四三年三月美術學校彫刻
撰科卒、第五回文展にて褒狀を受、東京本郷區駒込林町一
八三

石井敬吉 號 建築技師、横河工務所勤務、建
築、工學士、建築學會員、東京牛込區市ヶ谷佐内町三七

石井毅三郎 號 天風 明治一七年七月
一五千葉縣生、畫家、日畫、師橋本雅邦、二葉會幹事、巽畫
會員、紅兒會員、二葉會展覽會にて一等賞二、銀賞一、研精

石川伊十 號 明治二三年七月二四靜岡縣生、
畫家、洋畫、師黒田清輝、元白馬會溜池研究所出身、東京
芝區新櫻田町一九長尾方

石川巖 號 千葉、洋畫、慶應義塾圖畫科
教師、明治四二年三月美術學校洋畫科卒

石川戈足 號 柳城 弘化四年一〇月
二六名古屋生、畫家、從七、南畫、師吉田稼雲、中央南宗
畫會幹事、明治二九年臺灣に居ること五年去て南清に渡り
閩粵の名所舊蹟を訪ひ鷺江に寓すること年餘、歸朝後東京に
卜居、日本南宗畫會を組織し其幹事たること數年、四一年再
び臺灣を経て清國に渡り上海より漢口、武昌に至る沿岸江南
一帶の佳山水及江西廬山の絶勝を探り、尙ほ金陵、鎮江、蘇州
杭州を漫遊し到處文人墨客と交り、四二年一旦東京に歸り其
秋故を以て郷里に歸臥し中央南宗畫會の再興に従事し、現に
其幹事たり、愛知縣愛知郡千種町元古井六〇

石川寅治 號 明治八年四月五高知市生、畫家、
油畫、師小山正太郎、太平洋畫會理事、土陽美術會幹事、
東京勸業博覽會にて三等賞、第二回文展にて三等賞、第三回
文展にて褒狀を受、東京小石川區丸山町五

石川千代 號 耕小 明治一六年四月
東京生、日畫、師尾形月耕、武村耕鶴、三七年三月女子美術
學校日畫科卒、國香會女子部員、東京麻布區本村町二〇〇

石川林平 號 笠水 明治三年三月一
〇靜岡縣生、縣立熊本中學校教諭、油畫及水彩畫、師遠藤
確山、川路新吉郎、熊本市新屋敷町一三八

石川確治 號 明治四年八月八山形縣生、彫
塑、二八年七月美術學校彫刻科卒、第四回文展に褒狀を受、
京下谷區谷中天王寺町三二

會にて研精賞三、凱旋記念五二共進會にて妙技銀賞、第六回
文展にて褒狀を受、東京府荏原郡南品川町五七七

石井吉次郎 號 士口 明治五年一月一
二五東京生、美術學校助教、從七、勳五、功五、塗料藝
術、二七年七月美術學校漆工科卒、漆工會常務商議員、漆友
會幹事、吾樂會員、東京本郷區駒込林町一五九

石井滿吉 號 柏亭 明治一五年三月
二八東京生、畫家、師淺井忠、太平洋畫會評議員、先聲會
員、東京勸業博覽會にて褒狀、第三回文展、第五回文展、第六回
文展にて褒狀を受、四四年繪畫研究の爲め歐洲各地漫遊、
大正元年歸朝す、東京本郷區駒込林町一八三

石井俊 號 金陵 天保一三年九月
二九備前國生、畫家、南畫、師浦上春琴、古市金峨、大阪繪
畫會顧問、大阪府豊能郡中村櫻塚

石原白道 號 九十九道人 安政三年
四月二九江戸生、畫家、油畫、正八、勳七、日畫を住吉内
記、洋畫を石丸七三郎、鈴木雪村、川村清雄に學、トモエ會
員、内國博覽會にて受賞二回、東京府豊多摩郡大久保町東
大久保一九

石橋和訓 號 明治九年島根縣生、畫家、油畫、
瀧和亭に學、正八、勳七、四〇年一二月英京倫敦ローヤル、
アカデミー卒、第二回文展にて三等賞、第三回文展にて三等
賞受領、三六年英國に航し今尙倫敦に滞留す、
(43 Roland Gardens, South Kensington, Lond. n. S. W.)

石橋彌太郎 號 玉傳 明治一六年八月
一三青森縣生、畫家、日畫(四條)、師高橋玉淵、日本畫會
員、巽畫員、報知新聞社主催日本海大海戰記念繪畫書圖案
選賞當選金メダル受領、青森縣三戸郡八戸町二十三日町二六

石川竹郁 號 日畫、明治四五年二月日月會
展覽會にて日月賞を受、巽畫會員、東京本所區石原町八八

石川竹盛 號 東京、鑄金、明治四四年東京
府立工藝學校鑄金科卒

石川信次 號 勝信 明治二年一〇月
一水戸生、彫金業、師滑川貞勝、美術協會員、金工協會員、
美術協會にて銅牌、彫工會にて銅牌、金工協會にて銅牌(二
回)を受、東京本郷區森川町四七

石川熊太郎 號 逸翁 弘化元年一二月
一五富山生、畫家、南畫、長崎の鐵翁及木下逸雲に師事す、
明治初年清國に航し松江、寧州、杭州、紹興の各府を歴遊
し名山大川を跋渉し上海にて胡公壽、張子祥等の門を叩き、
丹青の蘊奥を究め三年歸朝し、爾來内國各地を漫遊し西南肥
薩より東北奥羽に至るまで足跡遍からざるけなし、大阪北
區四野田吉野東之町三九一

石川昂一 號 笛畝 (前號勉畝) 明治
二二年一月一東京生、畫家、日畫、師荒木寬畝、讀畫會員、
日本畫會員、東京下谷區龍泉寺町三七九

石川榮司 號 天崖 慶應元年九月二
〇千葉縣生、出版業、日畫及美術鑑識、美術展覽會常任
幹事、東京本郷區森川町一、電下二四一四、振替九三〇八

石川てる子 號 精華 (舊號玉溪) 明治
一五年六月一八東京生、畫家、日畫、師川端玉章、橋本雅
邦、二葉會員、東京下谷區谷中天王寺町三二

石川鐵五郎 號 玉麟 明治二年三月二
六東京生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、天眞會員、
東京日本橋區本町二の二〇

石川久吉 號 愛知、彫刻、明治四五年三月

美術學校彫刻選科卒

石川 きくじ 號 蕉 玉 明治二三年四月九神戶生、畫家、日畫(浮世繪)、師水野年方、川合玉堂、日月會にて日月賞、美術研精會にて研精賞(二回)受領、秋田市安田銀行支店内

石川 欽一郎 號 靜岡生、陸軍官吏、洋畫、正七、勳五、臺灣臺北陸軍官舎

石川 金太郎 號 寬 美 明治六年一月二五東京生、水産講習所勤務、介甲牙角、木竹石彫刻、師淺井寛哉、彫工會部長、前年清國政府より依頼を受け西太后萬壽節祝賀用五枚折屏風牙角介甲應用彫刻を製作す、凱旋記念五二共進會に自家新案介甲玉石金銀應用の作品を出す、四三年六月東京殿下 第一回貿易品博覽會(行啓の際色層應用彫刻品を献上す、東京下谷區谷中初音町二の五

石川 銀次郎 號 信 光 嘉永六年一月一六江戸生、彫刻業、木彫、師石川三之助、東京神田區錦町一の二

石川 巳七雄 號 北海 道、鑄金、明治二七年二月美術學校鑄造科卒、(在佛領安南)

石川 準 禮 號 石川、漆工、明治二七年二月美術學校漆工科卒

石川 廣 助 號 雪 溪 明治二〇年一月二六茨城縣生、畫家、日畫(四條)、天真會員、師川端玉章、東京小石川區下宮坂町一丸九端内

石川 成 録 號 靜岡、彫刻、明治三五年七月美術學校彫刻科卒

京都市住 塚 章 號 廣島、漆工、明治四一年三月美術學校漆工科卒

石 野 監 藏 號 玉 隱 明治一六年五月二〇福岡縣生、群馬縣立富岡中學校教員、師中川蘆月、川端玉章、天真會員、群馬縣北甘樂郡一之宮上町

石 野 氏 承 號 石川、日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒

石 坂 武 一 號 東京、日畫、明治四一年三月美術學校日畫科卒

石 崎 常 太郎 號 明治八年二月四高岡生、銅器製造業、彫金及鑄銅、師大塚秀之丞、關義平、三七年四月富山縣工藝學校附屬工業補習學校金工科卒、高岡金工會會員、彫工會員、高岡市大工町二一

石 崎 光 瑤 號 京都、日畫、師竹内栖鳳、第六回文展にて褒状を受、京都御池通油小路西入竹内方

石 島 文 太郎 號 古 城 明治一一年一月二九茨城縣生、横濱貿易新報記者、日畫(新しき思想と形式を尙ぶ)、師齋藤謙、梶田半古、三八年七月美術學校日畫科卒、横濱繪畫會幹事、横濱寫真會審査員、(「彩畫法」の著あり、大日本圖案協會にて一等賞を受、横濱市南太田町二一九二

石 島 幸 吉 號 竹 厓 (舊號絹畦) 明治二年四月二四栃木縣生、畫家、南畫、大塊先生に學、美術協會員、東京芝區二本榎町一の八二

石 本 曉 海 號 彫刻、第六回文展入選、京都間之町丸太町下

石 本 秋 園 號 畫家、日畫、巽畫會員、明治繪畫會にて三等賞を受、東京小石川區西丸町一

石 河 正 徳 號 有 瓢 明治三年五月一 二名古屋生、畫家、日畫(南北合法)、師園田忠監、織田杏齋

石 河 光 治 號 涼 華 安政六年三月一 鹿兒島生、萬朝報社員、繪畫通信教授、美術協會員、繪事研究會主幹、東京芝區高輪南町三〇

石 河 壽 衛 彦 號 岡山、漆工、明治二九年七月美術學校漆工科卒、(在安南)

石 田 千 箭 號 謙 堂 萬延元年二月二七伊勢國生、私立勸精館圖書科教師、南畫、師中村竹汀、堀南進、三重繪畫協會員、津市瀬古町一九

石 田 美 明 號 明治元年九月二一奈良生、漆器蒔繪及室内裝飾品製造業、漆工會員、奈良漆器組合商議員、巴里世界博覽會にて銅賞、聖路易萬國博覽會にて金賞、其他内國博覽會にて屢々受賞、奈良市勝南院町一七

石 田 政 次郎 號 正 明治一一年三月二三高岡市生、鑄金業、鑄金(有職)、師大竹氏、金工協會員、彫工會員、鑄金會にて銀賞、美術協會にて銅賞、鑄金會にて銅賞、東京府第二回美術品展覽會にて銅賞を受、東京市下谷區上車坂町三

石 田 益 敏 號 靜岡、洋畫、明治三三年七月美術學校洋畫科卒

石 田 英 一 號 明治九年四月一四東京生、美術學校助教授、勳七、鍛金、三三年七月美術學校鍛金科卒

石 田 義 一 號 凌 風 明治一五年六月二四生、畫家、水彩畫、師大下藤次郎、寺松國太郎

芋 川 順 治 號 明治九年七月一三新潟縣生、農業、日畫、師寺崎廣業、巽畫會終身會員、研精會員、東京府北豐島郡日暮里町谷中本一〇三八

六角注多良 號 紫 水 慶應三年三月二〇廣島縣生、一般漆器製作及和洋室内外塗料裝飾業、鐵道院塗粧課鐵道車輛裝飾事業監督、日本漆と西洋塗料に関する一切の藝術、明治二六年七月美術學校漆工科卒、漆工會會員、國華俱樂部員、巴里萬國大博覽會にて銀牌、第五回勸業博覽會にて銀牌、聖路易萬國博覽會にて金牌、東京貿易品博覽會にて銀牌を受、嘗て農商務省より實業練習生を命ぜられ米國に航し止まること四年にて同地を去り英、佛、獨、露を巡回し、東京小石川區仲町二〇、工場同上、電番町二九四八、振替東京一八一五〇

羽 鳥 桂 藏 號 古 山 號 畫家、日畫、二葉會員、巽畫會員、東京本郷區湯島新花町五

羽 田 英 松 號 桂 舟 號 元治元年二月二三備後國生、畫家、日畫(四條)、師藤井松林、廣島縣深安郡福山町西町乙一九七

羽 山 圓 眞 號 淨雲齋 弘化三年正月五 江戸生、刀劍鍛冶、師山浦清麿、門人鈴木正雄、東京下谷

區谷中清水町

波根 義三 明治一八年一月一六東京生、美術學校助教、日畫(技能科教育)、師高島北海、四三年三月美術學校圖畫師範科卒、東京小石川區大塚窪町二四

八田 高容 (舊號翠) 京都、畫家、日畫、第四回文展にて褒状を受、京都四洞院二條下

八條 彌吉 明治九年八月一五大阪生、畫家、油畫、三四年七月美術學校洋畫科卒、第四回文展にて三等賞を受、東京府豊多摩郡戸塚村諏訪一八

蜂谷 彬 明治一七年二月二〇岡山縣生、大阪十合吳服店圖案部員、圖案、三九年七月京都高工學校圖科卒、大阪北區牛丸町八二、電南七七

春井清三郎 號恒眠 明治二年九月一 三大阪生、美術品製造販賣貿易商、池田合名會社漆器蒔繪製作部技術長兼監督、美術蒔繪師、亡父春井清三郎、故中川芝船に蒔繪を、故藤關山に畫を學、京都美術協會員、二一年以來池田合名會社にて内外貴顯紳士の特囑に應じ製作せし品類夥多あり、又内外公私博覽會、共進會、展覽會の受賞等頗多し、京都上京區鉄屋町通御池上白山町二四九

服部 安之 號五老山人 明治四年七月一八山形縣生、畫家、南畫、師田能村直入、京都上京區柳馬場通御池南

服部 鹽一郎 山口、圖案、臺灣總督府鐵道部勤務、明治三九年京都高工學校圖科卒

服部 喜一郎 山形、彫刻、明治三九年四月美術學校彫刻科卒

服部 金太郎 愛知縣生、貴金屬品製造販賣業、東京橋區銀座四の八、電京橋一三〇〇、一三〇一、長一三〇二、振替東京二九八〇

服部 繁治郎 號春陽 明治一六年一月三京都生、畫家、日畫、師山元春舉、三五年三月京都美術工藝學校繪畫科卒、第一回文展にて三等賞を受、京都下京區醍ヶ井通佛光寺南入二六

花井 群雄 號抱甕 明治一二年八月二〇三重縣生、畫家、日畫(四條)、師菊池芳文、竹内栖鳳、三二年三月京都市立美術學校繪畫科卒、後妻會中會員、美術協會及京都美術協會にて數度受賞、京都上京區寺町荒神口上宮垣町乙六

花田 忠太郎 號義方 山口縣生、畫家、日畫(土佐)、師山名貫義、美術協會員、日本畫會員、美術協會にて銀賞受領、東京小石川區新諏訪町一七

花曲 義平 山梨、栃木縣安蘇郡立佐野高女學校教諭、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒、栃木縣安蘇郡野町

英信 三三 號一蜻 天保一〇年正月一九江戸生、畫家、日畫(一蝶派)、英一蝶五世英一笑の男にして業を父に受、美術協會員、東京淺草區下平右衛門町八

春名庄市

龍洲 明治一三年四月二〇兵庫縣生、畫家、日畫(四條)、師若林突裕、溟華青年畫會員、大阪南區南桃谷町一三

畑經長 號仙齡 慶應元年四月一五京都府生、畫家、日畫(北宗)、師鈴木百年、美術協會委員、日本畫會幹事、各所展覽會にて受賞多し、明治四四年清國各地を遊歴して歸る、東京麹町區麹町一の一

畑正吉 號富山生、彫刻家、美術學校助手、明治三九年四月美術學校彫刻科卒、農商務省實業練習生として先年佛國に留學す、東京本郷區千駄木町五七

秦輝男 號安政 二年六月一三京都生、畫家、南畫、師中西耕石、第六回文展にて褒状を受、京都美術協會員、京都三條廣道栗田口町五

幡野久太郎 號愛知縣、圖案、明治四四年三月美術學校圖科卒

服部 唯三郎 號光鱗 文久元年一月二八三河國生、七寶製造販賣業、美術協會員、彫工會員、金工協會員、蒸業協會員、七寶同好會主事、多年内外博覽會に出品し大金牌を始め金牌、銀牌、銅牌等數十個受領、三七年宮内省御用達御命を蒙る、名古屋西區下園町二の八〇、支店、東京日本橋區平松町五

服部 熊次 號石仙 元治元年一二月一八尾張國生、畫家、日畫(四條)、初め父服部雲仙、後奥村石蘭に學、巴里萬國博覽會にて銀牌其他各所にて受賞、名古屋西區桶屋町四丁目

服部 保一 號福島、福島縣師範學校教諭、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒

原 虎之助 號大藏省臨時建築部技手、建築學會員、東京赤坂區丹後町一番地四七

原 貫之助 號白山 明治三年一二月四久留米生、廣島高師學校教授、日畫(狩野)、從七、師橋本雅邦、川端玉章、巨勢小石、三七年七月美術學校日畫科卒、廣島市大手町九の二二五

原 陽一 號山口、山口縣立岩國中學校教諭、日畫、明治二七年七月美術學校日畫科卒

原 保太郎 號弘化 四年七月一京都生、錦鷄間祇候、貴族院議員、正四、勳二、美術協會員、東京麹町區下六番町一四

原 安民 號舊姓川崎安、明治三年一〇月一三神奈川縣生、美術書及雜誌發行、日本美術社長、美術品製作(富士製作所)、二八年七月美術學校鑄金科卒、二葉會幹事、東京本郷區駒込富士前町一九、電下谷乙二六二六、振替東京六一五二

原 月桂 號明治 五年九月一七名古屋生、畫家、日畫、師荒木實政、織田杏齋、浪城畫會幹事、南宗畫會理事、巽畫會員、名古屋中區南鍛冶屋中四の五

六東京生、貴金屬煙管製造販賣業、金工協會評議員、金工協會にて銀賞受領、東京日本橋區横山町一の一三、電浪花四四三五、振替東京二〇八七一

原 清 七 明治一七年三月二三新潟縣生、漆工業、正八、父清次郎に學、漆工會員、新潟縣北蒲原郡新發田指物町三

原 千 吉 號 秀 明 明治一二年一月八東京生、アンチモノ一鑄型及金版製作業、彫型、師大塚秀長、彫工會員、金工協會員、東京本所區外手町四八

原 井 浩 明治一六年一月三一東京生、官吏、圖案、彫刻、圖案會員、朝鮮龍山印刷局官舎

原 田 藤 太 郎 號 機 堂 明治六年五月五東京生、畫家、日畫(容齋派及四條)、前師水野年方、後永井西湖、福島縣石城郡飯野村北白土

原 田 治 郎 明治一一年二月二山口縣生、名古屋高工學校教授兼第八高等學校教授、英國美術雜誌、スチヂオ「The Studio」寄書家、正七、米國カリホルニヤ州立大學卒、名古屋中區大池町二の三九堀部方、電四〇七四

原 田 縫 吉 號 吉 號 明治四三年三月美術學校金工撰科卒

原 田 竹 一 郎 號 一 號 明治五年二月二九山口縣生、海軍教授、正七、勳六、洋畫、三三年七月美術學校洋畫科卒、廣島縣安藝郡江田島村

原 田 安 次 號 西 湖 明治一三年六月二八山口縣生、畫家、日畫(圓山)、師田總百山、巖島虹石、都路華香、山元春舉、金澤全國繪畫共進會にて銅賞、其他屢受賞、京都下京區祇園下河原町三

原 田 清 光 號 中 宗 安政六年正月八

林 德 松 號 綠 水 明治一二年六月一九東京生、畫家、日畫(人物)、師鑄木清方、巽畫會にて於て銅牌、四四年二月三越吳服店懸賞廣告畫圖案當選五等賞(二十五圓)を受、東京京橋區銀座三の一九中山方

林 勝 太 郎 號 探 築 明治七年一月二一東京生、畫家、日畫(狩野)、師狩野探美、巽畫會員、東京芝區愛宕町一の一三

林 良 彦 號 半 嶺 明治一四年三月六廣島市生、畫家、日畫(四條)、師里見雲嶺、廣陵美術會幹事、廣島市鐵砲屋町六二

林 竹 治 郎 號 宮 城 北海遼廳立札幌中學校教諭、明治二五年七月美術學校特別課程卒、札幌區北十五條西四丁目

林 九 兵 衛 號 漆 器 藤繪貴金屬彫刻銘木指物業(商號木屋本店)、美術協會員、國華俱樂部員、漆工會及金工協會贊助員、彫工會商議員、東京日本橋區室町二の一二、電本局九九七、長一七一〇、坂替東京三六〇七

林 幸 三 號 文 塘 明治一五年五月二〇都生、畫家、勳八、日畫(寫生)、師山元春舉、後素協會員、京都下京區下河原町

林 榮 吉 號 芳 山 明治一五年四月一七東京生、彫刻家、勳八、牙彫、師吉田芳明、彫工會委員、各展覽會にて屢銀賞、銅賞を受、東京本郷區駒込坂下町二四六

昇 太 郎 號 昇 太 郎 明治一三年四月一〇靜岡縣生、教員、圖案、師淺忠、武田五一、三九年七月京都高工學校圖科卒、和歌山縣有田郡湯淺町

林 周 吉 號 青 山 弘化四年二月

備中國生、岐阜縣大垣高女學校教諭、日畫及洋畫、師僧義禪、新案教授用前形畫は臨畫×寫生畫とを連絡する上に有効と認められ三重縣主催共進會にて受賞、岐阜縣安八郡大垣町六五

原 田 西 湖 號 湖 號 明治一〇年一月受、京都南禪寺町下河原

原 田 謹 次 郎 號 謹 次 號 明治四〇年三月美術學校漆工科卒

腹 卷 勝 太 郎 號 勝 太 號 明治三六年七月美術學校日畫科卒、佐賀縣神埼郡千歲村清瀬

白 石 兼 松 號 松 號 明治一〇年一月一〇京都生、畫家、日畫、聖路易萬國博覽會にて銀牌、部畫會にて銀牌、金城繪畫共進會にて金牌、日露戰役に陸軍畫工として従軍す、名古屋西區早苗町二の一一一

早 川 三 郎 號 三 郎 號 慶應三年正月七岐阜縣生、七寶製造業、師太田甚之進、巴里大博覽會にて銅牌、佛領河内博覽會にて金牌、聖路易博覽會にて銀牌等受領、名古屋中區南園町二の一四七

早 川 丈 太 郎 號 丈 太 號 明治一一年一月二三愛知縣生、畫家、南畫、師山本梅莊、中央南宗畫會員、愛知縣知多郡八幡村中島一六

早 崎 稔 吉 號 稔 吉 號 明治三〇年七月美術學校日畫科卒、研究の爲め屢々清國各地を遊歴す、東京本郷區駒込林町二三四

速 水 不 染 號 不 染 號 明治七年七月一大分縣生、畫家、油畫、三六年七月美術學校洋畫科卒、東京小石川區大塚窪町二四

二八群馬縣生、畫家、南畫、師瀧和亭、美術協會員、群馬縣利根郡桃野村下津一三六三

林 如 垢 號 如 垢 號 嘉永二年八月朔名古屋生、橫濱フェリス女學校、共立女學校、英和女學校、聖經女學校畫學教師、洋畫及日畫、伊人アツキン、サンジパニに洋畫を池田小華に日畫を學、明治一六年三月工部大學美術部洋畫科卒、一九年橫濱山手公會堂開催の美術展覽會にて一等賞を受、橫濱根岸町櫻谷三五八八、振東京一三六九〇

林 茂 久 次 號 久 次 號 安政五年七月一二近江國生、大阪府立市岡中學校教諭、洋畫、師松井昇、小山三造、圖書教育會員、圖書共勵會大阪支部幹事、大阪西區立賣堀南通四の九

林 毅 磨 號 毅 磨 號 明治一九年八月一五香川縣生、畫家、洋畫、師下村爲山、三宅克己、高木誠一、中村不折、滿谷國四郎、中川八郎、香川新報社員、太平洋畫員、アカジツク會員、各所展覽會にて數回受賞、高松市北古馬場四〇宇野方

林 田 源 太 郎 號 源 太 號 明治七年九月二九長崎市生、新聞及雜誌新論記者、二九年七月東京專門學校文學科卒、國華俱樂部幹事、東京亦坂區青山南町一の三六

濱 八 百 彦 號 八 百 彦 號 明治二年一月四京都生、學院教授、從七、日畫、師箕田玉齋、望月玉泉、東京駒込區土手三番町三七

濱 尾 新 號 尾 新 號 嘉永二年四月二〇但馬豐岡生、樞密顧問官、正三、勳二、男、L. L. D. (Cambridge)、建築學會名譽會員、帝室技藝員選擇委員、巽畫會名譽會員、東京小石川區金富町三三、電番町二二〇

濱田常成 (舊姓佐野) 明治元年三月二七福井市生、三縣第四中學校教諭、油繪(人物專攻)、師川村清雄、宇治山田市本町一一七

濱田耕作 號青陵 △和泉國生、京都帝大文科大學講師、日本美術史及び考古學研究、明治三八年七月東京帝大文科大學退學科卒

濱田葆光 明治一九年三月三一高知生、畫家、洋畫、師中可不折瀨谷國四郎、太平洋畫會研究所出身、フニツザ、會員、東府府住原郡大井町三三三野方

濱田彦次郎 號天隱 明治一四年二月五石川縣生、畫家、口畫(四條)、師久保田米徳、山田敬中研精會員、東京府北豐島郡日暮里町日暮里九

濱田盛基 △熊本、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒

濱中半三郎 △東京、日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒

濱野鶴三郎 △東京、彫金、明治三九年四月美術學校金工撰科卒

濱野三郎 △横河工務所大阪出張所技師、建築、工學士、建築學會會員、大阪西區三條通四の五の二

濱谷榮次郎 △富山、日畫、明治四〇年三月美術學校日畫科卒

伊之助 △畫家、洋畫、フニツザン會員、工學士、兵庫縣武庫郡西宮町川東五五七二の二

萩原與次郎 號石齋 天保一二年正月一七靜岡生、畫家、南畫、師釋水雲、田能村直入、日本南畫協會會員、靜岡縣安倍郡安東村大岩六九

橋本得秀 邦 明治一四年七月五東京生、畫家、日畫、師橋本雅邦、二葉會幹事、繪畫展覽會等にて受賞多し、東京本郷區龍岡町三四、電下谷九五六

橋本貫一 號關雪 明治一六年一〇月神戶生、畫家、日畫、師竹内栖鳳、巽畫會評議員、研精會にて研精賞、全繪畫書展覽會にて銀牌、文展にて第三回、第四回、第五回、第六回共に褒状を受(第六回は第一部の第一科第二科共に)、東京下谷區谷中清水町一九

橋本忠雄 △熊本、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

橋本宗次郎 號靜水 (前號正素) 明治九年一月七尾道市生、畫家、日畫、師橋本雅邦、二葉會會員、繪畫展覽會にて受賞數次、第五回文展にて褒状を受、東京本郷區龍岡町三四、電下谷九五六

橋本勉 △建築技師、建築、工學士、建築學會會員、兵庫縣武庫郡鳴尾村西畑

橋本邦助 △栃木縣生、畫家、油繪、明治三六年七月美術學校洋畫撰科卒、文展にて第一回、第二回、第三回共に三等賞を受、先年研究の爲め佛國に遊ぶ、東京本郷區森川町一

橋本条二郎 △茨城、彫刻、明治四四年三月美術學校彫刻科卒

橋本乾號永邦 明治一九年九月二〇東京生、畫家、日畫、師橋本雅邦、下村觀山、二葉會評議員、繪畫展覽會にて受賞數次、第一回文展にて三等賞を受、東京本郷區龍岡町三三、電下谷九五六

橋本健七 號鴻章 明治三年三月二三東京生、漆工業、蒔繪及漆畫、蒔繪を小林華鴻に、畫を

萩原元次郎 號青陵 明治八年五月二〇靜岡生、宮城縣工裝技師、描金、三〇年七月美術學校漆工科卒、漆工會員、仙臺東六番町六一

萩尾九 號 女九九年九月一三筑後國生、畫家、日畫(狩野)、師諸藤實登、大阪畫會委員長、從來公私各種審査員及鑑別員として從事したるもの多く作品を出して賞を行つた、銅賞以上數十回、大阪東區伏見町四の九

萩上田文太郎 號 菊堂 明治六年三月一七東京生、農商務省囑託、洋畫及寫眞、師寸井照之輔、淺井忠、三六年七月美術學校洋畫撰科卒、太平洋畫會會員、寸井門下繪畫技にて一等賞、明治十一年、美術學校、美術學校生徒成績品展覽會にて二等賞、巴里萬國博覽會への出品農商務省賞上、第五回勸業博覽會への出品三等賞、東京府美術工藝品博覽會へ寫眞出品三等賞、東京寫眞研究會出品三等賞等、其他屢々受賞、東京麹町區麹町七の二六

橋爪成一郎 號雪城 △石川、畫家、日畫、明治三九年四月美術學校日畫科卒、東京本郷區動坂町一〇七

橋口清 號五葉 明治一四年二月二鹿兒島生、畫家、油繪及圖案、師黒田清輝、三八年七月美術學校洋畫科卒、東京勸業博覽會にて二等賞牌、四年二月三越吳服店懸賞廣告畫圖案當撰一等賞(金千圓)を受、東京牛込區左内坂町三一

橋本市藏 △安政三年八月江戶生、美術學校囑託、調漆、漆工會員、各所博覽會展覽會にて屢々賞受、東京芝區新錢座町五

橋本平藏 △建築、工學士、建築學會會員、東京四谷區仲町三の三六

松本楓湖に學、漆工會員、彫工會にて銅賞を受、東京芝區新錢座町四

橋本吾一郎 △洋畫、第四回文展入選、東京小石川區指ヶ谷町七六

橋本廣三郎 △洋畫、第四回文展入選、東京小石川區指ヶ谷町七六

端館佐太郎 號紫川 安政二年四月二九伊勢國生、畫家、川端畫學校及女子美術學校教師、日畫(圓山)、師賞多村豐景、川端玉章、美術協會委員、日本畫會會員、文墨協會顧問、各所畫會等にて賞牌を受くること夥し、東京神田區山本町一七

長谷部 銳 吉 △工學士、建築、建築學會會員、兵庫縣武庫郡山本村北畑サカガ原六

長谷川 一 號梅山 明治九年七月七靜岡縣生、曹洞宗僧侶、南畫、師山本梅莊、愛知縣知多郡旭村日長二一

長谷川 平八郎 號義邦 明治一六年一〇月一廣島縣生、畫家、日畫、師水野文華、森川曾文、廣島縣深安郡福山町西町二一八

長谷川 藤次郎 △金屬品製作業、鑄金會員、彫工會員、美術協會會員、東京麻布區網代町一七

長谷川 綠 號等仲 明治七年一二月二八福島縣生、畫家、日畫、師菅原白龍、三六年七月美術學校日畫科卒、堺市車之町東一の一

長谷川 景 號雅童 明治二〇年一〇月九福島縣生、畫家、日畫(狩野)、師結城正明、橋本雅邦、二葉會會員、東京市芝區下高輪町四八宮本方

長谷川 良 號 雄 △京都、圖案、明治三九年京都

高工學校圖科卒

長谷川 會 一 △神奈川、洋畫、東京市立日本橋區久松小學教員、第一回及第三回文展入選、東京小石川區首羽町七の二七

長谷川 樂山 △京都、學生、日畫、第四回文展入選、京都十京區吉田町市立繪畫專門學校內
長谷川 昇 △北海道生、畫家、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、第四回文展にて褒状を受、(佛國留學中)

長谷川 保定 △寫真師、美術協會員、國華俱樂部員、東京本郷區元町一の二、電下谷一七九一
長谷川 源太郎 △富山、漆工、明治四三年三月美術學校漆工科卒
長谷川 光 鎂 號 泉 眞 明治一七年五月一九東京生、畫家、日畫(四條)、師高橋應真、野村文舉、美術協會員、東京本所區網町一の二二
長谷川 重 彦 號 正 象 明治元年三月二熊本縣生、畫家、日畫、柳河繪畫同好會幹事、福岡縣山門郡柳河町椿原一〇

丹羽

丹羽 賢 號 琢 堂 △京都、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

二條 基 弘 △宮中顧問官、古社寺保存會委員、正二、勳三、公、建築工藝協會長、美術協會名譽會員、東京牛込區若松町七三、電番町六七

新家 孝 正 △建築技師、建築、工學士、建築學會員、工手學校教務主理、美術協會員、東京下谷區茅町二の七、電下谷一〇〇

新村 富三郎 號 翠 石 慶應元年五月二五信濃國生、三等郵便局長、南畫、師川村雨谷、美術協會員、長野縣東筑摩郡新村北新二二五二

新村 吉太郎 號 龍 翠 慶應二年一〇月一五信濃國生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬畝、日本畫會員、長野縣上伊那郡朝日村五八七

新納 忠之介 △鹿兒島、彫刻家、明治二七年七月美術學校彫刻科卒、古社寺保存會委員、奈良市雜司町五九

新山 平四郎 △文部技師(建築課桐生出張所勤務)、建築、從七、建築學會員、群馬縣山田郡桐生町

新免 教太郎 △岡山、鑄金、明治三四年七月美術學校鑄造科卒、(在米國)

新田 藤太郎 明治二一年三月一香川縣生、彫塑、三九年三月香川縣立工藝學校彫金科卒、四五年三月美術學校彫刻科卒、第五回文展にて褒状を受、東京府北豐島郡瀧野川村田端四八四野上方

庭山 慶 號 耕 園 明治二年一月一四姫路市生、畫家、日畫(圓山)、師上田耕平、鈴木松年、大阪繪畫協會委員、大阪美術會顧問、大阪實業協會美術部委員、

二四

獨逸國石育會總裁より金章並に記念章等、新潟縣南蒲原郡三條町四日町七〇四の一

半田 嘉兵衛 號 鶴 城 明治六年一二月二二福岡市生、畫家、日畫(南北合派)、師石丸仙舟、鈴木松年、美術協會員、研精會員、真美會にて銅牌、美術協會にて銅牌を受、福岡市外住吉町宮側

伴 幸 治 號 一 邦 明治九年四月一五生、畫家、日畫(四條)、師田中一華、後素協會員、全國繪畫共進會銅賞、京都下京區綾小路烏丸東入

番匠 勇 作 明治一五年五月一七石川縣生、白木屋吳服店意匠部員、圖案、四二年三月美術學校圖科卒、バーナード・ローチ 英國人、一八八七年一月五香港生、畫家、エツチング(蝕版畫)及油畫、日本裝飾の研究、「ヘンリー・トランク」チー・エム・スワン フランク・プラン

グキン等に學、倫敦スレード技藝學校卒、倫敦金曜俱樂部員、東京下谷區上野櫻木町四〇

に

丹羽 五十吉 △東京、日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒、靜岡縣小笠郡掛川町

丹羽 林 平 明治三年四月一東京生、畫家、洋畫、師山本芳翠、黒田清輝、三一年七月美術學校洋畫科卒、東京下谷區徒町一の五五早川方

丹羽 禮 介 號 默 仙 明治一三年三月二五兵庫縣生、畫家、油畫、師山内愚仙、淺井忠、黒田清輝、名古屋開府三百年記念新古美術展覽會にて二等賞を受、名古屋中區上津町四六

巽畫會員、大阪東區北濱四の三七
西 伊三次 △東京、洋畫、明治三四年七月美術學校洋畫科卒

西 長 純 △鹿兒島、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒

西 久次郎 明治一七年一二月二東京生、漆器業、髹工、漆工會員、東京勸業博覽會にて三等賞を受、東京下谷區東黒門町三一

西 三 雄 △東京、洋畫、明治三九年四月美術學校洋畫科卒

西 井敬次郎 號 敬 岳 明治一三年一月三福井縣生、畫家、日畫(圓山)、師山元春舉、後素協會員、巽畫會員、岐阜全國繪畫展覽會にて三等賞、研精會にて研精賞、巽畫會にて三等賞、京都西三本木通丸太町上西脇

西 井 董 齋 △畫家、日畫(圓山)、師森寬齋 東京本郷區東片町九三藤江方

西 原吉次郎 號 松 南 明治元年一〇月二六山口縣生、愛知縣技師、建築、辰野、片山、妻木の諸博士、久留、河合、新家諸工學士に學、從七、二三年七月工手學校建築科卒、設計になるもの名古屋第八高等學校、愛知縣女子師範學校、福岡赤十字社等あり、愛知縣愛知郡千種村元古井八二

西 岡 瑞 德 △高知、鹿兒島縣川邊中學校教員、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

西 岡 純 平 號 蘇 仙 明治一四年九月一一熊本縣生、堺市立女子手藝學校教諭、日畫(四條)、師川端玉章、四〇年三月美術學校日畫科卒、堺市四屋敷

西 川 朝 民 號 青 令 明治一三年九月

東京生、漆器製作業、蒔繪、師川之邊一朝、同文朝、由木尾雪雄、漆工會員、京都府漆器生産府縣聯合共進會にて銀賞を受、東京府北豐島郡瀧野川村田端二七九

西田 辰造 號 信 櫻 明治一〇年三月
二月東京生、官吏、勳七、日畫(土佐及四條)、師小堀柄音、紅兒會員、東京牛込區大久保余丁町一四

西村 和 策 晴 雲 明治一五年八月
一五島根縣生、畫家、日畫(四條)、師三宅吳曉、京都市立美術工藝學校繪科卒、奈良市三條通靈藏院內

西村 左衛門 安政二年五月二五京市生、絹織物刺繡品貿易商(屋敷千切屋又千總)、慶長九年家祖創業以來累世現代に至る、美術協會員、京都美術協會員、關西美術協會員、内外博覽會にて數次高等の賞を受け、明治二六年三月勅定の綵綬褒章を賜ふ、京都三條室町東入二四、電長一四二、北店京都烏丸西入一〇、電長五三、工場、京都府紀伊郡深草村福稻二、電一四一三、東京支店、東京京橋區山下町九、電新橋長二八二四

西松園三 秋 畝 明治八年一月二
〇岐阜縣生、神奈川縣師範學校教諭、日畫(四條)、師荒木寛政、川端玉章、三四年七月美術學校圖書講習科修了、著書『最近圖書の授法』『改正小學校令適用圖書教授法』あり、神奈川縣鎌倉郡鎌倉町扇ヶ谷二九三

西卷 鐵 治 號 稻 村 明治一二年七月
九新瀉縣生、畫家、日家(狩野)、師橋本雅邦、川端玉章、川合玉堂、三一年五月東京府織染學校卒、二葉會員、天真會員、巽畫會員、東京本郷區根津片町一四

西澤 清 兵 衛 明治四年八月一五生、擬革紙及油紙製品製造業(南號壺屋)、漆工會員、内外博覽會、共進會にて二五回受賞、宇治山田市今在家町五八、電長二七五、振大一〇七八五

西島 嘉 六 號 友 樵 明治四年六月一
六廣島縣生、私立西條女學校長、南畫及蒔繪、畫を山内香樵に學、廣島縣加茂郡西條町中町一四一

西本 成 美 △(舊姓熊谷) 廣島縣吳中學校教諭、圖案、明治四二年京都高工學校圖科卒

堀 與 市 號 碧 堂 明治八年一〇月
九島根縣生、篆刻業、彫工會員、東京下谷區東馬門町一
堀 政 五 郎 號 淨 弘 元治元年一月四
新瀉縣生、釜師、鑄金、金工協會員、内國博覽會其他各所展覽會銀牌、銅牌を受くること數次、新瀉縣西蒲原郡地蔵堂町一四〇

堀 井 董 △東京、彫金、明治四二年三月
美術學校金工撰科卒、東京淺草區西島町二天野工場
堀 井 政 吉 號 正文 明治一二年五月
二三高岡市生、美術學校助教授、蒔繪、三七年七月美術學校漆工科卒、漆工會員、東京本郷區駒込千駄木町一七三
堀 池 好 之 助 △海軍技師、建築、從五、勳三、工學士、建築學會會員、東京四谷區右京町一三
堀 岡 豐 一 △石川、圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒、兵庫縣川邊郡伊丹町由多加織合資會社内
堀 川 光 山 △陶器製造、窯業協會員、彫工會員、國華俱樂部員、東京下谷區上野櫻木町三九、電下五一五

町九、電新橋長二八二四
西村 懺 爾 △山形縣廳勤務、工學士、建築學會會員

西村 熊 吉 文久元年六月二六江戸生、印刷業、美術日本印刷(木版)、亡兄西村永五郎に學、東京勸業博覽會に木版畫を出品し受賞、東京神田區多町二の九

西村 保 次 郎 號 秀 岳 明治元年九月七
京都生、畫家、日畫(四條)、師鈴木百年、後素協會委員、美術協會員、勸業博覽會其他の展覽會等にて十數回銅賞及褒狀を受、京都上京區木屋町三條三筋目

西村 小 二 郎 △東京、圖案、明治四四年三月
美術學校圖科卒

西村 五 雲 △畫家、日畫、第一回文展にて
三等賞、第五回文展にて褒狀を受、京都竹屋町通西洞院西

西村 喜 三 郎 號 青 歸 明治一六年三月
一四大阪生、畫家、日畫、三九年四月美術學校日畫科卒、紅兒會員、東畫會會員、東京本郷區菊坂町七〇

西村 新 一 郎 號 蟹 谷 明治二年六月二
〇岡縣生、陸軍中央幼年學校教官兼陸軍測量部教官、東京パノラマ株式會社顧問、洋畫、師淺井忠、太平洋畫會員、二三年淺草公園に建設せし南北戰爭パノラマの經營に従事す、是れ本邦に於けるパノラマの權輿なり、次で大阪に於けるセダン落城のパノラマ畫を経營す、二七年報知新聞社從軍畫工として遠島半島、山東省、澎湖島、臺灣等各地に従軍す、東京府豊島區都立橋町柏木九一

西山 翠 嶂 △京都、畫家、日畫、第一回、第二回、第六回文展にて共に三等賞を、同第三回にては褒狀を受、京都塔之段敷之下

堀 秋 成 △長野、長野縣立野澤中學校教諭、明治四四年三月美術學校圖書師範科卒

堀 三 五 郎 慶應二年一月一五新瀉縣生、鑄物及彫刻業、師大賀房次郎、大島如雲、彫工會其他にて數回受賞、新瀉縣西蒲原郡地蔵堂町三四九

堀 通 名 安政五年八月二二福島縣生、彫像及家屋建築裝飾彫刻業、師ウインセント、ラクーザ、明治一五年六月工部美術學校彫刻科卒、トモエ會員、東京本郷區東竹町一六

堀 進 二 明治二三年五月五東京生、彫塑、師新海竹太郎、太平洋畫會研究、研究生、太平洋畫會にて獎勵賞、五回文展にて褒狀を受、東京下谷區上野花園町三

堀 成 之 號 紫 山 明治元年一〇月
二三茨城縣生、二六新報記者、國華俱樂部員、新聞記者として屢々美術の批評を試む、東京府豊多摩郡大久保村百人町二〇四

堀 井 董 △東京、彫金、明治四二年三月
美術學校金工撰科卒、東京淺草區西島町二天野工場

堀 井 政 吉 號 正文 明治一二年五月
二三高岡市生、美術學校助教授、蒔繪、三七年七月美術學校漆工科卒、漆工會員、東京本郷區駒込千駄木町一七三

堀 池 好 之 助 △海軍技師、建築、從五、勳三、工學士、建築學會會員、東京四谷區右京町一三

堀 岡 豐 一 △石川、圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒、兵庫縣川邊郡伊丹町由多加織合資會社内

堀 川 光 山 △陶器製造、窯業協會員、彫工會員、國華俱樂部員、東京下谷區上野櫻木町三九、電下五一五

堀田 玉舟 △畫家、日畫、日本商會員、天皇會員、明治繪畫會員、東京下谷區中根岸町三二

堀内 智三郎 △朝鮮總督府鐵道局工務課技師、建築、工學士、正七、建築學會會員、朝鮮龍山鐵道官舎二六

堀内 松堂 明治一二年五月一七山梨縣生、水晶及黑曜石、篆刻業、美術協會會員、大阪製糖博覽會にて進歩一等賞牌を受、甲府錦町一四

堀越 滋龍 湖 明治四年一二月栃木縣生、漢學教授、日畫、師菅原白龍、東京深川區西大工町一〇

堀江 純吉 △京都新聞社長、洋畫、關西美術協會會員、京都鉄屋町二條下

細井 未明 △東京、日畫、第一回及第三回文展に出品、横濱西戸部池之坂九七七

細川 忠亮 △香川、香川縣立工藝學校教諭心得、彫金、明治四〇年三月美術學校金工撰科卒

細川 潤次郎 號 十洲 天保五年二月高知生、樞密顧問官、從二、勳一、文博、男、南宗畫會頭、鑑定會頭、美術協會副會頭、彫工會名譽會員、巽畫會名譽會員、東京神田區北甲賀町一、電本局三五六〇

細谷 三郎 △彫刻家、石彫及塑造、明治三五年七月美術學校塑造科卒、彫工會會員、奈良縣生駒郡法隆寺村寂光寺

細谷 元太郎 號 嶺湖 明治元年四月八若松生、金屬彫刻鑄銅製品業、業を父細谷彈次に受け、岡崎警署 師事す、彫工會會員、鑄金會員、東京府北豐島郡日暮里町日暮里一〇六八

波々 伯部拾四郎 號 金洲 文久二年五月一

二越前國生、畫家、洋畫、トモ工會員、明治四四年二月三越吳服店懸賞廣告畫圖案當撰三等賞(金百圓)を受、東京麴町區永田町二の三〇

保坂 鐵二郎 號 光山 △彫刻業、彫刻師石川光明、巴里に遊學すること七年、四四年春歸朝、音樂會員、美術協會會員、東京芝區白金三光町四二

北條 盛英 號 玉洞 嘉永五年九月二陸中國生、北海道廳立函館商業學校教諭、兼北海道廳立函館高等女學校教諭、日畫(圓山)、師川端玉章、日本畫會員、美術協會會員、村雲尼宮殿下に土人熊祭の畫を献上し賜賞、又函館美術展覽會にて閑院宮殿下に北海高浪の圖を献上、北海道函館區青柳町三二

星 謹三 號 六谷 (前號陸谷) 明治六年七月六仙臺生、畫家、南畫、師川村雨谷、南畫會評議員、美術協會、日本畫會、明治繪畫會にて銅賞等數回受領、東京本郷區三組町八二

星 加傳 七 號 紫雲 明治九年二月四愛媛縣生、鳥取縣立倉吉中學校教諭、日畫(四條及狩野)、及洋畫、師橋本雅邦、二九年四月京都市立美術工藝學校繪畫科卒、圖書教育會員、鳥取縣東伯郡倉吉町銀治町二の六七

星野 男三郎 △工學士、建築、建築學會會員、東京日本橋區本石町一の八、電本局一七四

星野 萬次郎 號 空外 明治二一年一〇月二一京都生、畫家、日畫(寫生)、師竹内栖鳳、三五年三月京都市立美術工藝學校繪畫科卒、四四年三月京都市立繪畫專門學校卒、京都府紀伊郡伏見町京町大黒一三

星野 錫 安政元年二月二六姫路生、衆議院議員、東京印刷株式會社社長、畫報社主、美術協會會員、國

別 役 良民 △縣立長野中學校教諭、圖案、明治四一年美術學校圖科卒

別府 八九郎 號 天風 明治八年七月二〇東京生、圖案繪畫工、日畫、師松本楓湖、東京本所區中之郷元町三〇

別府 龜太郎 號 靜堂 慶應二年一二月一五京都生、畫家、日畫、師今尾景年、後素協會會員、京都上京區兩替町二條南九

土井 藤四郎 號 古竹 明治八年九月一五三重縣生、漆工業、三二年七月美術學校漆工科卒、三重縣北牟婁郡尾鷲町三五五

土居 松市 △東京高等工業學校建築科勤務、建築、工學士、建築學會會員

土居 彩子 號 彩畝 (舊姓中山) 明治二四年一月一東京生、日畫、師荒木寬敏、讀畫會員、美術協會會員、東京淺草區北清島町一〇五

土佐 光一 明治五年九月一二日京都生、縣立靜岡中學校教授囑託、日畫(土佐)、師望月玉泉、山名貫義、三三年七月美術學校日畫撰科卒、三二年美術學校生徒製作品展覽會にて銅賞、靜岡市東深草町三の二〇

華俱樂部幹事、日本畫會特別贊助員、彫工會商議員、農商務省商品陳列館商議員、實業聯合會長、印刷同業組合組長、日本工業協會理事、東京日本橋區濱町二の一四、電浪花三八三

日向水道町一〇〇

本多 佐輔 號 天城 慶應三年七月江戶生、畫家、日畫(狩野)、師狩野芳崖、明治二六年七月美術學校日畫撰科卒、日月會員、日本繪畫協會にて銅牌(二回)、五二凱旋紀念共進會にて感謝狀を受、東京小石川區原町一〇

本多 錦吉 號 契山 嘉永三年一二月三江戸生、畫家、繪畫教授(彰技堂)、洋畫(油繪、水彩)、正八、師國澤新九郎、美術協會第三部委員、日本圖案會幹事、第一回勳業博覽會にて褒狀、美術工藝展覽會にて銀牌を受、餘業日本作庭圖案に關する著書數種あり、東京牛込區新小川町二の八

本間 良助 號 竹筥 明治一三年二月二二山形縣生、東京深川區私立中村高女學校教員、日畫及洋畫、三七年六月美術學校圖畫講習科修了、

本間 琢齋 明治元年九月四新潟縣生、蠟型美術鑄造業、一世及二世琢齋に師事す、美術協會會員、金工協會會員、內國博覽會及海外各國大博覽會へ出品し毎に高級賞を受、新潟縣佐渡郡澤根町五十里籠町一三

本間 幸吉 號 芳珉 明治一四年二月一四山形縣生、彫刻業、牙彫、師吉田芳明、彫工會會員、彫工競技會にて銀牌を受、東京本郷區駒込千駄木町六五

本阿彌 光遜 號 日定 明治一二年四月二九東京生、刀劍鑑定家、師本阿彌琳雅、日本軍刀調進所主管、刀劍保存會々長、東京下谷區東黒門町三三、電下谷四

土岐芳助 明治一四年一二月三〇愛媛縣生、
畫家、油畫、師英ハハーツホーン、後小山正太郎、太平洋洋
畫會員、東京本郷區駒込神明町三八

土岐靜月章 明治九年六月一
二東京生、僧侶(眞宗大谷派等光寺住職)、日畫(圓山)、師
川端玉章、天眞會員、東京淺草區松清町六四

土岐純一 △鹿兒島、圖案、明治四四年京
都高工學校圖科卒、京都西陣織物模範工場

戸張孤雁 明治一五年二月一五東京生、畫
家、洋畫及彫型、師米人ウキリアム等、三八年四月紐育メ
キヤニツク、インスチテウト卒、三六年同校主催展覽會にて
一等賞を受、三四年より三九年まで紐育にて洋畫を研究、
東京府北豐島郡日暮里町谷中七面坂下一二二

戸原鹿之助 △福岡、鑄金、明治三二年七月
美術學校鑄造科卒、彫工會員

戸部隆吉 △石川、日畫、青森縣立弘前中
學校教諭、明治四四年三月美術學校日畫科卒

戸雁庚午郎 號幽香 明治三年八月二
京都生、大阪私立梅花女學校圖畫教師、日畫(四條)、初め
家兄深田直城後故森川曾文に學、大阪繪畫會員、大阪北區
若松町一九三

戸川治三郎 號碧水 明治三年三月二
三京都生、畫家、日畫(圓山)、師森寬齋、京都上京區武者
小路通新町東入四二八

戸田忠雄 號玉園 明治四年七月六
栃木縣生、私立錦城中、校圖書科教員、正五、日畫及洋畫
(水彩)、師橋本雅邦、川端玉章、二八年七月美術學校日畫科
卒、圖書教育會員、圖書共勵會委員、東京本郷區彌生町三、

第五回文展入選、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村九〇五
遠山重男 △香川、圖案、京都河添洋家具
店員、明治四五年京都高工學校圖科卒

鳥谷又藏 號幡山 明治九年一月一
八青森縣生、畫家、日畫(寫生)、師橋本雅邦、寺崎廣業、
美術研精會幹事、研精會にて銀章一回、銅賞二回受、東京
下谷區上根岸町八二

鳥居清忠 號有陵 明治八年三月二
八東京生、畫家、日畫(鳥居流、演劇畫)、土佐畫を川邊御楯
に、家流を鳥居清貞に受、流祖鳥居清信より當代迄七世代
代割堀看坂番附の揮毫をなす、東京日本橋區堀切町一の
四、電浪花二七九六

鳥飼清光 △香川、圖案、明治四〇年京都
高工學校圖科卒

富樫一孝 號 東京、洋畫、第二回文展入選
東京小石川區水道町五二

富樫重學 號景堂 明治九年九月二
〇山形生、畫家、日畫、師今尾年、京都西洞院通二條北
富尾木知佳 明治七年二月一八東京生、音樂
學校教授、東帝大工科大学講師、正六、文學士、美學、三
一年七月東帝大文科哲學科卒、後ち大學院にて美學を専攻、
建築學會特別會員、東京四谷區仲町三三七、電番町九四
六

富岡米造 號芳堂 明治三三年一二
月二東京生、彫刻業、牙彫、師吉田芳明、美術協會にて三
等賞二回、彫工會にて三等賞、美術工藝展覽會にて三等賞、第
二回東京勸業展覽會にて二等賞を受、東京府南足立郡北千
住町二の一六

電下谷二七二九
戸田正夫 △岡山、日畫、明治四四年三月
美術學校日畫科卒

戸田謙二 △石川、洋畫、明治三五年七月
美術學校洋畫科卒、(在米國)

戸田天波 △東京、日畫、第二回及第三回
文展入選、東京下谷區谷中清水町一

戸田次郎 號玉秀 明治六年八月九
橫濱生、川端畫學校教授、女子大學教師、三輪田高等女學校
教師、日畫(圓山)、師川端玉章、日本畫會評議員、天眞會委
員、美術協會其他各展覽會、內國博覽會(出品、銀牌三個、銅
牌九個を受、東京牛込區西五軒町五二

戸波武五郎 號靜舟 明治九年九月一
五三重縣生、鹿兒島縣女師學校教諭、日畫(四條)、師羽田
月洲、山田雙竹、神戸製產物品評會にて銀牌受領

都鳥英喜 明治六年一月二六千葉縣生、
京都工學校講師、勳七、洋畫、師淺井忠、關西美術會幹
事、關西美術院教授、太平洋洋畫會員、第三回文展にて褒狀を
受、京都上京區新橋木町丸太町下

都鳥鈴雪 香 明治一二年七月
一一東京生、精華高女學校及同志社女學校畫學教師、南畫、
師野口小蘋、京都上京區新橋木町丸太町下

毒龜吉 號杏圃 明治二年三月一
五長野縣生、畫家、日畫(南北合法)、師瀧和亭、美術協會
員、長野縣上水内郡大豆島村松岡

遠山利一 △宮城、圖案、明治四四年京都
高工學校圖科卒

遠山五郎 △東京、美術學校在學中、洋畫、

富岡謙藏 號桃華 明治六年二月一
七京都生、京帝大學文科大學講師、東洋史及東洋考古學、
京都上京區室町通中立賣上、電二八五一

富岡英泉 △畫家、日畫、日本畫會員、東
京本所區新小梅町二四

富岡百鍊 號鐵齋 天保七年一二月
一九京都生、畫家、正七、南畫、京都美術協會特別會員、
京都上京區室町通中立賣上、電二八五一

富田一昭 △奈良、日畫、明治四四年三月
美術學校日畫科卒

富田鎮五郎 號溪仙 畫家、日畫、師
都路華香、第六回文展にて褒狀を受、『山海經』の著あり、
京都油小路中立賣南入甲斐町一二

富田溫一郎 △新潟、洋畫、明治四四年三月
美術學校洋畫科卒、赤靈會同人

富田秀法 △明治一七年三月二一富山生、
教師、日畫(四條)、富山美術協會庶務、富山市總商會一六
富永勝重 △德島、洋畫、明治四一年三月
美術學校洋畫科卒

富永光一 △山形、彫刻、明治四五年三月
美術學校彫刻科卒

富長榮 號雪旦 明治三年五月二
八水月生、官吏、日畫、師松平雪江、望月玉泉、小堀桐音、
美術協會員、巽畫會員、東京芝區三田豐岡町一三

富山一治 號樂溪 明治一四年四月
一九福井生、小學校訓導、南畫、美術協會員、巽畫會員、福
井縣南條郡今莊村七五號三

富澤曠直 號小麟 明治一〇年三月

一六福井生、畫家、日畫、師幸野模嶺、竹内栖鳳、勳八、京都美術協會員、後妻協會員、京都上京區仁王門通寂光寺山内富本憲吉 明治一九年六月五奈其縣生、農、園家(裝飾美術)、洋畫を岡田三郎助に、建築を大澤三之助、岡田信一郎に、圖案をルイス、デーに學、四一年三月美術學校園科卒、先年歐洲及印度に遊學、奈良縣生駒郡安堵村東安堵

彌波彦太郎 號宗博 安政四年正月九金澤生、漆器製造業、髹漆、師越野吉平、漆工會員、第三回勸業博覽會にて三等賞、聖路易萬國博覽會にて銅牌を受、金澤大衆免區片原町二〇

利山米次郎 號藻 見 明治元年七月一六金澤生、木彫及木竹煙管筒彫刻業、師田代琴介、聖路易萬國博覽會にて銀牌受、大阪東區内久寶寺町三丁目番外一三

豐原眞澄 號瑞雨 明治一三年六月七東京生、畫家、日畫(狩野)、師狩野壽信、巽畫會員、東京牛込區市ヶ谷河田町九

豐岡保太郎 號千葉、日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒

豐川楊溪 號漆工業、詩繪及象嵌、美術協會員、彫工會員、吾樂會員、東京下谷區上根岸町三九

豐川勇吉 號光長 嘉永四年武藏國生、貴金屬製造業、彫金、美術協會員、金工協會委員、彫工會委員、美術協會其他各共進會展覽會等にて銀、銅賞牌を受る事前後數十回、東京本所區外手町五

豐田笠洲 號畫家、日畫、巽畫會員、東京本所區元町二二

兼社長たり、著書甚だ多し、東京赤阪區青山南町六の三〇、電芝一〇四

德力耕太郎 號幽雪 明治六年一月二七京都生、畫家、日畫(圓山)、師森寬齋、京都美術協會員、德力家二代善宗天正一八年七月、本派本願寺繪所を命ぜられ已來今に至る迄代々繪所たり、京都下京區油小路魚棚南入三一

德田其太郎 號隣齋 明治一三年一月五京都生、畫家、京都市立繪畫專門學校教員、日畫、師前川文嶺、竹内栖鳳、京都美術協會員、後妻協會員、第二回文展にて三等賞、第五回文展にて褒狀を受、其他各所にて受賞數回、京都上京區高倉通二條上天守町一八

德田鎬一 號靜岡、日畫、明治二八年三月美術學校日畫科卒

德大寺彬 號建築技師、工學士、建築、建築學會員、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町四九八、電芝二七七四

德永吾七郎 號熊本、明治四三年三月美術學校圖書師範科卒

德永佐助 號鶴泉 明治四年四月二八山口生、畫學教師、日畫、師河田小龍、今尾壽年、丙午畫會員、京都下京區八修通坊城西入東寺町五二五

德永仁 號柳洲 明治四年六月一八岡山縣生、萬朝報社畫報部主任、洋畫、師二世五姓田芳柳、美術同志俱樂部幹事、日本圖案會幹事、四四年二月三越吳服店懸賞廣告圖案當選五等賞(金二十五圓)を受、佛國に遊學して歸朝す、東京小石川區小日向臺町三の四

時任雕熊 號鹿兒島、洋畫、明治三五年七

豐田字三郎 號山形、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒、東京本郷區東片町七〇

豐島鏡郎 號靜岡、漆工、明治四二年六月美術學校漆工科卒

豐島禎吉 號停雲 明治一二年五月一〇新潟縣生、畫家、日畫(四條)、師都路華香、三宅吳曉、三五年四月京都市立美術工藝學校繪畫部及專攻科卒、大阪北區櫻宮東野田町四五八

東守七 號三重、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒

東城鉦太郎 號慶應元年三月一二江戶生、畫家、洋畫、師川村清雄、勳六、トモ工會員、東京府北豐島郡高田村雜司ヶ谷一八

藤泉賢四郎 號建築技師、工學士、建築、建築學會員、大阪東區北濱二大林組本店

登山長藏 號嘉永元年八月二〇江戶生、象牙彫刻品販賣業、國華俱樂部員、彫工會委員、美術協會委員、受領せし賞牌金賞數個、銀賞二十餘個、銅賞數十個、褒狀數十枚、近く日英博覽會にて名譽賞を受、彫工會創立以來多大の盡力により功勞金賞牌を受、東京府在原郡入新井村新井宿、營業所、東京京橋區銀座二の四、電京橋一八〇

殿村佐五平 號小霞 明治三年一〇月一〇津市生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、狩野勝玉、二七年七月美術學校日畫科卒、三重縣飯南郡松坂町一八七〇

德富猪一郎 號蘇峰 號(別號七十二峰生)文久三年正月二五熊本生、國民新聞社長、貴族院議員、文藝委員會委員、美術協會員、熊本英學校と京都同志社に學、雜誌「國民之友」を創刊し、更に「國民新聞」を起し主筆

月美術學校洋畫科卒

時岡鐵次郎 號新湯、鑄金、明治四四年三月美術學校鑄造科卒

時岡茂弘 號慶應三年生、宮内屬、油畫、師本多錦吉郎、大正元年二月一三、明治天皇陛下の御肖像油畫を揮毫し献上す

友金豐之助 號暉泉 明治一六年六月一兵庫縣生、畫家、日畫(四條)、日畫を山水水暉に、洋畫を山内墨僊に學、日本畫會員、巽畫會員、兵庫縣武庫郡長元村伊子志七〇

友枝安 號熊本、洋畫、熊本縣玉名中學校教諭、明治三四年美術學校洋畫科卒

友清友一 號竹園 明治一八年四月四廣島縣生、畫家、日畫(四條)、師平野一鳳、高田岸驛、浪華青年畫會員、巽畫會員、大阪東區北神崎町三二

飛田周山 號畫家、日畫、第六回文展にて褒狀を受、東京本郷區駒込林町二一六

千葉良胤 號葉逸 弘化三年五月二五東京生、畫家、南畫、師山本榮介、美術協會員、東京牛込區市ヶ谷河田町一三

千葉胤恒 號宮崎、彫刻、明治三三年七月美術學校彫刻科卒

東京赤坂區青山町五の五

千熊 宇平 △鳥取、圖案、京都市立美術工
藝學校教諭、明治四四年三月美術學校圖科卒

千種 掃雲 △京都、畫家、日畫、丙午畫會
員、京都室町通上長者町角

千屋 美苗 △高知、圖案、福岡縣三井工業
學校教諭、明治四三年京都高工學校圖科卒

秩父 忠鉦 △大藏省臨時建築部橫濱支部技
師、建築、正六、建築學會員、東京四谷區坂町六三

長 愛之 △彫刻業、石影及塑像、明治三
三年七月美術學校彫刻科卒、彫工會員、東京本郷區駒込
坂町一〇七

鳥海 池郎 明治一一年七月秋田縣生、建築
技師、建築、工學士、三八年七月東京帝大工科大學建築科
卒、建築學會員、東京牛込區早稲田鶴卷町二二三

中條 精一郎 △建築業、工學士、建築、建築
學會常議員、吾樂會員、東京本郷區駒込林町二二、電下谷
三三七五、事務所麹町區八重洲町一の一、電本局二九三六

中元 寺四郎 △宮崎、圖案、明治四三年京都
高工學校圖科卒、神戸市川崎造船所設計課内

陣内 貞義 △佐賀、洋畫、鳳鳴義塾教師、
明治四〇年三月美術學校洋畫科卒

笠 富次郎 號 鐵羊 明治一四年一〇
月二〇福岡生、畫家、日畫(四條)、師谷口香齋、梅村景
山、寺崎廣業、研精會員、福岡市博多中對馬小路一五

る、東京本郷區根津八重垣町七三鈴木方

小原 大衛 號 白洋 慶應元年正月一
一高知生、美術通信社主、國華俱樂部幹事、東京下谷區中
根岸町八一、電下谷四五三八

小原 益知 △建築技師、建築、工學士、建
築學會員、東京府豐多摩郡大久保町二五四

小濱 卯之吉 號 美光 慶應三年四月二
五江戸生、塗師、蠟色塗、漆工會員、東京麹町區元園町一
の四四

小貫 廉 號 坡山 明治一二年六月
一三東京生、山形縣西田川郡立庄内中學校教諭兼庄内染織
學校教諭、日畫(狩野)、及洋畫(水彩、木炭)、師橋本雅邦、
三五年六月美術學校日畫科卒、圖畫教育會員、山形縣西田
川郡稻生村八日町

小川 伊太郎 號 南豐 明治六年四月八
廣島縣生、廣島縣立商船學校圖畫科教員、南畫及洋畫、南
畫を佐藤鶴舟に、洋畫を和田英作に學、廣島縣豊田郡東野
村六二五

小川 長四郎 △新潟、洋畫、明治四三年三月
美術學校洋畫科卒

小川 眞 萬延元年八月一五日武藏國生、
寫真師、寫真製版印刷業、勳五、帝室技藝員、明治四
日本寫真協會評議員、東京寫真師組合組長、東京印刷同業組
合評議員、第三回勳業博覽會より一等有功賞牌及一等妙技
賞牌、開龍世界博覽會より名譽賞牌、聖路易萬國博覽會より
金牌、東京勳業博覽會より名譽銀牌を受、伊國皇帝陛下より
王冠勳四等に叙せられ勳章を賜はる、四三年多年の功勞に
より藍綬褒章下賜、佛蘭西國共和政府より「オフシエン」

龍神四郎 吉 號 雪山 明治八年三月一
京都生、畫家、日畫(四條)、父箕田玉簫、森川曾文、巽畫
會員、東京本郷區駒込林町二四〇

沼邊 強太郎 號 陸沈 明治二年一二月
三〇仙臺生、畫家、洋畫(油畫、水彩)、師小山正太郎、太
平洋畫會員、東京本郷區駒込神明町一四

沼田 亮 輔 △宮城、洋畫、明治三六年美術
學校洋畫科卒

沼田 勇次郎 號 一雅 明治六年五月五
福井縣生、美術學校教授、正七、師竹内久一、佛人ベルレ
ー、トワット、サンドーズ等、國華俱樂部員、吾樂會員、彫
刻、巴里萬國大博覽會にて金賞、其他内國各地博覽會等にて
數回受賞、三六年巴里(留學)、三九年伊、獨、和、自等諸國を
經て歸朝、四〇年佛國政府より「オフシエン」、アカデ
ミー記章を受、東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷一六九九

沼尻 政太朗 △大藏省臨時建築部技師、建築、
從六、勳六、建築學會員、東京四谷區仲町三〇二

小場 恒吉 明治一二年一月二五秋田縣生、
美術學校助教授、圖案、三六年七月美術學校圖科卒、大正
元年一月作品「藤原式纏彩色手箱」を吾樂主催萬蓋ある
物展覽會に出し同年に於ける美術展覽會出品中最も優秀の
ものと認められ二年一月二五美術新聞同人より賞美章を贈ら

ド、ランストリツクシヨシ、ピュブリツク「最高記章を贈ら
る、東京麻布區霞町二、電芝二二五〇、營業所、同市京橋
區日吉町一三、一四、電新橋三九二、同一六六〇、振東京二
一七五

小川 陽 吉 明治一四年三月四東京生、臺灣
總督府民政部營繕課技師、建築、三八年二月東京工手學校
建築科卒、大正元年八月大阪市役所廳舎新築設計懸賞競技
一等當選賞金三千圓を受、臺灣臺北撫臺街一の五八

小川 多三郎 號 千麿 明治一五年一〇
月三京都生、畫家、日畫(新日本畫、即ち流派なるものな
し)、洋畫を淺井忠に學、巽畫會員、東京麹町區有樂町三
の一

小川 巽 △香川、圖案、明治四一年三月
美術學校圖科卒

小川 安一郎 明治一五年六月二一佐賀縣生、
建築技術員、建築及裝飾、四〇年七月京都高工學校圖科卒、
默語會員、大阪北區伊勢町一〇

小川 正 雄 △長野、圖案、明治四四年三月
美術學校圖科卒

小川 三 知 號 山痴 慶應三年五月二
九靜岡生、ステインドグラス業、ステインドグラス製作、日
本畫を橋本雅邦に學、明治二八年七月美術學校日畫科卒、
前年米國にてステインドグラス製作を修業し、四四年歸朝、
美術協會員、建築學會特別會員、吾樂會員、東京府北豐島
郡瀧野川村田端四九〇

小川 純 市 △和歌山、圖案、明治四一年京
都高工學校圖科卒、(在朝鮮)

小川 彦 七 △建築請負業、建築、建築學會

員、東京麹町區三番町八四

小川 茂 吉 號 芋 錢 明治元年二月二
入東京府生、畫家、水彩畫、師本多錦吉郎、加地爲也、茨
城縣稻敷郡牛久村城中

小川 靜 吾 號 悠 山 明治五年一月一
入長岡生、唐木細工業、木彫、師竹内久一、今泉雄作、福
地復一、長野縣主權共進會にて銅牌、彫工會にて銅賞牌を
受、長岡市大工町一三七、電三二九

小川 千 藏 △東京、洋畫、明治四一年三月
美術學校洋畫科卒

小川 澄 郎 號 鶴 城 嘉永四年七月一
三伊勢國生、古畫鑑定、美術協會員、三重縣飯南郡松坂町
殿町一六

小笠原 倫太郎 號 豐 涯 明治三年八月六
兵庫縣生、大阪時事新報社員、油繪、師加地爲也、淺井忠、
關西美術會幹事、關西美術會第一回競技會にて銀牌及三等
賞を受、大阪府東成郡天王寺南和園内

小笠原 丁 △東京、洋畫、明治三五年七月
美術學校洋畫科卒、東京本郷區動坂町二三四

小笠原 清 造 明治一五年六月三京都生、長崎
三菱造船所船舶裝飾係、裝飾圖案、三九年七月京都高工學
校圖科卒、長崎市伊長林町五六

小田 榮太郎 號 松 舟 明治八年三月四
廣島縣生、私立福山女徳高女學校圖畫教師、日畫(四條)、
師藤井松林、廣島縣深安郡福山町本町一一七

小田 慈 善 △香川縣、愛知縣立陶器學校教
諭心得、彫刻、明治四一年三月美術學校彫刻科卒、愛知縣
東春日井郡瀬戸町

四岡山縣生、畫家、日畫(四條)、關西美術協會幹事、全國
繪畫共進會にて二等賞、岡山美術繪畫展覽會にて一等賞を
受、岡山市下西川町八一

小野寺 英二郎 △千葉、圖案、明治四四年京都
高工學校圖科卒、東京麻布區筈町八一大江印刷所内

小野木 孝 治 △南滿洲鐵道株式會社社員、建築、
工學士、建築學會員、大連市山城町六

小栗 田 鶴 號 秋 阜 明治一一年二月
一八愛知縣生、畫家、日畫、師今尾景年、後素協會員、
京都上京區兩替町丸太町南入西萬壽寺町

小栗 常 藏 △東京、通信省勤務、日畫、明
治二七年二月美術學校日畫科卒

小倉 要 △東京、日畫、明治二八年七月
美術學校日畫科卒

小倉 右一郎 明治一四年六月九香川縣生、銅
像原型製作、彫刻、四〇年三月美術學校彫刻科卒、東京府
豐多摩郡内藤新宿番衆町一七

小倉 雅 號 陽 江 明治一〇年二月
一東京生、彫刻家、牙彫、父に學、彫工會員、彫工會にて
銀賞二回、銅賞數回、美術協會にて銅賞、三九年九月 皇后陛
下彫工競技會行啓の勸奨も前に於て彫刻御覽の榮を給ふ、
東京本郷區駒込動坂町六六鈴木方

小倉 儉 司 △陸地測量部測量師、從六、勳
四、國華俱樂部幹事、日本寫真會員、寫真研究會員、彫工會
員、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村穗山二四

小倉 三 郎 △大分、洋畫、明治四二年三月
美術學校洋畫科卒

小倉 善三郎 △岡山、日畫、明治三三年七月

小田切 昌 年 安政四年十一月二三名古屋生、
金屬品製造業、鍍金、師伊藤秋輝、美術協會員、名古屋中
區堅三ツ蔵町一九一

小野 隆太郎 △東京、寫真、寫真業、東京寫
真會員、東京寫真會第二回展覽會にて二等賞を受、東京神
田區淡路町二の四江木本店内

小野 工 △大分、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒

小野 禮 吉 號 秋 香 明治四年一月一
四靜岡縣生、畫家、日畫(四條)、師村瀨玉田、東京麻布
區飯倉町四の五

小野 久壽馬 △高知、岡山縣師範學校教諭
明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

小野 幸三郎 號 春 陵 元治元年正月元
日江戸生、畫家、日畫(容齋派)、師中島亨齋、美術協會員、
巽畫會員、橫濱花咲町四の五〇

小野 英 二 號 竹 橋 明治二二年一
月二岡山縣生、畫家、日畫、師竹内栖鳳、四四年三月京
都繪畫專門學校別科卒、新古美術展覽會にて銅賞二回受領、
京都下京區富小路佛光寺上

小野 吉 備 號 玉 孫 明治一二年七月
一五東京生、三越吳服店刺繡工場主幹、繡刺、畫、佐竹永
湖、結城正明に、刺繡を先代小野玉孫に學、東京繪畫會審查
員、京都圖案會員、諸種の展覽會等にて屢々褒賞を受、東京
日本橋區本銀町一の八

小野田 廣 吉 △大藏省專賣局在勤、建築、建
築學會員、東京麻布區市兵衛町一の六

小野田 愿 號 祥 雲 明治七年二月二

美術學校日畫科卒

小坂 道 孝 號 眞 勢子 天保八年二月一
二美濃國生、刀劍類製作及物産打及物販賣業、善定藤原兼吉
刀劍及短刀類、祖先傳來の家業を繼ぐ、美濃國關刀刀劍鍛
鍊所長、第五回勸業博覽會三等賞牌、其他共進會等にて賞牌
十餘個受領、岐阜縣武儀郡關町六丁目岡本町三七七

小坂 芝 田 明治五年一月一長野縣生、畫家、
南畫、師兒玉果亭、美術協會員、日本畫會員、南宗畫會幹事、
美術協會にて銀牌、第二回文展にて三等賞、同第三回より
第五回迄は各褒狀、第六回にて二等賞、美術及美術工藝展
覽會にて銀牌、其他公私展覽會にて受賞數十回、東京下谷
區上野櫻木町四〇

尾 耕 田井正之助を見よ

尾 月 三 田井正子を見よ

尾 乾 山 嘉永四年七月一五江戸生、陶
磁器製造業、製陶(北溪窯)、彫工會員、陶磁器同業組合評
議員、彫工會にて銅賞を受、東京下谷區新坂本町五

尾 龜 吉 號 觀 明治一三年四月
一二新潟生、畫家、日畫、師高橋太華、小堀精吉、美術協會
員、巽畫會員、美術鑑賞雅會幹事、受賞品を類別すれば各畫
會及内國博覽會にて得たるもの銀賞四回、銅賞八回、文展に
ては第三回は二等賞、第五回は三等賞、第六回は褒狀とす、
東京下谷區上根岸町六六、電下谷二〇五一番

尾 竹 一 枝 號 九 辯 (或は紅 吉)
日畫、巽畫會員、青鞞社員、東京下谷區下根岸町八三

尾 竹 染 吉 號 竹 坡 明治一一年九月
新潟生、畫家、日畫、師小堀精吉、川端玉章、堀山半古、美
術協會員、巽畫會評議員、二葉會員、受賞品を類別すれば各
畫會及内外博覽會にて得たるもの金賞一回、銀賞三回、銅賞

三 七

四回、文展にては第三回三等賞、第四回、第五回は共に二等賞、第六回は褒状とす、東京下谷區中根岸町九一、尾竹熊太郎、號 越 堂、明治元年一月二八新湯生、畫家、日畫、大阪美術會委員、巽畫會員、富山共進會銅賞、大阪畫會にて銀賞等、其他受賞多し、東京下谷區下根岸町八一

尾崎 郁 號 雪 翁 (初號雪濤) 文政八年北越生、畫家、南畫、嘗て清國に遊び、燕山楚水の勝を探り、兼て畫を王克三及び胡公壽に學び、能く其風骨を得たり、大阪東區島町二丁目

尾崎 仲七 號 秀 南、明治一二年二月二四香川縣生、畫家、日畫、師橋本雅邦、研精會員、巽畫會員、二葉會にて二等賞を受、東京麴町區上二番町四〇

尾崎 彦 磨、△三重、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒

織田 磨、△畫家、洋畫、方寸社同人、大阪府西成郡勝間村一〇九四

織田 明 號 東 禹、明治六年九月二〇東京生、畫家、洋畫、トモエ會員、日露戰役に大阪毎日新聞社繪畫部記者として従軍す、東京麴町區飯田町六の二二

織田 杏 逸、△畫家、日畫(南畫)、父織田杏齋に學、名古屋本重町二丁目

織田 鍾 吉 號 且 齋、明治一二年六月三名古屋生、畫家、日畫(南北合派)、師織田杏齋、美術協會員、名古屋青年畫會幹事、中央南宗畫會理事、名古屋美術展覽會常務理事、各所展覽會に於て銀賞牌三、銅賞牌六を受領、名古屋中區伊勢山町一四五

堅町八一 直 路 號 丹 溪、明治一三年二月一五岡山縣生、私立興讓館中學校及井原女、校圖書教師、洋畫、三九年四月美術學校洋畫科卒、岡山縣後月郡四江原村神戸

岡 四 郎、△東京、洋畫、明治三六年七月美術學校洋畫科卒

岡 精 一、明治元年六月二九生、畫家、洋畫、師淺井忠、本多錦吉郎、小山正太郎、佛人、T. T. Harada、太平洋畫會評議員、第三回勸業博覽會にて受賞、東京府豐多摩郡代々幡村代々木一四三

岡 部 覺 彌 號 射 石、明治六年一月二五福岡市生、彫金家、洋畫を吉田嘉三郎、日畫を川端玉章に彫金を加納夏雄、海野壽珉、彫型家ジュロツト等に受、二八年七月美術學校彫金科卒、金工協會員、吾樂會員、美術協會にて銅賞、東京彫工會にて銅章、巴里大博覽會にて銅章、第五回勸業博覽會にて名譽三等賞を受、三六年八月米國に航し、ボストン博物館及紐育メトロポリタン美術博物館に出勤、傍らボストン市立美術學校にて彫型を研究し卒業證書を得、日本金屬鑄に對する書を英文にて發行す、四一年英國、佛國、獨逸に遊び露國、西比利亞通過、支那に遊び歸朝す、東京本郷區駒込動坂町一二二

岡 登 貞 治、△長野、長崎縣女子師範學校教諭、明治四四年三月美術學校圖書師範科卒

岡 田 時 太郎、△土木建築請負業、建築、建築學會員、大連市瀋陽町二の三五、電一二七

岡 田 華 筵、△東京、畫家、日畫、第一回文展入選、美術協會員、東京下谷區竹町一

乙 幡 秀 江、明治一六年二月一五東京生、畫家、日畫(四條)、師福井江亭、巽畫會員、研精會員、巽畫會にて二等賞を得、東京府南多摩郡八王子町停車場前二〇

落 台 芳 磨、△畫家、日畫(浮世繪)、東京淺草區元島越町六

折井 太 一郎、號 愚 哉、明治四年二月二四岡山縣生、畫家、洋畫及日畫、師石川小陰、渡邊文三郎、小山正太郎、橋本雅邦、關西美術協會員、第五回勸業博覽會に油繪を出品し後同品を大阪博物館に寄附し賞勳局より銀盃を受、三七年繪畫研究の爲米國に渡航、四〇年一月歸朝、著書『相模百景』等、岡山市一番町六

岡 春 麻 呂、明治一二年七月岡山生、福岡市立商業學校教諭、勳七、圖案、三五年七月東京高工學校工業圖科卒、福岡美術研究會員、福岡市上名島町六

岡 壽 三、號 文 濤、明治九年七月一九京都府生、畫家、日畫(四條)、師山元春舉、京都美術工藝學校東苑會幹事、後事協會員、各所にて受賞二十四回、京都出町樹形電車停留所前

岡 惠 介、號 落 葉、明治一二年七月山口縣生、畫家、油繪、師三宅克巳、東京府豐多摩郡大久保町四大久保二一〇

岡 吉 枝、△畫家、油畫、第一回文展、第二回文展にて各三等賞、同第三回褒状、四四年二月三越吳服店懸賞廣告畫當撰四等賞(金五十圓)を受、長崎市東山之手二八の五

岡 吉 壽 號 不 崩、明治二年七月一三福井縣生、畫家、日畫、師狩野芳崖、東京小石川區久

岡 田 蘇 水、明治一三年栃木縣生、畫家、日畫(南北派)、師加藤欽吉、佐竹永湖、日本畫會員、南宗畫會評議員、各畫會博覽會にて數回銅賞受領、第六回文展入選、東京日本橋區龜島町一の六八

岡 田 政 德、號 梅 壑、天保一二年一二月三越後國生、畫家、南畫、幼時父雲洞の薰陶を受け後藤齋疎林外中等の畫法を學、南宗畫會員、東京牛込区末町四

岡 田 三 郎 助、明治二年一月一二佐賀生、美術學校教授、美術審査員、正六、洋畫、師大野彦、堀江正章、黒田清輝、久米桂一郎、及佛人ラファエル、コラン、建築學會特別會員、吾樂會員、東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷一八三八

岡 田 殺 九 郎、明治二一年五月四姫路生、日本新聞記者、油繪、師中村不折、東京麴町區上六番町一〇

岡 田 次 郎 藏、號 播 陽、明治六年一二月六兵庫縣生、吳服商、日畫(南北合派)、師鈴木松年、大阪美術會員、大阪南區心齋橋筋一の一四八、電南一一一八

岡 田 秀 秋、號 嶺、明治九年八月五東京生、女子高師學校教授兼美術學校教授、從七、日畫、東京府豐多摩郡澁谷町角筈一四四

岡 田 純 二、△香川、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

岡 田 信 一 郎、明治一六年一二月二〇東京生、美術學校講師、早稻田大學理工科講師、建築學、三九年七月東京帝大工科大学建築科卒、建築學會常議員、吾樂會員、四四年四月東京勸業展覽會にて二等賞、大正元年一月大阪市公會堂新築設計懸賞應募競技一等當選賞金(三千圓)を受、東京牛込區藥王寺前町一四

岡田新太郎 號天來 明治元年八月二
四大分縣生、書畫鑑定、美術協會員、大分縣速見郡梓葉
町六四五

岡村 贊 男 號梅軒 文久三年十二月
一二江戶生、會計員、篆刻、從七、勳八、師中井敬所、
美術協會委員、美術協會及內閣博覽會にて得たるもの銀賞
八回、銅賞三回、東京四谷區内藤町一ホ二三

岡村 吉 樹 號葵園 明治二年三月
二三鳥取縣生、川端畫學校講師、日畫(眞山)、師川端玉章、
三五年七月美術學校日畫科卒、天真會員、東京小石川區竹
早町一〇八

岡村まさ子 安政五年六月二〇信濃國生、書
家、洋畫、師伊人ホントネジ、明治一二年工部大學美術
學校洋畫科卒、東京芝區公園五號三三、電芝長一〇〇三

岡村 雅之進 號雪畝 慶應三年二月五
周防國生、山口縣德山中學校教諭、日畫(南北折衷)、師荒
木寬畝、美術協會員、山口縣津和野郡山町四一五五

岡村 道三 號樂山 明治七年十二月
二七東京生、兵庫縣御影師範學校教諭、日畫(土佐)、師
橋本雅邦、小堀炳音、山名貴義、下村觀山、三一年七月美術學
校日畫科卒、兵庫縣武庫郡住吉村四二八

岡村 貢 號松里 安政元年四月八
甲斐國生、書家、南畫、幼時父古屋琴雅に後滿和亭に師事
す、美術協會員、山梨縣東山梨郡松里村三三六

岡野 敬胤 號知十 萬延元年二月一
九北海道生、著述家、研精會特別會員、著書「俳趣と書趣」

製造販賣業(商號長生堂)、京都美術協會員、京都下京區新
町通四條南入九、電二三〇二

岡本 一平 明治一九年六月一 北海道生、
書家、洋畫、四三年三月美術學校洋畫科卒、コスモス會
幹事、著書「漫畫と譯文」、帝國劇場背景部員、東京赤坂區
青山北町六の五

岡本 藤太郎 號芳水 明治一一年一月
奈良縣生、書家、日畫、師平井直水、菊池芳文、後美術協
員、京都高倉通松原上

岡本 勝元 號秋石 明治元年一月一
九金澤生、特許局審査官、從六、勳六、日畫(狩野)、師橋
本雅邦、二六年七月美術學校日畫科卒、二業會員、東京
府豐多摩郡大久保町西大久保四三九

岡本 義邦 號椿所 明治三年一二月
一岡山縣生、彫刻、篆刻、師中井敬所、東京本郷區湯島
新花町九三、電下谷四七三九、振東五九四八

岡本 大更 號畫家、日畫、巽畫會員、大正
美術會員、大阪東區農人町松屋町東入

岡本 基太郎 號建榮 請負業清水組技師長、建
築學會員、第一回東京勸業展覽會にて二等賞を受、東京本
郷區西片町一〇に一〇

岡本 勤 號東京、洋畫、明治三四年七
月美術學校洋畫科卒

岡本 翁吉 號橘仙 明治元年七月二
八京都生、旅人宿業、日畫、師久保山米僊、京美術協
會員、關西美術會員、京都下京區三條通河原町東入中島町
五二、電三三八

岡本 安晴 號晴嵐 明治一三年七月

「雨華抱一」等、東京本郷區弓町一の八

岡野 賢三 號鹿城 明治八年一〇月
六滋賀縣生、和歌山縣立田邊中學校教諭、日畫(眞山)、三
三年一〇月美術學校日畫科卒、和歌山縣西牟婁郡田邊町

岡野 榮 明治一三年四月七東京生、學習
院助教、洋畫(水彩)、師黒田清輝、三五年七月美術
學校洋畫科卒、風會員、東京赤坂區青山南町三の六三

岡倉 覺平 號秋水 明治元年一二月
一一福井生、書家、從六、日畫(狩野)、師狩野芳崖、日
會幹事長、東京神田區淡路町一の一

岡崎 文衛 號(舊姓鈴木)山形、鑄金、明治
四三年三月美術學校鑄造科卒

岡崎 雪聲 號山城、生、鑄金家、鑄金會幹
事、美術協會員、風華俱樂部幹事、彫工會員、内外の博覽會に
て金牌以下高等受賞多し、數次歐米に航し藝術の蘊奥を究
む、空城前の楠公銅像より、近くは井上侯銅像に至るまで大
作を以て名あり、東京下谷區谷中初町四の二二、電下谷
四〇六〇

岡島 辰五郎 號福井、鑄金、明治三四年七月
美術學校鑄造科卒、四五年米國ハーバー・ニオン工藝學
校卒、米國留學中(1965, E. 9th. St., Brooklyn, N. Y. U.
Z. A.)

岡島 卯三郎 安政三年正月二六京都生、友仙

五福島生、德島縣女師學校助教、日畫(土佐)、師大伏
直淵、德島市本町八九

岡本 正國 號景邦 明治一〇年一〇
月二大阪生、書家、日畫(四條)、浪華繪畫意匠圖案競技
會事務擔當員、巽畫會員、大阪東區農人町二の二〇六

岡本 福太郎 號一號 明治七年一二月
一六東京生、太刀金具彫金師、師江川齋桂宗隣、金工協會
員、四一年三月、聖上御佩刀の櫻唐草高彫軍刀を彫刻す、
四二年伊勢大廟御神寶御太刀彫刻に參與す、東京芝區宮本
町一七一

岡本 歸一 號畫家、洋畫、フニッザン會員
五能登國生、カルトン製造業、美術協會員、漆工會員、靜
岡工業同志會幹事長、第四回勸業博覽會にて受賞、靜岡
市追手町六五、工場同市舊城内六四、振替東京三一七

岡本 尚市 號雨村 明治一四年一
月二鳥取縣生、氣高郡立工業徒弟學校校長、蒔繪、南畫を
岩越瑞素、蒔繪を川之邊一朝に學、三九年九月美術學校漆
工科卒、漆工會員、鳥取縣氣高郡吉岡村

岡本 蕉雨 號京都、日畫、第二回、第三回、
第六回文展入選、京都猪熊通丸太町下

岡本 次郎 號堂號豐陽堂、彫刻業、木版
彫刻、木版畫復興を計り浮世錦繪大和錦を發行す、東京
京橋區木挽町一の一四

大石 黃梅 號大嶼 元治元年七月九
駿河國生、禪僧、南畫(墨梅專門)、師田能村直入、巽畫
會員、大阪府三島郡島本村尺代

大石 榮雄 號靜岡、日畫、明治三一年七月

美術學校日畫科卒

大場 莊二 號 琴 水 明治一四年四月
二三高岡生、漆器及漆液製造業、三山工博士に就き漆學を研究す、三〇年四月富山縣工藝學校漆器科卒、漆工會員、高岡漆工會庶務、高岡市檜物屋町五二、振替東京一四九一六

大畑 二 一郎 △熊本、日畫、明治四一年三月
美術學校日畫科卒

大原 彌市 號 淇 谷 文久二年四月二
福島縣生、日畫及洋畫、日畫を佐竹永都に、洋畫を小林萬吾に學、福島縣西白河郡西郷村鶴生

大原 鉦一郎 號 狂 畫 慶應三年正月二
二美濃國生、學校教師、洋畫及用器畫、師山本芳翠、美術同志俱樂部員、内外博覽會にて銀牌、銅牌を受る事數回、著書「大原定規」等數種あり、東京府北豐島郡日暮里町金杉二〇二

大 林 賴 憲 號 千 萬 樹 明治二〇年一月
岡山生、日畫(浮世繪)、師富岡永洗、川合玉堂、巽畫會員、東京淺草區小島町一七

大橋 郁太郎 號 霞 霜 元治元年二月
一三備中國生、畫家、日畫(狩野、圓山合修)、師橋本雅邦、川端玉章、岡部雲程、明治二五年七月美術學校特別科程卒、美術協會等にて受賞十數回、東京本郷區眞砂町三〇

大橋 謙三郎 號 萬 峰 萬延元年三月美
濃國生、畫家、日畫(寫生)、巽畫會員、日月會、眞美會、巽畫會等にて屢々受賞、岐阜縣安八郡大垣町北新五八

大橋 宇一郎 號 翠 石 慶應元年四月美
濃生、畫家、日畫、師渡邊小華、巽畫會員、巴里萬國大博覽會にて金牌、聖路易萬國博覽會にて金牌、東京勸業博覽會にて二等賞、日英博覽會にて金牌、其他展覽會にて受賞多し、岐阜縣安八郡大垣町北新一〇三

大 戶 正 貞 號 如 嵩 明治元年一〇月
二二山形縣生、畫家、日畫(狩野)、師吉川如柳、原圓潭、橋本雅邦、二葉會員、東京本郷區更片町一三四

大 藤 外 男 △福井、圖案、明治四四年京都
高工學校圖科卒

大 智 恒 一 號 勝 觀 △畫家、日畫、
明治三四年九月美術學校日畫科卒、研精會員、巽畫會員、各所展覽會にて數次受賞、東京牛込區大久保余丁町六七

大和田 篤 治 號 一 紅 明治八年三月二
二高知縣生、高知縣師範學校教諭、洋畫、師小山正太郎、著書「圖畫の形式と應用」あり、高知縣土佐郡小高坂村一二五

大川 幹次郎 號 芳 園 文久二年三月二
四江戶生、金屬彫師、貞幹に學ぶ、彫工會員、聖路易大博覽會及美術協會にて銅賞を受、東京本郷區千駄木町七〇

大 垣 南 湖 安政五年九月一五攝津國生、畫
家、南畫、師青木南溪、帝國南宗畫會特別會員、兵庫縣有馬郡三田町一一二

大 田 享 號 南 岳 明治六年一〇月
二東京生、畫家、南畫、師野口幽谷、美術協會員、美術協會にて銅牌を受、東京四谷區荒木町九

大 谷 浩 號 碧 雲 居 △岡山生、洋畫、
中外商業新報記者、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、東京本郷區森川町一、中通二四四

大 竹 昌 春 號 竹 舟 明治一四年一
二六福島縣生、建築、四二年三月東京高工學校建築科卒、福岡縣浮羽郡田主丸町

四二

覽會にて金牌、聖路易萬國博覽會にて金牌、東京勸業博覽會にて二等賞、日英博覽會にて金牌、其他展覽會にて受賞多し、岐阜縣安八郡大垣町北新一〇三

大 橋 正 堯 號 康 邦(前號蒙山)岡山
縣生、畫家、洋畫(水彩畫)、師松原三五郎、太平洋畫會員、日本水彩畫會講師、第四回文展にて褒狀を受、神奈川縣鎌倉郡鎌倉町雪之下一二五

大 橋 文 岱 弘化三年四月九近江國生、畫家
日畫(四條)、師鹽川文麟、滋賀縣犬上郡彦根町岡四四

大 橋 正 治 △東京、彫金、明治四四年東京
府工藝學校金銀工科卒

大 橋 五三郎 號 桂 畝 明治二二年三月
三〇東京生、畫家、日畫、師荒木寬敏、讀畫會員、東京下谷區入谷町二八三

大 西 榮 輔 △明治七年二月東京生、美術
小問物販賣業(商號白牡丹)、美術協會員、國華俱樂部員、團案會員、東京京橋區傳馬町二の一二、電京橋長三〇、長三一

大 西 迪 號 金 陽 安政三年一月
二六和國生、畫家、南畫、師父大西周雄、美術協會員、日本畫會員、北陸繪畫協會會長、賞を得る事銀牌、銅牌、褒狀等頗る多し、金澤市味噌町中九〇

大 堀 丑 太郎 △建築、建築學會員、東京府北
豐島郡日暮里町花見寺前一〇六七

大 堀 仙 市 號 半 仙 明治八年三月一
五福島縣生、畫家、南畫、師野出蕉雨、澁和亭、佐藤紫烟、美術協會員、巽畫會員、名古屋共進會一等賞、大阪南宗畫會銅賞等受賞多し、福島縣耶麻郡鹽川町一八六三

武内 桂舟 巽畫會員、東京小石川區高田老松町三〇

大 瀧 正 治 號 雨 山 明治四年二月二
三山形縣生、畫家、正八、勳六、南畫、師石川拜山、川村雨谷、美術協會員、南宗畫會評議員、南宗畫會にて銅賞、其他美術協會、明治繪畫會等にて數回受賞、東京本郷區元町二の六六

大 坪 正 吉 號 正 義 明治七年四月一
一東京生、畫家(春日左方繪所預)、日畫(土佐)、師山名貫義、美術協會歷史部評議員、東京牛込區大久保余丁町五二

大 塚 保 治 △明治元年一二月前橋生、東京
帝大文科大學教授、正五、文博、美學、二四年東京帝大哲學科卒、二九年美學研究の爲め獨、佛、伊三國に留學、三年歸朝、東京本郷區西片町一〇、ろ一一

大 塚 泰 △廣島縣福山中學校教諭、明治
二五年七月美術學校特別課程卒、廣島縣深安郡福山町河工務所員、建築學會員、東京府豐多摩郡大久保町西大久保四〇一、電番二九八五

大 塚 正 近 號 電 彩 明治二一年八月
一六富山縣生、富山縣立高岡中學校教員、日畫(四條)、師高山富雄、高岡市御旅屋町四六

大 塚 秀之丞 號 樂 堂 明治三年一〇月
一山口生、富山縣立工藝學校教諭、從七、彫塑、巴里萬國大博覽會にて銀賞牌、聖路易萬國博覽會にて金賞、日英博覽會にて名譽賞を受、高岡市櫻馬場町

大 東 昌 可 明治一一年一月一九小倉市生、
德島縣富岡中學校教諭、油畫、三五年七月美術學校洋畫科

本、徳島縣那賀郡富岡町三九三

大槻式雄 明治一二年二月二六東京生、畫家(美術品陳列所現坪洞經營)、油繪及水彩畫、師黒田清輝、三九年三月美術學校洋畫卒、東京京橋區南船町二九、電京橋二四三三

大槻才吉 △山形、圖案、明治三三年七月美術學校圖科卒

大築千里 △京都帝大理工科大學教授、工博、正六、工藝化學

大牟禮時艾 △畫家、油畫、明治三三年七月美術學校洋畫科卒、鹿兒島市生産町三二河東方

大村友雄 △石川、日畫、明治三九年四月美術學校日畫科卒、東京下谷區上根岸町八一の二二

大村種五郎 號廣陽 明治二四一〇月一〇備後國生、京都繪畫專門學校生、日畫(四條)、師山元春舉、都路華香、四一年京都市立美術工藝學校に於て銀賞二回、金賞一回、第三回、第六回文展にて褒狀を受、京都上京區寺町今出川上二丁目西入敷下町

大村民次郎 號令邦 明治五年六月一五東京生、洋畫及圖案、師龜井至一、圖案會員、東京勸業博覽會三等賞を受、東京京橋區金六町一二

大村周二 △石川、私立商工中學校教師、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、コスモス會同人、東京下谷區上根岸町八一の二二

大村彦太郎 △東京生、吳服商(商號白木屋吳服店)、華俱樂部員、東京牛込區東五軒町五一、電番町長一四五〇、營業所日本橋區通一の八、電本局八一、八二、八三、八四、長四七五、四〇二二、振替東京三一九七、支店

大野丈太郎 號米齋 明治一六年五月三〇岐阜縣生、日畫(土佐)、師堀曉中、左脇波登磨、岐阜集巧會幹事、全國繪畫共覽品評會にて銀賞を受、岐阜縣稲葉郡長良村福光二六二

大野兵三郎 號靜方 明治一五年一月二五東京生、畫家、日畫(浮世繪)、師水野年方、烏合會員、東京府豊多摩郡大久保町百人町三〇九

大國友之助 號壽郎 明治一九年一月五大阪生、鑄造業、鑄鐵及彫塑、京都美術學校出身、鑄金會員、大阪彫刻會員、美術協會にて二回三等賞を受、大阪南區天王寺國分町

大國大吉 號栢齋 安政三年二月一六大阪生、鑄金業、鑄鐵、明治四〇東京府美術工藝展覽會にて三等賞(二回)、東京勸業展覽會三等賞、日英博覽會にて二等賞、伊太利博覽會にて一等賞を受、大阪南區天王寺國分町

大久保應洋 △福井、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

大久保忠親 △建築、建築學會員、東京本郷區西片町一〇、二六

大久保喜一 △埼玉、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒、東京府豊多摩郡淀橋町角答一八二

大久保百台惠 號羽水 慶應三年二月一三讃岐國生、香川縣三豐中學校教諭、洋畫、師梶原昇西

大阪南區心齋橋筋二の三、電長東五四四、長六七〇

大村西崖 號無記菴 明治元年一〇月一二靜岡縣生、美術學校教授、從六、藍綬褒賞下賜、東洋美術史、神話、鑒定、彫塑、畫を新聞畫屏に學、二六年七月美術學校彫刻科卒、京都市工藝品展覽會出品銀賞牌を受、著述『東洋美術小史』『洋畫手引草』『審美綱領』『阿育王事蹟』『象堂遺芳』『正倉院志』『日本繪畫小史』『支那繪畫小史』『希臘羅馬諸神傳』等、東京牛込區矢來町三番甲五〇、電番町二五四三

大野和歌三郎 △彫金業、明治二七年二月美術學校彫金科卒、彫工會員、金工協會員、東京麴町區元園町一の一九

大野要三 △東京、洋畫、第三回文展入選洋畫自由研究所主、東京小石川區原町五四

大野隆徳 明治一九年二月七千葉縣生、畫家、洋畫、師黒田清輝、和田英作、長原孝太郎、四四年三月美術學校洋畫科卒、第六回文展にて褒狀を受、赤藝會員、東京府在原郡品川町御殿山七一八

大野彌生 明治一八年一月青森生、いとう松阪吳服店意匠部員、日畫、師端館紫川、寺崎廣榮、三五年三月女子美術學校日畫科卒、東京下谷區上野町いとう吳服店內

大野蕙石 △畫家、日畫、明治繪畫會員、東京府在原郡大井町

大野延太郎 號雲外 文久二年四月一四越前國生、東京帝大理科大學助手、洋畫、師本多綿吉郎、美術同志俱樂部員、著書『日本古圖譜』『先史考古圖譜』『紋様の庫』『世界人種地圖』『人種紋様』『考古資料掛圖』

敬、伊藤快彦、關西美術會員、香川縣三豐郡觀音寺町九五四

大久保恒三郎 號楓閣 明治一三年五月二四茨城縣生、日畫(容齋派)、洋畫、人物畫を松本楓湖、小堀範音に、肖像畫を御園繁に學、巽畫會員、東京神田區仲猿樂町一七

大倉半兵衛 嘉永三年五月相模國生、木版彫刻業、美術木版、師田中鐵也、東京京橋區中橋和泉町六

大倉喜八郎 號鶴彦 △天保八年九月二四越後國生、大倉美術館主、正六、勳四、賜黃綬褒章、美術協會員、巽畫會名譽會員、東京赤坂區葵町三、電芝長一五九

大倉喜三郎 號喜名 明治元年六月一〇越後國生、會社員、建築、工學士、二六年六月東京帝大工科大學建築科卒、建築學會員、東京府在原郡馬込村平張一三四一、電大森二九

大倉兵次郎 號廣寶 大阪生、畫家、日畫(寫生風)、師湯川松堂、山内愚仙、青松會員、瀨華青年畫會幹事、第二回內國製産博覽會銅賞、其他青松會展覽會毎會受賞、大阪西區新町通三の六三、電四一四甲

大藏雄夫 △石川、彫塑、明治四四年三月美術學校彫刻科卒

大熊喜邦 號秉彝 明治一〇年一月二三東京生、大藏省臨時建築部技師、建築、正六、工學士、三六年七月東京帝大工科大學建築科卒、建築學會常議員、東京麴町區下六番町四

大熊氏廣 安政三年六月一三武藏國生、彫刻家、美術審查員、洋風彫刻、師伊人ラグラー、ピンセントワラアレグレッツチ、モンデウエルデ、明治一五年六月工

龍美術學校卒、一八八八年羅馬美術學校卒、美術協會彫刻部委員、彫工會委員、建築學會特別會員、一六年五月皇居御造營彫刻模型製作拜命、一八年一〇月、天皇皇后兩陛下觀古美術會へ行幸啓の節、御席上彫刻被仰付、一八八五年八月獨逸聯邦バイエルン萬國博覽會にて銀牌受領、二七年三月大婚二五年大典に付、兩陛下御料御馬銀鑄製作を、第四回勸業博覽會にて優等妙技賞牌受領、三三年五月、皇太子殿下御慶事に付兩陛下、御鍾愛の駿馬二頭銀鑄製作を國務大臣より囑托せらる、製作品の主なるもの、故兵部大輔大村益次郎銅像、故有栖川熾仁親王殿下御銅像、故小松宮彰仁親王殿下御銅像等、東京小石川區竹早町一〇一、工場同上、電番町八四八。

大熊 齋 號 秀 齋 明治四年七月二日
岐阜縣生、畫家、日畫(土佐) 師川邊御嶺、巽畫會員、研精會員、岐阜縣安八郡大垣町船町高橋東入

大隈 重 信 △天保九年二月一六佐賀生、大臣禮遇、正二、勳一、伯、國案會總裁、美術協會名譽會員、東京府豐多摩郡戸塚村下戸塚七〇、電番町一七七

大串 喜代次 號 青 螺 明治一九年八月一日
佐賀縣生、陶磁器製造業、日畫、師崎廣業、竹内栖鳳、四三年三月美術學校日畫科卒、京都粟田門前北入宮永方

大八木 一 郎 明治六年四月二日
京都生、眞宗勸學院囑託教員、油畫、田村宗立、オールドリツヂ、黒田清輝、三五年七月美術學校洋畫科卒、三重縣安濃郡新町八の一

大八木 義之助 號 也 香 明治七年六月二日
東京生、畫家、日畫(文晁派)、父大八木也香、佐竹永湖に子、美術協會會員、日本畫會員、巽畫會員、前年美術協會に於て銅賞を得、東京下谷區仲徒町三の六五

大澤芳太郎 號 巴 城 安政四年一二月

二一京都生、貴金屬品製作販賣業、米國ポトランド博覽會にて審査員の囑托を受け名譽賞を受、明治三二年歐洲に航し三四年歸朝、三七年より四一年迄米國に滞在し美術品の販賣に従事、嘗て京都市立美術工藝學校に教職たり、又京都美術協會京都漆工會等の爲めに盡力せり、京都上京區寺町通丸太町南入六

大澤 敬之 號 姿 峯 嘉永四年八月一日
○江戸生、書畫鑑定、正八、勳八、南畫、師谷口藹山、京都美術協會會員、京都上京區河原町三條上ル下丸屋町

大澤 三之助 △美術學校教授、陸軍歩兵大尉、正六、勳五、工學士、建築學、建築製圖、四〇年一月英、佛、伊三ヶ國へ留學、四三年歸朝、建築學會常議員、吾樂會員、東京麻布區本村町四五、電芝一四八〇

大木 宗 保 △勳章師、彫工會會員、東京下谷區池之端茅町二の二四、電下谷二三〇五、二九九三、工場淺草區橋場町三八、電下谷二三、同上神田區旅籠町二の一〇、電下谷八一三

大給 近 清 明治一七年三月三東京生、畫家、油繪、三九年四月美術學校洋畫科卒、東京赤阪區高樹町二一

大島 勝次郎 號 如 雲 △安政五年二月一日
二一江戸生、美術學校囑託、蠟型、父大島高次郎に從ひ銅器製造、蠟型及鑄造彫刻術等を研究す、美術協會特別會員、内外博覽會にて受賞數十度、東京麻布區狸穴町三〇

大島 道三郎 號 佳 山 明治一三年一二月
一金澤生、畫家、日畫、師川合玉堂、三一年石川縣立工業學校繪畫科卒、第二回東京勸業展覽會にて三等賞を受、

○高知縣生、會社員、南畫、大阪北區相生町四〇、電東四一四九

大山 逸 人 △新潟縣、日畫、明治四五年三月
美術學校日畫科卒、東京下谷區黒門町小學校内

大山 太 吉 號 年 光 明治七年八月三日
○横濱生、金屬彫刻師、鋼鐵原型彫刻、師田澤忠二郎、金工協會副部長、東京勸業博覽會銅牌、金工協會にて銀牌及銅賞牌を受、東京淺草區東三筋町五九

大山 文 吉 △東京、日畫、明治四四年三月
美術學校日畫科卒

大亦 薰 太郎 號 墨 亭 明治二年五月一日
六京都生、畫家、日畫(四條)、師森川曾文、菊池芳文、後素協會會員、京都美術協會會員、各展覽會にて屢々受賞、京都小川通下立賣上西大路町

大河内 定 雄 △茨城、廣島縣立尾道高女學校
教員、明治四五年三月美術學校圖畫師純科卒

大江 良 起 明治七年二月一五京都生、畫家、日畫(四條)、師幸野稜嶺、京都八阪神社鳥居前東側

大江 九二太郎 △東京、洋畫、明治四五年三月
美術學校洋畫科卒

大江 新太郎 明治一二年一〇月二六京都生、
建築技師、建築裝飾、辰野、中村、伊東、塚本、關野諸博士に學、工學士、三七年七月東京帝大工科大學建築科卒、建築學會常議員、吾樂會員、現時日光廟大修繕監督技師として在職、東京勸業博覽會にて一等賞を受、東京赤阪區臺町二六

東京牛込區市ヶ谷長延寺谷町六

大島 盈 株 天保一四年七月七江戸生、建築
技師、日本美術建築專門、舊幕府大棟梁甲其筑前門人、建築學會會員、日光山東照宮、江戸上野中堂、芝増上寺靈廟其他の美術建築は總て甲其家の經營に成る、其後を承けたるものとす、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町八五六

大平 直 躬 號 直 水 明治三年八月一日
○高知縣生、會社員、南畫、大阪北區相生町四〇、電東四一四九

大平 新八郎 號 小 洲 嘉永三年七月二日
信濃國生、畫家、南畫、師邊渡小華、美術協會會員、長野縣下伊那郡千代村野池甲九五

大森 柳 江 △畫家、油畫、トモ工會員、
東京牛込區辨天町二五

大森 文 太郎 號 文 紅 明治二四年一〇月
岩手縣生、洋畫、岡澤、吉田二氏に學、岩手縣二月郡荒屋新町

大森 安 仁 △東京、畫家、洋畫、第二回文
展にて三等賞を受、

大關 貞次郎 弘化三年五月一三江戸生、貴金
屬品販賣業、美術協會會員、漆工會會員、彫工會會員、巴里萬國博覽會及聖路易萬國博覽會へ出品共に金賞、利榮壽萬國博覽會へ出品大賞を、日英博覽會へ出品名譽賞を受、横濱本町四の六六、電長八三四

大隅 爲 三 明治一四年九月一五滋賀縣東淺
井郡大郷村落合生、考古學及美學專攻、三七年東洋大學卒、三八年佛國に留學、佛國クルボン大學にて古典文學美術を研究四四年同大學卒、四三年より四五年迄巴里エネリ博

物館勤務、後歐洲各地南洋及印度に遊歴し、大正二年二月歸朝、佛國政府よりオフレシエード・アカデミー記章を受、神奈川縣橋本郡川崎町小土呂五五

太田 謹 號 尙 友 (別號養愚、赤松軒、何陋居) 天保一三年四月五日生、東帝博物館部長、從七、勳七、書畫鑑定、著述『増訂古畫備考』『鳥跡印叢』『後素印叢』等あり、東京下谷區上根岸町一三〇

太田 南 海 △東京、木彫、第六回文展入選 東京本郷區曙町一六米原方

太田 延次郎 號 文 暉 明治四年一二月 二〇東京生、畫家、日畫(四條)、師池田琴嶺、野村文學、美術協會員、美術協會にて銅賞、其他各展覽會にて受賞數回、東京京橋區桶町二五

太田 正 雄 號 木下太太郎 明治一八年八月一伊豆國生、醫學士、藝術の批評、専門は細菌學科の研究とす、東京本郷區本郷五の一九宮島方

太田 政 親 △嘉永五年五月江戶生、金工家、象眼、(後藤派)、師園部英忠、金工協會評議員、美術協會員、各所展覽會等にて受賞多し、東京下谷區西町三、(四)

太田 益三郎 △福島、日畫、明治四三年三月 美術學校日畫科卒

太田 福 藏 號 天 洋 明治一七年三月 三〇東京生、畫家、勳八、日畫(土佐)、師山名實義、小堀朝音、大下藤次郎、巽齋會員、東京本郷區森川町一

太田 三 郎 明治一七年一二月三愛知縣生、畫家、油繪、師黒田清輝、東京府豊多摩郡連谷町下連谷伊達跡一八三〇

太田 喜二郎 △京都、洋畫、明治四一年三月 一三京都生、淨土宗大學校教師、日畫(四條)、師山元春舉、菊池芳文、三五年四月京都美術工藝學校日畫科卒、京都美術協會及其他展覽會(出品)一等賞を得、京都下京區本町一〇の一四

奧村 芳 外 明治一〇年九月二三京都生、畫家(南北合宗)、師竹内栖鳳、菊池芳文、都路華香、三一年四月京都美術工藝學校繪畫科卒、國香會幹事、巽齋會員、國華俱樂部員、京都美術工藝學校開催の展覽會にて優等銅牌受領、東京淺草區旅籠町二の二二

奧村 藻 山 明治一四年一二月一五越中生、畫家、日畫、師橋本雅邦、下村觀山、日本美術院出身、巽齋會員、研精會員、東京下谷區上野櫻木町三六

奧村 卯之助 號 雪 堂 明治元年一二月 一五京都生、畫家、日畫(四條)、師幸野棟嶺、今尾景年、鈴木松年、二三年四月京都府立畫學校北宗科卒、各所にて得たる賞は銀賞二回、銅賞六回、京都下京區小川繪師北入元本能寺町

奧村 義 三 明治二二年二月一八東京生、畫家、日畫、師梶田半古、巽齋會員、東京京橋區中橋和泉町四 奧村 精一郎 △工學士、建築、建築技師、建築學會員、東京府荏原郡南品川町五二六

奧村 季 彦 號 石 亭 明治七年五月二 名古屋生、愛知縣立工業學校助教諭、名古屋高工學校講師、日畫(四條)、父奧村石蘭に學、巽齋會員、美術協會にて銅牌受領(三回)、名古屋西區長島町三の四五

奧山 保 古 研 明治一二年三月 九東京生、圖案製作業、師在原古玩、川崎千虎、福地復一、今泉雄作、三三年七月美術學校圖撰科卒、大阪東區南新町

美術學校洋畫科卒、師風景畫家エミル・クロス、 太田 久 男 △佐賀、明治四三年三月美術學校圖撰師範科卒

太田 靜 一 △大阪、鑄金、明治四四年三月 美術學校鑄造科卒

王 供 阿 久 △東京府技師、建築、正七、建築學會員、東京府豊多摩郡落合村下落合新田四六二

奧原 輝 子 號 晴 翠 △安政元年四月 陸前國生、畫家、南畫、師奥原晴湖、美術協會員、南宗畫會員、日本畫會員、博覽會、共進會、展覽會等より受賞十數回、東京府豊多摩郡連谷町豐澤一八九一

奧田 義 人 △萬延元年六月一四鳥取生、文部大臣、正四、勳二、法博、東京麹町區中六番町三六、電番一四五

奧田 光 榮 號 遲 牛 (前號芳彦) 明治一三年一〇月二九德島市生、畫家、日畫(土佐)、師森魚淵、橋本雅邦、巽齋評議員、國香會幹事、二葉會にて銅牌、眞美會にて銅牌、東京府美術及美術工藝展覽會にて銅牌受領、東京小石川區關口駒井町一

奧田 象 三 △通信技師、建築、建築學會員、東京麻布區飯倉片町二七

奧田 誠 一 號 次郎坊 明治一六年六月 一五津生、東京帝大文科大學副手、文學士、靑紳藝術(工藝裝飾等)大塚文學博士、關野工學博士、瀧文學士等に學、東京本郷區彌生町三

奧谷 秋 石 △攝津國生、畫家、日畫、師森寛齋、日月會に於て日月賞を受、京都綾小路烏丸東入

奧村 友次郎 號 泉 嶺 明治一五年九月 一丁目番外一一八

奧山 常 太郎 △三重、日畫、明治四五年三月 美術學校日畫科卒

奧山 恒五郎 號 靜 古 明治六年三月八 長崎縣生、三菱造船所技師、裝飾製圖部擔當、勳七、師淺井忠、太平洋畫會會員、建築學會特別會員、三四年北清事變に際し東京帝國大學の命に依り北京に出張し北京宮殿の建築裝飾を調査す、長崎市爐船町一

奧山 新治郎 號 無 言 明治八年二月六 山梨縣生、東京府立第三高女學校教諭、油繪、師小山正太郎、淺井忠、松岡壽、三四年三月東京高師學校手工專修科卒、東京麻布區筭町一八〇

萩原 一 羊 明治四年二月一四金澤生、畫家、博文館編輯局員、洋畫(美人畫)、師淺井忠、黒田清輝、關西美術會員、東京本郷區駒込吉祥寺町二〇

萩原 國 三 號 又 仙子 文久二年正月元 日江戶生、モスリン友禪染業、圖案會員、第五回勸業博覽會にて一等賞を受、東京府南葛飾郡飯戶町柳島三八七

萩生 守 俊 號 天 泉 明治一五年四月 二八福島縣生、東京府立第一高女學校教諭、日畫(狩野)、師橋本雅邦、四〇年三月美術學校日畫科卒、研精會委員、二葉會員、研精會に於て銅賞、銀賞を受、東京下谷區池之端七軒町七〇

萩野 仙次郎 號 一 水 明治五年一〇月 一〇京都生、圖案業、裝飾畫及圖案、師河邊華學、著書『應用漫畫』『垣間見草』『一水閑圖案』等、京都上京區御池畔町西入二三一

彫刻業、木彫、養父旭玉山に師事す、京都上京區室町通下立賣上

置 章

△第四師團經理補技師、建築、從七、工學士、建築學會員、大正元年八月大阪市役所新築設計工事圖案應募三等當選、大阪南區天王寺北山町五四六〇

帶山與兵衛

△製陶業、製陶、京都市粟田三鳥取縣生、奈良縣立五條中學校教員、日畫(四條)及油繪師淺井忠、奈良縣宇智郡五條町九四

わ

和田 一海

明治一七年三月三金澤生、畫家、洋畫、師伊人サミウエル、三八年美術學校圖畫師範科卒、朝鮮美術協會幹事、伊太利モースト美術展覽會に出品し二回受賞、朝鮮京城吉野町一八、電二二六

和田 嘉平次

△板木、彫刻、明治四一年三月美術學校彫刻科卒

和田 信夫

△通信技師、建築、工學士、從七、建築學會員、東京本郷區西片町一〇、ほ二

和田 景治郎

號 東岳 明治一二年一月一六京都市、畫家、洋畫(水彩肖像畫)及日畫(佛畫)、師西村秀岳、京都上京區敷屋町二條南尾張町二一九

和田 源治郎

號 三笑 明治四年一月六大阪生、彫刻業、木彫、牙彫、師佐々木文景、景井兩治郎、景井美徳、大阪彫塑會員、大阪南區間屋町一八三

和田 顯順

△石川、圖案、明治四五年三月美術學校圖科卒、東京神田區今川橋松屋吳服店內

若 松 常 齡

號 松 齡 安政五年正月二七伊豫國生、愛媛縣立宇和島女學校教師、洋畫(日畫)、師加島菱洲、愛媛縣北宇和郡宇和島町神田川原八二

若 狹 忠 太郎

號 如 岳 明治二〇年一月一秋田生、畫家、日畫(四條)、師小野崎如水、高橋晃山諸星成章、東京小石川區原町一〇諸星方

渡 邊 豐 次 郎

號 豐 洲 文久三年一二月二二大阪生、畫家、洋畫(水彩)、始め木下芦洲に日本畫を學、後ワグマンを慕ひ洋畫を學、美術協會員、横濱市常盤町三の三一

渡 邊 俊 郎

△吳海軍經理部技師、建築、從六、勳六、工學士、建築學會員、吳市三津田一四九

渡 邊 朋 太郎

號 素 堂 明治元年七月一七山梨縣生、篆刻業、勳八、師中村蘭臺、美術協會員、美術展覽會其他勳業博覽會にて敏回銀賞、銅賞を受、甲府市柳町二の九七、振替東京二〇〇五四

渡 邊 忠 三 郎

號 雪 來 明治一二年九月二四新潟縣生、神岡師範學校教諭、日畫、三七年七月美術學校日畫科卒、圖書共勵會幹事

渡 邊 長 藏

號 柏 翠 明治一〇年六月二仙臺生、宮城縣立白石中學校教員、勳七、日畫、師三好松柏、日本畫會員、巽畫會員、日露戰役の際陸軍省雇員を命ぜられ各地戰爭の實景を寫生す、宮城縣刈田郡白石町東小路二八

和田 英 作

明治七年二月二三鹿兒島縣生、美術學校教授、美術審查員、油畫、正六、師上杉熊松、曾山幸彦、原田直次郎、久保田米憐、黒田清輝、久米桂一郎及佛人 Raphael Collin、三〇年七月美術學校洋畫科卒、國華俱樂部幹事、帝國劇場株式會社顧問、第四回勳業博覽會にて妙技二等賞、第五回勳業博覽會にて二等賞牌、東京勳業博覽會にて一等賞牌を受、東京麻布區霞町二六、電芝四一五一

和田 三 造

△福岡、文部省留學生、油畫、明治三七年七月美術學校洋畫科卒、第一回及第二回文展にて二等賞を受、(在巴里)

和田 己之助

號 玉 齋 明治二年四月一五石川縣生、漆器業、漆工會員、共進會品評會等にて屢々銀賞、銅賞を受、石川縣江沼郡山中村二二一七

和田 季 雄

△東京、彫刻、明治四四年三月美術學校彫刻科卒

和田 垣 謙 三

△萬延元年七月但馬國生、東京帝大農科大學教授、正四、勳三、法博、明治一三年東京帝大文科大學卒、圖案會幹事長、東京小石川區小日向臺町二の四

和 氣 定 慶

號 滿 堂 明治一〇年三月一一大阪生、彫刻家、木彫、師田中主水、大阪彫塑會幹事、研藝會員、戰捷記念博覽會協賛二等賞、大阪全國特許品展覽會協賛二等賞を受、大阪東區上本町五の一九〇

若 林 幸 太郎

號 案 山 明治一六年一月一八大阪生、畫家、日畫(四條)、師若林案谿、浪華青年畫會員、大阪西區北堀江上通三の七

若 林 松 溪

號 案 谿 安政六年二月二四備後國生、畫家、日畫、師藤井松林、鈴木松年、浪

渡 邊 千 秋

號 楓 關 △天保一四年五月二〇信濃國生、宮内大臣、從二、勳一、伯、美術協會副會頭、京都美術協會名譽會員、巽畫會名譽會員、東京芝區高輪南町七、電芝一三〇四

渡 邊 良 助

號 省 亭 嘉永四年一二月七江戸生、畫家、日畫、師菊池容齋、第二回勳業博覽會にて妙技賞牌、和蘭萬國博覽會にて銀牌、聖路易萬國博覽會にて金牌を受、東京淺草區西島越町一八

渡 邊 織 衛

△新潟、栃木縣立宇都宮高女學校教諭、明治二五年七月美術學校特別課程卒

渡 邊 長 男

明治七年四月三大分縣生、肖像製作、彫塑、師山田鬼齋、明治三七年七月美術學校彫刻科卒、鑄金會審查員、美術協會員、彫工會、鑄金會等にて屢々賞を得、製作に係るもの廣瀬中佐及杉野兵曹長銅像、井伊大老銅像、井上侯銅像、印度パロダ王の委囑により製作したる大佛像等其他多し、東京府北豐島郡日暮里町一〇〇、工場同上

渡 邊 勘 次

號 竹 窓 嘉永元年六月六越後國生、彫刻業、木竹彫刻、長岡市坂之上町二丁目

渡 邊 泰 輔

△新潟、攻玉社中學校教師、日畫、明治四四年三月美術學校日畫科卒

渡 邊 敬 道

號 福 堂 安政六年九月二〇尾張國生、畫家、南畫、師松岡環翠、田能村直入、南宗畫會員、名古屋中區流川町甲五五

渡 邊 菜 渚

△畫家、日畫、日月會員、第二回文展入選

渡 邊 昇 號

號 晨 畝 明治三年一月三東京生、畫家、日畫(南北合法)、師丸木寬畝、巽畫會員

日本畫會員、凱旋記念五二共進會及真美會等にて三等賞三回を受、東京本郷區根津片町二三
渡邊 正寛 秋 溪 慶應元年一〇月一六名古屋生、畫家、日畫(南北合法)、師久保田米徳、愛知同好畫會理事、名古屋開府三百年記念美術展覽會にて銀牌を受、名古屋島田町二の二〇

渡邊 啓三 香 涯 明治七年一月二四東京生、畫家、日畫、師川端玉章、三〇年七月美術學校日畫科卒、无聲會員、漆工會員、吾樂會員、國華俱樂部員、東京府北豐島郡瀧野川村田端三四一
渡邊 ふみ子 畫家、洋畫、女子美術學校洋畫科卒、第三回文展にて褒状を受、東京府北豐島郡葉鴨町宮中二三八八

渡邊 文三郎 洋畫 第一回文展入選、東京府豊多摩郡戸塚村源兵衛二〇六
渡邊 耕平 公 觀 明治十一年一月二〇大津生、畫家、日畫(四條)、師藤川曾文、京都美術協會員、後素協會委員、京都上京區新島丸通丸太町上
渡邊 吉太郎 福井、日畫、明治三十四年七月美術學校日畫科卒
渡邊 清 號 香 年 明治一八年一月一七横濱生、畫家、日畫(圓山)、師高橋波香、福井江亭、美術協會員、東京淺草區西三筋町六

渡邊 讓 號 松 潤 安政二年一〇月
綿貫 保之 建築技師、建築、工學士、建築學會員、東京本郷區森川町一南堺裏
脇 龜太郎 德島、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒、赤雲會同人
脇 坂安之 兵庫、洋畫、明治三八年七月美術學校洋畫科卒
脇 本十九郎 號 吾妹子 明治一六年九月一〇、一三 巽畫會特別會員、東京本郷區西片町一〇、一三

湧 口 滿 兵庫縣立姫路高女學校教諭、明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒
鷺 尾 立介 號 高 華 明治一六年四月八新潟縣生、畫家、日畫(寫生)、師今尾景年、京都上京區今出川通相國寺内豐光寺内
加藤 一 郎 山口、日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒
加藤 友太郎 陶磁器製造業、舊江戸川製陶所出、窯業協會評議員、東京府荏原郡大崎町三六一、電話一五七三
加藤 忠七 號 林 陵 天保一四年一月二七江戸生、師軍糧林本廣齋託、日畫(狩野)、師岡島林齋、狩野、美術協會員、東京京橋區南傳馬町二の一
加藤 達也 號 雪 窓 明治五年一二月二五秋田生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二葉會にて銅賞を得、山形縣飽海郡酒田町一六〇

一七江戸生、錦鷄間祇候、建築、師英人ジョサイヤ、コンデル、明治一三年五月工部大學校造家學科卒、正四、勳三、工博、建築學會員、工藝學會員、神奈川縣鎌倉郡鎌倉町雪之下二二〇
渡邊 行 義 栃木、鑄金、明治四一年四月美術學校鑄造科卒
渡邊 靜 雄 號 華 石 嘉永五年一〇月名古屋生、畫家、南畫、師渡邊小華、南宗畫會幹事、美術協會員、内國勸業博覽會其他にて受賞十數回、東京下谷區谷中清水町一九
渡邊 靜 石川、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒
渡邊 新 次 京都、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒
渡邊 節 工學士、建築、鐵道院技師、建築學會員、吳市三津田一二二
渡邊 雪 峰 明治元年七月二四羽前國生、畫家、南畫、美術協會員、南宗畫會評議員、日本畫會員、各所展覽會にて受賞十數回、東京麹町區五番町四
渡部 忠 熹 號 解 古 天保一三年六月四越後國生、畫家、南畫、師長谷川嵐溪、山本梅逸、美術協會員、巴里萬國博覽會へ出品褒賞受領、明治四二年九月韓國大皇帝陛下の御前揮毫に對し銀盃壹臺と金圓を下賜せらる、東京牛込區田町二の二〇中村方
渡部 審也 明治八年一二月二六岐阜縣生、畫家、洋畫(油畫、水彩)、師淺井忠、太平洋畫會評議員、東京府豊多摩郡澁谷町中澁谷四二五

加藤 卓爾 號 好 夢 明治一八年四月二九埼玉縣生、京都府立第一中學校教諭、圖案、四二年三月美術學校圖科卒、東京勸業博覽會にて二等賞、大正元年一月農商務省商品陳列館の第六回商品改良會にて金賞を受、京都上京區新島丸通下切上ル袋町
加藤 直 泰 富山、彫刻、明治四〇年三月美術學校彫刻科卒、富山市千石町四六
加藤 紀 高 玉 亭 明治五年九月七茨城縣生、私立福岡女子美術學校々主、第一福岡高女學校教師、日畫(圓山)、師川端玉章、三〇年七月美術學校日畫科卒、福岡市大名町三三
加藤 君 鳳 明治二五年一月一二東京生、日畫、師望月金鳳、第六回文展入選、東京淺草區柴崎町四〇
加藤 景 雲 明治八年五月九島根縣生、彫刻家、木彫、師高村光雲、彫工會委員、美術協會員、日本彫刻會員、勸業博覽會等にて出品して賞牌を得ること數回、東京本郷區駒込神明町三六九
加藤 賢 近衛師團經理部技師、從七、建築、工學士、建築學會員、東京牛込區若松町五八
加藤 源之助 京都、洋畫、第六回文展入選京都六角鉄屋町東
加藤 孝三 千葉縣、彫刻、明治四五年美術學校彫刻科卒、東京府北豐島郡瀧野川村田端
加藤 公正 號 英 舟 明治六年一二月治四四年三月美術學校洋畫科卒
加藤 榮之助 號 英 舟 明治六年一二月一五名古屋生、畫家、日畫(四條)、師野模嶺、岸竹堂竹内栖鳳、後素協會員、各展覽會にて受賞銅牌數回、第六回

加藤 卓爾 號 好 夢 明治一八年四月二九埼玉縣生、京都府立第一中學校教諭、圖案、四二年三月美術學校圖科卒、東京勸業博覽會にて二等賞、大正元年一月農商務省商品陳列館の第六回商品改良會にて金賞を受、京都上京區新島丸通下切上ル袋町
加藤 直 泰 富山、彫刻、明治四〇年三月美術學校彫刻科卒、富山市千石町四六
加藤 紀 高 玉 亭 明治五年九月七茨城縣生、私立福岡女子美術學校々主、第一福岡高女學校教師、日畫(圓山)、師川端玉章、三〇年七月美術學校日畫科卒、福岡市大名町三三
加藤 君 鳳 明治二五年一月一二東京生、日畫、師望月金鳳、第六回文展入選、東京淺草區柴崎町四〇
加藤 景 雲 明治八年五月九島根縣生、彫刻家、木彫、師高村光雲、彫工會委員、美術協會員、日本彫刻會員、勸業博覽會等にて出品して賞牌を得ること數回、東京本郷區駒込神明町三六九
加藤 賢 近衛師團經理部技師、從七、建築、工學士、建築學會員、東京牛込區若松町五八
加藤 源之助 京都、洋畫、第六回文展入選京都六角鉄屋町東
加藤 孝三 千葉縣、彫刻、明治四五年美術學校彫刻科卒、東京府北豐島郡瀧野川村田端
加藤 公正 號 英 舟 明治六年一二月治四四年三月美術學校洋畫科卒
加藤 榮之助 號 英 舟 明治六年一二月一五名古屋生、畫家、日畫(四條)、師野模嶺、岸竹堂竹内栖鳳、後素協會員、各展覽會にて受賞銅牌數回、第六回

文展にて褒状を受、京都下京區東洞院通松原下大江町

加藤 愛智 號 南山 明治一九年一月
三廣島生、畫家、日畫(四條)、師里見雲嶺、寺尾鶴仙、美術協會員、巽畫會員、廣陵美術會會員、全國繪畫共進會三等賞を受、廣島市竹屋町七

加藤 作助 號 國堂 明治一八年六月
二四四日市生、畫家、日畫(四條)、師磯部百麟、尾竹國親、東京下谷區上根岸町六六尾竹方

加藤 精一 號 雨艇 安政四年四月二
五名古屋生、畫家、南畫、師川崎千虎、木村金秋、愛知同好會理事、日本畫會會員、美術協會會員、中央南宗畫會會員、名古屋第八回繪畫展覽會其他にて三回銅賞を受、名古屋東區東櫻町一の六

加藤 靜兒 號 柏堂 明治五年一月八
家、油畫、四三年三月美術學校洋畫科卒、ハレー洋畫會會員、愛山會員、第三回文展及同第六回美術展覽會にて褒状受領、四三年五月名古屋新古美術展覽會にて銀牌を得、名古屋中區東瓦町八七

加藤 善次郎 號 嘉永元年一〇月一〇愛知縣生、
陶磁器類平面磁器製造業(商號早梅亭)、美術協會會員、内外博覽會及展覽會にて高級受賞數回、愛知縣東春日井郡瀬戸町西谷町二八九

加藤子直彦 號 柏堂 明治五年一月八
京都生、畫家、日畫(岸派)、師望月玉泉、岸竹堂、先年聖

路島博覽會京都館壁畫、日英博覽會東京出品館壁畫、東京府同東京元歌舞伎座天井畫、後回二の大作を揮毫す、東京府野原郡南品川町東廣町五六四

加賀美 喜志松 號 岸松 明治四年一月
九山形生、畫家、日畫(四條)、師久保田米僊、美術協會會員、巽畫會員、東京牛込區早稲田鶴卷町二二

加納 信司 號 旭窓 明治八年九月一
二岐早縣生、畫家、日畫、師川端玉章、天眞會員、巽畫會員、東京四谷區傳馬町一の二三

加納 秋三 號 鐵哉 明治三五年美術學校
彫金撰科卒、東京神田區淡路町一の二

加納 光太郎 號 鐵哉 明治九年二月一
岸町一四

加護谷 祐太郎 號 鐵哉 明治九年二月一
築、奈良縣技師、從六、工學士、三七年七月帝東大工科大學建築科卒、建築學會會員、奈良東大寺大佛殿大修繕に關與し、回復模型を日英博覽會に出陳し名譽賞を受、奈良市春日野一、電三六六

加島 樵舟 號 鐵哉 明治元年一〇月二八
淺草區茅町二の二九

加茂 辰藏 號 鐵哉 明治元年一〇月二八
彫刻業、木彫(佛具、神具等一式)、井波彫刻元祖先代與八郎門人、井波工藝會顧問、聖路易萬國博覽會名譽銅牌受領、其他内國美術品展覽會に於ても銀牌等多數を受、富山縣東礪波郡井波町三五二〇

香取 五郎 號 鐵哉 明治五年六月四
府工藝學校助教諭、圖案、師淺井忠、武田五一、三八年七

香川 新十郎 號 必堂 文久元年二月
二八陸前國生、香川縣立大川中學校教諭、日畫(狩野)、師橋本雅邦、香川縣大川郡三本松町北町二三二

狩野 忠信 號 檜亭 元治元年二月
四名古屋生、畫家、日畫(狩野)、師狩野永應、美術協會會員、狩野會員、東京牛込區天神町八八

狩野 永信 號 山屋 慶應三年三月三
大阪生、畫家、日畫(狩野)、師狩野永祥、大阪府東成郡住吉公園西

狩野 誠信 號 鐵哉 明治三一年七月
美術學校日畫撰科卒

狩野 雅俊 號 秀石 安政六年二月
二一上野國生、農業、南畫、師青木如園、巽畫會員、著書「秀石詩集」あり、群馬縣勢多郡敷島村久田一七九

狩野 守節 號 探岳 安政六年八月三
江戸生、畫家、日畫(狩野)、師狩野探美、美術協會會員、美術協會に於て 皇后陛下御前揮毫の榮に浴す、東京芝區金杉四の二〇

鹿子木 孟郎 號 不倒 明治七年一月
九岡山縣生、京都高工學校講師、關西美術院長、美術審査員、洋畫、師佛人ローラン、太平洋畫會會員、關西美術會員、一九〇六年二月アカデミー、ジニリヤン競技會にてプリ、ド、ジニリヤン賞を受、京都新町中立賣西入

鹿毛 屋藏 號 鐵哉 明治一四年四月五日
美術學校助手、洋畫(油繪)、寫真版及寫真、四二年三月美術學校洋畫科卒、日本寫真會員、第二回日本回寫真展覽會に於て銀牌、其他銅牌二を得、東京府北豐島郡瀧野川村田端三五五

月京都高工藝學校圖科卒、三九年煙草專賣局にて包紙及名稱の懸賞圖案に一等賞當選(現在發賣の胡蝶)、東京府豐多摩郡代々幡村代々木山谷一〇九

香取 秀治郎 號 秀眞 明治七年一月一
千葉縣生、美術學校囑託、蠟型鑄物、三〇年七月美術學校鑄造科卒、美術協會委員、彫工會三部副部長、金工協會幹事、鑄金會幹事、吾樂會員、聖路易萬國博覽會にて銀賞、東京勸業博覽會にて二等賞、其他美術協會、彫工會、金工協會、鑄金會等にて受賞甚多し、東京府北豐島郡瀧野川村田端四三三

香川 勝廣 號 廣 嘉永六年一〇月生、彫金家、
帝室技藝員、正八、師野村勝守、加納夏雄、美術協會特別會員、彫工會會員、國華俱樂部幹事、内國勸業博覽會及外國大博覽會にて金牌、銀牌、銅牌等を得ること數次、東京下谷區上野櫻木町三九

香川 陽太郎 號 含章 明治六年四月一
五廣島縣生、畫家、日畫(圓山)、川端玉章、美術協會會員、日月會員、三四年四月より四〇年三月に至る間宮内省先帝御事蹟繪繪囑託員として製作に従事す、該繪は孝明天皇紀編輯了と共竣工せり、又普通繪畫の外肖像畫に従事し先年故北白川宮殿下の御肖像畫製作を命ぜられ二葉を拜寫す、一は臺灣神社に一は臺灣總督府に藏せらる、東京牛込區天神町七九

香川 敬事 號 東華 明治一九年二月
千葉縣生、畫家、日畫、師川端玉章、四二年三月美術學校日畫科卒、天眞會員、巽畫會員、東京府北豐島郡日暮里町谷中本一一五

香川 源四郎 號 漆工、明治四五年三月
美術學校漆工科卒

鹿島榮次郎 號一谷 △彫金業、象眼金工協會員、彫工會員、各展覽會に出品高級受賞數回、東京下谷區二長町五〇

甲斐 英雄 號青萍 明治一五年三月 二熊本生、縣立熊本中學校教諭、日畫、師下村親山、小堀賴吉、高橋廣湖、四一年三月美術學校日畫科卒、熊本市安巳橋通七三

貝原兼太郎 號遜軒 文久元年三月一八武藏國生、書畫家、南畫、南宗畫會評議員、美術協會員、日本畫員、東京麹町區飯田町六の一七

貝原京平 號菅村 明治三年一〇月一六岡山縣生、縣立長崎高女學校教諭、洋畫、師五姓田芳柳、渡邊薇山、國畫教育會長崎支部幹事、長崎市伊良林五三五

開發 芳光 明治二年一二月一富山縣生、彫刻業、牙木彫、師吉田芳明、第二回東京勸業博覽會と美術協會にて三等受賞領、東京府北豐島郡瀧野川村田端二二一

垣内 雲麟 △弘化三年九月飛騨國生、畫家、日畫(四條)、師鹽川文麟、日本畫會評議員、美術協會員、各所繪畫展覽會等にて受賞甚だ多し、東京牛込區市ヶ谷加賀町三の一

海東 久 明治一〇年四月八東京生、畫家、油繪、師櫻井忠剛、トモエ會員、美術展覽會博覽會にて屢々受賞、東京下谷區上根岸町六九

蟹谷七太郎 號國晴 △明治二年埼玉縣生、鑄造業、鑄金、師大竹德國、高村光雲、彫工會員、鑄金會員、金工協會員、彫工競技會其他にて銀牌、銅牌等受、

京府荏原郡入新井村新井宿一四〇二 川端 茂章 明治一六年三月六東京生、川端畫學校教師、勳八、日畫、天真會幹事、東京府北豐島郡菓鴨町南傳中八四

川部 榮治 △山形、彫金、明治三八年七月 美術學校彫金科卒 川路 誠 號柳虹 △畫家、日畫、美術學校日畫科卒、行樹社同人、モザイク同人、著書詩集『野路の花』あり、東京本郷區千駄木林町一三

川勝 勘兵衛 △東京、日畫、明治三〇年七月 美術學校日畫科卒 川上 涼花 △東京、畫家、洋畫、フニウザン會員

川上爲之助 △静岡、圖案、仙臺東北中學校教師、明治三一年七月美術學校圖科卒 川上 邦世 號澹堂 明治一九年六月 一東京生、彫刻家、木彫及彫塑、師竹中光重、三九年四月美術學校彫刻科卒、美術協會員、東京芝區字田川町二三

川上 増太郎 號觀月 明治一一年七月 七東京生、漆器業、蒔繪、漆工會員、東京府北豐島郡日暮里町元金杉九七七

川面 義雄 △東京、畫家、日畫、明治三七年七月美術學校日畫科卒、東京本郷區千駄木町 川那邊 友次 號哲仙 明治一四年六月 一三京都生、漆器製作業、髹漆(宗哲流)、師川那邊好之、日本漆工會員、京都漆器蒔繪物聯合競技會三等賞を受、京都上京區新橋木町丸太町南入東土御門町一三

川村 猪藏 號文芽 慶應元年五月五

東京本郷區千駄木町二四九 門井 英 號掬水 明治一九年一月二〇茨城縣生、畫家、日畫(浮世繪)、師鋪木清方、鳥合會員、東京本郷區龍岡町一五鋪木方

角取 助治 明治九年二月五新潟縣生、彫塑、師朝倉文夫、第六回文展に入選、東京下谷區中根岸町九一 葛野 壯一郎 明治一三年一月二一大阪府生、神奈川縣土木技師、從七、建築、工學士、三八年東帝大工科大學建築科卒、建築學會員、橫濱市中村町一五五五

葛西 萬司 △建築技師、工學士、建築、建築學會員、東京麹町區三年町二、電新橋一七五九 川井 久吉 明治一〇年二月二東京生、貴金屬品製作販賣業、金工協會員、東京下谷區徒町一の四、電下谷四四三五

川合 芳三郎 號玉堂 明治六年一二月二四愛知縣生、畫家、美術審判員、日畫、師望月玉泉、幸野模嶺、橋本雅邦、勸業博覽會及美術展覽會等にて一等賞以下受賞數十回、東京牛込區若宮町二九、電番町三四四〇

川合 信太郎 號漆仙 明治元年二月一〇大阪生、漆工會員、大阪漆工會員、漆工青年會常務員、大阪東區今橋二の三五

川端 虎三郎 號玉雪 明治一三年八月一東京生、畫家、日畫、天真會幹事、東京小石川區下宮坂町一九、電番町七九九

川幡 伍一郎 △東京、日畫、縣立鳥取中學校員、明治四五年三月美術學校日畫科卒 川端 昇太郎 號龍子 明治一八年六月 六和歌山生、畫家、洋畫、師和田英作、太平洋畫會員、東

京都生、著述業、圖案、日出新聞主事、京都美術協會編輯主任、明治三九年清韓兩國を巡回し織物事業及圖案を調査、京都上京區出水通烏丸西入

川村 東陽 (前名孝改) 明治一五年八月二五 東京生、畫家、日畫、師橋本雅邦、三五年七月美術學校畫科卒、二葉會員、東京府北豐島郡瀧野川村田端六五八

川村 信雄 東京、畫家、洋畫、フニウザン會員 川村 萬藏 號曼舟 明治一三年七月 七京都生、京都美術工藝學校教諭、日畫、師山元春舉、第二回、及第三回、第四回文展に毎會三等賞を得、京都上京區衣通丸太町上

川村 清雄 號時童 嘉永五年四月二 六江戸生、畫家、油畫、師米人ランマン及佛人ゾカリヤス、トモエ會員、舊幕府開成所畫學校學生として明治四年三月洋行歐米に留學、其間伊國ベニス府アカデミー在學、一五年歸朝、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町一〇〇〇

川村 晴雪 長野縣生、彫刻家、彫刻、數年以前斯道研究の爲め米國に渡航し各地の名家に親炙し目下佛國に留學中、(c/o F. W. Mac. Monnes Giverny Par Vernon, Eure, France)

川村 晉 △洋畫、第三回文展入選、東京麻布區材木町五

川内 よね子 號華湖 明治二一年三月 一五大阪生、師松田霞湖、松本楓湖、若林案路、大阪府立博物場にて三等賞を受、大阪南區法善寺裏門、電南一四五一

川之邊 豐二郎 號一朋 明治一三年八月 二九東京生、漆工業、蒔繪、祖父一朝より蒔繪傳習、日本漆工青年會幹事、漆工會員、東京勸業博覽會銅牌、漆工青年競技會より銀牌受領、東京豊草區四三筋町五二

川出 柴太郎 安政三年正月一八名古屋生、七寶燒製造業(商號一貫堂)、美術協會員、內外博覽會及展覽會共進會にて金賞、銀賞、銅賞數回以上其他名譽賞等を受、名古屋西區五平藏町二の六七、工場同中區矢場町五之切一

川崎 墨溪 明治七年一〇月一〇愛知縣生、畫家、日畫(寫生)、師三宅吳曉、平井直水、大阪繪畫會員大阪北區本庄横道一八〇

川崎 隆一 △愛知、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒、行樹社員、東京府北豐島郡日暮里町金杉一五一

川崎 鏗爾 號 霞峰 明治一一年一〇月二一東京生、畫家、日畫(人物)、師筒井年峰、巽畫會員、東京神田區豐島町二六

川北 源之助 號 霞峰 △明治八年九月京都生、京都美術工藝學校教諭、日畫 師幸野棟嶺、菊池芳文、京都美術協會員、文展第一回より第三回迄三等賞、第五回には褒狀を受、其他博覽會等にて屢々受賞、京都上京區小川下立賣

川北 元英 △三重、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒

川本 參江 △日畫、京都繪畫專門學校在學第五回文展入選

川本 吉藏 △東京、彫金、明治四三年東京府工藝學校金銀工科卒

川本 秀雄 安政元年八月一五尾張國生、陶磁器製造販賣業、窯業協會評議員、美術協會員、國華俱樂部

河面 冬一 △廣島、漆工、明治四一年美術學校漆工選科卒

河鍋 曉翠 △畫家、日畫(曉齋派)、美術協會員、東京府北豐島郡日暮里町金杉一九四

河節 太郎 △兵庫、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

河村 博亮 △山口、漆工、明治三九年七月美術學校漆工科卒、山口縣熊毛郡室積村

河村 虹外 文久元年六月一二若狹國生、畫家、日畫(南畫)、師重春塘、京都上京區富小路二條南入

河村 是外 號 吃櫻 明治九年六月一六金澤生、詩繪師、金線白漆彩色研出及南宗畫、畫を大西金陽、詩繪を高橋幸二に學、漆工會員、北陸繪畫協會員、金澤市野町三六

河村 靖山 △製陶、窯業協會員、京都市粟田縣立中學修館教諭、日畫、福岡市西町稻石方

河野 良藏 明治一四年四月大分縣生、福岡縣立中學修館教諭、日畫、福岡市西町稻石方

河野 讓 號 桐谷 明治一二年一〇月四東京生、著述家、三八年七月早稻田大學文學部哲学科卒

河野 著述家、三八年七月早稻田大學文學部哲学科卒早稻田美術研究會會員、國香會幹事、著書『西洋繪畫史』『橋本雅邦論』『セガランチニ傳』等、東京府北豐島郡高田村鶴原三六

河野 繁市 △宮崎、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒

河野 專爾 號 竹陰 明治元年四月八大分縣生、僧侶、南畫、師手島二溪、田能村直入、京都南畫協會員、大阪南區生玉前町五一七二

員、内外國博覽會、展覽會、共進會等にて金、銀、銅賞十數回受領、東京京橋區銀座二の六、工場愛知縣東春井日郡瀬戸町

河 端直 號 石泉 明治八年一月七熊本縣生、中學校教師、日畫(四條)、師巨勢小石、山口縣吉敷郡山口町米屋一一二九

河原 德立 △陶磁器業、賜藍綬褒章、美術協會特別會員、京都美術協會員、海外各國博覽會、其他内國博覽會にて數回高級賞を得、屢々歐米各地に赴き博覽會の事務官たり、京都上京區岡崎町岡崎橋西詰

河原 齡之助 號 融齋 慶應元年七月二九江戶生、宮内省官吏、日畫(雲舟派)、師本多錦吉郎、吉澤素山、加藤竹齋、山本勝月、杉谷雪樵、美術協會員、東京小石川區高田老松町四五

河原崎 謙吉 △東京、日畫、明治三二年七月美術學校日畫科卒

河邊 華舉 △畫家、日畫(有職故實)、京都小川橋木町北入

河邊 正夫 △岡山、圖案、室内裝飾、明治三二年七月美術學校圖科卒、東京麴町區内幸町一の五

河邊 もと子 號 青蘭 明治元年一月一六大阪生、南畫、師橋本青江、大阪西區南堀江下通一の二八

河内 菊太郎 號 雅溪 明治六年一〇月九山梨縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二葉會員、研精會員、巽畫會員、聖路易萬國博覽會にて銀賞、其他繪畫共進會及勸業博覽會にて屢々受賞、三七年渡米各地漫遊大陸風景を寫し三八年歸朝、東京小石川區白山前町一

河津 七郎 △東京高工學校教授、建築、從六、建築學會特別會員、東京小石川區白山御殿町一〇七

河合 幾次 △河合建築事務所主、建築、工學士、建築學會會員、大阪東區北濱二の一三三、電東四三一八

河合 六之助 號 英忠 明治一五年四月一東京生、大阪毎日新聞畫報記者、日畫(浮世繪)、師右田年英、美術協會員、烏台會員、國華俱樂部員、歷史風俗畫會銅牌、東京勸業博覽會二等賞等其他受賞多し

河合 文林 明治八年八月二岡山縣生、畫家、日畫(四條)、師今尾景年、岡山縣後月郡井原町一三九七

河合 浩藏 △河合建築事務所主、建築、工學士、建築學會會員、神戸市北長狹通五一九、電一八七一

河合 鹿次郎 號 聚齋 明治六年一〇月二六京都生、畫家、日畫(四條)、師幸野棟嶺、竹内栖鳳、二八年三月京都美術工藝學校繪畫科卒、神戸市與平野四六の一九

河合 新藏 慶應二年大阪府生、畫家、洋畫師小山正太郎、太平洋畫會會員、三三年より四年間歐米に留學す、第三回文展にて褒狀を受、京都照天門通三條上

河崎 菊子 號 蘭香 明治一五年一月九愛媛縣生、畫家、日畫、師菊池芳文、寺崎廣業、巽畫會員、東京勸業博覽會にて銅賞を得、文展は毎回入選(第二回を除く)、東京府北豐島郡瀧野川村田端一三八

河本 武夫 號 龜山 明治八年七月一五兵庫縣生、鹿兒島市立女子興業學校教師、日畫(四條)、師山元春舉、三四年三月京都美術工藝學校繪畫科卒、鹿兒島市清水町田之浦

河盛 益太郎 △大阪、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

河瀬 喜正 △鳥取、圖案、明治四〇年京都

高工學校圖科卒

河 瀨 秀 治 △會社員、從四、勳四、美術協
會名譽會員、巽畫會顧問、東京府荏原郡品川町南品川三ッ
木一〇三〇、電芝六四四

片 岡 宣 德 號 雲 鶴 嘉永五年一月
二〇江戸生、宮城縣立高女學校教員、南畫、師渡邊小華
仙臺市花京院通七八

片 岡 安 △建築技師、建築、工學士、建
築學會員、大阪府下濱寺公園七八、電一九
區臺町六八

片 岡 美 登 明治一六年七月二四東京生、彫
刻業、日本木版、自刻を以て古代錦繪を模刻し、吾妻錦繪保
存會を經營す、東京本所區相生町四の一七

片 岡 準 規 △滋賀、圖案、明治三八年京都
高等工藝學校圖科卒、(外國留學中)

片 多 德 郎 明治二二年六月二四大分縣生、
畫家、洋畫、四五年三月美術學校洋畫科卒、師長原孝太郎、
和田英作、黒田清輝、藤島武二、第四回及び第五回文展にて
褒状を受、東京本所區動坂町四二

片 田 正 人 △廣島、神戶花鑑検査所勤務、
圖案、明治四五年京都高工學校圖科卒

片 山 春 雄 號 春 帆 明治一三年一月
三〇東京生、博文館編輯局繪畫部員、日畫(浮世畫)、師
武内桂舟、川合玉堂、大出東皐、巽畫會員、東京牛込區新小
川町一の二二

片 山 東 熊 △嘉永六年十一月一九長門國生、
内匠察頭、建築、正四、勳二、工博、建築學會員、美術協

大別すれば銀賞八回、銅賞十數回、又 皇后陛下彫工競技會
へ行啓の際御前彫刻の光榮を荷ふ、東京府南葛飾郡綾瀨村
小菅一〇五

桂 田 義 春 號 湖 城 慶應元年五月五
近江國生、畫家、日畫(四條)、師岸竹堂、今尾景年、深田直
城、神戸金蘭畫會長、京都博覽會を始め各所に受賞多し、
兵庫縣武庫郡西之宮町北濱一七九七

金 井 忠 三 △長野、日畫、明治三五年七月
美術學校日畫撰科卒

金 井 義 司 號 羊 我 元治元年八月一
五信濃國生、縣立長野高女學校教諭、日畫(狩野)及洋畫、
師岡倉秋水、明治三五年七月美術學校圖畫講習科修了、圖
畫教育會長野縣支那幹事、信美畫會幹事、長野縣上水内郡
三輪村上松

金 田 勇 △東京、彫刻、明治四五年三月
美術學校彫刻撰科卒、東京府豊多摩郡下漣谷伊達跡一八六
四、電芝二四四九

金 田 安 二郎 號 耕 月 慶應元年八月二
七島根縣生、金屬細工業、彫金、師米原雲海、島根縣能
義郡安來町中市場

會員、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町總田一九一、電芝一〇三
片 桐 文 之 助 號 文 敏 明治一四年四月
一〇新潟生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬敏、美術協
會員、日本畫會員、研精會員、讀畫會員、新潟東通十二番町
醫士、日畫、師今尾景年、美術協會にて三等賞を受、高知
縣高岡郡久禮町

勝 部 新 太 郎 號 眞 太 文久三年一月
江戸生、陶器磁器業、京都三代目清水六兵衛に師事す、彫
工會員、東京本所區向島須崎町四四

勝 尾 準 太 郎 △石川縣生、彫塑、明治四〇年
三月美術學校彫刻科卒、大日本銘石株式會社員、東京麹
町區内幸町一萬國館内

勝 田 侃 △洋畫、第四回文展入選、東
京芝區宇田川町二九

勝 田 良 雄 號 蕉 琴 明治一二年一
月三福島縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、三八年
七月美術學校日畫撰科卒、美術學校卒業と同時に同校長の
推薦により英領印度王族「タゴール」家に招聘せられ渡印、
日本畫の筆を揮ひ、又同國「カルカッタ」官立美術學校に東
洋畫教授を囑託せられ、滯印二年歸朝、滯印中は大聖佛陀
の遺跡を巡遊し當年佛教美術に就て研究す、東京本所區駒
込上宮土前町三

勝 野 久 實 △東京、鑄金、明治四五年三月
美術學校鑄金科卒

桂 米 次 郎 號 光 春 明治四年九月東
京府生、金屬彫刻業、彫金、師豐川光長、美術協會委員、
彫工會委員、金工協會委員、國華俱樂部員、各會受賞品を

金 田 研 號 菊 所 嘉永四年一〇月
一二名古屋生、畫家、南畫、師法眼高嵩谷、美術協會
員、大阪東區玉造元伊勢町八〇二

金 山 平 三 △兵庫、美術學校洋畫科助手、
洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒、研究の爲め佛國
に赴く

金子 伊勢三郎 號 春 暉 明治六年三月八
埼玉縣生、畫家、日畫(狩野)、師萩原春山、巽畫會員、
埼玉縣大里郡明戸村上増田九五〇

金子 篤 壽 △京都市立染織學校長、京都高工
學校講師、正七、關西美術會員、京都上京區釜座通榎木町上
店、美術協會員、國華俱樂部員、東京京橋區南傳馬町三
の二三、電京橋二

金子 馬 治 號 筑 水 △明治三年信濃
國生、早稻田大學教授、東京專門學校卒、獨逸ライプチヒ
大學(哲學科)に遊學「ドクトル・デル・フイロソフイー」の學
位を受、東京牛込區新小川町三丁目

金子 泰 △大阪府立四條畷中學校教諭、
日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒

金子 政次郎 △圖案家、トモエ會員、圖案會員
東京麹町區平河町四の一三

金子 堅太郎 號 溪 水 △嘉永六年二月
四筑前國生、樞密顧問官、從二、勳一、子、日月會頭
金工協會頭、織物協會頭、窯業協會頭、美術協會副會頭、日本
畫會、巽畫會、彫工會等の名譽會員、東京麹町區一番町三
〇、電番町七〇

金子 朔太郎 號 素 水 明治一四年八月
六一

一四横濱生、畫家、日畫、三八年七月美術學校日畫科卒、異畫會員、研精會員、東京府北豐島郡葉鳴町二の一七

金澤梯次郎、△北海道、洋畫、明治三四年七月美術學校洋畫科卒(在米國)

金澤重治、△東京、洋畫、明治四五年三月美術學校撰科卒

金刺森太郎、△司法技師、建築、工學士、正七、建築學會員、大阪控訴院建築場内

金島政、號、桂華、明治二六年六月二六廣島縣生、畫家、日畫(四條)、師平井直水、異畫會員、大阪繪畫青年會員、大阪北區小松原町三八〇

金森觀陽、△畫家、日畫、大正美術會員、大阪東區石町一の三〇

金森南耕、明治一三年二月二五東京生、畫家、日畫(四條)、師金森南塘、尾形月耕、日月會幹事、各展覽會にて屢々受賞、東京牛込區西五軒町二一

金杉仲子、號、紫玉、明治一九年八月千葉生、女子商業學校教員、日畫、師端節紫川、河鍋曉翠、三七年三月女子美術學校日畫科卒、東京神田區南甲賀町一、電本局三一〇

金杉英五郎、號、極到、△醫博、研精會副會頭、東京神田區南甲賀町一、電本局三一〇

兼松龜吉郎、號、蘆門、元治元年七月二七名古屋生、畫家、南畫、師中野水竹、神保木石、菅原白龍、中央南宗畫會理事、著書『日本畫沿革史』、竹田と華山』、竹洞と梅逸』等、京都上京區出町相生町牧野信方

兼子英太郎、號、雲英、明治二二年一月茨城縣生、畫家、日畫(四條及南北合法)、師垣内雲麟、

六二

倉石松敏、東京本郷區金助町二五飯島方

兼重梅子、號、暗香、明治五年三月一五山口縣生、畫家、南畫及油畫、師本多錦吉郎、野口小巖、美術協會員、日本畫會員、日英博覽會にて銅賞其他各畫會にて受賞、東京赤坂區青山北町六の四二

兼本俊興、號、春篋、安政二年七月一八出雲國生、畫家、南畫、師田能村直入、南畫協會幹事、各所展覽會受賞數度、京都川端通死神橋北入

唐杉久彦、號、梧竹、文久三年五月一九熊本生、漆工業、乾漆、美術協會員、漆工會員、國華俱樂部員、漆工競技會を始め内外博覽會にて數回受賞、多年漆液利用の新局面を研究し一種の乾漆を發明し製作に従事す、東京本郷區西須賀町一一

鐵田彌壽治、△德島縣生、美術學校教授、工藝化學、從七、日本寫真會員、東京牛込區天神町八五

蒲生俊武、△岐阜、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒

蒲生鐵男、△福岡、影金、明治四三年三月美術學校金工科卒

蒲生明、明治一八年六月一五埼玉縣生、影金業、メタル帽章及卸型製造、金工協會員、東京麹町區飯田町三の二〇

蒲生守俊、△福島、日畫、明治四〇年三月美術學校日畫科卒

掛布良胤、明治二七年一月一〇愛知縣生、畫家、洋畫(水彩)、師野崎兼清、名古屋新古美術品展覽會にて銀牌を得、名古屋東區黒門町八八

鍋木健一、號、清方、明治一一年八月

三一東京生、畫家、日畫(浮世繪)、師水野年方、烏合會員、美術協會員、異畫會員、第三回文展褒狀、第四回三等賞、第五回褒狀、其他展覽會にて受賞多し、東京本郷區龍岡町一五

鍋木武輔、號、華國、明治元年一月二二愛知縣生、銀行員、南畫、師渡邊小華、愛知縣渥美郡田原町一二、電七

笠井愛次郎、△工學士、建築、建築學會特別會員、東京小石川區若荷谷町八一

笠原敏郎、△陸軍技師(經理局勤務)、建築學會員、東京赤坂區一ツ木町六三

柿崎與三郎、號、翠章、明治四年七月一七青森生、畫家、日畫、師川端玉章、天真會員、東京下谷區南大門町二

龜岡末吉、號、掬泉、慶應元年一月四前橋生、京都府技師、古社寺保存會調査囑託、京都府及滋賀縣古社寺修理監督技師、大谷派本願寺顧問技師、日本建築、正七、明治二七年二月美術學校日畫科卒、建築學會員、美術協會員、既設作品の主なるもの、京都市忠魂堂、同市今宮神社攝社疫神社、同市仁和寺靈明殿、同市東本願寺勸修門、岡山吉備津社神饌所社務所等、日本建築は美術學校卒業後二九年二月日光廟の修理に從事したるを始とし、古社寺保存會の囑託員として、普く全國の古社寺古建築物を調査研究する十有餘年、日英博覽會にて平等院鳳凰堂、其他古建築物模型製作監督により名譽賞(デプロマ・オブ・オナー)を受、京都上京區吉田町神樂岡三

龜田徳太郎、△彫刻、明治二七年七月美術學校彫刻科卒、京都上京區武小路室町四

龜山克己、號、長陵、明治一三年八月

二四東京生、畫家、洋畫、師寺崎廣業、川村清雄、三八年七月美術學校洋畫撰科卒、東京牛込區矢來町四

龜山喜太郎、△香川、漆工、明治四二年六月美術學校漆工科卒

龜山金治郎、號、香雲、明治三年一〇月二六栃木生、私立下野中學校教員、日畫(四條)、師青木香菴、圖畫教育會栃木縣支部幹事、宇都宮旭町二の三四二二

上泉秀明、號、秋月、明治一八年八月三〇米澤生、寫真師、寫真研究會員、米澤市明神堂前

上地逸太郎、號、天逸、明治一六年一月二三三重縣生、意匠圖案、師福地天香、著書『圖案の教師』其他二三種、宇治山田市本町二九

上妻欽太郎、號、陽年、明治一六年四月二三熊本縣生、畫家、日畫、師鈴木松年、異畫會員、京都繪師室町東入

上坂松吉郎、明治一二年八月一五石川縣生、漆器彫刻業、漆工會員、全國生産品博覽會有功銅牌等受領、石川縣江沼郡山中村四一

上坂雅之助、號、一峰、明治一〇年五月一二京都生、畫家、日畫(四條)、師森川曾文、山元春舉、寺崎廣業、異畫會員、東京本橋區箱崎町四の一

上條實也、號、翠峰、明治一二年四月一六生、畫家、日畫(四條)、師吉田董峰、美術協會員、長野縣南安曇郡倭村北大妻一二五

神原岩次郎、△香川、圖案、明治四五年京都高工學校圖科卒

神林岩次郎、號、默蓮、嘉永元年三月九江戶生、繪繪業、漆工會員、關龍世界博覽會にて賞牌受領

六三

東京麻布區藤元町一〇三三

神戶 寬治 號 雪汀 明治八年八月一
金澤生、漆工業、蒔繪及漆繪、大阪漆工青年會、大阪
南區南船屋町二七六

神戶 直三郎 號 凌雪 明治四年一〇月
七名古屋生、畫家、日畫、師今尾景年、橋本雅邦、美術
協會員、二葉會、美術會、受賞品を大別すれば銀牌一箇
銅牌二箇、東京府豊多摩郡澁谷町中澁谷一〇

神田 香巖 號 容安 安政元年二月二
四京都生、京都帝室博物館學藝委員、京都上京區室町今出
川北入築山北半丁二

神津 港人 長野、洋畫、明治四五年三月
美術學校洋畫科卒、東京本郷區迫分町香雪軒

神津 和文治 號 華外 文久三年九月二
○信濃國生、畫家、南畫、師瀧和亭、美術協會員、長
野縣北佐久郡志賀村

神谷 邦淑 號 舞鶴海軍經理部建築課技師、
正六、建築、建築學會員、京都府新舞鶴北吸官舎乙六
神谷 穀 號 櫻香 慶應元年五月一
六江戸生、畫家、日畫、師松本楓湖、美術會幹事、東京下
谷區下根岸町三九

神谷 甚一 號 一郎 東京、彫金、明治四二年三月
美術學校金工科卒、東京本所區二葉町三三村松第二工場内
神矢 教親 號 高知、金工、美術學校工藝化
學部助手、明治四五年三月美術學校金工科卒
神子 鐵雄 號 東京、洋畫、明治三六年七月
美術學校洋畫科卒
神坂 吉隆 號 雪佳 東京、美術工藝

六四

學校教諭、從七、圖案、師岸光景、美術協會員、京都美
術協會員、京都上京區新町榎木町下

神阪 小三郎 號 春圃 明治一〇年六月
二三大阪生、畫家、日畫(圓山)、師高谷草圃、浪華青
年畫會員、大阪西區江戶堀北通二の八

神木 猶之助 號 鷗津 東京生、雜誌
斷主筆、藝術の批評及南畫、鑑賞雅會幹事、美術會終身
會員、編著『妙蹟圖録』『同圖傳』『古畫真髓』『華棹尺牘』
『東洋畫解』『藝術鑑賞論』等、東京淺草區今月町三、電下谷
一〇七九

神樂江 熏 號 卷石道人 文久三年八月
一四播磨國生、漢學教授、南畫、師中四耕石、詩情發する時
のみ畫筆を弄す、素人協會員、東京牛込區築土八幡町三九
櫻野 南陽 號 京都、畫家、日畫、第二回
文展にて三等賞を受

柏原 孫左衛門 號 漆器商(商號黑江屋)、美術協
會員、京都美術協會員、圖案會員、東京日本橋區通一の一八
電本局二七四、長八一四、四七三六

柏倉 善十郎 號 雪章 明治一二年四月
一山形縣生、農業、日畫(圓山)、師川端玉章、天真會
員、山形縣東村山郡豐田村岡一七

柏木 正賢 號 神奈川、日畫、明治四四年三
月美術學校日畫科卒

梶 佐太郎 號 安政六年三月二尾張國生、七寶
燒製造業(商號寶玉園)、內外博覽會にて金、銀、銅牌受領、
神戸市并合町一九一

梶川 儀夫 號 雨城 明治九年九月二
○千葉縣生、日畫、師橋本雅邦、川端玉章、三二年七月美

校日畫科卒、鹿兒島市加治屋町八九

梶田 郁 號 賀陽宮邸建築
部勤務、明治四五年京都高工學校圖科卒

梶田 錠次郎 號 半古 明治三年六月二
五東京生、畫家、東洋畫、師鍋田玉英、美術會顧問、
東京市牛込區天神町七七、電番町九〇四

梶野 定吉 號 玄山 明治元年七月一
四石川縣生、畫家、日畫、師垣内右隣、鈴木松年、京都
下京區新町通五條上

梶山 峰藏 號 文英 明治一七年七月
二八京都府生、畫家、日畫(四條)、京都美術協會員、京
都鉄屋町御池上ル白山町

梶間 晋二郎 號 文洋 明治七年八月八
山口縣生、下關市立商業學校教員、日畫(四條)、師幸野
模嶺、下關畫會幹事、下關市細江畔一七三九

鳴下 中雄 號 晁湖 明治三二年二月
二五東京生、畫家、日畫(容齋派)、師松本楓湖、美術會
評議員、紅兒會、第一回文展にて三等賞、美術會にて銀牌
二回銅牌等受賞多し、東京本所區中之郷竹町三七

數見 定一 號 東京、彫刻、明治四五年三
月美術學校彫刻科卒

菅野 梁川 號 東京、畫家、南畫、師高森碎
巖、東京下谷區入谷町三七

菅野 瀧雄 號 福井、圖案、明治四四年京
都高工學校圖科卒

菅野 眞 號 明治六年二月一二仙臺生、元美
術學校助教授、都市修飾、日英博覽會之際英國に渡航し、
歐洲を巡遊す、東京本郷區駒込神明町三四一

上

幹山 傳七 號 松雲亭 弘化三年四月八
近江國生、陶器製造販賣、製陶、師先代幹山傳七、内外
國博覽會にて名譽賞、金賞、銀賞、銅賞數回其他共進會等にて
受賞太多し、吾樂會員、京都下京區清水三丁目、工場同
區今熊野町柳之森三七、營業所東京京橋區八官町七

萬富 三號 成 明治一七年二月
二五岐阜縣生、岐阜縣師範學校教諭、洋畫(油繪、水彩)、
師吉宮豪谷、岐阜市稻葉駒爪町一丁目

萬鐵五郎 號 岩手、洋畫、明治四五年三
月美術學校洋畫科卒、フニウザン會員

賴富 新吉 號 香川、彫刻、明治三〇年七
月美術學校彫刻科卒

四谷 正美 號 彫金、明治三二年七月美術學
校彫金科卒、東京下谷區西黒門町二三

米井 順平 號 錦泉 明治一三年六月
六岡山縣生、玉島女學校教諭、日畫(四條)、洋畫(水彩)、
師松里政登、梶村義山、玉島圖畫研究會顧問、岡山縣淺口
郡玉島町四五七

米原 雲海 號 明治二年八月二二島根縣生、彫
刻家、美術審查員、木彫牙彫及銅像原型、師高村光雪、
彫工會第六部長、美術協會委員、日本彫刻會員、金、銀、銅賞
を受けたる事十數回、文展にて第一回、第二回共に三等賞、第
三回は褒狀を得、東京本郷區駒込曙町一六

米村 米吉 號 明治一〇年四月一四金澤生、鏤
起業、彫工會員、東京淺草區北元町九

六五

米山 昇 號 翠 雨 △畫家、日畫、
美術協會員、東京牛込區若宮町二〇
橫井 禮 一 △愛知、洋畫、明治四四年三
月美術學校洋畫科卒、赤雲會同人
橫井 謙 介 △南滿洲鐵道會社土木技師、建
築、工學士、建築學會員、大連市天神町五二
橫濱 勉 明治一二年一〇月一五陸中國生、
司法技師、建築、從六、工學士、三九年七月東帝大工科大
學建築科卒、建築學會員、工事設計に成るもの大阪控訴院
東京日本橋森岡鐵店、盛岡市九十銀行等、東京府豊多摩郡
澁谷町上澁谷一三五
横地 意 保 號 碧 巖 嘉永六年一〇月
九名古屋生、畫家、日畫(寫生)、師村瀨雪峽、大橋翠石、加
藤秋村、名古屋中區新榮町三の二四
横地 清次郎 號 一 畝 (別號杏郷)明治
四年九月二〇名古屋生、學習院教授、兼東京女高師範學校
講師、從六、勳六、功五、文學士、日畫及美術評論、
師荒木寬敏、三一年七月東帝大文科大學國文科卒、日本畫
會員、美術協會員、圖案協會理事、讀畫會評議員、鑑賞雅會幹
事、東京本郷區駒込追分町六二
横河 民 輔 △建築業、建築、工學士、建築學
會員、工事設計に成るもの帝國劇場、三越吳服店等其他多
し、東京芝區高輪南町四三、電芝一二五八、横河工務所、
日本橋區楓河岸八、電長浪花二一〇、同五二八一
横田 蝶 子 號 小 連 明治一七年一二
月九名古屋生、畫家、師田中賴章、三五年女子美術學校
卒、國香會女子部幹事、美術協會にて銅賞(三回)、東京美
術展覽會及び、東京勸業博覽會にて銅賞を受、東京府豊多
摩郡澁橋町柏木
横田 武太郎 號 松 壽 明治八年七月一
日米澤市生、山形縣工業學校教諭兼米澤高工學校囑託、圖
案、三三年七月東京高工學校圖科卒、米澤絹織物組合研究
部顧問、米澤市福田町一六〇三
横田 秀 一 號 秀 美 明治一二年九月
二九東京生、彫刻、鑄金、師海野美盛、三八年七月美術學
校鑄造撰科卒、東京麹町區下二番町四〇、電番町一一六一
横田 周 助 號 陰 月 明治一三年一〇
月一四福島縣生、洋畫(油繪、水彩)、師小林萬吉、福島
縣安積郡郡山町中町一四
横山 晴 雄 △群馬、圖案、明治四五年京都
高工學校圖科卒
横山 富 子 號 松 琴 安政二年九月六
長門國生、畫家、日畫(南北合法)、師法橋金戴、小野橋、
西山完瑛、京都全國繪畫共進會三等賞を受、神戶市兵庫
北仲町一九
横山 達 三 號 健 堂 (別號黑頭巾)
明治五年三月山口縣生、文學士、雜誌記者、東帝大文科
國史科出身、著書頗多し、東京本郷區駒込神明町三四三
横山 爲 雄 △東京、日畫、明治三六年七
月美術學校日畫撰科卒、東京府北豐島郡三河島村九九〇
横山 常 五 郎 明治二年七月長野縣生、奈良女
高師範學校教諭、從七、第五回勸業博覽會教育部にて銅牌
を受、初等教育中等教育に關する教科用書を著す事四種、
奈良市内侍原町
横山 八十七郎 △建築技師、建築、Bachelor of
Architecture (Columbia University.) 建築學會員、東京

麴町區五番町一八

横山 鹿 吉 △三菱合資會社技師、建築、建
築學會員、東京小石川區大塚坂下町一二二
横山 新太郎 △神奈川、日畫、明治三五年
七月美術學校日畫撰科卒
横山 秀 磨 號 大 觀 △明治元年八月
水戸生、畫家、美術審査員、日畫、二六年七月美術學校日
畫科卒、巽畫會顧問、研精會特別會員、繪畫研究の爲め三
六年印度に遊び、三七年歐米各國に航し、四三年清國を歴遊
す、東京下谷區池之端茅町二の一九、電長下谷五〇八二
横江 嘉 純 △明治二〇年五月三富山縣生、
彫塑、美術學校彫刻科在學、三九年三月京都美術學校彫刻
科卒、京都美術協會にて銅牌二回受領、東京府北豐島郡
瀧野川村田端二二二
横江 榮 雄 號 春 正 明治一四年一二
月二五福島縣生、畫家、雙啞學校教員、日畫(狩野派)、
師結城正明、狩野友信、川合玉堂、三一年三月雙啞學校圖畫
科卒、巽畫會員、彩雲會員、山岳會員、美術協會出品二等賞
を受、四一年七月 皇后陛下育啞學校(行啓の際御前揮毫
の光榮を賜ふ、東京小石川區大塚仲町三六
吉井 龜 助 號 鶴 齋 明治一二年二月
二六島根縣生、漆器製作業、漆技、漆工會員、漆工會出
品三等賞を受、島根縣簸川郡今市町一五六九
吉井 茂 則 △通信技師(經理局繕課長)、
建築、從四、勳三、工學士、建築學會員、東京牛込區
市ヶ谷加賀町一の二〇、電番町一八三〇
吉原 義 雄 號 雅 風 明治一五年一一
月二崎玉縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二葉

會評議員、研精會評議員、二葉會、研精會等にて銀、銅章以

下數多受領、東京府北豐島郡日暮町元金杉一一七八
吉富 朝次郎 號 豪 谷 明治元年二月一
七岡山縣生、岡山縣師範學校教諭、洋畫、日畫、師淺井
忠、田村宗立、二三年三月京都畫學校洋畫科卒、圖畫教育會
員、圖畫共勵會理事、關西美術協會幹事、吉富洋畫研究所主
任、初等中等圖畫教育に關する著述四種、岡山三番町一三
吉富 四 郎 號 永 波 明治九年一一月
四山口縣生、防長新聞繪畫擔任記者、日畫(狩野) 師小林
永興、狩野忠信、山口縣吉敷郡山口町後河原一三〇
吉岡 修 號 華 堂 明治七年七月京
都生、畫家、日畫(南北、四條)、師岸竹堂、竹内栖鳳、寺崎
廣業、研精會幹事、巽畫會員、二葉會員、天籟會委員、二葉
會にて一等賞、研精會にて銀賞二回、日月會にて日月賞、名古
屋關西府縣聯合共進會にて銅賞を受、東京本郷區駒込動坂
町三五五
吉岡 育 芳 號 芳 陵 萬延元年九月三
江戶生、美術評論、東京府豊多摩郡澁橋町柏木一二八
吉岡 芙 蓉 號 班 嶺 明治八年一一月
一甲府生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、天真會員、
巽畫會員、東京下谷區谷中清水町一七
吉川 格 平 △(舊姓相馬)新潟、漆工、明治
四〇年三月美術學校漆工科卒
吉川 謙 司 號 磐 手 明治一八年四月
一奈良縣生、畫家、日畫(四條)、師御船綱手、日本畫
會員、大日本産業博覽會銅牌受領、大阪府東成郡安立町
五の二七五
吉川 耕 溪 △東京府、畫家、日畫、第二回

文展入選、巽畫會員、大正美術會員、大阪北區河内町二の二
吉田 白嶺 明治四年二月一九東京生、彫
刻家、彫塑、獨學業を成す、日本彫刻會員、東京本郷
區駒込富士前町六一

吉田 苞 △岡山、洋畫、明治四一年三
月美術學校洋畫科卒、東京芝區白金嶺町三九

吉田 平三郎 號 金年 明治四年六月二
京都生、塗繪製販賣業、勳八、畫を八木雲溪に學、
京都漆器組合評議員、漆工會員、京都美術協會終身會員、勳
業博覽會共進會等にて賞牌數多受領、京都市姉小路通町入

吉田 長三郎 號 長春 明治一六年一
月三京都生、蒔繪師、父吉田春光に學、漆工會員、京都
漆工青年會幹事、第五回三府聯合漆工青年競技會にて金牌
受領、京都上京區御幸町姉小路三三五二

吉田 柳造 號 董峰 嘉永元年二月七
磐城國生、畫家、日畫(南北合派)、師佐藤秋嶺、結城正明、
池田琴峰、今尾景年、美術協會員、巽畫會員、各繪畫展覽會
等にて銀牌二箇銀賞二箇受領、大阪東區兩臂町二の一五

吉田 芳太郎 號 友芳 明治一八年一月
六大阪生、工業用品商、美術寫真、日本寫真會員、浪速寫真
俱樂部員、大阪西區西道頓堀通三の一九、電四長一六六九

吉田 芳造 號 芳明 明治八年四月一
東京生、彫刻家、牙彫及木彫、師島村俊明、美術協會委
員、彫工會商議員、受賞品は彫工會(金賞二箇、銀賞數箇、銅
賞數箇)、美術協會(銀、銅賞數箇)内國博覽會、巴里萬國博覽
會、聖路易萬國博覽會(二等賞、三等賞、數箇)、東京本郷區
駒込林町二〇八

吉田 辰之助 號 立齋 慶應三年一月

吉田 耕造 號 雪畝 明治一〇年二月
六金澤生、畫家、日畫(四條)、師幸野模嶺、橋本雅邦、京
都下立賣油小路四

吉田 悅太郎 號 耕民 慶應二年一〇月
江戸生、木版彫刻業、彫版、師淺井醉古齋、東京木版
彫刻業組合頭取、彫工會副部長、彫工會銀牌、銅牌、東京美術
工藝展覽會銀牌、名古屋新古美術展覽會銀牌等受賞多し、東
京日本橋區濱町二の八

吉田 三郎 號 明治二二年五月二五金澤生、塑
造、師青木外吉、四五年三月美術學校彫刻科卒、東京府
美術工藝品展覽會に出品銅牌を得、東京府北豐島郡瀧野川
村田端一二一

吉田 三五郎 號 三岳 明治一一年一
月七弘前生、津輕塗製造業、漆工會員、津輕塗競技會に
て二等賞を受、青森縣中津輕郡和徳村俊元三〇三

吉田 喜代二 號 登穀 明治一六年一
月一千葉縣生、神官、南畫、師關田華亭、松野霞城、松林桂
月、美術協會員、日本畫會員、東京日本橋區瀧月物町二四

吉田 金吾 號 秋田縣師範學校教諭、明治二
五年二月美術學校特別課程卒

吉田 勇三 號 大分、圖案、明治四五年京都
高工學校圖科卒、大阪土山圖案事務所

吉田 雪子 號 東京、洋畫、第二回及第四回
文展入選、東京小石川區白山御殿町一一〇

吉田 道春 號 安政四年二月朔名古屋生、畫家、
日畫(土佐)、師木村金秋、同好會員、名古屋中區下前津
町二五三

吉田 滿世 號 月湖 明治二年七月二

一九五長生、漆器業、祖先傳來の業を承、日本漆工會地
方委員、奈良漆器組合評議員、内國博覽會及外國博覽會
にて銀牌三回、銅牌四回、名譽賞等受領、奈良市今小路
一一

吉田 彌太郎 號 東京、明治三九年八月美術學
校漆工科卒

吉田 孫一 號 明治一十九年三月五日京都府生、
畫家、日畫及洋畫、師竹内栖鳳、菊池芳文、山元春舉、中村
不折、滿谷國四郎、三七年三月京都美術工藝學校繪畫科卒、
東京府豐多摩郡淀橋町柏木三〇九藏田方

吉田 政一 號 鳥取、彫刻、明治四〇年三
月美術學校彫刻科卒

吉田 ふじを 號 明治一十九年一〇月福岡生、畫家、
洋畫、師小山正太郎、太平洋畫會員、第四回文展にて褒
狀を受、三七年より三箇年歐米寫生旅行、東京本郷區駒
込坂町一〇〇

吉田 福彌 號 兵庫、圖案、明治四五年京
都高工學校圖科卒、大阪三越吳服店勤務

吉田 冬彦 號 逸言 明治七年一二月
二名古屋生、畫家、日畫(土佐)、父吉田貞に學、巽畫
會員、同好畫會員、名古屋中區新柳町七の一八〇

吉田 衡文 號 文山 明治一〇年二月
一福井縣生、日畫及洋畫、師川端玉章、島田雪湖、淺井忠
勳七、縣立福井中學校教諭、三二年七月美術學校圖科卒、
福井市日出下町一九

吉田 耕太郎 號 素儷 萬延元年五月二
四佐渡國生、新潟縣立佐渡中學校教員、日畫(四條、南宗)
師坪井雲傳、瀧和亭、新潟縣佐渡郡二宮村石田八八

三東京生、金屬彫刻業、師春島信政 彫工會員、金工協
會員、東京牛込區山吹町二五二

吉田 祥三 號 示羊 明治一七年六月
三〇香川縣生、彫塑、四〇年三月美術學校彫刻科卒、香
川縣琴平

吉田 正七 號 靜岡、日畫、明治三八年七
月美術學校日畫科科卒

吉田 丈之助 號 竹亭 安政三年六月一
五茨城縣生、畫家、南畫、師瀧和亭、茨城縣結城郡水
海道町二八四〇

吉田 秋香 號 明治三年一〇月一八愛知縣生、
畫家、洋畫(油繪、水彩)、師淺井忠、松岡壽、自然畫會員、
ハレ一畫會員、愛知縣海東郡南陽村新茶屋七二

吉田 博 號 明治九年九月久留米生、畫家、
美術審查員、洋畫、師小山正太郎、太平洋畫會幹事、第
二回文展、同第三回にて共に二等賞、同第一回は三等賞を受、
三二年より三箇年歐米留學、三七年より三箇年歐米寫生旅
行、東京本郷區駒込坂町一〇〇

吉田 秀男 號 石川、漆工、石川縣工業學校
教諭、明治四一年三月美術學校漆工科卒

吉田 久 號 埼玉、京都府女師學校教員、
明治四四年三月美術學校圖畫師範科科卒

吉田 清二 號 石川、京都府農事試驗所及火
見小學校教師、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

匠家技手、建築裝飾、四〇年、月京都高工學校圖科卒、
 四四年一月日本大博覽會工事計畫設計圖案懸賞應募當撰
 一等賞(金三千圓)を受、東京麹町區山本町一の八荒木方
 吉 嗣 拜 山 △畫家、南畫、左手を以て畫く、
 福岡縣筑紫郡太宰府町
 吉 宗 久 い 子 號 耕 英 明治一九年一二
 月五大阪府生、畫家、日畫(圓山)、師上田耕冲、跡見花蹊、
 彰施會員、大阪東區橫堀町四の五六
 吉 村 英 藏 △大阪、圖案、明治四一年京
 都高工學校圖科卒
 吉 村 繁 藏 號 直 章 文久元年三月六
 日學生、學校教員、日畫(四條)、師深田直城、堺市材木町
 東二丁六〇
 吉 野 富 雄 △千葉、熊本市立工業徒弟學校
 教諭、漆工、明治四三年三月美術學校漆工科卒、熊本縣
 飽託郡本山村
 吉 野 誠 號 魔 琴 明治一七年一二
 月三千葉縣生、農業、寫眞、師藤代市之助、加藤精一、棚
 橋照吉、久野徹輔、寫眞研究會員、各所寫眞展覽會に於て
 金牌、銀牌、名譽金牌等を得たること數回、千葉縣東葛飾郡
 八木村芝崎
 吉 野 壽 吉 號 京 信 明治一一年一月
 二東京府生、和歌縣立新宮中學校教諭、日畫(狩野)、師狩
 野友信、山田成章、岡田秋嶺、日本畫會員、日月會員、繪畫共
 進會にて二等賞二回及銅牌を受、和歌山縣東牟婁郡新宮町
 吉 町 太 郎 △九帝大工科大学教授、工博、
 從五、勳六、建築、建築學會特別會員、福岡縣箱崎宮之前
 二七六九

吉 益 録 而 五 郎 號 耳 童 慶應三年九月一
 ○金澤、畫家、油繪、師川村清雄、大阪西區北堀江
 上通二の一七一
 吉 澤 仲 △東京、漆工、明治三二年七月
 美術學校漆工科卒、東京赤阪區田町五の一〇
 吉 澤 喜 作 △東京、洋畫、明治三五年七
 月美術學校洋畫科卒
 吉 澤 善 次 郎 號 楓 臺 明治二一年一〇
 月八東京生、畫家、日畫、師松本楓湖、梶田半古、巽齋
 會員、東京府豐多摩郡中津谷町大和田一七六
 吉 崎 城 之 助 號 北 陵 明治九年一月二
 ○青森生、畫家、日畫(土佐)、師川邊御橋、東京下谷區
 谷中初音町四の一
 吉 本 雅 美 號 寬 亭 明治一八年一〇
 月一五東京生、畫家、日畫、師荒木寬友、山中古洞、鳥合
 會員、遠東新報社在勤、大連市警備町五八巴屋内
 芳 川 廷 輔 號 流 外 明治元年四月五
 埼玉縣生、長野縣師範學校教諭、日畫、師橋本雅邦、川
 端玉章、巨勢小石、三五年七月美術學校特別課程卒、『明
 治の華』綾錦、『曉齋逸話』『模倣畫初歩』『同參考書』『同練
 習帖』『塗板畫練習法』等の著あり、長野市箱清水七一
 芳 田 勤 治 △愛知縣知多郡常滑町立陶興學
 校長、圖案、明治四〇年京都高工學校圖科卒、愛知縣知
 多郡常滑町
 善 最 操 △神奈川、圖案、明治四四年
 京都高工學校圖科卒

た

田 井 正 子 號 (尾形月三) 明治二〇
 年九月一〇東京生、畫家、日畫、初歩を父月耕に承け餘は
 獨立研究、日月會員、巽畫會員、美術協會にて銅賞(二回)、
 日月會にて日月賞、文展にては、第二回にて三等賞、第三回、
 第四回共に褒狀を受、東京牛込區津久土前町三〇
 田 井 正 之 助 號 (尾形月耕) 安政六年
 九月一五江戸生、畫家、日畫、師承なし、美術協會員、内
 外國博覽會及展覽會にて銀牌、銅牌二十餘箇を得、東京牛
 込區新小川町三の一四
 田 部 東 溟 明治二六年一二月七東京生、畫
 家、日畫(狩野)、師平林探溟、美術協會員、日本畫會員、
 東京芝區新錢坐町一六
 田 近 岩 彦 號 竹 村 元治元年四月二
 八豐後國生、畫家、南畫、師田能村直入、京都府畫學
 校南宗科卒、文展にては第二回、第三回共に三等賞、第四回
 第五回、第六回には同じく褒狀を受、京都下京區宮小路夷
 川上三五八
 田 川 善 近 號 春 莊 安政三年八月一
 九攝津國生、畫家、村長、勳七、南畫、師森琴石、美術
 協會員、日本畫會員、兵庫縣川邊郡小濱村安倉七四、振替東
 京五〇七一
 田 川 豐 號 豐 山 明治一四年七月
 二〇大分縣生、中學政馬學館教諭、日畫及洋畫、師岡田
 秋嶺、岡田三郎助、長崎縣東彼杵郡大村日向平
 田 邊 至 明治一九年一二月二一東京生、

美術學校助手、洋畫、四三年三月美術學校洋畫科卒、第
 四回、第六回文展にて共に褒狀、第一回勸業博覽會にて二等
 賞、同第二回にて三等賞を受、東京小石川區指ヶ谷町一九
 殿淨院
 田 邊 長 次 郎 號 寬 來 明治元年六月二
 ○東京生、彫刻業、介甲牙角、木竹玉石、師淺井寬哉、
 彫工會員、彫工會にて三等賞(二回)受領、東京下谷區入谷
 町二四
 田 邊 琢 爾 號 松 嶺 明治三年九月一
 六廣島縣生、私立廣島女學校教師兼實業中學校教師、日畫
 師里見雲嶺、廣島市猿猴橋町八
 田 邊 孝 次 號 浦 仙 明治二三年四月
 一一金澤生、美術新報記者、彫塑、大正二年三月美術學
 校彫刻科卒、東京本郷區動坂町三二七水谷方
 田 邊 湖 郎 △京帝大理工科大学教授、從四
 勳三、工博、建築、建築學會特別會員、京都上京區淨土
 寺真如堂北入、電四一二〇
 田 邊 毅 △廣島、圖案、大阪高橋圖案所、
 明治四五年京都高工學校圖科卒
 田 邊 淳 吉 明治一二年二月二六東京生、建
 築技師、建築、工學士、三六年七月東帝大工科大学建築科
 卒、建築學會常議員、東京勸業博覽會にて二等賞を受、
 東京本郷區西片町一〇、ろ二三
 田 中 猪 太 郎 △寫眞製版業、寫眞研究會員、
 彫工會員、東京京橋區南鍋町一の一、電新橋一一〇五、
 工場麹町區有樂町一の五、電本局長二二八〇
 田 中 一 華 △京都、畫家、日畫、第一回
 文展入選

田中豐太郎 △大藏省臨時建築部技手、建築學會員、東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷一六九七
田中豐輔 △大倉土木組大阪支店長、建築工學士、建築學會員、大阪東區谷町一の一九八、電東三四八六

田中寅三 △滋賀、洋畫、明治三二年七月美術學校洋畫撰科卒
田中親光 △東京、東京美術家技師、彫刻明治三七年七月美術學校彫刻撰科卒、東京本郷區駒込神明町三一二

田中良 △廣島縣、洋畫、帝國劇場背景部員、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、第四回文展にて褒状を受、東京府豊多摩郡澁谷村中澁谷七〇四
田中良次郎 號 良雄 明治一三年八月一〇東京生、彫刻家、大理石彫刻、三九年四月美術學校彫刻科卒、東京四谷區荒木町一三

田中和一 △東京、日畫、明治三六年七月美術學校日畫撰科卒
田中寬 △熊本、巖手縣立一之關中學校教員、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

田中大治郎 號 賴璋 (舊號賴章) 明治元年八月一〇島根縣生、畫家、日畫(圓山)、師森寬齋、川端玉章、美術協會員、巽畫會員、日本畫會員、川端畫學校教員、天眞會幹事、文展にては第二回、第三回、第六回共に三等賞、第四回は褒状、美術協會にて銀賞三回、巽畫會にて銀賞、日英博覽會にて銀賞を受、東京神田區駿河臺鈴木町一一、電本局四九三七

田中代藏 明治一七年一月二新瀉縣生、漆卒、寫眞研究會員、東京勸業博覽會二等賞受領、東京四谷區町四八
田中雅行 △(舊姓植松) 京都、日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒

田中不二 △東帝大工科大学教授、正六、建築、建築學會特別會員、東京小石川區高田豐川町三九の一
田中後治 △新潟、農商務省實業練習生、鑄造、鐵型、明治二八年七月美術學校鑄造科卒、鑄金會員、彫工會員、(在米國)

田中康暉 號 祥雲 明治元年二月一、二大阪生、彫刻業、木彫、師高村光雲、美術協會銀賞受領、大阪南區天王寺夕陽ヶ丘町
田中鐵齋 △畫家、日畫、美術協會員、日本畫會員、二葉會員、東京芝區三田綱町一

田中菊之助 號 月耕 慶應元年九月二、二京都生、京都三越吳服店染業部工部顧問、日畫(四條)後素協會員、日本畫會員、京都新古美術品展覽會にて銅牌、全國繪畫共進會にて三等賞二回を得、京都上京區車屋町南

田中金藏 號 墨外 明治一〇年三月八福井縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二葉會員、巽畫會員、東京芝區金杉新濱町一、電芝一〇三二
田中金三郎 號 六峰 文久三年一二月二、五江戶生、續業、日畫(四條、圓山)、師鈴木誠一、山本光一、川端玉章、天眞會員、東京神田區美土代町五の二

田中銀子 號 雪峻 元治元年二月水戸生、畫家、南畫、師猪瀬東寧、日本畫會員、京都南宗畫會員、中央南宗畫會員、名古屋中區南久屋町五の三
田中雄一 號 硯海 明治一五年二月

器業、漆工會員、新瀉縣佐渡郡河原田町諏訪六九
田中忠彦 △廣島、畫家、日畫、明治三五年七月美術學校日畫撰科卒、研精會員、廣島觀音町六五八
田中經太郎 明治二年二月一〇京都生、麻製漆器、北野堆朱製造販賣業(商號雙龍堂)、漆工會員、日英博覽會にて銀賞を受、麻製堆朱は舊來の堆朱塗の缺點を補はんが爲め多年苦心の結果發明したるものなり、京都北野天満宮島居前、電長五二〇二

田中直 號 柳江 慶應二年一月一九京都生、畫家、南畫、師行徳玉江、大阪南區安堂寺町四の五二
田中宗祐 號 元宗 元治元年七月八、京都生、大佛師、木彫、先代宗祐に學、京都美術彫刻組長、京都漆工會幹事、彫技會幹事、京都美術會名譽金牌以來内外博覽會にて受賞金牌三、銀牌一七、銅牌三二、三七年農商務省の囑託により北清及南清地方を視察す、京都下京區寺町四條上

田中卯之助 號 松齋 慶應三年九月京都生、京都華族繪畫講習所教師、日畫(鈴木派)、師鈴木松年、京都美術協會員、京都下京區下寺町五條本覺寺境內六號
田中卯吉 △(舊姓入船)香川、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

田中國廣 △廣島、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒
田中松太郎 號 半七 文久三年八月三、越中國生、東洋印刷株式會社技師、寫眞及寫眞製版、維也納府 Photographische Lehr und Versuchungs Anstalt、

一七〇川縣生、彫塑、三九年四月美術學校彫刻科卒、彫工會員、作品に仁禮海軍大將銅像、鳩山法學博士半身像等あり、東京本郷區駒込林町一七七
田中光顯 號 青山 △天保一四年九月二五高知生、大臣禮遇、正二、勳一、伯、漆工會頭、美術協會副會頭、彫工會名譽會員、巽畫會名譽會員、東京小石川區關口臺町二九、電番町三六九四

田中實 △建築技師、建築、工學士、建築學會員、東京麻布區材木町二二
田中松峰 △京都、畫家、日畫、師鈴木松年、京都富小路四條南入
田中省三郎 號 幽峰 文久元年八月一、三京都生、畫家、日畫、市俄古世界博覽會にて名譽賞状を受、三三年五月二條離宮修繕に際し蒼天井極彩色の命を受、著書數種あり、京都下京區東鹽小路町三

田中賑吉 △埼玉、金工、明治四五年美術學校金工科卒
田中本吉 號 卓峰 萬延元年二月七、越後國生、畫家、洋畫(油繪、水彩)、師小山正太郎、舊明治美術會員、新潟縣古志郡六日市村渡澤一九八五
田中善之助 △京都、洋畫、第二回文展入選、京都葎屋町一條下

田中助太郎 號 雪窓 明治四年六月一、福岡生、鹿兒島縣川邊中學校教諭、彫像及日畫(析衷)、師洋人ビシヨップ、塚本梅雪、川端玉章、狩野友信、巨勢小石、橋本雅邦、二七年美術學校彫刻科卒、鹿兒島縣川邊郡川邊村野間上野方
田南岳嶂 明治九年一月三三重縣生、畫

家、日畫(四條)、師幸野模嶺、久保田米僊、野村文學、美術協會員、巽畫會員、日月會員、日本畫會員、美術協會等にて銀賞、銅賞を受くる數回、第六回文展にては褒狀を受、東京芝區三田小山町五

田村外喜雄 號 彩天 (舊姓福島)石川、日畫、東京神田今川橋松屋吳服店意匠部員、明治四五年三月美術學校日畫科卒、巽畫會にて銅賞を受、東京本郷區森川町一龍泉館

田村代吉 號 豪湖 明治六年二月二十九新潟縣生、畫家、日畫(南北合派)、師佐竹永湖、日本畫會員、研精會員、研精會にて銀賞、美術協會にて銅賞、日本畫會にて銅賞、第三回文展にては褒狀を受、東京本郷區駒込神明町七

田村鎮 陸軍技師、建築、工學士、建築學會員、東京赤坂區青山南町六の五一

田村宗立 號 月樵 弘化三年八月二〇丹波國生、畫家、日畫(佛畫、南北合法)及洋畫(油繪、水彩)、師僧大願、チャールズ、ヘンリー、ポーレン、明治畫學會員、關西美術院發起者、内外博覽會に於て金、銀、銅牌受賞數十種、京都下京區知恩院三門前

田村福平 號 奕秋 萬延元年二月二淡路國生、陶磁器製造業、美術協會員、發明品の主なるもの彫刻焼、自凝焼、砂金焼、環珩焼、マジヨリカ焼、ピンク赤紫等、内外博覽會にて數回銅牌受領、兵庫縣明石郡明石町大藏谷一四二

田村鐵之助 木版印刷業、美術印刷、東京本所區小泉町七、電本所二六九六

田村英貞 號 石堤 明治九年四月一

田澤昌言 印刷局勤務、圖案、東京芝區神谷町

田崎龍雄 明治一八年五月一〇水月生、金屬品製作業、彫型、師石田光廣、金工協會員、東京本所區新小塚町二一

田崎延次郎 號 翠峰 文久二年二月二七東京生、畫家、油繪、明治一六年一月工部美術學校繪畫科卒、美術同志俱樂部員、太平洋畫會員、東京府豊多摩郡澁橋町柏木一四三

田代常次郎 號 古崖 明治一五年六月二五東京生、畫家、日畫、師梶田牛古、巽畫會員、東京下谷區仲徒町四の四四

田代英虎 號 曉舟 明治一一年一〇月一長野縣生、畫家、貴金屬品圖案業、勳八、師柳澤文眞武内桂舟、金工協會員、東京下谷區仲徒町一の五五

田代清治右衛門 號 法橋 文久二年四月五岩代國生、陶器製造販賣業、製陶(結晶燒、象眼燒)、師野村仁清、美術協會員、福島縣相馬郡中村町三八

田島稻三 號 杉溪 文久三年五月一八飛騨國生、兵庫縣立小野中學校教師、南畫及油畫、南畫を津野梧窓、山岡墨仙に學び、大野幸彦、堀江正章、山本芳翠に油畫を學ぶ、兵庫縣加東郡小野町

田島志一 號 美術書類出版業、國華俱樂部員、東京本郷區湯島天神町一の九九、電長下谷一九八九

田島蕃樹 號 福岡、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

松山生 畫家、日畫、師川端玉章、天真會員、明治繪畫會にて銅賞受領、東京本郷區根津宮永町二八

田村元吉 號 木版印刷業、美術印刷、美術協會員、東京本所區小泉町七、電本所二六九六

田口武夫 號 京部、三越吳服店員、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

田口幸太郎 號 黃葵 明治一十九年九月一東京生、畫家、日畫、師荒木寬政、巽畫會員、東京芝區本芝四の四

田口幸三 號 美洲 岡山、牙角彫明治三七年七月美術學校彫刻科卒

田口眞作 號 明治二〇年五月東京生、畫家、洋畫、師黑田清輝、岡田三郎助、高橋勝藏、鈴木華邨、東京府豊多摩郡澁谷町下澁谷三〇

田口茂一郎 號 米舩 文久三年七月下野國生、支那書畫古玩鑑識、美術協會員、金工協會學藝員、彫工會學藝員、國華俱樂部幹事、明治一七年濟國に遊び餘曲園、蔣翊清、朱研臣、吳翰潭、三徐庚、張子祥の諸名家に親炙し文學、金石學、書法を研鑽し二〇年歸朝、東京小石川區巢鴨駕籠町四四

田雜五郎 號 佐賀、彫金、東京府工藝學校囑託、明治二九年七月美術學校彫金科卒

田淵氏 號 恒義 明治一〇年一月九東京生、畫家、日畫(土佐)、師山名實義、美術協會員、東京淺草區新合町二四

田總百合之助 號 百山 明治五年三月一〇山口縣生、山口縣立萩中學校教諭、日畫(圓山)、師森寬齋、橋本雅邦、山口縣阿武郡萩町安古一一三〇

田平玉華 號 畫家、日畫、巽畫會員、島根縣安濃郡長久村

多賀谷健吉 號 霞村 明治一七年一月二二東京生、日畫、四〇年三月美術學校日畫科卒

多田佐一郎 號 香疇 明治六年六月三〇京都生、畫家、日畫(四條)、師幸野模嶺、京都美術協會員、京都上京區堺町丸太町下橋町九二

多田雄三 號 千葉、日畫、明治三九年六月美術學校日畫科卒

多田光三郎 號 東京、洋畫、明治三七年一月美術學校洋畫科卒

多湖極 號 寒山 明治八年三月松本生、畫家、日畫(美術院派)、師下村親山、松本市大柳町大聖寺、宗三郎 號 宗軒 明治一一年一〇月石川縣生、畫家、北宗畫、三五年七月美術學校日畫科卒、研精會員、前年清國各地を漫遊して歸朝

谷錄太郎 號 東京府女師學校教諭、明治二五年七月美術學校特別課程卒

谷齋一 號 朱冠 明治九年九月二三栃木縣生、畫家、洋畫(油繪、水彩)、三七年七月美術學校洋畫科卒、東京下谷區谷中清水町二〇

谷紀三郎 號 明治一二年二月一一生、女子美術學校教務主任、三二年東京專門學校文學科卒、東京小

石川區雜司ヶ谷町一一六

谷田榮吉 號直明 明治六年二月一

○大阪生、彫刻業、牙木彫刻、大阪東區上本町九の二四二

漆工業、蒔繪を富田幸七に、書を谷口香嶺に學、三八年京

都美術工藝學校描金科卒、漆工會員、京都上京區夷川通

谷口鴨涯 △京都、圖案、圖案研究の爲

め嘗て海外に遊ぶ

六京都生、京都繪畫專門學校教諭兼美術工藝學校教諭、從

七、前美術審査員、日畫、師幸野模嶺、第三回勸業博

覽會にて三等妙技賞、第四回勸業博覽會にて二等妙技賞、龍

世界博覽會にて銀牌、巴里世界博覽會にて金牌、第一回文

展にて三等賞等其受賞多し、京都上京區蘇屋町二條南

谷澤鎮吉 號水石 明治六年九月一

八東京生、彫刻業、篆刻、師高田綠雲、東京本所區林町

三の二〇岩崎方

谷崎武男 △東京、農商務省實業練習生、

洋畫、明治四〇年三月美術學校洋畫科卒、(在伊國)

谷崎欣吾 號蘆洲 明治一三年六月

四大阪生、畫家、日畫(寫生)、師齋藤松洲、竹内栖鳳、大

阪南區南船場町三

谷水清之助 號清照 明治一八年一月

七東京生、鑄造業、鑄金及彫金、鑄金會員、東京本郷區

駒込町坂町二二七

谷森眞男 △弘化四年五月生、錦鷄間祇候

貴族院議員、正四、勳三、美術協會員、東京神田區鈴木町八

橋和

二五神岡縣生、京都府立第三中學校教諭、日畫(狩野)及洋

畫(水彩、木炭)、師木村立雲、狩野友信、京都府天田郡菴

部村土師五六七

高井元吉 △廣島、日畫、明治二九年七

月美術學校日畫科卒、(在米國)

高井利五郎 △香川縣技師、香川縣立工藝學

校長、建築學會特別會員、高松市天神前町一〇五

高石惣太郎 號勝重 明治元年六月一

二東京生、金銀打物業、彫金、師黒川榮勝、金工協會員、

東京下谷區長者町一の二一

高羽園邦 △畫家、日畫、二葉會幹事、東

京神田區南甲賀町八

高畑持隆 號翠石 明治一〇年一〇

月二六東京生、彫刻業、篆刻、彫工會員、各所にて屢

屢受賞、東京神田區淡路町二の七、

高原弘造 △建築技師、建築、建築學會員

東京芝區三田綱町一

高濱清 號虛子 △明治七年二月

二二松山市生、雜誌ホト、ギス主幹、第二高等學校に學

び中途退學、著書多し、神奈川縣鎌倉郡鎌倉由井ヶ濱

高橋勇 △福島、日畫、明治二九年七

月美術學校日畫科卒、福島縣相馬郡中村町

高橋初五郎 號南湖 明治六年二月八

東京生、畫家、日畫(四條)、師春木南溪、谷口香嶺、巽

畫會員、京都美術協會其他にて銅賞、數回受領、東京府荏

原郡品川町南馬場東廣町五五二

高橋道八 △製陶業、美術協會員、窯業協會

員、京都下京區五條橋東四、三九

高橋敏太 號秋華 明治一一年九月

六岡山縣生、畫家、日畫(四條)、師山元春舉、京都美

術協會員、金澤全國繪畫共進會銅牌、岐阜全國繪畫共進會銅

牌、大阪戰捷記念博覽會にて一等賞牌等受領、京都上京新

烏丸通夷川上藤木町四二

高橋錄次郎 號袖浦 明治元年五月一

三松江生、官吏、勳八、南畫、師瀧和亭、美術協會員、

朝鮮京城旭町一丁目財政顧問本部内

高橋龍亭 △畫家、日畫、師鈴木松年、京都

寺町竹屋町草堂内

高橋柳三郎 號玉淵 安政五年八月一

五江戸生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、美術協會員、日

本畫會評議員、川端畫學校教授、内外博覽會等にて銅牌、銀

牌を受けし事十數回、東京牛込區市ヶ谷仲之町四七

高橋可三 號菱雨 明治一七年一二

月二三山口縣生、畫家、日畫(四條)、師竹内栖鳳、寺崎廣

業、京都繪畫專門學校繪畫科卒、研精會員、研精會にて銅

章を受、東京本郷區千駄木町五七上田方

高橋勝藏 號芝山 萬延元年九月二

九磐城國生、油畫教授(芝山會)、洋畫(油畫、水彩、劇場背景)

師米人ヘンリーダット、ジエリエン、マセウス、エーラン

ド、ソツスマンランデス、明治一八年七月桑港美術會意匠

科卒、留學中學校展覽會金牌、銀牌三回、其他賞金數回、内

國にては凱旋記念五二共進會にて銀牌を得たり、二六年歸

朝、東京芝公園一四號地九

高橋要 △岐阜、圖案、明治四三年三月

美術學校圖科卒、鐵道院工作課勤務

橋立

二五神岡縣生、京都府立第三中學校教諭、日畫(狩野)及洋

畫(水彩、木炭)、師木村立雲、狩野友信、京都府天田郡菴

部村土師五六七

高井元吉 △廣島、日畫、明治二九年七

月美術學校日畫科卒、(在米國)

高井利五郎 △香川縣技師、香川縣立工藝學

校長、建築學會特別會員、高松市天神前町一〇五

高石惣太郎 號勝重 明治元年六月一

二東京生、金銀打物業、彫金、師黒川榮勝、金工協會員、

東京下谷區長者町一の二一

高羽園邦 △畫家、日畫、二葉會幹事、東

京神田區南甲賀町八

高畑持隆 號翠石 明治一〇年一〇

月二六東京生、彫刻業、篆刻、彫工會員、各所にて屢

屢受賞、東京神田區淡路町二の七、

高原弘造 △建築技師、建築、建築學會員

東京芝區三田綱町一

高濱清 號虛子 △明治七年二月

二二松山市生、雜誌ホト、ギス主幹、第二高等學校に學

び中途退學、著書多し、神奈川縣鎌倉郡鎌倉由井ヶ濱

高橋勇 △福島、日畫、明治二九年七

月美術學校日畫科卒、福島縣相馬郡中村町

高橋初五郎 號南湖 明治六年二月八

東京生、畫家、日畫(四條)、師春木南溪、谷口香嶺、巽

畫會員、京都美術協會其他にて銅賞、數回受領、東京府荏

原郡品川町南馬場東廣町五五二

高橋道八 △製陶業、美術協會員、窯業協會

高橋妙子 號秀蘭 明治二四年四月

一吳市生、日畫(南北合派)、師池下秀敏、四二年三月女

子美術學校日畫科卒、東京麻布區筈町一四五

高橋直人 △長野、彫刻、明治四一年三

月美術學校彫刻科卒

高橋來平 號岱峰 明治一一年九月

一〇埼玉縣生、福島縣立會津中學校教諭、勳八、日畫(四

條)、師川端玉章、三五年七月美術學校日畫科卒、若松市

橋三日町一九

高橋雲亭 △畫家、日畫、師瀧和亭、東京

下谷區上野櫻木町二九

高橋正身 號草山 嘉永五年五月一

二播磨國生、畫家、南畫、師川邊御橋、姫路市北條口五二

高橋政美 號美邦 明治六年一月一

一青森縣生、正七、勳五、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二

六年七月美術學校特別課程卒、三十七八年戰役に從軍す、

著書「用器習書帖」あり

高橋玄道 △東京、日畫、明治三一年七月

美術學校日畫科卒

高橋健自 號仙臺生、東京帝室博物館學藝委

員、歴史部次長、逓信博物館囑託、正七、伊勢古館列品

調査委員、東京下谷區上根岸町八八

高橋香村 號文久三年七月一七越後國生、彫

刻家、水晶篆刻、師益田香遠、美術協會員、彫工會員、新

潟市西堀通一番町二二〇

高橋貞治 △富山、千葉縣師範學校教諭、

明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

高橋節雄 號鶴山人 慶應元年六月一

七

一美作國生、陸軍幼年學校教官、洋畫、勳七、師渡邊文三郎、太平洋洋畫會員、美術同志俱樂部幹事、東京府豊多摩郡戸塚村源兵衛七

高橋作之介 號 清 泉 明治一一年一月六名古屋生、畫家、日畫(狩野)、著書數種あり、名古屋中區伊勢山町二〇三

高橋次郎 號 太 華 文久三年六月二八岩代國生、美術の研究と鑑識、東洋美術及美術工藝の研究に従事し其沿革史編纂に志すこと二十餘年、支那内地を歴遊して材料蒐集に力むる事數次、東京下谷區谷中天王寺町二一

高橋昇太郎 △京都、圖案、明治四四年三月美術學校圖科卒

高橋精一 明治一七年八月七高知市生、教員、洋畫及圖案、師淺井忠、都鳥英喜、鹿子木孟郎、菊池左馬太郎、四一年七月京都高工圖科卒、大阪西區南堀江上通一の四、振替大阪一四〇三

高取稚成 △畫家、日畫、美術協會會員、第六回文展にて三等賞其他各所に受賞多し、東京府豊多摩郡大久保町東大久保二二九

高田主計 號 青 郁 明治二〇年一月一岡山縣生、畫家、南畫、師石井金陵、岡山縣邑久郡幸島村清野一

高田吉親 明治三年九月一五山形縣生、奈良縣立工業學校長、奈良縣工業技師、正六、勳六、二七年七月東京高工學校染織科卒、奈良縣南葛城郡御所町

高田正雄 △福岡、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒

月三福島縣生、教師、洋畫(水彩)、師淺井忠、鹿子木孟郎、四一年七月京都高工學校染色科卒、長野縣下伊那郡飯田町

高野兵多 號 耕 雨 明治二年六月一八栃木縣生、畫家、南畫、師川村雨谷、美術協會會員、南宗畫會員、栃木縣鹽谷郡泉村山田五二

高桑純吉 △石川、富山縣工藝學校教諭、日畫、明治四一年三月美術學校日畫科卒

高屋豐朝 號 華 外 明治六年五月一弘前生、畫家、南畫、師山岡米華、南宗畫會員、巽畫會員、日本畫會員、東京本郷區千駄木林町一五六

高屋徳次郎 △畫家、日畫、明治二六年七月美術學校日畫科卒、美術協會會員、千葉縣東葛飾郡市川町

高谷宗兵衛 號 簡 堂 安政二年一月三京都生、日畫(墨竹專門)、師幸野棧嶺、京都美術協會終身會員、京都上京區室町三條上、電五二七

高山六郎 △福岡、洋畫、明治三六年七月美術學校洋畫科卒

高山富雄 明治六年八月二四金澤生、畫家、日畫(四條)、師原在泉、今尾景年、二九年京都美術學校繪畫科卒、巽畫會員、日月會員、富山美術協會幹事、美術協會京都新古美術展覽會にて銅牌以下屢々受領、東京本所區新小梅町一

高山與三吉 號 染 堂 明治九年四月二六京都生、美術京染商、京都美術協會終身會員、京都圖案會副會長、巴里萬國博覽會にて名譽大賞、佛領河內萬國博覽會にて名譽金牌、露國萬國服裝博覽會にて最高大金牌、聖路易萬國大博覽會にて名譽金牌、利榮萬國博覽會にて名譽金牌、ポートランド萬國博覽會にて最高金牌、日英博覽會にて

高田耕造 號 鶴 仙 明治九年四月二一東京生、陸軍技手、勳七、日畫(住吉)、師在原古玩、烏合會員、國香會幹事、東京下谷區豐住町三六

高田正吉 號 岸 馨 明治九年一月一大阪生、畫家、日畫(岸派)、師岸九峰、浪華青年畫會員、大阪南區高津三番丁四〇

高田桃三郎 號 雲 峰 文久元年八月二信濃國生、彫刻家、篆刻、彫工會員、松本市伊勢町三の三三九

高中文助 △廣島、高知市立工業學校教員、明治四二年三月美術學校漆工科卒、高知市帶屋町

高村光雲 嘉永五年二月一八江戸生、美術學校教授、美術審査員、古社寺保存會委員、帝室技藝員、正五、勳四、木彫、高村東雲に學、國華俱樂部幹事、東京本郷區駒込林町一五五、電下谷四一六四

高村光太郎 明治一六年三月東京生、彫塑、洋畫、文藝批評、三五年七月美術學校彫刻科卒、先年歐米に留學して歸る、フムウザン會員、東京本郷區駒込林町二五

高村眞夫 明治九年八月一八長岡市生、畫家、油繪、師小山正太郎、太平洋畫會評議員、同研究所委員、東京勸業博覽會にて三等賞、第一回文展同第二回、第三回共に每會三等賞を得、東京本郷區駒込坂町一七

高野團之亮 號 隆 雅 明治六年九月二六新潟縣生、畫家、南畫、師長風溪、田能村直入、美術協會會員、南宗畫評議員、第一回繪畫共進會にて三等賞、大阪南宗畫會にて一等賞受領、新潟縣南魚沼郡元三和村

高野喜作 號 東 奧 明治一六年一〇

銀牌を受、著書『京都圖案』六十一卷、『新作圖案』十三卷『逸品集』十卷『染堂集』あり、京都下京區繪畫師通西洞院西入一七

高山健藏 號 春 陵 明治一九年二月三山形縣生、畫家、日畫(圓山)、師山元春舉、京都市上京區中立賣通新町西入山元方

高山甚太郎 △安政三年一二月加賀大聖寺生、工業試驗所長、從四、勳三、工博、窯業協會常務委員評議員、織物協會評議員、東京牛込區納戸町二六、電番町四二九

高安三郎 號 月 郊 △明治二年三月二八大阪生、美術評論、殆んど獨學にて名を成す、著作家數種の著述あり、東京本郷區西片町一〇

高松勝太郎 號 千 嶺 明治一七年五月二九福岡縣生、畫家、日畫(土佐)、師小堀柄音、福岡縣企救郡板櫃村槻田

高松政雄 △建築技師、建築、工學士、建築學會會員、神奈川縣高座郡茅ヶ崎新町

高澤雅雄 明治一〇年八月一〇福島縣生、京都府第五中學校教諭、裝飾圖案、四一年三月美術學校圖科卒、京都府葛野郡笠村北野河原畑一〇

高澤秀輝 號 耳 方 明治一六年七月二九東京生、内閣印刷局奉職、日畫、師山本昇雲、村上委山、木田寛栗、松本洗耳、東京芝區愛宕町二の一四

高木巖 △洋畫、明治三七年七月美術學校洋畫科卒、熊本縣天草郡本渡町

高木量 號 長 葉 明治二〇年四月六四日市生、藝術寫真、藝術批評、日畫、師今尾景年、親

田中古、寫真研究會員、東京小石川區白山御殿町一〇九

高木 義 幸 △岡山、圖案、明治三九年京都
高工學校圖科卒

高木 謙 號 溪 畝 明治一〇年一
月一四生、畫家、日畫、師荒木寬敏、日本畫會員、讀畫會
評議員、東京深川區木場町一八

高木 輝 盛 號 南 雷 明治五年二月一
六滋賀縣生、日畫、洋畫、圖案、師淺井忠、望月玉泉、圖
畫教育會員、關西美術會員、

高木 左 直 號 古 泉 明治一一年一〇
月一五熊本縣生、私立尚絅高女學校教員、熊本市新屋敷
町三五〇

高木 鏡 湖 △(舊姓大久保)、日畫、師松本楓
湖、巽畫會員、東京小石川區白山御殿町一〇九

高木 誠 一 號 背 水 明治一〇年九月
五佐賀生、畫家、洋畫、師大野幸彦、堀江正章、後白馬
會研究所に學、三六年滿韓地方に遊び、三七年渡米ミゾリ
官立コロムビア大學に入り三九年卒業歸朝、四三年歐洲に
航し英、佛、白に歴遊、各國の畫風を研究し四五年二月歸朝、
四四年英國ローヤル、インスティテュート展覽會に作品二點を
出品す、東京麹町區永田町二丁目鍋島侯爵邸内

高城 次 郎 △東京、東京府第一中學校教諭、
從七、勳六、明治三〇年七月美術學校日畫科卒、東京小石
川區巢鴨籠籠町四六

高島 得 三 號 北 海 嘉永三年九月二
六長門國生、畫家、美術審査員、正六、日畫(南北合派)、
畫を父に學、内外博覽會にて金、銀、銅賞を受くる事數回、明
治三〇年迄は山林専門の農商務技師たりしが、三六年より畫

龍 田 精 三 △東京、洋畫、明治三四年七月
美術學校洋畫科卒、

龍 野 滿 黃 △京都、畫家、日畫、師今尾景
年、京都堺町二條南入

辰 野 金 吾 △唐津藩士安政三年生、建築家、
建築、東帝大學名譽教授、正五、勳五、工博、明治一二
年工部大學造家學科卒業後英國に留學、倫敦大學に入り造
家學全科卒業歸朝、工部大學教授に任ぜられ、九年官を罷
め建築會社に入り、又皇居御造營裝飾顧問を囑せられ後再び
工部大學教授に任ず、二年臨時建築局技師を以て歐米各
國を巡歴し、二三年歸朝後帝國議事堂及日本銀行新築工事其
他各官衙建築等經理する處頗る多し、建築學會長、東京赤
阪區新阪町一四、電新橋一八〇〇、建築事務所、麴町區八
洲町一の一、電本局一九四九

辰 已 銀 二 △石川、圖案、明治四三年三
月美術學校圖科卒

立 見 淑 明治七年一月七千葉縣生、愛知
縣立第三中學校教員、油畫、師淺井忠、黒田清輝、二八年
七月美術學校洋畫科卒、關西美術會員、愛知縣海東郡津
島町向島馬場一六四

立 協 禎 一 號 翠 山 明治一十九年一月
一八福井縣生、畫家、日畫(四條)、師竹内栖鳳、三七年京
都美術學校繪畫科卒、京都下京區本願寺町下寺町五條下善
光寺内

立 川 義 清 號 富 尚 明治一十九年一二
月三長野縣生、彫刻製作業、木彫(立川派)、師林美雲、傳來
の立川流を母淵蘭女に學、長野縣諏訪郡上諏訪町三二五九

立 川 松 代 號 湘 蘭 元治元年四月朔

家を以て世に立てり、東京麹町區元圓町二の六

高島 七 郎 明治一〇年一二月五福井縣生、
畫家、洋畫(油畫、肖像)、師田村宗立、三九年四月美術學
校洋畫科卒、東京豐多摩郡淀橋町柏木一五六

高島 雪 松 號 靄 湖 明治元年一二
月二茨城縣生、水産講習所動物研究室囑託、日畫、師松
本楓湖、今尾景年、巽畫會員、博覽會、共進會等にて受賞十
數回、日本青年繪畫共進會(皇后陛下行啓の際御前席畫
の榮を賜ふ、東京本郷區根津宮永町二八

高 森 有 造 號 碎 巖 弘化四年五月二
二上總國生、畫家、南畫、師山本琴谷、美術協會員、
東京下谷區入谷町一七

高瀨 猪 一 郎 △大阪、新潟縣女師學校訓導、
明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

高瀨 半 哉 號 紫 水 明治二年七月二
三愛媛縣生、愛媛縣立西條中學校教諭、洋畫(油繪、水彩)
師田村宗立、小山正太郎、二三年京都府畫學校洋畫科卒、奈
良博覽會にて三等賞を受、愛媛縣新居郡大町村一二一

高瀨 成 太郎 號 春 曉 明治一八年七月
一名古屋生、畫家、日畫(圓山)、師山元春舉、第三回第五
回文展にて共に褒状を受、京都上京區廣道通冷泉上

鷹 田 其 石 號 忘 筌 堂 明治六年六月六
富山縣生、畫家、日畫(南北合派)、師島崎其邨、橋本雅邦、
川端玉章、二五年七月美術學校特別課程卒、三六年より四
二年まで毎年真美會にて銀牌受領、東京小石川區大塚窪町
二四

財 間 六 郎 明治一三年一月一尾道市生、熊
本市立工業徒弟學校教諭、漆工、漆工會員、熊本縣飽託郡

信濃國生、彫刻業、木彫(立川派)、父立川啄齋に學、立川
家は數代以前より世々彫刻を以て技となせり、長野縣諏訪
郡上諏訪町三二五九

立松 新 三 郎 號 輝 石 明治九年九月一
七名古屋生、畫家、日畫、師幸野模嶺、巽畫會評議員、
名古屋府三百年記念博覽會にて銅牌を受、『繪事管見』等
の著あり、東京下谷區上野櫻木町一九

棚 橋 照 吉 明治二一年一〇月四東京生、藝
術寫真、寫真研究會員、日本寫真會員、ゆふつ、社員、寫真研
究會第一品評會にて銀牌三箇、銅牌一箇、同第一回展覽會に
て銀牌を受領、東京牛込區東五軒町一六

宅 和 銅 一 △島根、島根縣米子中學校教諭
日畫、明治三三年美術學校日畫科卒、

玉 井 猪 作 號 敬 泉 明治二二年二月
八金澤生、畫家、農商務省工業試驗所勤務、日畫(四條)、
師山田敬中、北陸繪畫協會員、巽畫會員、四〇年石川縣立工
業學校圖案繪畫科卒、金澤春季繪畫展覽會三等賞、秋季展
覽會三等賞を受、東京小石川區同心町一同心館内

玉 井 勘 次 號 紅 麟 明治七年九月二
三金澤生、畫家、日畫(四條)、師垣内雲嶺、北陸繪畫協會
幹事、岐阜繪畫品評會にて銅牌、全國共進會にて三等賞、二
回、金澤秋季展覽會にて三等賞を受、金澤市田丸町九五

玉 井 正 申 △愛媛、漆工、明治二八年七月
美術學校漆工科卒

玉 井 健 太郎 △新潟、彫金、明治三七年七月
美術學校彫金科卒

玉 置 照 信 △和歌山、洋畫、明治三三年
七美術學校洋畫科卒

八 一

八 一

玉置金司 慶應二年七月五江戸生、學習院助教授、洋畫(油畫、水彩)、師大野幸彦、トモエ會員、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町八二八

玉舎秀次郎 號春輝 明治一三年五月一七岐阜縣生、畫家、日畫(四條)、師原在泉、山元春舉、京都美術協會員、巽畫會員、後素協會員、各展覽會出品銀賞二箇、銅賞受くる二十餘回、京都上京區新島丸切通上

玉城安盛 號安盛 明治四二年京都高工學校圖科卒

竹井濤治郎 號連洲 嘉永三年二月二八下野國生、畫家、南畫、師船越雲漢、渡邊小華、美術協會員、各所銀牌銅牌を受、一二年より二七年迄日光山保晃會の囑託により同山社堂古物模寫に従事、二五年九月皇女常宮、周宮兩殿下に日光名華帖を獻す、栃木縣上都賀郡鹿沼町一五九

竹尾寅吉 號楓樵 明治九年一月一千葉縣生、畫家、日畫、師松本楓湖、三八年五月より四〇年八月迄米國ライクランドにて日本畫を教授す、千葉縣印旛郡八生村大竹一二八

竹田豊太郎 號島根 日畫、明治四二年三月美術學校日畫科卒

竹田勘助 明治八年八月三愛知縣生、七寶燒製造業(商號七寶軒)、美術協會員、第五回内國博覽會銅牌、聖路易萬國博覽會銀牌、佛領河内博覽會金牌、日英博覽會銅賞等受領、愛知縣海東郡七寶村遠島七二五

竹田源次郎 號敬方 明治六年二月七東京生、川端畫學校教授、日畫(圓山)、師川端玉章、美術協會員、日本畫會員、巽畫會員、天真會評議員、阪幹事、文墨

竹内久一 號久遠 安政四年七月九江戸生、美術學校教授、美術審查員、古社寺保存會委員、帝室技藝員、正五、勳四、日本雕人(彫刻專門)、師堀内龍仙、川木州樂、町田久成、柏木探古、美術協會委員、彫工會委員、東京淺草區永住町一〇七

竹之下舊俊 號鹿兒島、私立正則中學校教師、日畫、明治三三年七月美術學校日畫科卒、美術協會員、東京府豊多摩郡東大久保二二三

竹下弘 號弘 京都、畫家、日畫、明治四四年二月三越美服店懸賞廣告畫圖案當撰五等賞(金貳拾五圓)を受

竹久夢二 號夢二 明治一七年九月岡山縣生、日畫(新聞雜誌婦人挿畫)、雜著「夢二畫集」等數種あり、東京府豊多摩郡戸塚村源兵衛五九

竹本曜一 號特許局審査官、正七、圖案、明治三二年七月美術學校圖科卒、東京牛込區矢來町一八

竹本力松 號建築、建築學會員、東京府豊多摩郡大保町西大久保四五七

竹本皐一 號皐一 明治三年五月東京生、陶磁器製造業、美術協會員、美術協會にて銅牌、巴里萬國博覽會にて金賞牌を得、東京府北豐島郡高田村維司ヶ谷小本五〇五

竹森三治 號三治 香川、漆工、明治四〇年三月美術學校漆工撰科卒

武井眞澄 號眞澄 長野、長野縣立松本中學校教授

協會協議員兼幹事、國華俱樂部員、美術協會其他にて受賞多し、東京下谷區谷中清水町一二

竹中公鑒 號公鑒 宮内省御用掛、遊就館長、古社寺保存會委員、從七、勳七、東京府豊多摩郡東大久保町百人町二四〇

竹中七朗 號倚堂 明治一七年三月愛知縣生、畫家、日畫、師木島櫻谷、京都美術協會員、京都上京區御池兩替町木島塾

竹内六藏 號六藏 埼玉縣建築技師、從七、建築、工學士、建築學會員、埼玉縣北足立郡浦和町官舎

竹内友吉 號友樹 明治一三年二月一〇富山縣生、香川縣工藝學校教授、彫塑、師高村光雲、石川光明、三八年七月美術學校彫刻科卒、高松市南龜井町

竹内勝 號勝 兵庫縣姫路師範學校教授、日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒

竹内恒吉 號栖鳳 明治元年一月一京都生、畫家、帝室技藝員、京都市立繪畫專門學校教授、美術審查員、從七、日畫、師上田英林、幸野樸嶺、京都美術協會員、第一回全國繪畫共進會を始め各種展覽會、博覽會等に審査員に擧げらる、三三年官命を帯び巴里萬國博覽會を視察歸朝す、京都御池通油小路町西入

竹内啓作 號蘆風 明治七年三月長岡市生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、美術協會員、繪畫共進會銅牌(三回)及銀賞受領、長岡市千手町三丁目

竹内次郎 號竺堂 明治四年一〇月一三重縣生、京都府女師學校教授、從七、勳五、日畫及洋畫、二四年七月美術學校特別課程卒、著書「新畫帖」「日本畫帖」「續日本畫帖」「邦畫帖」「國畫之新趣味」「寫生法大觀」

武石弘三郎 號弘三郎 明治一〇年七月二八新潟縣生、彫刻家、彫塑、師高村光雲、石川光明、長沼守敬、藤田文藏、ジュリヤン、ジレンヌ、シャル、バンデルスタメン、エジプト、ロムボ、三四年七月美術學校彫塑科卒、三九年七月 Bruxelles, Academie Royale des Beaux Arts 彫塑科及大理石科卒美術協會委員、建築學會特別會員、早稻田大學理工科講師 Academie Royale des Beaux Arts 金牌及び一等賞を受、東京府北豐島郡葉町南傳中八四、電下谷四六九四

武川平治 號平治 明治三九年九月美術學校圖畫講習科修了、千葉縣夷隅郡大多喜町

武田信治 號信治 岡山、松山電氣軌道株式會社在勤、圖案、明治四二年京都高工學校圖科卒

武田五一 號五一 明治五年一月二五廣島縣生、京都高工學校教授兼大藏省臨時建築部技師、從五、工學士、建築及裝飾圖案、建築學會常議員、三〇年七月東帝大工科大學造家學科卒、英國留學中サウスケンシントン開催國立競技會へ裝飾圖案十六葉を出品し女王賞及銅牌を得(一九〇四年)東京本郷區西片町一〇、ろ一四

武田丕績 號丕績 大阪、農商務實業練習生、彫刻、明治四〇年三月美術學校彫刻科卒、(在伊國)

武田壽 號壽 明治二〇年七月一一東京生、畫高工學校圖科卒

家、油畫、師淺井忠、東京牛込區砂土原町二の三上田方
 武村千佐子 號 耕 齋 嘉永五年十一月
 二五江戶生、畫家、從七、日露(南北合派)、師山本琴
 谷、春木南溪、美術協會員、日本畫會員、南宗畫會幹事、美
 術協會等にて銅牌數回受領、東京小石川區竹早町一九
 朝、東京牛込區富久町一五
 武內鶴之助 △畫家、洋畫、多年英國に留學歸
 朝、東京牛込區富久町一五
 武內益次郎 號 春 錦 明治一六年二月
 一二京都生、畫家、日露、師今尾景年、京都美術協會員
 京都下京區馬町常盤町
 武內振平 號 桂 舟 △文久元年江戶
 生、博文館編輯局長、日露、東京麹町區四番町一〇
 武谷富造 號 松 泉 明治四年七月一
 九德島縣生、特許局審査官補、漆技、師伊東乾谷、小川
 松民、白山松哉、金井壽一、二七年二月美術學校漆工科卒、
 東京本郷區駒込助坂町六八
 伊達五郎 △東京、洋畫、明治三七年美術
 學校洋畫撰科卒
 建 島彌一郎 號 大 夢 明治一五年二月
 二九和歌山縣生、塑造、四四年三月美術學校彫刻撰科卒、
 第二回、第五回、第六回文展にて共に三等賞、第三回及第四
 回は共に褒狀を受領、東京本郷區千駄木町一八五
 建 部 昌 滿 △東京、洋畫、第三回文展入選
 滿洲金州局區内
 瀧 亨 號 凌 雲 弘化三年一〇月
 一〇駿河國生、畫家、南畫、師瀧和亭、東海繪畫協會幹
 事、異畫會員、東海繪畫協會にて優等賞及特別功勞賞狀を
 受、靜岡市二番町二八

瀧 精 一 號 節 庵 △美術雜誌編輯
 主筆、東京及京都大學文科大學講師、古社寺保存會委員、建
 築學會特別會員、正八、勳六、東京京橋區築地一の九、
 電京橋一九五八、
 瀧 川 鼎 △東帝大醫務課技師、建築、工
 學士、建築學會常議員、東京牛込區水道町四四
 瀧 澤 友 治 號 天 友 明治四年六月長
 野縣生、彫刻家、木彫、師中谷省古、彫工會員、彫工會に
 て銀牌銅牌二箇を得、東京本郷區駒込宮土前町六一
 瀧 澤 靜 雄 明治二年一月一七東京生、洋
 畫油畫水彩、師岡精一、大下藤次郎、河合新藏、永地秀太
 東京麹町區飯田町二の三二
 瀧 本友太郎 號 秋 聲 明治九年九月九
 東京生、金屬工藝品製作業、彫金、彫金を海野勝現に、彫
 型を長沼守敬に、圖案を川崎千虎に學、三三年七月美術學
 校彫金撰科卒、東京本郷區千駄木町一四二
 團 英 夫 號 藍 舟 明治六年七月七
 德島生、川端畫學校教員、日露(圓山)、師川端玉章、天眞
 會幹事、異畫會員、各畫會にて屢々受賞、東京小石川區高
 田若葉町二
 丹 治 吳 郎 △東京、彫金、明治四四年東京
 府工藝學校金銀工科卒
 丹 慶 興 輝 明治一〇年一〇月二八愛知縣生
 畫家、日露(四條)、師野村文學、異畫會員、愛知縣愛
 知郡愛知町牧野七丁目

七

曾 根 銳 △靜岡、鍍金、明治三三年七月
 美術學校鍍金科卒
 曾 根 末次郎 △東京、富山縣師範學校教員、
 明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒
 曾 福 達 藏 △建築家、建築、三菱合資會社
 建築顧問、(Hon. N. I. B. C.) 建築學會副會長、東京府豐
 多摩郡澁谷町中澁谷三〇九、電芝二一五五、事務所東京麹
 町區八重洲町一丁目、電木局二九三六
 宗 益 雄 △大分、圖案、明治四五年京都
 高工學校圖科卒
 宗 重 望 號 星 石 △慶應三年一月
 二七對馬國生、從三、勳四、伯、南畫、美術協會名譽會員
 彫工會名譽會員、
 宗 兵 藏 △藤田組技師、建築、工學士、
 建築學會員、大阪北區堂島北藤田組内
 相 馬 治 四郎 △山形、神奈川縣第四中學校教
 諭、日露、明治四〇年三月美術學校日露科卒、橫須賀市
 相 馬 其 一 △東京、洋畫、第五回文展入
 選、東京小石川區原町三一
 相 馬 正 己 △山形、山形縣立鶴岡高女學校
 教諭、洋畫、明治四〇年五月美術學校洋畫科卒
 相 馬 越 二 △東京、彫刻、明治四一年三月
 美術學校彫工撰科卒
 園 部 秀 治 號 逸 堂 明治二年八月
 二一岐阜縣生、畫家、日露(四條)、師長谷川玉純、京都

上京區聖護院町西畑五〇
 園 田 賴 亮 號 英 山 明治一六年一月
 一五久留米生、畫家、日露(四條)、師藤島耕山、美術
 協會員、久留米青年畫會會員、丁未畫會幹事、久留米市原古賀
 町二二二
 園 山 與 市 號 研 石 明治七年一〇月
 一六島根縣生、彫刻兼木象嵌職、師青山泰石、彫工會員、
 彫工會にて銅賞を受、橫濱市南太田戸田町
 添 田 諒 三 △福井、圖案、明治三九年京都
 高工學校圖科卒
 染 川 浪 江 △佐賀、鍍金、明治二八年七月
 美術學校鑄造科卒、東京本郷區駒込宮土前町一九原方
 染 谷 駒 太郎 △東京、彫金、明治四三年東京
 府工藝學校金銀工科卒
 津 端 道 彦 號 佳 藝 乃 舍 明治元年一
 二月三新潟縣生、畫家、日露(土佐)、師福島柳圃、山名實
 義、片山貫道、美術協會歷史部主事、日本畫會評議員、美術協
 會及内外博覽會にて銀賞數回、銅賞十數回以上、文展にては
 第二回は三等賞、第六回は二等賞を受く、東京麹町區車町
 三六
 津 田 敏 雄 △第四師團經理部技師、從七、
 建築、工學士、建築學會員
 津 田 良 次郎 △富山、鍍金、明治四二年三月
 美術學校鑄造科卒、東京本郷區助坂町
 津 田 龜 次郎 號 青 楓 明治一三年九月

一二京部生、畫家、洋畫、師淺井忠、及佛人ローランズ、
 ヤンポール、勳七、吾樂會員、東京小石川區高田老松町四三
 津田 敬武 明治一六年二月二八神戶生、東
 帝博物館技手、伯林東洋藝術研究所會贊助員、著書「釋迦
 像の研究」あり、東京本郷區曙町八
 津田 信夫 △明治八年一〇月千葉縣生、美
 術學校助教、鑄金、三三年七月美術學校鑄金科卒、鑄金
 會幹事、彫工會員、吾樂會員、東京下谷區谷中天王寺町一七
 津田 義一 號 雲外 明治九年六月一
 四大阪府生、畫家、南畫、師堀島竹外、遊心會員、大阪
 府三島郡如是村津之江四三四
 津田 弘道 △建築、男、建築學會會員、東京
 芝區高輪南町三〇、建築事務所牛込區神樂町三〇の一、電番
 町二六八三
 津村 央喜 △彫刻、明治四三年三月美術學
 校彫刻科卒、東京下谷區谷中初音町四の四八
 津島 耕南 號 壽山道人 元治元年正
 月常陸國生、畫家、南畫、師篠原香山、文藝協會評議員
 東京深川區冬木町一〇
 津島 恭邦 明治九年八月一八岡山縣生、畫
 家、日畫、師橋本雅邦、岡山縣上道郡財田村下四三八
 津本 藤楠 號 翠山 明治一一年三月
 一三和歌山縣生、畫家、日畫(四條)、師川端玉章、天真
 會員、東京本郷區彌生町三
 都路 華香 辻字之助を見よ
 都路 筑誠 號 圭亭 明治六年一二月
 靜岡縣生、内匠寮技手、日畫(四條)、師久保田桃水、烏
 合會員、巽齋會員、東京牛込區若宮町三三

築城 良太郎 號 築良 明治七年九月二七
 石川縣生、挽物及磨漆物製作業、筋挽及磨漆、漆工會員、山
 中標地業組合長、山中物産共進會一等賞、京城漆工會二等賞
 全國特産品博覽會有功二等賞、アラスカ、エーコン太平洋博
 覽會にて銀牌受領、石川縣江沼郡山中村八の一〇二
 築瀨 由太郎 △宗良、大阪南區金剛寺常小學
 校訓導、明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒
 堆 朱豐五郎 號 楊成 明治一三年八月
 東京生、漆工業、堆朱塗、美術協會會員、吾樂會員、各種展
 覽會に於て屢々優等賞を得、東京下谷區谷中初音町四の一
 二二
 椿 宗太郎 號 櫻湖 明治七年一二月
 二五千葉縣生、畫家、日畫(容齋派)、師松本楓湖、巽齋
 會員、千葉縣香取郡米澤村郡
 坪田 虎太郎 △富山、洋畫、明治三七年七月
 美術學校洋畫科卒、清國上海英租界三馬路新々劇場内
 坪内 雄藏 號 道遙 △安政六年五月
 美濃國生、早稻田大學教授、文博、文藝協會會長、文藝委員
 會委員、著書甚多し、東京牛込區大久保余丁町一四
 土田 金二 號 麥仙 △畫家、日畫、
 師竹内栖鳳、明治四四年三月京都繪畫專門學校別科卒、第
 二回文展にて三等賞、第五回、第六回にて褒狀を受、京都東
 山智恩院山内崇泰院
 土田 甚八 號 勝業 明治一四年二月
 一五新瀉縣生、彫金業、師海野勝現、美術協會會員、彫工會
 員、金工協會會員、彫工會にて銅牌、銀牌、東京府美術工藝展覽
 會にて三等賞、美術協會にて銅牌受領、東京牛込區白銀町二
 土屋 勝郎 △(舊姓森山)彫刻、明治三三年

美術學校彫刻科卒

土屋 安彦 明治八年七月一二甲府生、東京
 高工學校講師、從七、工業圖案、三四年七月東京高工學校
 工業圖科卒、東京小石川區林町七〇
 土屋 純一 △名古屋高工學校教授、建築、
 從六、工學士、建築學會會員、(佛國留學中、I Ambassade
 du Japon, Paris.)
 土山 觀一 △福井、圖案、明治四〇年京都
 高工學校圖科卒
 鶴原 庄治郎 號 光邦 (舊號英璋) 明
 治五年一月三大阪府生、畫家、日畫(四條、狩野)及洋畫、
 師平野光瑛、橋本雅邦、高橋勝造、二葉會員、土陽美術會員、
 巽齋會員、芝山會員、公私展覽會にて銅牌受、東京下谷區
 上根岸町二九
 鶴原 善三郎 號 鶴羽 明治一四年島根
 縣生、漆工家、髹漆、詩繪、師池田泉哉、漆工會員、漆工
 競技會又五二共進會等にて受賞數次、(在暹羅)
 鶴田 幾太郎 號 機水 明治七年九月山
 梨縣生、東京美術學校助教、日畫、三三年七月美術學校
 日畫科卒、東京本郷區駒込林町一四二
 鶴田 和三郎 天保一四年二月六金澤生、漆器
 製作業、美術協會委員、漆工會員、内外博覽會にて金賞、銀
 賞、銅賞、有功賞を受る事數回、金澤市梅本町西横丁五
 鶴田 有來雄 △(舊姓有瀬) 長崎縣立中學攻
 島學館教諭、圖案、明治四一年三月美術學校圖科卒
 鶴卷 鶴一 △京都高工學校教授、從五、關
 西美術會幹事
 鶴崎 乙也 △兵庫、彫刻、明治四四年三月

美術學校彫刻科卒

鶴見 左吉 號 惟 明治六年九月金澤生、農商務省
 記官兼外務書記官、農商務省商品陳列館長、從五、勳五、
 法學士、三二年東帝大法科大學政治科卒、東京赤阪區青山
 高樹町一二、電芝二六一九
 塚原 二六太 號 南岳 安政二年二月六
 美濃國生、畫家、南畫、師村瀨秋水、村瀨雪峽、日本畫會
 員、岐阜縣武儀郡關町
 塚田 保三 號 清臺 嘉永四年四月五
 千葉縣生、中學圖畫科教員、南畫及洋畫、南畫を横山雲
 安、山本栗谷に、洋畫を中丸精十郎に學、南宗畫會員、東
 京淺草區南元町二五
 塚田 秀鏡 號 眞雄齋 嘉永元年九月一
 四江戸生、帝室技藝員、彫金家、彫金(奈良流)、師勝見宗齋
 加納夏雄、金工協會幹事、美術協會特別會員、受賞は獨逸萬
 國金工博覽會銀賞、市俄古世界博覽會名譽賞、第四回勸業博
 覽會妙技賞、美術協會金賞、聖路易萬國博覽會金賞、彫工會
 金賞、利榮壽萬國博覽會金賞、日英博覽會金賞等、一九年五
 月 兩陛下美術展覽會へ行啓の際御前に於て彫金の術を天覽
 に供せり、東京本郷區湯島天神町一の七、電下谷一三九一
 塚本 靖 明治二年二月京都府生、東帝大
 工科大學教授、特許局審査官、美術審判員、正五、勳四、
 工博、建築、建築學會副會長、美術鑒賞雅會員、東京小
 石川區久堅町八〇
 塚本 專之助 號 松聲 明治一三年一月
 一滋賀縣生、鑄造業、鑄金(支那式青銅)、京都美術協會會員
 勸業博覽會及展覽會に於て銀、銅賞を得る事數回、滋賀縣
 滋賀郡坂本村三八五

鳥谷 幸作 △青森、日畫、明治四三年三月
美術學校日畫科卒

筒井 勇藏 號年峰 文久三年七月一
二兵馬縣生、畫家、日畫(歴史風俗畫)、師岡芳年、東
京赤坂區青山北町四の九三

筒井 清兵衛 明治一二年一月二京都生、漆
器製造業、漆工會員、勸業博覽會其共進會にて屢々銀、銅
牌等を受領、京都下京區東洞院松原下五六四

續木 介壽 號石鴻元 △明治一二年伊
豫國生、畫家、南畫、師川村雨谷、東京府豊多摩郡澁橋
町柏木一四二

堤 龍雄 △山形、洋畫、明治四五年三月
美術學校洋畫科卒

堤 正誼 △喜福井藩士天保五年一月生
宮中顧問官、正三、勳一、男、帝室技藝員選擇委員、建築學
會名譽會員、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷村隠田五七、電芝二
三四

堤 造 △熊本、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒

堤 雄長 △東京、日畫、明治二七年七月
美術學校日畫科卒

常木 新藏 號白風 明治一四年五月
若松生、青森縣八戸町立工業徒弟學校教諭、蒔繪、髹漆
三八年七月美術學校漆工科卒、青森縣三戸郡八戸町

網島 政治 △岡山、日畫、明治三三年七月
美術學校日畫科卒
角田 宇真藏 △影金、明治二七年七月美術學
校彫刻科卒、(在清國上海)

角田 源壽 號半谷 明治二二年二月
一九幅島縣生、畫家、日畫、師寺崎廣業、東京淺草區松
葉町一三二

角田 九太 號光石 明治一〇年一月
一千葉縣生、鑿刻技藝、彫刻部長、木象嵌彫刻、師青山
泰石、四〇年一月日本鑿刻技藝、彫刻科卒、彫工會員、東
京勸業博覽會にて銅牌受領、東京小石川區久堅町七四、日
本鑿刻技藝會本部

筑井 信江 號江畔 明治二二年一
月四東京生、畫家、日畫(四條)、師村瀬玉田、日本畫會
員、東京小石川區西江戸川町一九

筑紫 武門 明治二三年四月五福岡生、畫家
洋畫、師黒田清輝、東京府北豊島郡集鴨村宮中二二六六

妻木 頼黄 △大藏省臨時建築部長技師、從
四、勳三、工博、古社寺保存會委員、建築學會員、美術協會
員、東京赤坂區壺町七七、電新橋二五五〇

月岡 辨之助 號(坂卷耕漁) 明治二年
二月一〇東京生、畫家、日畫、義父月岡芳年、後尾形月耕
に學、美術協會員、日月會幹事、美術協會にて銀、銅賞、日
英博覽會にては銅賞を受、別に『能樂二百五十番』の著あり
東京下谷區谷中清水町一

月谷 はつ子 號乾子 明治二二年一
九東京生、彫塑家、彫塑、師小倉惣次郎、美術協會展覽
會及競技會にて數回銅賞を受、東京芝區南佐久間町二の一
四高橋方

辻 祿在 號玉鱗 慶應元年三月二
一伊勢國生、畫家、勳八、日畫(四條)、師磯部百麟、三
重縣三重郡鹽濱村六〇

辻 辰之助 號松喬 明治一四年一〇
月一京郊生、圖案、師谷口香嶺、神坂雪佳、三五年京都
美術工藝學校圖科卒、美工會員、京都油小路通佛光寺北

辻 宇之助 號(都路華香) 明治三年
一二月二三京都生、京都市立美術工藝學校繪畫科教員、日
畫、師幸野棟嶺、京知美術協會委員、第一回、第二回、第
五回文展にて同じく三等賞、第六回にて褒狀を受、京都烏
丸通丸太町下大倉町

辻 幸通 明治一六年四月二六高知縣生、
高知縣立第三中學校圖畫科教員、師淺井忠、鹿子木孟郎、三
九年七月京都工藝學校機械科卒、高知縣安藝郡安藝町

辻 新次 △天保三年一月九信濃國松本
生、貴族院議員、帝國教育會長、正三、勳一、男、巽畫
會名譽會員、信州美術會名譽會長、東京本郷區弓町二の二
四、電下谷七七〇

辻 永 明治一七年一月二七廣島生、畫
家、油繪、師黒田清輝、三九年四月美術學校洋畫科卒、第
四回文展にて褒狀、第六回にて三等賞受領、東京府豊多摩
郡澁谷町下澁谷一八八〇

辻 末之助 號蒼石 明治一六年三月
一大阪生、畫家、南畫、師藤田壺石、姫島竹外、大阪美
術會委員、游心會員、大阪北區富田町一二、電二四三六

辻村 延太郎 號松華 明治三年一二月
二八神奈川縣生、蒔繪、正八、繪畫を橋本雅邦に、蒔繪を
金井壽一、白山松哉、川之邊一朝に、古實を川崎千虎に、圖案
を岸光景、今泉雄作に學、二九年七月美術學校漆工科卒、漆
工會常務商議員、漆工青年會幹事、神奈川縣箱根物産業組合
名譽顧問、内外國博覽會、共進會競技會に出品金、銀、銅賞牌

根尾 謙兒 △廣島、金工、明治四五年三月
美術學校金工科卒
根津 文吉 號香畝 明治一〇年一
月東京生、畫家、日畫及油畫、師荒木寬敏、里田清輝、三
三年七月美術學校洋畫科卒、東京京橋區中橋和泉町六

根本 柳作 號雪蓬 明治一一年三月
千縣生、畫家、日畫(四條)、師荒木寬敏、矢内樸秀、日
月會幹事、文藝協會委員、美術協會員、美術協會にて三等賞
第五回勸業博覽會にて同賞、東京勸業博覽會にて同賞、正派
同志會にて同賞を受、東京本郷區湯島三組町八〇

名取 芳之助 號春仙 (別號春川) 明治
一九年二月七東京生、東京朝日新聞畫報記者、日畫、師
綾岡有真、久保田金仙、福井江亭、又洋畫を研究す、著者『テ
モ畫集』『漫畫』『譯文』『古事記畫談』『日本の神様』等、東
京府荏原郡南品川町七の一五八九

名取 中葉 號鶴畝 明治一七年一月
八山梨縣生、畫家、日畫、師荒木十畝、讀畫堂塾頭、東
京本郷區彌生町三

名倉復四郎 △東京、彫刻、明治二八年二月
美術學校彫工撰科卒

那須 慶 △畫家、日畫、巽畫會員、二葉
會員、東京本郷區臺町三六深井館

那須田 重雄 △靜岡、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒

内藤 虎次郎 號 湖 南 △慶應二年七月
一八陸中國生、京都帝大文科大學教授、古社寺保存會委員
從六、文博、京都岡崎町宮脇九八

内藤 龜三郎 號 旭 松 明治二年八月一
七東京府生、彫刻業、牙彫及色層應用具殼彫刻、師淺井寬
哉、美術協會員、彫工會員、美術協會にて銅牌(二回)彫工
會にて銅牌(二回) 東京府美術工藝展覽會にて技藝三等賞
受領、東京本郷區根津藍染町七

内藤 能正 號 玉 翠 明治一九年三月
二東京府生、畫家、日畫(圓山)、師端館紫川、川端玉章、
美術協會員、日本畫會員、巽畫會員、國華俱樂部員、研精會
に於て研精賞を得、東京下谷區上野櫻木町三九

内藤 太郎 △第五師團經理部建築課技師、
從七、建築、工學士、建築學會員、廣島市竹屋村七六

内藤 多仲 △明治一九年六月一二山梨縣生、
早稻田大學理工科教授、建築、工學士、四三年七月東帝大
工科大學建築科卒、建築學會員、東京小石川區茗荷谷町五
八野々宮方

内藤 伸 號 雨 鄉 明治一五年一〇
月一島根縣生、彫刻家、彫塑及木彫、師高村光雲、三七
年七月美術學校彫刻科卒、吾樂會員、第四回文展にて褒賞
を受、東京日本橋區新右衛門町五多門店

區車屋町下
中原 正道 △青森縣技師、青森縣立工業學
校長、建築學會特別會員、弘前市在府町一八
中原 梯治郎 明治二一年一月四北海通生、
彫刻家、師中村不折、新海竹太郎、太平洋畫會員、東京本
郷區根津八重垣町四九
中原 佐治郎 號 芳 煙 △島根、日畫、
明治三四年七月美術學校日畫科卒、巽畫會員、東京本郷區
駒込千駄木町七二
中原 喜正 △鳥取、圖案、明治四〇年一〇
月京都高工學校圖科卒

中原 眞坪 號 甕 塘 明治八年九月二
〇岡山縣生、學校教員、洋畫(油畫、水彩)、及日畫(四條)、
洋畫は中村不折、滿谷國四郎に、日畫は藤井松林、小野竹香に
學、岡山市北方一四七六
中 林 眞 號 明 治 一 一 年 九 月 二 〇 京 都 生、 畫
家、洋畫、師伊藤快彦、淺井忠、太平洋畫會研究所出身、
京都新古美術展覽會、關西美術展覽會、第五回勸業博覽會に
て一等賞及三等賞を受、東京下谷區谷中初音町一の一五初
音館内
中濱 西次郎 △建築請負業、建築、工學士、
建築學會員、東京深川區常盤町一の一〇、電本所一〇八八
中濱 元重 號 松 香 安政四年正月二
四金澤市生、畫家、南畫、家學を修父祖の業を承継す、南
宗畫會員、明治繪畫會員、北陸繪畫協會顧問兼幹事、金澤市
古寺町三八
中 西 太 善 天保一四年一〇月一八熊本生、
彫刻業、木竹彫刻、彫工會員、第五回勸業博覽會にて三

内藤源太郎 △東京、漆工、明治二八年七月
美術學校漆工科卒

成田 常吉 △寫真師、寫真、寫真研究會員、
東京麹町區内幸町一の三、電新橋二三八九

成田 梯五郎 △富山、印刷局奉職、圖案、明
治四二年京都高工學校圖科卒

成木 長次郎 號 蝶 哉 明治四年一月
二七岐阜縣生、農業、南畫、師重春塘、岐阜縣惠那郡中津町

成瀨 賢秀 號 水 雲 明治九年一月
二名古屋生、私立尾張中學校教師、日畫、師川合玉堂、
全國青年繪畫共進會にて銅賞牌を受、名古屋西區下園町四
の一四

直江源三郎 號 敬 年 明治四年二月二
五靜岡縣生、宮内屬、日畫(圓山)、師川端玉章、天真會員
東京四谷區右京町二五

中井 林之助 號 登 居 明治二〇年二月
一一大阪生、畫家、日畫(四條)、師喜多暉月、浪華青年
畫會員、浪華繪畫圖案競技會にて一等賞を受、大阪西區南
堀江通一の三三

中井 彌五郎 △香川、岩手縣立工業學校教諭
圖案、明治四四年三月美術學校圖科卒

中井 金三 △鳥取、洋畫、明治四三年三月
美術學校洋畫科卒

中井 鉦作 △愛知、圖案、三井吳服店意匠
部員、明治四三年三月美術學校圖科卒

中 居 環 號 曠 谷 明治四年一〇月
京都生、畫家、日畫(四條)、師山田文厚、竹内栖鳳、新古
美術展覽會にて銅賞、日英博覽會にて銅賞受領、京都上京

等賞牌を受、熊本縣飽託郡本山村新寺口六一三
中 西 乾 號 網 堂 明治一〇年九月
一五愛知縣生、圖案家、從七、勳六、功五、室内裝飾圖案
師今泉雄作、福地復一、三二年七月美術學校圖科卒、圖案
會員、高岡市新橋町一〇五三
中 西 喜助 明治八年三月一京都生、金銀器
漆器道具商(屋號近江屋)、世々帝室御用達として東京へ遷
都以前より御用品調製の命を蒙る、當代は五世なり、東京
日本橋區數寄屋町一、電本局八七五
中 西 儀兵衛 號 松 水 明治元年一月八
東京生、刺繡手巾製造業、美術協會委員、東京勸業博覽會
にて金牌、美術協會にて銀牌、アラスカ、ニコン太平洋博覽
會にて金牌、貿易品博覽會にて金牌、日英博覽會にて金牌を
受、東京日本橋區葎屋町七、電浪花七〇〇、振替東京一
九七九九

中川 蘆月 △大阪、畫家、日畫、大阪市
外天王寺南海電車常盤停留所更入
中川 八郎 明治一〇年一月二愛媛縣生、
畫家、洋畫、師松原三五郎、小山正太郎、美術審査員、太平
洋畫會員、東京勸業博覽會にて二等賞、第一回、第二回、第
三回文展共に三等賞、第四回には二等賞を受、三二年及三
六年の兩度歐米に前後五年間留學、東京小石川區丸山町四
中川 忠治郎 號 和 堂 明治一三年五月
二八大阪生、畫家、日畫、師深田直城、菊池芳文、大阪繪
畫會委員、大阪北區堂島濱通一の二三、一一

中川 忠順 明治六年三月二金澤生、美術審
査員、古社寺保存會委員、東帝大文科大學講師、研精會特別
會員、文學士、東京小石川區原町一〇

中川 龍 號 美風 △兵庫、日畫、
明治四〇年三月美術學校日畫科卒、
東京麻布飯倉町
中川 兼太郎 號 廣嶺 明治一九年二月
一七島生、畫家、日畫(四條)、師里見雲嶺、田中賴章、
巽壽會員、廣島市堀川町四

中川 義長 號 羊我 明治一六年三月
三東京生、南滿洲鐵道會社員、建築裝飾圖案、三九年七月
東京高工學校工業圖科卒、東京勸業博覽會銀牌受領、關東
州大連市玉町三

中川 義實 號 露堂 萬延元年四月二
一備前國生、彫金家、父正阿彌勝義、養父中川一匠、加納
夏雄に學、美術協會員、京都美術協會員、金工協會員、備作美
術會員、彫工會員、京都精金會員、各博覽會、展覽會にて金
銀、銅等受領、京都上京區富小路竹屋町南五

中川 萬次郎 號 天掌 明治五年六月六
熊本生、秋田市工業徒弟學校長、彫刻、師高村光雲、石川
光明、米原雲海、三〇年美術學校彫刻科卒、彫工會員、
秋田市西根小屋町一〇

中川 鐵彌 明治四年一月二信濃國生、鎮海
軍港臨時建築部支部技師、建築、師辰野、中村兩工博、從
五、勳四、工學士、三〇年七月東帝大工科大學建築科卒、
建築學會員、朝鮮鎮海軍港海軍官舎甲四

中川 西水 △畫家、日畫、師寺崎廣業、東
京小石川區關口一八〇寺崎方
中川 重麗 號 四明 嘉永三年二月二
京都生、著述家、美學、京都美術協會員、京都上京區三
條北裏廣小路西入

中田 勝利 △東京、鑄金、明治四四年東京
府工藝學校鑄金科卒

中田 清 △東京、日畫、明治三三年七月
美術學校日畫科卒
中田 清次 號 雲暉 明治四年九月二
八神奈川縣生、東京高工學校職員、南畫、師羽田子雲、
渡邊華石、東京下谷區谷中清水町一

中谷 龍 號 無學 明治一八年四月
三大阪生、眞言宗僧部、南畫及佛畫、師姫島竹外、京
都佛光寺大宮西入壬生寺

中谷 房吉 號 瓶古 明治元年一〇月
一五廣島縣生、彫刻業、木彫及着色、師竹内久一、美術
協會員、彫工會員、京都美術協會にて銅賞三回を受、東京
淺草區神吉町一一

中津 安彦 △熊本、明治四四年三月美術學
校圖書師範科卒
中津 守夫 明治元年一月一八福岡縣生、
廣島縣師範學校圖書科教師、洋畫(油繪、水彩、鉛筆)、廣
島美術會員、廣島市平塚町一三二

中根 孝治 △山梨、廣島縣福山高女學校教
員、明治四四年三月美術學校圖書師範科卒
中村 長七 號 英友 明治元年六月四
東京生、貴金屬品製作業、彫金、師平野壽光、平野友壽、金
工協會員、金工協會にて銅牌三箇を受、猶ほ同會より創立
主唱の功に依り、銀賞牌を贈らる、東京淺草區四島越町三

中村 勝治郎 號 紫明 慶應二年一月
一奈良生、美術學校助教授、油畫、師黒田清輝、東京下
谷區谷中町三七、電下谷五一五四
中村 龜太郎 號 秋塘 慶應元年八月二

巽壽會員、東京本所區表町二四石井方
中村 直彦 △東京、彫刻、明治三二年七月
美術學校彫刻科卒
中村 安太郎 號 北石 元治元年四月一
八宮山生、畫家、日畫及木彫、師橋本雅邦、明治二五年
七月美術學校特別課程卒、富山美術協會幹事、富山市諏訪
川原二三

中村 康之助 △早稻田大學理工科講師、建築、
建築學會特別會員、東京小石川區臺町二の三五
中村 誠 △内匠察技手、建築、工學士、建
築學會員、東京本郷區駒込神明町三二九

中村 月嶺 號 出山人 弘化三年八月一
八江戸生、銅石版印刷業、日畫(狩野)、彫刻を柳田
龍雪に、畫を樋口守保に學、彫刻會部長、美術協會委員、
東京京橋區中橋廣小路町六、電京橋一四七〇、振替東京八
六七四

中村 源太郎 明治二一年四月七橫濱生、漆工
業、呂色専門、漆工會員、熊本縣飽託郡春日町七七
中村 源吉 明治一一年三月一五福井縣生、
漆器製造業、若狹塗、祖先傳來の業を繼ぐ、漆工會員、若
狹塗漆器組合検査役、巴里萬國博覽會銀牌、全國製産品博
覽會銅賞、日英博覽會銀牌等受領、福井縣遠賀郡小濱町清
滿六六

中村 武平 △香川、彫刻、明治四〇年三月
美術學校彫刻科卒
中村 福三郎 號 五舉 明治一九年一二
月一二東京生、畫家、日畫、師松村松徳、久保田金仙、寺崎
廣業、東京芝區田村町二

石川縣生、陶磁器業、陶畫、美術協會員、九谷陶磁器組合
評議員、窯業品共進會銅賞、聖路易萬國博覽會三等賞、アラ
スカ、ニコソ太平洋博覽會銀牌、東京美術展覽會同賞を受、
石川縣江沼郡大聖寺町大新道二二
中村 與資平 △朝鮮銀行在勤、建築、工學士
建築學會員、朝鮮京城蓬萊町四丁目、電五一九
中村 堯興 明治八年五月二五大阪生、大阪
府立北野中學校教員、日畫及油畫、師橋本雅邦、松原三五
郎、大阪北區上福島町三の三三七
中村 達太郎 萬延元年一月一五江戸生、東
帝大工科大學教授、建築、從四、勳三、工博、明治一五年
工部大學造家學科卒、建築學會員、東京小石川區原町一
三、電番町二六一八
中村 琢治郎 △第一師團經理部技師、建築、
工學士、建築學會員、東京麹町區車町一六
中村 端三 △東京、日畫、明治二八年七月
美術學校日畫科卒
中村 舜 明治二一年七月三水月生、畫家
洋畫、師中村不折、滿谷國郎、太平洋畫會にて獎勵賞、第
三回文展にて褒狀、第四回及第五回に於て三等賞を受、
東京府北豐島郡日暮里町日暮里一〇六六晚翠館内
中村 經太郎 慶應二年四月五東京生、朝鮮京
城工業傳習所技手、陶磁器、彫刻、師伊人ウインセンツ、
ラダーツ、明治一二年四月工部美術學校彫刻科卒、朝鮮京
城官立工業傳習所官舎
中村 恒吉 號 岳陵 明治二三年三月
一〇靜岡縣生、畫家、日畫(土佐)、師川邊御楯、寺崎廣業、
四五年三月美術學校日畫科卒、第六回文展入選、紅兒會員

中村傳治

明治一三年一月八東京府生、建築技師、建築、師辰野金吾、中村達太郎、塚本靖、關野貞、伊東忠太、大澤三之助、横河民輔、工學士、建築學會員、三七年七月東帝大工科大学建築科卒、東京四谷區坂町八七

中村榮

號 杏 邦 明治六年六月二六長野縣生、畫家、勳六、日畫、師橋本雅邦、川端玉章、二葉會員、東京牛込區南橫町四六

中村鉞太郎

號 不 折 慶應二年七月一〇江戸生、畫家、美術審查員、洋畫、始め眞壁雲卿に就き、南畫を學び後小山正太郎、淺井忠、ラファエル、コラン、ジャポール、ローランに洋畫を學ぶ、明治二〇年四月、十一會洋畫研究所に入、三四年八月パリラファエル、コランに就き、三五年一月より三八年二月までアカデミー、ジュリアンに於て修業、太平洋畫會幹事、教授、一九〇〇年巴里大博覽會へ出品マンシヨン、オノラーブル賞、一九〇四年巴里アカデミー、ジュリアン競技會へ出品最優等ブリー及金百法を受、四〇年東京勸業博覽會へ出品一等賞を受、東京下谷區中根岸町三一

中村作次郎

△越中國生、美術骨董品商(商號好古堂)、美術協會員、國華俱樂部幹事、圖案會員、東京京橋區中橋和泉町二、電京橋特長五二七

中村作十

號 左 洲 明治六年八月二二三重縣生、畫家、日畫(四條)、師磯部百麟、巽會員、岐阜繪畫展覽會一等賞受領、三重縣度會郡二見町今一色九二

中村三五郎

號 芳 章 明治八年一〇月一七東京生、畫家、日畫、師川端玉章、天真會員、東京小石川區下富坂町一九

中村喜太郎

明治一〇年一二月二一金澤生、町區内幸町一の五

中山正治

號 梢 月 明治一五年九月二八横濱生、日畫及圖案、巽會員、横濱南太田町一七五七

中山秋湖

明治九年五月東京生、畫家、日畫(美人、歴史)、師水野年方、美術協會員、巽會員、第六回文展入選、明治繪畫會にて三等賞、其他屢々受賞、東京深川區常盤町二の四

中山美光

明治一〇年九月一八東京生、金屬品製作業、彫金、師海野盛壽、同美盛、美術協會員、彫工會員、金工協會員、東京芝區愛宕下町二の二、に二

中丸精十郎

△東京、室内裝飾、東京府立工藝學校授業囑託

中榮徹郎

△臺灣總督府土木技師、建築、正六、工學士、建築學會員、臺灣臺北書院街五の三官舎

中里則光

△東京、彫金、明治三五年七月美術學校彫金科卒

中澤岩太

號 北 莊 安政五年三月二九福井生、京部高工學校長、文部省視學委員、正四、勳三、京部帝大名譽教授、工博、理學士、明治一二年七月東帝大學理學部化學科卒、關西美術會頭、京都上京區寺町通廣小路上染殿町八

中澤弘光

明治七年八月東京生、畫家、美術審查員、洋畫、師大野幸彦、堀江正章、黒田清輝、三二年美術學校洋畫科卒、光風會員、東京勸業博覽會にて一等賞、第一回文展同第二回にて共に三等賞、第三回にては二等賞を受、東京府豊多摩郡戸塚村諏訪二八

中溝四郎

△佐賀、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒

薛繪漆器製造販賣業(商號尙濤齋)描金、宗田嘉吉、高田茂三郎に學ぶ、鷹栖描金傳習所主任、漆工會員、全國製産品博覽會銅章、戰時記念博覽會銀牌、高岡一市三郡品評會所功銀賞、關西聯合共進會三等賞、日英博覽會にて銀賞牌受領、富山縣西礪波郡雁栖村二九四七

中村元麿

△滋賀、洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒

中野營

號 三二 明治一九年三月一東京生、畫家、洋畫(油畫、水彩)、師小山正太郎、四四年三月美術學校洋畫科卒、赤雲會同人、第三回文展にて褒狀を受、東京本郷區元町一の五、電下谷一五二五

中野修二

△朝報社員、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒、圖案會員

中久木富二郎

號 麴 西 明治一二年五月三〇東京生、工藝圖案及水彩畫、三九年四月美術學校圖科卒

中倉幾之進

號 玉 翠 明治七年七月五山口縣生、畫家、日畫、日本畫會員、巽會員、第四回文展にて褒狀を受、東京本郷區駒込林町二一〇

中山米藏

△香川、明治二六年七月美術學校特別課程卒

中山太郎

號 丙 子 明治九年一月一三栃木縣生、東京毎日新聞記者、美術の研究、三二年七月東京專門學校法律科卒、編輯『大名畫集』等、東京勸

中島音松

號 勝 年 文久三年三月一五四日市生、金屬彫刻業、師伊藤勝、鑄金會員、金工協會員、東京芝區愛宕下町四の一

中島大助

號 秋 江 明治一四年七月二一名古屋生、印刷及圖案、日畫(土佐)、師木村金秋、名古屋區關前町三の一二五

中島猛矣

△工學士、建築、建築學會員、東京小石川區大塚窪町一原原方

中島嗣雄

號 秀 嶺 明治一三年二月二八京都府生、畫家、日畫(寫生)、京都美術協會員、京都下京區松原柳馬場東入

中島袈裟彦

△佐賀、静岡縣工業試驗場技手、漆工、明治二九年七月美術學校漆工科卒

中島憲章

號 華 鳳 慶應二年三月一五京都府生、畫家、日畫(圓山)、京都府富小路夷川上ル大炊町

中島傳次郎

號 春 鷗 明治二〇年四月七京都府生、畫家、日畫(四條)、師山元春舉、早苗會員、京都下京區東山智恩院内一心院

中島次郎

號 秋 圃 明治一一年七月五東京生、富山縣立工藝學校教諭、日畫、師川端玉章、三五年七月美術學校日畫科卒、高岡市新横町一〇五二

中島春郊

△畫家、日畫、美術協會員、國華俱樂部員、東京芝區日陸町一の一

中島春郊

△畫家、日畫、美術協會員、國華俱樂部員、東京芝區日陸町一の一

中島春郊

△畫家、日畫、美術協會員、國華俱樂部員、東京芝區日陸町一の一

中島春郊

△畫家、日畫、美術協會員、國華俱樂部員、東京芝區日陸町一の一

中島 精一 號 待 乳 嘉永三年四月一

五下總國生、寫真師幻燈製造販賣業、師橫山松三郎、日本寫真會商議員、寫真同業組合顧問、第一回勸業博覽會にて有功賞、第二回同會にて花紋賞を受、明治四五年九月東京府知事より寫真事業に功勞あるを以て、木盃及賞狀賞賜せらる、東京日本橋區吳服町一、電本局一五五

中島 泉次郎 號 文久二年正月一八大阪生、文部

技師、建築、從六、勳六、建築學會員、仙臺市外記町一四松山生、僧侶、南畫、師姫島竹外、大阪府南河内郡南八下村小寺照林寺

中住 憲明 號 道 雲 安政五年三月二

一鳥取生、畫家、日畫(折衷)、師神山天眞、竹山虎岳、美術協會員、全國繪畫共進會にて三等賞を受、大阪東區東雲町二の三六二

長 井 一 禾 明治二年一〇月五新潟縣生、畫

家、日畫(光琳派)、師中野長明、平福穂庵、巽畫會評議員、研精會員、國華俱樂部員、鴉を畫くを以て專門とし三七年より四一年まで北米を漫遊す、到處賞賛を博し一九〇五年ポルトランド博覽會にて銀賞、日本美術院等にて一二等賞を得、東京下谷區上野櫻木町二七

長 井 智 覺 號 佐賀、日畫、明治四五年三月

美術學校日畫科卒

長 原 孝 太郎 號 止 水 元治元年二月一

六岐阜縣生、美術學校助教、勳七、洋畫、文展第三回、第四回共に褒狀を受、東京本郷區駒込動坂町三三六

長 沼 智 惠子 號 福島縣生、太平洋畫會研究所

在學、洋畫、女子大學家政科出身、東京府北豐島郡高田村

長 野 茂 樹 號 明治一三年五月二五松山生、寫

真師、寫真研究會員、京城博覽會にて銀牌を受、四〇年軍艦、ワリヤーク引揚の状況撮影を命ぜられ宮内省及海軍省へ獻納し、天覽の榮を得賞狀を受、朝鮮仁川港寺町二丁目、電一七五

長 野 守 敏 號 草 風 東京生、畫家

日畫、師川合下堂、第一回文展にて三等賞、東京美術工藝品展覽會にて銅牌を受、東京下谷區仲徒町二の一七

長 屋 東 二郎 號 秋 香 明治一四年八月

一〇東京生、畫家、日畫(四條)、師原在泉、竹内栖鳳、三一年四月京都美術工藝學校繪畫科卒、支那に漫遊すること十數回、土陽美術會員、國香會員、東京牛込區南町二八

長 安 孝 之 助 號 雅 山 明治八年一〇月

七兵庫縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二葉會幹事、二葉會にて二等賞、第二回勸業展覽會にて三等賞受領、東京神田區和泉町一

長 松 秀 次郎 號 隣 泉 天保六年四月八

讚岐國生、畫家、南畫、師藤田板屋、南畫協會員、香川縣木田郡平井村平木

長 澤 時 基 號 米 習 慶應三年三月七

羽前國生、群馬縣立織物學校教諭、桐生高女學校教諭、群馬縣圖案調製所長、從七、洋畫(油畫、水彩、グアッシュ)、師高橋由一、小林習古、キヨソネ、東京勸業博覽會にて二等賞、聖路易博覽會に金牌を受、他に圖案協會及中京圖案會に一等賞を受けしもの二十三點、工業所有權保護協會の懸賞圖案に應募して二等三等四等の賞を受、三九年群馬縣より清國視察

雜司ヶ谷七一九

長 沼 守 敬 號 安政四年九月二三陸中國生、彫

塑家、師ルエジ・フエラリー・アントニョ・ダルソット、明治一八年九月ウエニス王國美術學校彫刻科卒、美術協會委員、建築學會特別委員、第四回勸業博覽會にて妙技三等賞、巴里萬國大博覽會にて金賞牌を受、東京小石川區表町一〇九、工場同上

長 尾 義 賢 號 玉 圃 明治一五年一月

二新潟縣生、寫真師、師氣賀秋畝、柴田常吉、寫真研究會員、寫真品評會一等當選、其他數回受賞、長岡市東坂之上町二の七四四、電四三九

長 尾 天 穎 號 明治元年一月二

一岡山縣生、畫家、洋畫(油畫、水彩)及日畫、師小山正太郎、太平洋畫會員、東京府北豐島郡津野川村田端三三一

長 岡 九 二 八 號 震 溪 明治六年九月二

八大分縣生、大分縣日田郡立工藝學校教員、日畫(四條)、師幸野棟嶺、望月玉泉、二九年四月京都美術學校繪畫科卒、美術協會員、大分縣日田郡日田町

長 田 俊 雄 號 明治一八年一月一五福井縣生、

畫家、洋畫、師滿谷國四郎、中村不折、太平洋畫會員、東京本郷區東竹町二九

長 瀧 慎 二 號 楓 外 明治一三年二月

二九東京生、畫家、日畫、師松本楓湖、巽畫會員、靜岡市鷹匠町三の四九

長 野 宇 平 治 號 建築技師、建築、工學士、建

築學會員、大正元年一月大阪市公會堂新築設計懸賞應募當選二等賞(金千五百圓)を受、東京麹町區尾井町六

長 野 靖 彦 號 鹿兒島、洋畫、明治四三年

を命ぜられ、南清より北清に涉りて風俗嗜好を調査し歸朝す、群馬縣山田郡桐生町四の九一

長 澤 政 宜 號 奈良、明治三二年七月美術學

校圖書講習科修了

長 崎 久 壽 猪 號 高知、圖案、明治四五年京都

高工學校圖科卒

長 崎 靖 彦 號 鹿兒島、洋畫、明治四三年三

月美術學校洋畫科卒

長 嶺 登 良 雄 號 千葉、縣立新潟高女學校教諭、

日畫、明治三七年七月美術學校日畫科卒

長 嶺 信 號 折 堂 明治一五年一〇

月八山口縣生、畫家、日畫(四條)、師山元春舉、全國繪畫共進會にて三等賞、名古屋繪畫展覽會にて三等賞を受、名古屋西區島田町三の九九

長 瀬 欣 次郎 號 翠 塘 明治一七年一〇

月二六岡山縣生、畫家、日畫(四條)、師菊池芳文、京都美術協會にて三等賞を受、京都下京區室町四條上菊水餘町五八一

永 井 幾 麻 號 愛知、日畫、明治四〇年三月

美術學校日畫科卒

永 戸 駒 彦 號 東京、彫金、明治三七年七

月美術學校彫金科卒

永 地 秀 太 號 明治六年七月一五山口縣生、陸

軍中央幼年學校助教、油畫、師松岡壽、太平洋畫會理事、評議員、研究所委員、日本水彩畫研究所委員、第三回文展にて褒狀を受、東京小石川區表町一〇九

永 田 良 亮 號 筑 畝 明治二二年二月

一八茨城縣生、日畫、師荒木寬畝、東京下谷區竹町一

美術學校洋畫科卒

永田米吉 號 祐 畝 明治一八年七月
 二二東京生、畫家、日畫、師荒木寬敏、四二年三月美術學校
 日畫科卒、讀畫會員、東京淺草區下平右衛門町一七高橋方
永田二郎 號 瑞玉、畫家、洋畫、明治四〇
 年三月美術學校洋畫科卒、埼玉縣北足立郡馬宮村土屋
永野秀五郎 號 熊本、圖案、明治四四年京都
 高工學校圖科卒、神戶花籠檢査所内
永倉茂 號 江村 明治一四年一月
 一四千葉縣生、福岡醫科大學囑託、正八、日畫、三六年七
 月美術學校日畫科卒、福岡縣荒瀬郡千代村一三三九
永山美樹 號 石川、圖案、明治四〇年京都
 高工學校圖科卒
永松春洋 號 嘉永二年二月一七豐後國生、
 畫家、南畫、師十市汪洋、田能村直入、美術協會員、日本畫
 會員、名古屋中央南宗畫會員、展覽會共進會にて銀銅賞數回
 受領、大阪北區中之島六の一八
永江質吉 號 幽 崖 明治二一年三月
 一七福岡縣生、畫家、日畫(四條)、師川端玉章、四三年
 九月美術學校日畫科卒、天真會員、東京小石川區表町三六
永榮定義 號 富山、富山縣高岡中學校教諭
 圖案、明治四一年六月美術學校圖科卒
永坂周二 號 石 塚 △弘化二年九月
 名古屋生、醫師、書畫、健筆會員、素人畫會員、東京神田
 區松枝町二三、電本局一〇四
永島三郎 號 千葉、鑄金、明治三九年一
 一月美術學校鑄造科卒
永瀨狂三 號 △京都帝大建築部在勤、 建築、
 工學士、建築學會員、京都上京區吉田中太路二三

夏井貞藏 號 潔 明治元年三月四生、
 畫家、油畫、師米人アール・マシユニス・ラスカー・タナ
 ス及エーランド、一八九一年四月米國カルホルニヤ大學美
 術學校洋畫科卒、北海道函館區曙町三
夏目利政 號 明 治二六年二月一二東京生、美
 術學校學生、日畫、師梶田半古、巽畫會にて銅賞を受、
 東京本郷區駒込動坂町一〇九
夏目七策 號 △東京、畫家、洋畫、第四回文
 展にて褒狀を受、東京本郷區湯島切通坂町三二谷方
滑川兼彦 號 △金品製造業、彫金、明治三
 四年七月美術學校彫金科卒、金工協會員、東京本所區北二
 葉町三二
並河靖之 號 弘化二年九月朔京都生、七寶燒、
 勳章製造、帝室技藝員、美術協會員、京都美術協會終身會員、
 日英博覽會にて名譽賞を受、京都下京區三條白川橋北入堀
 池町二四、工場同上、電一一二七、東京工場、下谷區上
 根岸町八、電下谷一三四〇
波江悌夫 號 △建築、工學士、建築學會員、
 兵庫縣武庫郡四宮町前杉原一七一、一渡邊方
南保是樂 號 明治三年六月二六生、畫家、日
 畫(四條)、師柴田是真、美術協會委員、圖案會委員、彩霞會
 幹事、岐阜繪畫共進會にて銀牌、圖案會にて銀賞、美術協會
 にて銅牌を受、東京下谷區谷中清水町一九
南保清三郎 號 秋 淵 明治一一年九月
 一二東京生、畫家、日畫及圖案、兄南保是樂に學、美術協
 會員、日月會員、明治繪畫會銅賞を受、富山市千石町三四
南部茂 號 △高知、日畫、明治四四年三月
 美術學校日畫科卒

武

武藤直 號 熊本、熊本縣鹿本中學校教諭
 洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒、熊本縣鹿本郡來
 民町
武藤直信 號 石川、新潟縣高田師範學校教
 諭、日畫、明治四一年三月美術學校日畫科卒、新潟縣中頸
 城郡尚田町
室野琢磨 號 石川、縣立岡山中學校訓導、
 日畫、明治四二年六月美術學校日畫科卒
向井寛三郎 號 大阪、圖案、明治四四年京都
 高工學校圖科卒
村井三吾 號 △日本赤十字社囑託技師、建築、
 建築學會員、東京府豐多摩郡中野町原一六五八
村井勇治 號 山口、私立周防中學校教師、
 圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒
村井勇藏 號 靜 郷 明治一四年一
 月二七青森縣生、畫家、日畫(四條)、師藤島靜村、日本
 畫會員、青森縣三戸郡八戸町六日町一六
村尾平吉 號 △鳥取、彫刻、明治三〇年七月
 美術學校彫刻科卒
村岡範為 號 嘉永六年一〇月一四因幡國生、
 京都帝大理工科教授、正三、勳三、理博、京都美術協會員、
 京都上京區塔之段毘沙門町四六七
村岡宜雄 號 應 東 明治六年二月二
 一東京生、畫家、日畫(容齋派)、師松本楓湖、巽畫會評
 議員、鳥合會員、第四回文展にて褒狀を受、東京淺草區下

平

平衛門町一八
村岡坦 號 △工學士、建築、建築學會特別
 會員、東京麴町區内幸町一の五、電新橋一六二三
村岡貞一 號 △横須賀市立高女學校教諭、日
 畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒
村上岩藏 號 洋 男 明治一七年二月
 六福井縣生、若狹塗、漆器製造販賣業、勳八、漆工會員、
 福井縣遠敷郡雲濱村竹原六五
村上鳳湖 號 △東京、畫家、日畫、第一回文
 展入選、第六回にて褒狀を受、東京府北豐島郡日暮里町元
 金杉一四三
村上德我 號 石 △豐前生、書
 畫鑑定、著書數種あり、東京本郷區東片町九三龍光寺内
村上義和 號 委 山 慶應三年五月二
 〇京都生、畫家、南畫、師浦和亭、日本畫會員、美術協會
 員、美術協會にて銅賞を受、四三年宮内省より朝鮮李王世
 子殿下の繪畫教師を命ぜらる、東京麻布區單箭町六七
村上大達 號 會 水 明治一三年一
 月一五愛知縣生、畫家、洋畫、師黒田清輝、東京府北豐
 島郡高田村三四五
村上為俊 號 △愛知、洋畫、明治三九年四月
 美術學校洋畫科卒
村上敬一 號 華 雲 文久二年四月二
 尾張國生、畫家、日畫(四條)、師奥村石關、鈴木松年、美
 術協會員、内閣博覽會及展覽會等にて銀牌以下受賞數回、
 愛知縣中島郡一宮町二五九、電一一、呼替東京一九三九八
村上天流 號 △東京、畫家、油畫、第一回文
 展にて三等賞を受

村上金次郎 △東京、日畫、明治三十四年七月美術學校日畫撰科卒

村上 上 肅 △鐵道院市街線建築事務所員、建築、建築學會員、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村向山四九二

村上 上 震 一 號 師竹内栖鳳、明治二十一年七月二神戶生、畫家、日畫、師竹内栖鳳、京都美術工藝學校、同繪畫專門學校卒、文展第二回は三等賞、第五回は褒狀又京都美術協會にて銅章を受、京都柳馬場三條下三上内

村上 上 慎 幸 △鳥取、圖案、大阪三越吳服店員、明治四五年京都高工學校圖科卒

村田 六 太 夫 號 聽 泉 明治四年五月五新潟縣生、鑄造及木竹彫刻業、蠟型紫銅及緋銅、聽泉式彫刻形漆、彫工會員、漆工會員、柏崎漆器組合顧問、博覽會共進會にて銅牌數回受領、新潟縣刈羽郡大洲村大久保二七

村 田 身 號 丹 陵 明治五年七月二〇東京生、畫家、日畫、師吉澤利喜、川邊御嶺、美術協會員、異畫會顧問、博覽會及展覽會にて數十回受賞、第一回文展にて三等賞を得、東京下谷區西町三、電下谷四八二

村 田 延 子 號 紫 園 明治十一年五月一一東京生、畫家、日畫(土佐)、師村田丹陵、寺崎廣業、東京下谷區西町三、電下谷四八二

村山 兼 五 郎 號 一 羽 △弘化二年生、刀劍工(欄卷師)、東京四谷區須賀町四

村 山 順 △山形、圖案、明治三八年京都高工學校圖科卒、(外國留學中)

村山 旬 五 △東京、國華社員、明治二五年二月美術學校特別課程卒、東京京橋區彌左衛門町一〇國華社内

二四天津市生、畫家、日畫、師竹内栖鳳等、四五年三月京都繪畫專門學校本科卒、第六回文展第一部二科入選、京都上京區聖護院町御殿西横石井方

梅田 勇 次 郎 號 篤 光 安政元年五月五京都生、彫金業、彫金及日畫、彫金を篠山篤興に畫を山本梅章に學、美術協會員、金工協會員、京都美術協會員、精金會員、京都美術協會銅牌、全國製產品博覽會銀、銅牌、日英博覽會銅賞等受領、京都下京區御幸町五條上二八

梅 村 豐 三 郎 號 景 山 慶應二年二月四京都生、畫家、日畫(寫生)、師鈴木瑞彦、今尾景年、京都美術協會員、後素協會員、奈良博覽會を始め其他各展覽會にて銅賞十數回受領、京都下京區三條通烏丸西入御倉町二八

梅 澤 順 三 郎 號 隆 眞 明治七年五月二一東京生、漆工業、蒔繪(古瀟派)、及日畫(四條)、師柴田是眞、同眞哉、池田泰眞、黒川眞道、石塚宗通、美術協會員、漆工會商議員、漆工青年會幹事、巴里萬國博覽會銀賞及銅賞、漆工會銅賞二回、漆工青年會銀賞、日英博覽會銀賞を受、東京淺草區瓦町九

梅 澤 清 一 號 和 軒 明治四年九月一六米澤生、雜誌美術正論主筆、三〇年七月東京專門學校文學科卒、著書及譯書『美術概論』『繪畫鑑賞法』『南宗之三家』等、東京小石川區大塚仲町三六

梅本 種 三 郎 號 詩 月 明治二年三月二大阪生、畫家、日畫(寫生)、師古宮紫嵐、竹内栖鳳、大阪東區南神崎町一の五五

村松 萬 三 郎 明治二年二月一一東京生、金屬工藝品製作販賣業、美術協會委員、金工協會商議員、彫工會員、圖案會員、第五回勸業博覽會にて名譽銀賞牌、米國アラスカ、ニールコン太平洋博覽會にて名譽大賞牌、其他各所受賞多し、東京日本橋區大傳馬町二の二四、電長浜花一二六橋梁所京橋區中橋廣小路町一、電京橋一六六、振替東京三九四二、工場本所區北二葉町三二、電本所一二九五

村 松 貞 號 雲 外 明治三年四月二二滋賀縣生、畫家、日畫、師森寬齋、京都美術協會員、聖路易萬國博覽會にて銀牌、其他展覽會、共進會に於て銀、銅牌、受賞十餘回、京都上京區堺町御池上二

村 崎 政 昶 △熊本、日畫、明治三十四年七月美術學校日畫科卒

村 瀨 德 溫 號 玉 田 △喜永五年京都生、畫家、日畫(四條)、師村瀨雙石、美術協會員、内閣博覽會、展覽會等にて出品優等賞を得ること多し、東京本郷區龍岡町二二

村 瀨 義 德 明治一〇年三月一二愛知縣生、畫家、日畫(南北合派)、始め洋畫々黒田清輝に後日畫を寺崎廣業に學、東京下谷區徒町三の八〇

梅原 良 三 郎 △畫家、洋畫、多年佛國に留學歸朝、東京赤坂區仲之町二二

梅 林 和 三 郎 △静岡、圖案、明治三八年京都高工學校圖科卒

梅 戸 在 貞 號 春 亭 明治一六年六月一四京都生、畫家、日畫、三六年三月京都美術工藝學校卒、京都上京區兩替町二條下

梅 景 益 三 號 香 雪 明治二年三月

鵜 殿 長 庚 △静岡、廣島縣私立日影館中學教員、日畫、明治二七年七月美術學校日畫科卒、美術協會員、廣島縣雙三郡吉金村

鵜 川 春 三 郎 △東京府、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒、圖書共勵會幹事、東京府豐多摩郡大久保町西大久保四八六

菟 道 春 千 代 △圖案業、圖案會員、東京京橋區南傳馬町二の一電車雜誌社

宇 和 川 道 諭 明治一〇年一〇月二〇北海道生、畫家、油畫、師松本楓湖、三五年七月美術學校洋畫撰科卒、大阪東區味原町六一

宇 田 川 源 藏 △東京、彫金、明治四三年東京府工藝學校金銀工科卒

宇 田 川 捨 次 郎 號 和 雄 慶應元年一月二六東京生、象牙彫刻及鑄像製作業、師金田兼次郎、川本洲樂、彫工會第七部長、巴里萬國博覽會銅牌、第五回内閣博覽會二等賞、三等賞、聖路易萬國博覽會銀牌、利榮壽博覽會金牌、日英博覽會にて金賞、其他彫工會にて銀牌五回、銅牌四回、美術協會にて銅牌二回を得、東京下谷區二長町三

宇 都 眞 吾 △廣島、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

宇 野 先 珉 號 桂 洲 明治一二年四月一一千葉縣生、彫金業、師海野勝珉、金工協會員、彫工會、美術協會等より銅牌を受、東京本郷區西片町一〇、は一九業、東京芝區新錢座町四、電芝四二七八

宇 野 澤 辰 美 △東京、ステインドグラス製造業、東京芝區新錢座町四、電芝四二七八

内 島 稔 造 號 曉 園 明治七年五月一六廣島縣生、畫家、日畫、師竹内栖鳳、繪畫共進會等に

て銀牌以下受賞數回、廣島縣加茂郡中黒瀬村

内田定一郎 號 貞 哉 明治一六年二月
二五新瀧縣生、漆器製作業、立花塗筆塗専門、師内田勘
三郎、三山博士鈴木貞親、三九年一〇月工業試験場漆業
練習會修了、漆工會員、田尻漆工會幹事、新潟縣刈羽郡田
尻村八五

内田 貢 號 魯庵 △(前號不知庵)
明治元年九月東京生、著述家、『文學一斑』『罪と罰』『復
活』等著書譯書多し、東京牛込區市ヶ谷砂土原町二の六

内田 四郎 號 △通信技師、建築、工學士、建
築學會常議員、東京府北豐島郡瀧野川村田端四二五

内田 祥三 號 明治一八年二月二三東京生、東
帝大工科大学講師、陸軍經理學校講師、建築、工學士、四
〇年七月東京帝大工科大学建築科卒、建築學會員、東京麻
布區新龍十町一二

内田善四郎 號 吳山 文久二年九月一
三生、畫家、日畫(四條)、美術協會員、岡山縣都窪郡倉
敷町六七二、電一三四

内田すま子 號 翠香 △日畫、研精會
員、東京神田區駿河臺東紅梅町一三、電本局三三二八

内野 猛 號 一甫 明治一一年六月
七東京生、東京府立第三中學校教諭、油畫、師黒田清輝、
三五年七月美術學校洋畫科卒、東京本郷區動坂町五

内野 銀城 號 △日畫、明治四四年三越吳服店
懸賞廣告圖案應募當選五等賞を受、東京本郷區追分町日本
館内

内山 觀靜 號 紫雲生 明治三年七月一

二新瀧縣生、天養宗僧侶、日畫、師瀧和亭、川端玉章、巨
勢小石、新潟縣中頸城郡和田村栗原四三

内山波之輔 △長野、日畫、明治四一年三月
美術學校日畫科卒

内海常二郎 號 高鳳 明治一〇年二月
一二千葉縣生、畫家、日畫(四條)、師望月金鳳、美術協
會員、東京牛込區稻田鶴卷町三〇四

内海 輝邦 △島根、日畫、明治二六年七月
美術學校日畫科卒

内海 三貞 △中央セメント株式會社取締役、
工學士、建築、建築學會特別會員、建築協會評議員、東
京下谷區上根岸町四九、電下谷一八九三

内海 吉堂 號 嘉永三年一月福井生、畫家、南
畫、師鹽川文麟、嘗て清國に留學す、美術協會にて銀牌、
第六回文展にて褒状を受、京都上京區高倉通二條北入

内海 秀三 號 潮香 明治二一年九月
一三京都生、畫家、日畫、師木島櫻谷、京都美術協會
員、後素協會員、京都上京區夷川小川角

瓜生 養次郎 號 △畫家、洋畫、フニウザン會員、
瓜生 英夫 號 紫山 慶應三年七月八
筑前國生、德島縣立瀧町中學校教諭、日畫、師川村雨谷、
村田香谷、山名貫義、荒木寛敏、川端玉章、明治三〇年七月美
術學校日畫講習科修了、關西南宗畫會顧問、德島縣美馬郡
脇町猪之尻

漆 間 宏 △北海道、金工、明治四五年三
月美術學校金工科卒

歌川 わか子 號 若菜 △明治二二年一
月東京生、畫家、日畫、師武村耕鶴、端館紫川、水野年方、

川合玉堂、三七年三月女子美術學校日畫科卒、異畫會員、
前年英國に遊び當今巴里に在り

歌川 銀次郎 號 豐山 (舊號國峰) 慶應
元年二月八江戸生、畫家、日畫(大和繪)、家風を繼ぎ傍
ら岸竹堂に學、異畫會員、扶桑繪畫協會にて銅牌、聖路易萬
國大博覽會にて二等賞、美術協會にて銅牌(二回)、第二回繪
畫共進會にて銅牌、東京勸業博覽會にて三等賞、異畫會にて
銅牌を受、前年作畫を土耳其皇帝に獻納す、東京本郷區駒
込林町二四一

移川 三郎 號 浩哉 △福島、清國
四川省成都中等工業學校教師、日畫、明治三三年七月美術
學校日畫科卒、研精會員

浦井 芳太郎 號 明治一五年一〇月七福井生、朝
鮮總督府印刷局技手、圖案及彫刻、三八年七月京都高工學
校日畫科卒、朝鮮龍山印刷局官舎

浦田 淳造 △農商務省水産講習所勤務、洋
畫、水族棲息狀態を能くす、東京下谷區谷中清水町一一
馬 澄 勘 號 文洲 明治一六年兵庫
縣生、圖案業、友禪圖案、師水上香邨、關西圖案會委員、
京都下京區六角大宮二丁四入

生 方 敏郎 號 干柿園 明治一五年八月
二四群馬縣生、著述家、美術評論、師坪内博士、浮田博
士、金子馬治、島村瀧太郎、早稻田文學士、三九年七月早稻
田大學英文科卒、東京小石川區雜司ヶ谷町一一九

上 原 桃 畝 △畫家、日畫、讀畫會員、東京
小石川區原町一五

上原千之助 號 古年 明治一〇年一二
月一六東京生、畫家、日畫、異畫會評議員、紅兒會員、異

畫會にて二等賞を受、東京淺草區福井町一の三九
上田 丹厓 △肥後生、畫家、南畫、師梶
山大江、嘗て畫道研究の爲め清國に歴遊す、熊本市唐人町
本田方

上田 直次 號 明治一三年一月二三廣島縣生、
彫型、師朝倉文夫、藤井浩祐、勳七、太平洋畫會研究所出身
東京府北豐島郡日暮里町谷中本一〇七二

上田 保一 號 麗水 明治二三年三月
六德島生、學生、日畫(四條)、四三年三月京都美術工藝
學校繪畫科卒、京都上京區吉田町京都市立繪畫專門學校内

上田 萬秋 號 柳外 明治二二年八月一
五京都生、畫家、日畫(寫生)、師今尾景年、京都美術
協會員、一九年四月京都府立畫學校卒、第五回勸業博覽會
にて銅賞、聖路易萬國博覽會にて銀賞、白國利榮博覽會に
て金牌、第二回文展にて三等賞、第四回にて褒状を受、京都
下京區佛光寺通柳馬場西入四〇三

上田 耕甫 △畫家、日畫、父上田耕沖に學
大阪東區高麗橋五丁目

上田 貞次 △新潟、洋畫、明治四二年三月
美術學校洋畫科卒

上村 常子 號 松園 明治二二年四月
二三京都生、畫家、日畫(四條)、師幸野樸嶺、異畫會員、
文展第一回、第二回、第四回共に三等賞、其他展覽會及び外國
博覽會にて金、銀、銅賞を受くる事數回、京都車屋町柳池南
入一五

上村 昌訓 號 小蕪 慶應元年七月一
九高知縣生、畫家、油畫、師本多錦吉郎、土佐美術協會
員、高知市中島町上一の七〇

上野

建築學會員、東京本郷區西片町一〇、は一九

三京都生、畫家、圖案、師吉谷清馨、京都圖案會名譽會員、染業組合二葉會長、彩友會委員長、圖案に關する著十餘種あり、京都上京區猪熊三條北入三一五

上野 慎太郎 號 螺 孫 明治七年一月一八金澤生、漆工業、髹漆、美術協會員、漆工會員、漆工會二等賞、名古屋新古美術展覽會三等賞を受、東京本郷區菊坂町八二本妙寺内

上木 浩一 郎 號 古 村 慶應三年九月一駿河國生、市立静岡商業學校教諭、油畫及水彩、日畫を内藤敬典に、洋畫を和田英作、小林萬吉に學、駿河名勝遺蹟「富士登山案内」興津案内等の著あり、静岡市五番町一五

上 杉 義 順 號 信 齋 嘉永三年七月一四東京生、畫家、日畫(南北合法)、師野口幽谷、東京赤阪區一ツ木町三一

上 杉 熊 直 齋 號 無畏鎧 明治一八年一月一奈良縣生、畫家、日畫、師深田直城、橋本雅邦、異畫會員、岐阜集巧會にて一等賞、東京勸業博覽會にて二等賞、第一回文展にて三等賞、異畫會にて三等賞を受、大阪府西宮東口停留場南入

五水戸生、美術學校教授、帝室技藝員、正五、勳五、彫金、師秋谷勝平、金工協會特別會員、美術協會特別會員、國華俱樂部幹事、最近に於ては日英博覽會名譽賞受領、其他内外博覽會、美術協會、金工協會、彫工會其他にて金牌二五回、銀牌四六回、銅牌六四回受領、東京本所區番場町三八、工場同上、電本所二二八三

海 野 美 盛 號 元治元年一月一五江戸生、美術學校教授、正六、勳六、彫金、師海野美盛及父盛壽に彫金の業を學び美盛の名を繼ぐ、(舊稱子之吉)、美術協會員、彫工會特別會員、各種の博覽會等に於て優賞を受くる事數次、明治三三年二月私費を以て佛國へ航し三四年一月歸朝、三六年四月官命により巴里へ赴き三七年八月歸朝、東京下谷區上野櫻木町三六、電下谷四八六五

牛 田 治 號 仰 俯 (前號雞村) 畫家、日畫、異畫會員、明治四五年四月異畫會にて二等賞を受、東京府北豐島郡日暮里町谷中本二〇五

牛 田 松 南 號 明治七年一月四愛知縣生、畫家、南畫、常師なし、中央南宗畫會幹事、東京本郷區彌生町三

牛 村 喜 勇 號 司法技師(大阪控訴院建築場勤務) 建築、工學士、從七、建築學會員、大阪北區北野小松原三七〇の一

碓 井 卯 之 助 號 芳 泉 明治一三年四月一七京都生、畫家、日畫(圓山)、師山元春舉、京都美術協會員、京都上京區室町通出水下

植松 彌太郎 號 抱 美 明治五年一月一東京生、漆工業、蒔繪、師父植松抱民、岸光景、漆工會勸業博覽會にて二等妙技賞、三等妙技賞、東京勸業博覽會にて二等賞、漆工會にて銀牌を受、東京京橋區出雲町一三

植松 盛之助 號 素 鳳 明治一一年七月二長野縣生、畫家、日畫(四條)、三四年七月美術學校日畫撰科卒、東京小石川區久堅町七四

浮見 駒太郎 號 風 年 慶應三年一月一六石川縣生、九谷燒製作業、日畫及製陶、師今尾景年、九谷品評會二等賞を受、石川縣能美郡小松町一六九

海 野 融 號 三 岳 嘉永四年六月二盛岡生、日畫(四條)、及洋畫、日畫を高橋樓岳に、洋畫を宮本三平に學、盛岡市仁王小路六六

海 野 豐 太郎 號 影 金 明治三〇年七月美術學校彫金科卒

海 野 兼 次郎 號 影 金 業、彫金、美術協會員、彫工會員、東京本郷區千駄木町五八、電下谷四二八九

海 野 武 三郎 號 勝 秀 明治元年二月二四東京生、彫金業、師海野勝珉、金工協會會員、彫工會にて銅牌、彫金青年會にて二等賞(二回)及三等賞、巴里萬國大博覽會銅賞、金工協會にて銅賞、及記念金牌、美術協會にて銀牌を受、東京本郷區千駄木町五八、電下谷四二八九

海 野 清 號 影 金 明治四四年三月美術學校金工科卒、美術協會員

海 野 銀 三郎 號 影 金、明治三四年七月美術學校彫金科卒

海 野 勝 珉 號 芳 洲 弘化元年五月一

野 原 石 五郎 號 貞 明 安政五年九月武藏國生、彫刻業、牙角介甲嵌入、師中山貞民、石川光明、彫工會委員、美術協會委員、美術協會、海外萬國大博覽會にて銀賞二回、銅賞十數回受領、東京本所區外手町四四

野 原 安 司 號 櫻 洲 岐阜、畫家、日畫、明治四二年三月美術學校日畫科卒、研精會員、明治繪畫會員

野 上 彌 太郎 號 龍 起 慶應元年五月一東京生、鑄金、象型、師湯淺龍火、大島如雲、鑄金會幹事、美術協會委員、彫工會委員、巴里萬國大博覽會にて銀賞、聖路易萬國博覽會にて銀賞、美術協會及彫工會にて銀、銅牌數箇を得、東京府北豐島郡彌野川村田端東臺四八四

野 田 半 三 號 東京、畫家、洋畫、第二回文展入選、東京牛込區若松町一二一

野 田 又 男 號 鋤 雲 明治一〇年六月一三熊本生、畫家、從七、勳六、功五、日畫、師小山聽雨、竹内栖鳳、菊池芳文、三三年四月京都美術工藝學校繪畫科卒、新古美術展覽會にて銅牌受領、熊本市寺原町船場二六四

野 田 道 三 號 九 浦 明治一二年二月二東京生、畫家、大阪朝日新聞社員、日畫、師寺崎廣業、第一回文展にて二等賞、同第五回にて褒狀を得、異畫會員、大正美術會員、大阪北區西橋現町鶴之茶屋

野 田 昇 平 號 拈 嶽 明治一〇年七月一四鹿兒島縣生、前北京大學教師、油畫、師小山正太郎、黒田清輝、三八年七月美術學校洋畫科卒、東京赤阪區青山南町五の三七

野 村 一 郎 號 臺灣總督府土木部技師、建築、

從五、勳五、工學士、建築學會員、臺灣臺北書院街五丁目官舎

野村虎松 號 孤松 明治五年九月九日
仙臺生、東京府職工學校教諭、洋畫(油畫、水彩)、東京本郷區曙町一六

野村陸雄 明治一四年一月二七東京生、彫刻業、塑像、三六年七月美術學校彫金科卒、大阪東區生玉町藤之棚

野村勝守 △彫金、金工協會特別會員、彫工會員、美術協會員、東京芝區愛宕町三の二林部方

野村忠勝 明治一五年八月二九大分縣生、圖案家、圖案及彫刻、四〇年七月京師高工學校圖科卒、東京麹町區大手町

野村宗十郎 △東京築地活版製造所專務取締役、社長、彫工會員、圖案會員、國華俱樂部員、東京京橋區築地三の二、電京橋六五五

野村厚生 △福井、福井縣師範學校教諭、彫刻、明治二九年七月美術學校彫刻科卒、福井市佐佳枝上町七六

野村定吉 號 竹塘 嘉永五年三月二八越中國生、海外輸出向銀器、製作業、金工協會員、彫工會員、日英博覽會にて銀賞其他展覽會等にて受賞多し、東京神田區三崎川岸一六號三、電本局一九八二

野村實之 號 菱處 安政五年四月二七奈良縣生、教員、日畫(四條)及洋畫、師竹川友廣、加島信成、奈良縣山邊郡丹波市町三島

野村重治 號 芝麓 (別號玩古陳人) 安政三年正月一七江戶生、東京帝博部長、同主事事務兼勳、

古社寺保存會委員、正七、勳六、漆工會幹事、東京下谷區上野公園帝博官舎

野村成之 號 匪石 嘉永五年八月二五江戶生、圖案及著述、師幸野模嶺、禪僧語庵、山本如月、永樂和全、高橋道八、前田香雪、京都美術協會常設委員京都南區協會員、漆工會顧問、美術協會員、圖案會委員、京都市京區寺町丸太町三

野村雪江 △畫家、日畫(四條)、野村文學に師事し其後を襲ぐ、日本畫會員、日月會員、美術協會員、第二回文展にて三等賞、同第三回にて褒狀を受、東京赤阪區榎町三

野口郁子 號 小蕙 明治一二年一月一一東京生、畫家、南畫、母野口小蕙に學、美術協會員、日本畫會員、各展覽會にて受賞多し、東京麹町區內幸町一の五、電長新橋三三一七

野口六三 △東京、金工、明治四五年三月美術學校金工科卒

野口駿尾 △東京、日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒、嘗て佛國に留學し劇場裝飾を研究す、東京府北區島郡東町駒込山王前九〇

野口親子 號 小嶺 弘化四年正月一一大阪府生、畫家、帝室技藝員、南畫、從七、師日根野對山、美術協會特別會員、日本畫會員、內外博覽會にて二等賞數回、美術協會にて銀賞十數回、金牌一回、明治三五年四月より四二年四月まで常宮內親王殿下、周宮內親王殿下御用掛拜命、東京麹町區內幸町一の五、電長新橋三三一七

野口一涉 △愛媛、學校教師、明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒

野元義雄 △鹿兒島、洋畫、明治四五年三月美術學校洋畫科卒

能村知二 △吳海軍經理部建築課勤務、建築、E. Arch. (Cornell University)、建築學會員、吳市登七八

能守安太郎 △東京、金工、明治四五年三月美術學校金工科卒、東京下谷區西黒門町四

能勢鶴次郎 慶應三年二月一五江戶生、慶應義塾圖畫專任教員、洋畫(油畫、水彩)、師中丸精十郎、東京芝區築房町一二

乘松朔 號 北城 明治一六年二月四東京生、畫家、日畫(狩野)、師寺崎廣業、東京牛込區東横町二〇

納富介次郎 △美術協會特別會員、東京芝區公園地一四號一七、電芝二八二一

信谷友三 號 義山 明治一〇年二月二二東京生、前北京農工商部工業學堂教習、彫刻(彫塑及木彫)、三〇年七月美術學校彫刻科卒、東京本郷區駒込林町一七七

久保薰 號 歟 △日畫、明治四〇年五月美術學校日畫科卒、兵庫縣多紀郡篠山町

久保提多 △新潟縣立卷中學校教諭、日畫、明治四一年三月美術學校日畫科卒

久保義三郎 △東京府事務官補、正七、勳六、國華俱樂部幹事、東京麹町區三番町六六、電番町三三二〇

野口彌市 △大阪住友本店技師長、建築、工學士、建築學會員、大阪市外住吉村九〇

野口安太郎 △富山、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

野口健一 明治一三年一〇月一七東京生、建築受買業清水組員、圖案、三八年七月京師高工學校圖科卒、東京四谷區荒木町一〇

野口愛一郎 號 麗水 明治一五年二月一五愛知縣生、日畫、師石河有鄰、日本畫會員、東海美術協會員、愛知縣西春日井郡西枇杷島町四一三

野口峰吉 明治一六年五月二二佐賀縣生、兵庫縣豐岡中學校教員、油繪、師小山正太郎、三九年四月美術學校洋畫科卒、兵庫縣城崎郡豐岡町

野口翠雲 △畫家、日畫、日本畫會員、日月會員、東京京橋區新榮町五の六

野生司 號 香雪 △香川、日畫、明治四一年三月美術學校日畫科卒

野崎兼清 號 華年 文久三年六月二五生、中學圖畫科教員、洋畫(水彩、油畫)、師淺井忠、浪越美術會主幹、ハレ洋畫會幹事、關西美術會員、富山縣博覽會、第三回勳業博覽會、關西美術院競技會にて賞牌を受、名古屋東區東撞木町一

野崎惠 號 星江 明治一六年二月二〇宮崎縣生、兵庫縣立第二神戶中學校教諭、洋畫、師小山正太郎、神戸市奥平野番外三八七

野尻與三吉 號 秀親 △金屬品製作業、彫金、美術協會員、彫工會員、鑄金會員、東京下谷區南稻荷町三五

久保井 美吉 號 華 睦 安政五年七月遠
 江國生、畫家、南畫、師大塚翠佳、渡邊小華、美術協會
 員、日本畫會員、南宗畫會員、南宗畫會にて優等賞銅牌其他
 各所にて受賞、東京京橋區越前堀町一〇

久保田 一郎 號 高知、圖案、京都龍村製織工
 場、明治四五年京都高工學校圖科卒

久保田 米齋 號 世 音 明治七年八月一
 ○京都生、畫家、日畫、巽畫會員、師原田直次郎、橋本雅
 邦、東京芝區高輪南町三〇

久保田 米洲 號 畫家、日畫、東京本郷區東片
 町一四五

久保田 鼎 號 理 堂 安政二年四月八
 江月生、奈良帝博館長兼京都帝博館長、古社寺保存會委員、
 正五、勳四、美術協會員、京都美術協會員、金工協會名譽會
 員、奈良市東大寺中院院

久保田 良行 號 天 南 明治八年高知縣
 生、畫家、南畫、師名草逸峰、河田小龍、四一年朝鮮古
 畫研究の爲め渡鮮、朝鮮京城櫻井町六〇ノ六

久保田 信之祐 號 竹 文 明治一二年三月
 一九京都生、畫家、日畫(寫生)、師山元春舉、京都美術
 協會員、京都下京區萬壽寺通烏丸西入

久保田 安太郎 號 禾 仙 慶應元年二月一
 ○東京生、奈良縣師範學校教諭、洋畫(水彩)、父久保田
 南園に學、奈良市大豆山町一

久保田 小三郎 號 明治專門學校建築部勤務、建
 築、建築學會員、福岡縣遠賀郡若松濱之町一舊松本邸内

久保田 佐一郎 號 霞 洋 明治二三年五月
 一岡山縣生、南畫、師永松春洋、大阪北區中之島六〇

久保田 金 隱 △明治八年京都生、畫家、日畫
 師幸野模嶺、父久保田米隱、美術協會員、巽畫會員、圖案會
 員、名古屋西區内屋敷町一七

久保田 誠次郎 △愛媛 圖案、明治三二年七月
 美術學校圖科卒

久留 政道 △安政二年三月靜岡生、建築、
 從四、勳三、工學士、建築學會員、東京府北豐島郡巢鴨村
 新田九一

久野 留之助 △鑄金業、銅像等鑄造、東京本
 郷區元町

久野 龜之助 △東京、帝國裝飾會社技師、日
 畫、明治三六年七月美術學校日畫科卒、東京京橋區八官町

久野 延太郎 △栃木、洋畫、明治四一年三月
 美術學校洋畫科卒

久野 徹 輔 號 嵩 山 明治一三年二月
 一八松本生、寫真月報記者、寫真研究會主幹、竹之臺茶話
 會幹事、日本寫真會員、東京赤坂區青山南町二の三四

久野 節 △鐵道院技師、建築、正七、工
 學士、建築學會員、東京下谷區櫻木町二九

久萬 盛 幸 △高知 洋畫、明治三八年七月
 美術學校洋畫科卒

久米 民之助 △工學士、建築、建築學會員、
 東京府豐多摩郡代々幡村代々木一八〇、電番町六六

久米 桂 一郎 號 慶應二年佐賀生、美術學校教授
 兼東京高商教授、美術審查員、從五、勳六、油繪、師ラフ
 アエル・コラン、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村原宿二〇九、
 電芝一七八六

久米 福 衛 △德島、縣立島取中學校教諭、
 洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒

工 藤 孝 △寫真師、寫真、寫真研究會員、
 東京神田區錦町三の二五、電本局一七二〇

工 藤 晨 △秋田縣立大館中學校教諭、日
 畫、明治三二年七月美術學校日畫科卒

工 藤 三 郎 號 明治二二年九月一北海道生、四
 五年三月美術學校洋畫科卒、洋畫、東京本郷區根津須賀町
 二七東邊館

工 藤 三 造 號 觀 古 明治九年三月三
 北海道生、畫家、日畫、師松本楓湖、巽畫會員、栃木縣
 足利郡足利町九三〇

九 里 四 郎 號 明治一九年一月一東京生、畫家、
 洋畫、四三年三月美術學校洋畫科卒、第二回文展及第四
 回にて同じく三等賞を受、四五年佛國に遊ぶ、大阪西區靱
 北通一丁目田中方

九 鬼 隆 一 號 成 海 嘉永五年八月七
 攝津國三田生、樞密顧問官、古社寺保存會長、帝室技藝員
 撰擇委員、從二、勳一、男、美術協會名譽會員、建築學會名
 譽會員、五畿内江丹保勝會頭、有馬保勝會總裁、博覽協會總裁
 等、東京麹町區永田町二の七、電新橋二二四二

公 文 三 二 號 蘆 淵 明治九年二月二
 六徳島縣生、畫家、日畫(住吉)、師森魚淵、全國繪畫共
 進會二等賞、美術協會二等賞受領、東京赤坂區青山高樹町
 一二番八

黑 岩 倉 吉 號 淡 哉 明治五年二月八
 東京生、美術學校助教授、彫刻、二七年七月美術學校彫刻
 科卒、美術協會委員、彫工會委員、巴里萬國大博覽會金牌

受領、東京府北豐島郡日暮里町金杉一四三

黒 板 勝 美 △明治七年肥前國大村生、東帝
 大文科大學助教授、正六、文博、東京府豐多摩郡千駄ヶ
 谷村原宿二〇二

黒 部 義 曉 號 拈 華(別號微笑子) 安
 政三年四月一五因幡國生、畫家、南畫、師牧野芝石、日根
 野對山、李載公、三〇年來内地及清國に漫遊す、著述『南畫
 要訣』『南宗系流』『無聲畫論』等、東京牛込區矢來町二二

黒 川 勝太郎 號 榮 勝 △金銀鍍起業、
 師平田重之、金工協會幹事、彫工會員、美術協會員、東京神
 田區五軒町二〇、電下谷二二三一

黒 川 義 勝 △鍍起業、美術協會員、金工協會
 員、東京下谷區仲徒町一の五五

黒 川 誠 二 郎 △(舊姓工藤)京都、圖案、福井
 縣工業試驗場囑託、明治三八年京都高工學校圖科卒

黒 川 翠 山 △京都府、藝術寫真

黒 田 朋 信 號 鵬 心 明治一八年一月
 一五東京生、讀賣新聞記者、文學士、美學及美術史の研
 究、四三年七月東帝大文科大學哲學科卒、建築學會特別會
 員、東京下谷區谷中清水町一七

黒 田 理 紫 城 △福岡縣生、畫
 家、日畫、研精會員、東京赤坂區福吉町一黒田邸内

黒 田 太 久 馬 △古物評定所主、美術鑒賞、東
 京四谷區鹽町一の二七、電番町二八七

黒 田 清 輝 應慶二年六月二九鹿兒島縣生、
 美術學校教授、美術審查員、帝室技藝員、從四、師佛人
 ラフアエル・コラン、東京麹町區平河町六の一四、電番町
 九八七

應二年一月一六滋賀縣生、嘗て美術評論家として雑誌「日本美術と工藝」を主幹せり、著書京都名勝記「外數種あり、京都府宇治郡醍醐

○兵庫縣生、愛知縣立陶器學校長、從七、陶器製造技術專門、三三年七月東京高工學校窯業科卒、愛知縣東春日井郡瀬戸町

黑田重太郎 明治二〇年九月二〇大津市生、畫家、洋畫、師淺井忠、鹿子木孟郎、關西美術會會員、第六回文展入選、大阪東區北久太郎町一の八、電東三七四九

黑田茂助 文久三年一〇月一〇名古屋生、蒔繪漆器商、美術協會會員、漆工會會員、內國勸業博覽會、共進會等にて數回受賞、名古屋西區袋町六丁目、電八二八

黑田整一 明治二二年一月二〇長野縣生、二六新聞記者、美術評論、四五年六月早稻田大學政治經濟科卒、東京下谷區上野花園町六

黑澤九子 號 彩江 明治九年八月二一埼玉縣生、畫家、日畫、師岡永洗、川合玉堂、四〇年三月女子美術學校高等科卒、巽畫會會員、國香會女子部員、東京下谷區上根岸町七九

黑澤充福 號 墨山 天保一四年二月一二武藏國生、畫家、日畫(南北合派)、師金室碩淵、相澤會山、美術協會會員、東京下谷區上根岸町七九

黑住金吾 號 岡山 圖案、明治三九年京都高工學校圖科卒

國井應陽 號 謙齋 (別號超軒) 明治元年一月二七京都生、畫家、日畫(圓山)、宗家にして圓山

栗原文子 號 玉葉 明治一九年四月長崎生、錦秋實科高女學校教員、日畫、師端館紫川、繪木清方、女子美術學校日畫科卒、國香會女子部幹事、巽畫會にて銅賞受領、東京小石川區白山御殿町一六

栗田辰子 號 靜畝 明治一三年一月二一東京生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木實畝、三三年四月跡見女學校全科卒、東京本郷區彌生町三荒木實畝內

栗山俊一 號 古屋 建築學會員、名古屋高工學校教授、建築、從七、工學士、建築學會員、名古屋東區上野杉町五の四二

桑小多磨 號 夔童 明治一二年七月二〇金澤生、和洋美術木版、印章彫刻業及藝術寫眞、師福泉研雲、西洋木版彫刻業靜和會にて二等賞、彫工會にて銅牌を得、東京京橋區銀座四の二、電京橋二〇一九

桑名三郎 號 鐵城 慶應元年二月美術學校日畫科卒

桑野義顯 號 鐵城 慶應元年二月越中國生、彫刻家、兩回清國に歴遊し金石學、篆法を研究して歸朝、京都美術協會會員、京都柳馬場姉小路上

桑野寬 號 鐵城 慶應元年二月美術學校鑄造科卒

桑本政次 號 鉾郷 明治一四年一月五大分縣生、陸軍人、日畫(虎畫專門)、師小山友卿、勳七、小倉市外上城野重住

葛一揆 號 江月 明治一三年五月三一盛岡生、中學圖畫科教員、日畫、三七年三月美術學

應舉六世畫師、父國井應文に學、後素如雲社員、(四三年間繼京最古の畫會)、第四回勸業博覽會にて受賞其後何會にも出品せず、京都上京區室町三條北

國井宇七 號 惠水 明治二〇年四月一七山形縣生、畫家、日畫、師寺崎廣業、巽畫會會員、山形縣西村山郡西根村日田四三五

國井喜太郎 號 柴山 明治一五年一〇月二五香川縣生、沖繩縣首里區立工業徒弟學校教諭、日畫(四條)、師岡田玉翠、三五年三月香川縣工藝學校木彫科卒、沖繩縣首里區舊城內

國友朝次郎 號 柴山 明治一五年一〇月二五香川縣生、沖繩縣首里區立工業徒弟學校教諭、日畫(四條)、師岡田玉翠、三五年三月香川縣工藝學校木彫科卒、沖繩縣首里區舊城內

國方天海 號 博 明治一六年二月香川縣生、彫塑家、影響、太平洋畫會彫塑部研究員、第三回及第五回文展にて衰狀を受、東京本郷區駒込林町一八二旭館內

國重篤介 號 博 朝鮮總督府總務部技師、建築、正七、工學士、建築學會員、朝鮮京城西門度支部第一官舎縣工藝學校教諭、描金、二九年七月美術學校漆工科卒、高松市五番町四六

國本空山 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會會員、巽畫會、東京下谷區池之端七軒町三七

窪田喜作 號 松畝 明治三三年七月東京美術學校洋畫科卒

窪島政男 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

倉橋菅藏 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

倉知亮三 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

倉田重吉 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

倉田重吉 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

倉田勝人 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

倉田勝人 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

空閑陽樹 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

空閑陽樹 號 松畝 明治七年一〇月五東京生、畫家、日畫、師關山、荒木實畝、巽畫會幹事、日本畫會會員、各展覽會にて屢々優等賞を得、東京下谷區二長町五一

Shepherds Bush, London. W)

美術學校日畫撰科卒

熊谷梅太郎 號雪 淡 明治一四年四月九週賀縣生、圖畫及手工、師小山正太郎、上原六四郎、岡山秀吉、四一年三月東京高師學校圖畫手工專修科卒

熊谷守一 號岐阜、洋畫、明治三七年七月美術學校洋畫撰科卒、第三回文展にて褒狀を受、岐阜縣惠那郡付知町

熊澤熊太郎 明治二三年八月二七神戶生、美術學校彫刻科在學、彫塑、東京下谷區谷中初音町四の一五八

糸野締太郎 號七寶製造業、美術協會員、彫工會員、名古屋三輪町一四三

梅田利雄 號冬潮 明治一六年一月一五愛知縣生、書肆同文館編輯局員、洋畫、四〇年三月美術學校洋畫科卒、東京本郷區駒込坂町三二七

楠井九一 號小南 明治二三年九月三〇東京生、畫家、日畫(浮世繪)、師村田丹陵、東京下谷區二長町三

楠永直枝 萬延元年一〇月八日生、高知縣第一中學校教諭、洋畫、師本多錦吉郎、高知勸業品評會にて二等賞を得、高知縣土佐郡潮江村四八七

軍地護之 號福秀 明治二二年二月一二茨城縣生、美術寫真、寫真研究會員、東京小石川區指ヶ谷町七

郡司卯之助 號福秀 明治三六年七月美術學校洋畫撰科卒、東京本郷區湯島四の一四

矢吹時中 明治一三年五月三東京生、寫真製版印刷業、師伊人エドソド、キヨソネ、本多忠保、印刷同業組合評議員、寫真研究會員、東京本郷區彌生町二、電下谷一八八四、振替東京一〇八四七

矢吹熊治 號璋雲 (舊號雲岳)、嘉永五年七月五備中國生、日畫、師川端玉章、同好會員、各畫會にて銀銅賞を得、名古屋東區東新町一五

矢澤貞則 號弦月 明治一九年四月二一長野縣生、畫家、日畫、師寺崎廣業、四四年三月美術學校日畫科卒、異畫會員、研精會にて研精賞を受、東京府豊多摩郡澁谷町中澁谷六七九

矢澤作太郎 號長崎、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

矢崎千代二 明治五年橫須賀市生、畫家、油畫、師黒田清輝、第五回勸業博覽會にて三等賞、第四回文展にて三等賞を受、東京府北豊島郡東町二の一

矢代貞助 號神奈川縣技師、建築、建築學會員、横濱市西戸部縣廳官舎四四

矢島雄一 號秋田縣技師、建築、從六、工學士、建築學會員、秋田市中總之町上丁二一

矢島德三郎 號文義 明治元年一月一四東京府生、鋼鐵彫型師、師兒木文明、金工協會部長、金工協會銅牌、銀牌、金牌受領、東京府北豊島郡高田町千歲四七

矢守一 號生 明治一四年二月三津市生、彫塑四一年三月美術學校彫刻撰科卒、東京本郷區駒込追分町三一鴻城館

耶馬 朔山 號耶馬山人 號福岡縣生、

矢橋賢吉 號大藏省臨時建築部技師、建築、從五、勳五、工學士、建築學會員、大正元年一月大阪市公會堂新築設計懸賞競技應募當選三等賞(金千圓)を受、東京府豊多摩郡澁谷町下澁谷一九一

矢邊芳隆 號德島、圖案、栃木縣工業學校教諭、明治三九年京都高工學校圖科卒

矢部卓治 號煤山 嘉永二年一月備中國生、畫家、日畫(岸派)、師岸連山、美術協會員、岡山市宇野殿町二九

矢田鐵三 號建築設計監督製圖受員、建築、建築學會員、東京麹町區飯田町五の五、電番町一八九二

矢内良太郎 號煤秀 號畫家、日畫、美術協會員、日本畫會員、讀畫會員、橫濱市太田町三の五二

矢野倫真 號船山 元治元年二月二九金澤生、縣立岐阜中學校教員、水彩畫、師池田雲樵、田村宗立、明治二二年三月京都府畫學校洋畫科卒、岐阜市梅ヶ枝町

矢野定治 號楓江 明治二二年七月六分縣生、畫家、南畫、師江藤燕雨、美術協會員、大分縣北海部郡元市濱村二五

矢野誠一 號香川、彫刻、明治四五年三月美術學校彫刻科卒、第三回文展入選

矢口岩吉 號永壽 明治三年六月三石川縣生、九谷陶磁器製作販賣業、内外博覽會にて銀賞二回、銅賞、三回其他受賞、石川縣江沼郡山中温泉場七六

彌富破摩雄 號秋村 (別號資水) 明治一一年一月一〇熊本縣生、皇孫殿下養育掛、日畫(四條及南畫)、美術批評、師上田、芳賀、藤岡の三博士、國學院大學及東帝大學國文撰科卒、東京麻布區北新門前町二

八波善吉 號明治一〇年八月一二福岡縣生、教員、日畫、朝鮮慶尙北道高靈郡普通學校

八卷於菟三 號△明治一六年五月二八山梨縣生、美術學校助手、彫金、師海野勝珉、四〇年三月美術學校金工科卒、東京小石川區駕籠町四六

八木兼辰 號半仙 天保一〇年七月二二播磨國生、教員、日畫、師河野鐵兜、落合雙石、八木仙墨、齋藤崎庵、瀧和亭、神戸市山本通五の八七

八木岡亮之助 號春山 明治一二年二月二東京生、畫家、勳八、日畫(狩野)、師下條桂谷、美術協會員、美術協會にて屢々受賞、東京麹町區三番町六五

八代田四郎兵衛 號△(前名輝三)香川、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒、香川縣小豆郡洲崎村

屋代鉄三 號晁江 號美術學校書記、圖書教育會幹事、金工協會學藝贊助員、東京府北豊島郡瀧野川村田端二六三

鎗田作造 號△大藏省臨時建築部技師、建築、從六、建築學會員、東京麹町區車町一一

築瀨廣助 號十峰 文久二年五月一五肥前國生、長崎縣立五島中學校教員、日畫(南宗、四條)

洋畫、師守山湘颯、幸野模嶺、圖書教育會員、長崎縣南松浦郡福江村

柳 永喜 號 玉洞 元治元年五月二
三上野國生、繪畫講習所主幹、日畫(狩野)、師狩野友信、
美術協會員、東京麹町區車町一六

柳 敬助 明治一四年五月一、千葉縣生、
畫家、油畫、師黒田清輝、ジョージ・ブリッヂマン、ロバ
ト・ヘンライ、美術學校にて修業後米佛に航し留學七年、四
二年九月歸朝、第四回文展にて褒状を受、東京府豊多摩郡
高田村雜司ヶ谷三七四

柳川 榮太郎 號 柳塘 文久三年五月一
九江戸生、畫家、南畫、師福島柳圃、美術協會員、各所
にて屢々受賞、東京本所區龜澤町二の三

柳田 代助 號 樵谷 嘉永二年八月二
四名古屋生、畫家、日畫(四條)、名古屋西區島田町一の
柳田 爲重 號 斗墨 安政五年二月二
七相模國生、畫家、南畫、師栗田穆水、美術協會員、東
京麻布區三河臺町一六

柳田 莊一郎 號 柳莊 明治一七年七月
二九栃木縣生、藝術寫真、寫真研究會會員、日本寫真會一等
當選銀牌、寫真研究會銅牌を受、栃木縣足利町六の三二七
柳 澤一抱 號 漆工業、蒔繪、漆工會員、美術
協會員、東京小石川區白山御殿町一一〇

柳澤 昇太郎 號 文真 天保三年八月一
五信濃國生、畫家、日畫(南北宗)、師谷文晁、各地繪畫
展覽會に出品し受賞數回、舊江戸東叡山法親王並嵯峨御所
等へ御館入を許され法橋の稱を賜はる、長野縣南佐久郡櫻
井村八七

藥師寺 主計 陸軍省經理部附技師、建築、從
七、工學士、建築學會員、東京小石川區白山御殿町一二七

山川 永雅 號 畫家、日畫、紅兒會會員、巽書會
員、東京淺草區橋場町一二三
山川 茂雄 號 石川、彫金、明治四〇年三月
美術學校金工科卒、金澤市殿町

山方 石之助 號 香峰 明治六年一月一
二秋田生、繪畫雜誌記者、東京麹町區飯田町六の二三、電
番町三五〇

山縣 丹治 號 北海道廳立函館中學校教諭、
日畫、明治三一年七月美術學校日畫科卒
山形 駒太郎 號 畫家、洋畫、第三回文展入選、
東京府豊多摩郡千駄ヶ谷村穩田一一五

山形 靜知 號 岡山、朝鮮龍山鐵道工作場勤
務、圖案、明治四五年京都高工學校圖科卒
山田 伊三郎 號 耕雲 明治一一年六月
三京都生、畫家、日畫、師菊池芳文、京都美術協會員、
第二回文展にて三等賞を受、京都下京町新町佛光寺上

山田 得多 號 古香 嘉永五年三月三
讃岐國生、美術品評、京都美術協會委員、京都上京區竹
屋町富小路西入

山田 知雄 號 京都市、圖案、明治四〇年京都
高工學校圖科卒
山田 長三郎 號 宗美 明治六年一〇月
二石川縣生、鐵起業、鐵起、象眼は父宗光に學び鐵起は
自己創製、美術協會委員、内外博覽會等にて金牌數回名譽
大賞等を受、石川縣江沼郡大聖寺町鍛冶町一二

山田 忠藏 號 敬中 明治元年四月二
東京生、畫家、從七、日畫、師川端玉章、巽書會評議員、
日本畫會評議員、研精會顧問、天真會評議員、美術協會員、美

藥師寺 久兵衛 號 行雲 明治九年一〇月
一東京生、商業、彫刻、師高村光雲、美術協會員、彫工會委
員、美術協會銀牌二回及銅牌、彫工會銅牌、聖路易萬國博覽
會銀牌受領、東京本所區茅場町一の二、電本所二五九六

山邊 知臣 號 福島、神奈川縣女師學校教諭、
日畫、明治三五年七月美術學校日畫科卒

山岡 尚樹 號 米華 明治元年一月
二八高知生、畫家、美術審查員、南畫、師名草逸峰、美
術協會委員、土陽美術會幹事、南宗畫會幹事、國華俱樂部
幹、美術協會にて事、金、銀牌を受くること十數回、東京勸業
博覽會にて一等賞受領、東京下谷區谷中坂町七九

山脇 春樹 號 臺灣總督府民政部專賣局長、
從四、勳四、美術協會幹事、金工協會名譽會員、東京麹町
區平河町二の二一六、電番町一二五〇

山脇 信德 號 高知、滋賀縣立膳所中學校教
員、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、第三回文
展にて褒状を受

山脇 雄吉 號 高雲 (舊號衛聲) 明
治八年七月三鳥取縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、
二九年七月美術學校日畫科卒、二葉會幹事、勸業博覽會、
展覽會等にて三等賞、二等賞、銀賞を受、東京本郷區駒込林
町二一六、振替東京二〇八九〇

山鹿 健吉 號 清華 明治一八年三月
一二京都生、圖案家、圖案(裝飾畫)、師西田竹雪、河邊華
舉、神阪雪佳、佳都美會員、關西圖案會委員、京都下京區三
條通柳馬場東入仲之町九

山川 豐松 號 石川、彫刻、東京戸田組勤
務、明治四五年三月美術學校彫刻科卒

術協會、巽書會、勸業博覽會にて銀牌三箇、銅牌十一箇、功分
賞四箇、其他文展にては第三回、第五回に褒状を得、東京府
北豐島郡瀧野川村田端四〇七、電下谷五五七〇

山田 縫三郎 號 明治六年一二月二〇濱松生、樂
器製造業(商號清琴齋)、彫工會員、勸業博覽會、共進會に
て銀牌數回受領、東京淺草區藏前片町一八、電下谷一三九
三、振替東京五一八六

山田 於菟三郎 號 晴村 明治五年一月三
〇埼玉縣生、佐賀縣唐津中學校教諭、日畫、二六年七月美
術學校日畫科卒、佐賀縣東松浦郡唐津町二五六、二

山田 介堂 號 畫家、日畫、美術協會員、京都
美術協會員、巽書會員、第五回文展にて褒状を受、京都下
京區御幸町錦小路上

山田 馨 號 鳥取、圖案、内匠察勤務、
明治四四年京都高等工藝學校圖科卒
山田 勝秋 號 秋畝 明治二〇年七月
熊本生、畫家、日畫、師木島櫻谷、寺崎廣業、巽書會員、
四四年三月三越吳服店懸賞廣告畫圖案當選二等賞金二百圓
を受、東京府荏原郡下目黒村蛸藥師内

山田 覺治郎 號 樂全 明治七年六月二
八京都生、蒔繪匠、時代蒔金摸摺及古美術品の修正、師古
猶齋金藏、中島有章、京都姉小路柳馬場東入五
山田 九か子 號 綠豫 明治二三年一月
二五東京生、畫家、南畫、東京日本橋區吳服町一〇
山田 貴公 號 松華 明治元年三月一
九京都府生、畫家、日畫、師鈴木松年、二〇年三月京都

府畫學校北宗科卒、京都下京區西大谷池畔五一二ノ二

山田 廉 號 東 鶴 明治一四年一月

四浦和生、大阪府夕陽丘高女學校教諭、日畫、師戶田玉秀、

四〇年三月美術學校日畫科卒、大阪南區伶人町四八一七

山田 憲之 號 堆 山 天保一三年九月

五豐後國生、畫家、南畫、師木下逸雲、美術協會員、松

本市八九五

山田 政 治 號 泰 雲 明治八年九月一

二東京生、彫刻家、彫製、三三年七月美術學校彫刻科卒

彫工會第一部長、東京下谷區谷中上三崎町六〇

山田 正 隆 號 杏 園 嘉永五年九月五

江戸生、畫家、南畫、師五十嵐竹鳩、南宗畫會員、巽畫會

員、東京日本橋區吳服町八

山田 益 雄 號 秋 坪 明治一〇年五月

一大分縣生、畫家、南畫、師姫島竹外、遊心會員、大阪

東區高麗橋五の九

山田 權 三 郎 明治一十九年一月一四石川縣生、

廣島高師學校助教授、洋畫、師小山正太郎、四一年三月東

京高師學校圖畫手工專修科卒、廣島市千田町二の四八四

山田 榮 吉 號 兩江師範學堂教師、洋畫、明

治三五年七月美術學校洋畫科卒、(在清國南京)、

山田 喜 市 號 兵 庫 圖案、明治三九年京都

高工學校圖科卒

山田 豐 浩 號 堂 明治二年十一月

三福岡縣生、畫家、日畫(四條)、師川崎千虎、巽畫會員、

四日市市沖之島

山田 有 方 號 富 山、彫金、明治三〇年七月

美術學校彫金科卒

山田 雄之助 號 東 京、彫刻、第二回及第三回

文展入選

山田 田 靜 號 工 學 士、建築、東京本郷區八

重垣町五四關方

山田 實 號 實 明治二年八月二二水戸生、美

術學校洋畫科在學、洋畫、東京本郷區駒込林町一六三林館

山田 潤 子 號 寒 山 安政三年七月一

五尾張國生、南宗(學竹)、師吳昌碩、素人畫會員、東京

下谷區下谷町一の二、電下谷五六六

山田 瑞比古 號 廣 翠 明治八年三月三

大阪生、教員、日畫(寫生)、師湯川松堂、巽畫會員、大

阪東區八丁目中寺町警安寺寓

山田 弘 道 號 藍 々 弘化元年八月一

八甲府生、教員、日畫、師成田等朝、甲府市境町五

山田 七五郎 號 明 治 四年二月一京都府生、長崎

縣技師、建築、師辰野、中村兩工博、從六、工學士、三

二年七月東帝大工科大学建築科卒、建築學會員、設計に

なりたるもの長崎縣廳及縣會議事堂等、長崎市外片淵郷二

山田 性次郎 號 和 性 明治六年一〇月

三一東京生、彫刻、牙彫、師伊藤次之、字田川和雄、彫工會

員、三八年九月彫工會にて褒狀受領、東京下谷區二長町三

山田 善 次 號 岡 山、圖案、明治四二年京都

高工學校圖科卒、朝鮮京城漢城美術品製作所内

山田 翠 谷 號 明 治 六年九月五京都生、畫家、

日畫、師三宅吳曉、橋本雅邦、京都美術協會員、京都丸太

町通大宮東入

山内 信 一 號 京 都、日畫、第一回文展入選

五回、第六回に於て三等賞を得、東京府豐多摩郡淀橋町柏木

山内 貞 郎 號 愚 僊 慶應二年六月一

九江戸生、大阪朝日新聞社員、市立大阪高等商業學校囑託

教授、油畫、師高橋由一、渡邊文三郎、關西美術會評議員、

山内 菊次郎 號 千 秋 明治元年九月七

新瀉生、教員、洋畫、師渡邊文三郎、埼玉縣北埼玉郡不

動岡村

山内 金三郎 號 大 阪、日畫、明治四三年三月

美術學校日畫科卒

山内 金次郎 號 天 眞 明治一五年六月

二四東京生、畫家、日畫(圓山)、師高橋應眞、川端玉章、

天眞會員、巽畫會員、東京牛込區富久町四九榎橋方

山口 富之丞 號 珉 齋 明治九年一〇月

一和歌山生、彫金業、師海野勝珉、金工協會員、東京

京橋區新湊町四の一

山口 治三郎 號 一 照 明治九年三月二

〇岐阜生、金屬品製作業、彫金、師佐藤一秀、海野勝珉、

美術協會員、彫工會委員、金工協會委員、美術協會、彫工會、

博覽會にて銀賞銅賞を受、東京下谷區山伏町六四

山口 亮 一 號 明 治 一八年八月一〇佐賀生、畫

家、洋畫、四四年三月美術學校洋畫科卒、赤雲會員、東

京牛込區早稲田鶴卷町二八九中野方

山口 良 吉 號 米 南 明治二一年九月

二三德島縣生、畫家、日畫、師山岡米華、東京本郷區千

駄木町一〇三

山名 繁太郎 號 義 海 慶應元年八月九

江戸生、東帝博物館技手、鑑査、美術部繪畫主任、大和繪

及繪畫鑑定、師住吉廣實、父山名貫義、美術協會商議員、考古

學會員、博覽會、展覽會にて銅牌を受たること數次、兩陸

下、東宮殿下曾て美術協會(行幸啓の際御前畫の榮を蒙る

數回、東京小石川區水道端町一の七一

山 成 次 夫 號 岡 山、鑄金、東京高田商會動

務、明治四五年三月美術學校鑄造科卒

山 中 升 號 古 洞 明治二年七月一

〇東京生、畫家、日畫、師月岡芳年、熊谷直彦、在原古玩、

烏合會員、二七年六月青年繪畫共進會(東宮殿下行啓遊ば

され席上御前揮毫の榮を賜ふ、東京芝區二本榎町二の二八

山 中 神 風 號 畫 家、日畫、巽畫會員、東京

日本橋區濱町二の一

山 村 誠 一 號 長 野、德島縣女師學校教諭、

明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

山 内 幾 太郎 號 香 樵 弘化元年九月二

六伊豫國生、農業、南畫、師續木君樵、沙門鐵翁、守山湘

暎、愛媛縣新居郡泉村

山 内 多 門 號 都 洲 明治一一年四月

二九宮崎縣生、畫家、日畫(狩野派より出づ)、師中原南

溪、橋本雅邦、川合玉堂、二葉會幹事、巽畫會評議員、繪畫展

覽會等にて銀賞數回、銅賞數回、文展にては第一回、第三回第

山口大藏

治二六年七月美術學校特別課程卒
山口辰吉 號 瑞雨 明治元年一〇月

山口保次郎

號 雲鳳 明治一四年九月
一六廣島生、畫家、日畫(四條)、師藤島耕山、望月金鳳
異畫會員、金澤繪畫共進會にて銅牌を受、廣島市廣瀨神社
横町二五七

山口松之助

號 松齋 明治二七年五月
二三京都生、畫家、日畫(四條)、師菊池芳文、第六回
文展入選、京都市小川通三條上

山口孝吉

號 吉 明治一五年一〇月
一八大阪生、畫家、日畫(印象派)、師中川蘆月、浪華
青年畫會幹事、異畫會員、浪華繪畫競技會銅牌、内國製博
覽會銅牌を受、大阪北區老松町三の六四島野方

山口準之助

號 鐵道院技師、正五、勳四、工
學士、建築、建築學會特別會員、東京本所區石原町一官
舎、電本所一八七

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口光清

號 金品製造業、鑄起、金工協
會員、東京下谷區山伏町六四、電下谷三一二

山口光四郎

號 瑤華 明治一五年一〇
月一八大阪生、畫家、日畫(印象派)、師中川蘆月、浪華
青年畫會幹事、異畫會員、浪華繪畫競技會銅牌、内國製博
覽會銅牌を受、大阪北區老松町三の六四島野方

山口眞一

號 鐵道院技師、正五、勳四、工
學士、建築、建築學會特別會員、東京本所區石原町一官
舎、電本所一八七

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

山口眞一

號 桃齋 明治八年四月一
三東京生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、各展覽會に

て屢々賞を得、東京芝區愛宕町二の一四
山崎朝雲 明治元年二月一七福岡生、彫型
家、美術審査員、鑄造及木彫、師高村光雲、彫工會副部長
日本彫刻會員、美術協會會員、内外國博覽會及展覽會に於て
の受賞を概別すれば、金牌十箇、銀牌十二箇、腕銀牌一箇、
銀牌三箇名譽賞等、東京本郷區駒込林町一四二

山崎龜吉

號 貴金屬品製作業、(商號清水商
店)國華俱樂部員、東京日本橋區馬喰町四の一、電浪花
長二七一五、同二七一六、工場本郷區駒込富士町四四(尙
工舎)、電下谷二三三六

山崎陽一

號 山梨、圖案、明治四五年三月
美術學校圖科卒

山崎廉吉

號 靜村 明治一九年七月
一六靜岡縣生、寫眞業、寫眞研究會員、寫眞研究會品評
會に於て銀牌、銅牌受領、東京神田區淡路町二の四江木寫
眞本店内

山崎賢道

號 天珉 明治一七年六月
六長野縣生、彫金、勳八、師海野勝珉、金工協會員、東
京本所區番場町三八海野方

山崎鐵次郎

號 明治八年九月一五福井縣生、若
狹塗製造販賣業、漆工會員、福井縣遠敷郡西津村湊三三
明治二四年七月美術學校特別課程卒

山崎勇馬

號 香雲 明治九年一二月
二五高知縣生、日畫(土佐)、從七、勳六、三一年七月美術
學校日畫科卒、青森市寺町四五

山崎巳之助

號 和沾 △東京府、彫
刻、明治三四年七月美術學校彫刻科卒

山下敬忠

號 石川、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒

山下久馬太

號 左春 文久三年三月備
前國生、岡山縣立高梁中學校教諭、洋畫、一九年七月京都
府畫學校洋畫科卒、京都府博覽會より妙技賞牌を受、岡
山縣上房郡高梁町

山下啓次郎

號 司法技師、建築、正五、勳四、
工學士、建築學會會員、東京麻布區仲之町九、電芝二七五〇

山下鐵之輔

號 福岡、洋畫、明治四五年三月
美術學校洋畫科卒

山下繁雄

號 東京、畫家、洋畫、第二回文
展入選、東京京橋區采女町三五

山下新太郎

號 明治一四年八月二九東京府生、
畫家、洋畫、師佛人 Cornou 及 Collin 三七年四月美術學
校洋畫科卒、三八年四月より巴里へ留學、四三年六月歸
朝、第四回及第五回文展にて共に三等賞を得、東京府豊多
摩郡代々幡村代々木山谷二八三山崎方

山下英夫

號 東京、鍛金、明治三二年七月
美術學校鍛金科卒

山下青厓

號 安政五年九月七遠江國生、畫家
南畫、師渡邊小華、日本畫會員、東海繪畫協會幹事、京城
博覽會にて銀牌、東海繪畫協會にて銀牌、名古屋新古美術展
覽會にて銅牌を得、前年英國コンノート殿下來朝の砌其他伏
見宮殿下、前韓國答禮大使等貴紳の前に於て屢々席畫の榮を
蒙る、靜岡縣濱名郡笠井町一四五

山下翠畝

號 畫家、日畫、師荒木寛敏、讀
畫會員、東京本郷區本郷四の三二

山本一藏

號 石莊 明年五年四月三
一一九

山崎靜太郎

號 樂堂 明治一八年一月
一九和歌山生、大藏省臨時建築部勤務、建築、工學士、四
二年七月東帝大工科大学建築科卒、建築學會會員、東京牛
込區築土八幡町二四

山際吉五郎

號 俊光 明治元年三月三
東京生、彫刻業、牙彫、師島村俊明、美術協會會員、東京
淺草區永住町一〇二

山北則重

號 寬山 明治一二年三月
一八熊本縣生、畫家、南畫、師荒木寛友、美術協會會員、
東京麻布區飯倉片町六

山岸貞一

號 山形、山口縣立高女學校教諭
明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒

山城眞治郎

號 眞齋 明治一七年七月
二五大阪生、畫家、日畫(四條)、師田口年信、中川蘆月、
大阪南區生玉寺町五一九

山下馬山

號 京都、京都市立繪畫專門學校
在學、第四回及第六回文展入選

山下釣

號 東京、洋畫、明治四三年三
月美術學校洋畫科卒、コスモス會員

山下竹齋

號 明治一八年七月一七京都生、畫
家、日畫、師山元春舉、第五回及第六回文展にて褒狀を受
京都醒ヶ井五條上

山下桂號

號 青城 明治一五年一一
月八靜岡縣生、畫家、南宗、師山下青厓、益頭峻南、美術
協會會員、日本畫會員、東海繪畫協會會員、日韓京城博覽會銅牌、東
海繪畫協會銅牌を得、東京麻布區新堀町四

山下兼秀

號 明治一五年一一月二五鹿兒島生
畫家、洋畫、師黒田清輝、東京芝區白金猿町三四

愛知縣生、畫家、南畫、父山本梅莊に學、諸會に出品し銀賞(一回)及銅賞(五回)を得、愛知縣知多郡半田町下牛田五七二

山本治兵衛 △京都帝大技師、從五、勳五、建築、建築學會員、京都上京區東丸太町川端東入三九、電三七三五

山本 鼎 △愛知、畫家、洋畫、明治三九年四月美術學校洋畫科卒、(在巴里、14 Cite Filippine, Paris)

山本鑑之進 △住友本店臨時建築部技師、建築、建築學會員、大阪南區天王寺阿倍野二ノ三七四七

山本 義雄 號 不言子 明治四年一月一五東京生、廣島縣立職工學校教諭、彫金、二九年七月美術學校彫金科卒、廣島市新川場官有七番次五

山本 義雄 明治一七年二月一四東京生、寫眞、寫眞研究會員、寫眞研究會にて三等賞を得、東京府荏原郡南品川六の八

山本直三郎 明治三年九月二二名古屋生、内匠察技師、建築、師片山工博、從六、勳五、建築學會員、東京四谷區仲町三の三九

山本信太郎 △兵庫、日畫、明治四五年三月美術學校日畫科卒

山本 倉藏 號 梅莊 △弘化三年八月一三尾張國生、畫家、美術審査員、南畫、師三谷雪庵、各展覽會にて受賞頗る多し、第一回文展にて三等賞を得、

鑄金、明治三〇年七月美術學校鑄造科卒

山本 四郎 △神奈川、島根縣立松江中學校教員、明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒

山本 二朗 △東京、圖案、明治四〇年京都高工學校圖科卒

山本 昌 號 光汀 △東京、石川縣工業學校教諭兼圖案教師、從七、勳六、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒

山本 祥雲 △陶磁器業、陶畫、美術協會員、巽畫會員、横浜市英町一〇一〇

山本 正三郎 △香川、金屬工藝品製造業、明治三〇年七月美術學校彫金科卒、吾樂會員、東京府北豐島郡瀧野川村五四六

山本 鐘三郎 號 琴嶺 文久二年八月二三江戶生、畫家、日畫(南北合派)、師佐竹永村、美術協會員、關龍世界博覽會及巴里萬國博覽會にて銅牌受領、東京小石川區小日向臺町三の二三

山本 修磨 △石川、圖案、明治四二年京都高工學校圖科卒

山本 淳 △高知、鹿兒島縣師範學校教諭、明治四三年美術學校圖畫師範科卒

山本 兵三 明治一七年八月二二東京生、畫家、洋畫、四二年三月美術學校洋畫科卒、東京府豐多摩郡代々幡村代々木一五一

山本 茂三郎 號 昇雲 明治三年一月高知生、畫家、日畫、師柳本洞素、河田小龍、瀧和亭、美術協會員、美術協會にて銅賞を受、東京芝區三田四國町二

山本 森之助 明治一〇年四月長崎市生、畫家

愛知縣知多郡半田町下牛田五七二
山本八十三 △大阪、彫刻、明治三二年七月美術學校彫刻科卒

山本松之助 號 笑月 明治六年一〇月五東京生、東京朝日記者、國華俱樂部幹事、東京深川區鶴步町三

山本 正久 號 杏園 明治二年八月一五大阪生、彫刻業、木彫及牙彫、師森川杜園、森川杏園、大阪南區上本町七の五二八〇

山本 香雲 △畫家、南畫、師山本梅莊、愛知縣知多郡半田町五七二

山本 貞治 △新潟、鑄金、明治四三年二月美術學校鑄造科卒

山本 天章 明治一四年一月京都生、畫家、日畫(四條)、師谷口香嶺、京都美術協會員、京都上京區河原通三條上四〇三

山本 杏哉 △彫刻業、彫工會員、美術協會員、東京府北豐島郡日暮里町金杉一二二一

山本 清 號 清彦 文久二年四月三岡山生、畫家、日畫(四條)、師岡本常彦、東京下谷區西町三

山本 久治郎 △石川、富山縣工藝學校教員、鑄金、明治三六年七月美術學校鑄造科卒

山本 菊一 △長野、鑄金、明治四五年三月美術學校鑄造科卒

山本 勇吉 △學校教師、油畫、滋賀縣滋賀郡膳所町

山本 茗次郎 △石川、東京府立工藝學校教諭

美術審査員、油繪、三二年七月美術學校洋畫科卒、白馬會にて白馬賞、東京勸業博覽會にて一等賞、第一回文展にて三等賞、第二回にて三等賞、第三回にて二等賞を受、東京府豐多摩郡日塚村諏訪一八

山本 隨雲 △彫刻業、木彫、日本彫刻會員、彫工會員、東京本郷區千駄木町四二

山元 金右衛門 號 春舉 明治四年一月一五大津生、京都繪畫專門學校教諭、美術審査員、日畫(圓山)、師森寬齋、京都美術協會員、内外博覽會及各所繪畫展覽會にて金、銀、銅牌、妙技賞、優等賞を得ること多し、京都上京區高倉丸太町下

山 盛謙 一 號 秋莊 明治三三年一月一六愛知縣生、畫家、日畫、師渡邊秋溪、巽畫會員、東京府北豐島郡日暮里町元金杉一一三九

山 瀨久三郎 號 春嶺 明治八年八月五京都生、畫家、日畫、師鈴木松年、後素協會員、京都下京區六角通油小路西入

藪 政七 號 明山 嘉永六年二月大阪生、陶器業、外國博覽會にて名譽大賞、金牌等數回受領、兵庫縣武庫郡魚崎村、營業所大阪北區堂島中町二丁目、電東二九五六

安 井武雄 明治一七年二月二五東京生、南滿洲鐵道會社工務課技師、建築及圖案、工學士、四三年七月東帝大工科卒、建築學會員、大連市北大山通四

安 井不有 △畫家、日畫、日本畫會員、東京牛込區東五軒町一〇、三澤方

安 井厚 △石川、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

安岡信義 △島根、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

安田祿造 △東京高工學校教授、圖案、(模國留學中)

安田乙次郎 號 蕉堂 明治七年一月一四東京生、畫家、日畫(容齋派)、師三島蕉窓、明治繪畫會幹事、明治繪畫會にて銅牌を受、東京淺草區三筋町三九

安田松五郎 號 松慶 △佛師業、彫刻 彫工會終身會員、美術協會員、東京日本橋區新右衛門町一二、電本局二〇八一

安田久吉 △東京、彫刻、明治三二年七月美術學校彫刻科卒

安田新三郎 號 鞆彦 明治一七年二月一五東京生、畫家、東洋畫、師小堀柄音、紅兒會員、東京勸業博覽會に二等賞、第一回文展にて三等賞、第六回は二等賞を受、神奈川縣足柄下郡小田原町十字二丁目天神山

安成二郎 明治一九年九月一五秋田縣生、二六新聞記者、洋畫評論、東京四谷區荒木町二七

安村行雲 △福岡、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

安江雅勝 △石川、漆工、明治四一年三月美術學校漆工科卒

保井莊吉 號 抱中 安政四年一二月一五江戸生、漆工業、蒔繪(専ら宮内省御用美術品製作を力む)、師植松抱氏、美術協會委員、漆工會商議員、内外國博覽會共進會等にて屢々金、銀、銅牌及其他の優等賞得、東京橋區築地一の四

保岡勝也 號 愛濱 明治一〇年一月二二東京生、建築技師、建築、師辰野、曾兩工博、工學士、三三年七月東帝大學建築科卒、建築學會員、工事設計に成るもの、三菱合資會社丸の内第八號館より二十箇迄同會社大阪支店、及岩松支店、大隈伯爵邸洋館、東京日日新聞社、日本橋柏原洋紙店、莊田邸日本館一部、各務邸洋館及日本館其他貴紳住宅六十七棟、東京勸業博覽會に三菱出品館の圖案を出し三等銅賞を受、東京本郷區丸山新町二二、電下谷三五七一

保岡芳太郎 號 素堂 明治一五年二月二三大阪生、畫家、日畫(四條)、師中川蘆月、竹内栖鳳、橋本雅邦、寺崎廣業、巽畫會員、二葉會、研精會等にて銀賞、銅賞(十回)等文展にては第三回、第六回共に褒狀受領、東京下谷區谷中眞島町一

間部時雄 明治一八年七月一五熊本縣生、京都高工學校助教諭、洋畫及裝飾畫、師淺井忠、三八年七月京都高工學校圖科卒、京都上京區下之切通新島丸東入

間宮孝太郎 號 章堂 明治七年八月二〇埼玉縣生、畫家、日畫、師寺崎廣業、埼玉縣北足立郡廣町六六

眞名田隆 △橫河工務所技師、工學士、建築、建築學會員、東京四谷區傳馬町一の五金子方

眞鍋蕃 △香川、廣島縣立福山高女學校圖畫師範科卒

眞野適 號 香村 慶應二年一〇月

一五尾張國生、畫家、南畫、師村田香谷、田能村直人、美術協會員、中央南宗畫會員、愛知縣海東郡佐屋村須依七一

眞野紀太郎 號 默念 明治四年五月八名古屋生、私立日本中學校教員、洋畫(油畫、肖像、水彩)、師中丸精十郎、日本水彩畫會講師、東京牛込區市ヶ谷富久町九九

眞野曉亭 △畫家、日畫、巽畫會員、東京淺草區瓦町二八

眞山孝治 明治一七年一月三岩手縣生、畫家、油畫、舊白馬會研究所出身、東京府美術工藝展覽會にて銅牌、第四回文展にて三等賞を受、東京芝區櫻川町一七住田方

眞水英夫 號 默堂 明治元年七月九東京生、建築技師、建築、師辰野、中村兩博士、コンドル教授、從六、工學士、二五年七月東帝大工科大学建築科卒、建築學會員、工事設計なるもの京都帝大創立設計の外帝國圖書館(東京)、在北京帝國公使館、清國學部直轄大學堂、天津日本租界貸家等、東京本郷區本郷三の八、電下谷四五六三、振替東京一三五七

馬渡彌次郎 △佐賀、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

馬島瑞園 △文政八年會津藩生、美術鑑識、東京神田區千代田町八

的場白峰 明治七年一月二四金澤生、群馬縣立藤岡中學校教諭心得、南畫、師野口幽谷、二六年三月石川縣工業學校圖畫科卒、群馬縣多野郡藤岡町三の三九七

的場源三郎 號 南嶽 文久元年一〇月

二八紀伊國生、日畫(南北折衷)、奈良市東包永町五八

町田市太郎 △建築業清水組技師、建築、建築學會員、東京麻布區三河臺町二三

町田春之助 號 曲江 明治一二年二月三長野縣生、畫家、日畫、師内海吉堂、寺崎廣業、第一回文展三等賞、東京勸業博覽會一等賞受領、前年佛國に遊學歸途印度を過り研究して歸る、東京北豐島郡瀧野川村一〇七

町田直巖 號 玉穗 明治四年三月二五群馬縣生、畫家、日畫(圓山)、師森霞巖、川端玉章、日本畫會員、群馬縣勢多郡荒砥村富田五八

町田哲次 號 湘湖 明治一六年七月二一長野縣生、畫家、日畫(容齋派)、師松本楓湖、長野縣下高井郡中野町四八

町田新吉 安政元年五月京都生、金屬具製作業、鎚金、金工協會員、東京淺草區南元町一〇

町田秀城 號 山城 安政四年六月五鹿兒島生、教員、日畫(四條)、師萩原藤市兵衛、鹿兒島市藥師町九五

町田清太郎 號 吟泉 文久三年九月二八信濃國生、長野縣立上田高女學校教諭、日畫、長野縣小縣郡城下村三好町黒坂方

丸野 號 豐 △師範學堂教師、日畫、清國山西省太原府

丸山忠次郎 號 永畝 明治一九年四月三長野縣生、畫家、日畫、師荒木寬畝、讀畫會員、東京本郷區弓町二の一〇

丸山健作 號 晚霞 慶應三年五月三信濃國生、畫家、水彩畫、師本多錦吉郎、太平洋畫會員、

明治三二年米國に留學、三四年歐洲各地を視察歸朝、四三年再度渡歐四五年歸朝、東京本郷區駒込神明町一四

丸山古香 △畫家、日畫、美術協會員、日月會員、東京本郷區湯島天神町一の六一

丸山重治郎 號松 櫻 明治一一年八月七長野縣生、學校教員、南畫、師兒玉果亭、美術協會員、巽畫會員、長野縣更級郡東福寺村小森一一〇三

丸木利陽 △寫眞師、東京芝區新櫻田町一八、電新橋四六一

股野 號藍 田 天保九年九月一 一柳磨國生、東帝博物館總長兼內大臣秘書官長、帝室技藝員撰擇委員、正三、勳一、巽畫會名譽會員、鑄金會名譽會員、東京赤阪區仲之町五、電新橋二五八

松井德太郎 △版本彫刻業、彫工會員、國華俱樂部員、東京芝區白金臺町二の三

松井 昇 安政元年一月一七但馬國生、陸軍教授、日本女子大學教授、正七、勳六、洋畫、油繪、水彩、師川上冬崖、太平洋畫會員、東京小石川區丸山町四

松井信次 △東京、彫刻、第一回文展入選

松井貴太郎 明治一六年一月一五六阪生、建築技師、建築、工學士、三九年七月東帝大工科大学建築科卒、建築學會員、設計に成るもの三越吳服店大阪支店、大阪貯蓄銀行京都支店、門司三井物産會社支店等、大阪四區土佐堀裏町八六

松井清足 △海軍臨時建築部技師、建築、正七、工學士、建築學會員、東京牛込區富久町一四

松井英次郎 △新潟、洋畫、明治四一年三月

松林 篤 號桂 月 明治九年八月一 八山口縣生、畫家、南畫、師野口幽谷、日本畫會幹事、南宗畫會幹事、美術協會員、美術協會にて銀牌、銅牌五箇、日本畫會にて銀牌、正派同志會にて二等賞、東京勸業博覽會にて銅章、第四回文展にて褒狀、第五回第六回共に三等賞を受、東京麻布區筈町四三、電芝四七〇六

松林千里 △福岡、洋畫、明治四一年三月 美術學校洋畫科卒

松橋宗明 △岩手、鑄金、明治三二年七月 美術學校鑄金科卒

松尾次郎 △奈良、圖案、明治四三年京都 高工學校圖科卒

松尾廣吉 △舊姓黒川、金工、明治四四年 三月東京美術學校金工科卒、香川縣綾歌郡新名村

松岡虎之助 號古 年 明治一五年一月 三兵庫縣生、畫家、日畫(四條)、巽畫會員、神戸市兵庫港町二の一八七

松岡甲子彦 △京都、圖案、明治四一年京都 高工學校圖科卒

松岡輝夫 號映 丘 明治一四年七月 九兵庫縣生、美術學校助教授、大和繪、師山名貫義、三七年七月美術學校日畫科卒、東京牛込區北町三三

松岡 壽 文久二年二月五備前國生、東京 高工學校教授兼特許局審査官、美術審査員、從五、勳六、賜藍綬褒章、油畫、師川上冬崖、ホンタネジマカリ、伊太利羅馬美術學校繪畫科卒、第四回勸業博覽會出品妙技二等賞を受、建築學會特別會員、東京府荏原郡北品川町御殿山七二七

月美術學校洋畫科卒、東京本郷區西片町一〇、一八

松原米山 △畫家、日畫、第二回東京勸業展覽會にて三等賞、巽畫會員、東京淺草區永住町一〇二

松原善人 △長野、日畫、松本高女學校教諭、明二九年七月美術學校日畫科卒

松原康雄 △岡山、建築學會編輯補助員、洋畫、明治三五年七月美術學校洋畫科卒、東京牛込區辨天町五四

松原三五郎 號董 里 (別號三悟) 元治元年六月一三備前國生、洋畫教授(天彩畫塾)、正八、師初代五姓田芳柳、關西美術會創立者、明治三七年官を辭して専ら後進誘掖に努む、著書圖畫教科用書數種あり、大阪東區系原町二の一三九

松原義七 明治八年一月二五香川縣生、寫眞業、正八、勳六、寫眞研究會員、茨城縣多賀郡高鈴村助川一七六五

松原如方 東京生、鑄金、Bronze cire Perrier. 師大島如雲 Ecole des Beaux Art de Paris. 卒、美術協會員、鑄金會員、彫工會員、圖案會員、各所にて受賞多し、東京本郷區湯島三組町八九

松原象雲 明治七年七月一六熊本縣生、彫刻家、木彫、師高村光雲、三〇年七月美術學校彫刻科卒、屢々國寶修繕に従事す、熊本縣飽託郡花園村一三一四

松林孝子 號雪 貞 明治一三年生、畫家、南畫、師野口幽谷、美術協會員、美術協會銅牌、女子美術協會銀牌、銅賞、南宗畫會銅牌、日英博覽會銅牌等を受、皇后陛下上野行啓の際御前揮毫の光榮を蒙り、事二回東京麻布區筈町四三、電芝四七〇六

松川第八郎 △新潟、圖案、明治三九年四月 美術學校圖科卒

松田爲賀 △鹿兒島、漆工、明治二九年七月 美術學校漆工科卒

松田政良 號霞 城 安政四年一二月 一秋田生、畫家、日畫(南北合派)、多年苦心日本畫を研究し、明治二七年速成講習會を開設し、成績良好にして文部大臣より感狀を受、著書「日本畫速成法」外數種あり、東京麹町區飯田町六の二四

松田敬藏 號蘇 雪 慶應元年一二月 二四熊本生、畫家、日畫(四條)、師鈴木松年、熊本縣飽託郡春竹村

松田鹿三 △愛知、長崎市技師、商品陳列館長、工業傳習所長、鑄金、明治三〇年七月美術學校鑄金科卒

松平乘長 △東京、日畫及寫眞、寫友會長 明治三一年七月美術學校日畫科卒、東京神田區五軒町二〇電下谷五七五

松長三郎 △東京、圖案、明治三二年七月 美術學校圖科卒、(在清國)

松永實次 號天 章 明治一二年六月 二四岐阜縣生、畫家、日畫(四條)、師河村光文、川端玉章、美術協會員、日本畫會員、巽畫會員、天真會員、各所畫會に於て屢々優等賞を受、東京小石川區音羽町六の二三

松永昇道 號如 幻 慶應二年一月一 五岐阜縣生、眞言宗僧侶、日畫、師鼎龍曉、京都美術協會員、京都下京區教王護國寺内

松室重剛 △學院教授、洋畫、正六、勳

六、東京府豊多摩郡落合村丸山三〇〇
 松室重光 △關東都督府民政部技師、建築正六、工學士、建築學會員、關東州旅順新市街特第一六官舎

松村仁一郎 號梅叟 明治一七年八月
 一、京都生、畫家、日畫、師今尾景年、京都美術協會員、日英博覽會にて銅賞、第五回及第六回文展にて共に褒状を受、京都上京區今出川通小川東入

松村政喜 △東京、鑄金、明治四三年東京府工藝學校鑄金科卒

松村秀太郎 △富山、岐阜縣土岐郡立陶器工業學校教諭、彫刻、明治四三年三月美術學校彫刻科卒

松浦舞雪 △京都、日畫、第三回文展入選
 松野勘之助 號霞城 慶應三年一月
 九江戶生、畫家、日畫(椿山派)、師野口幽谷、日本畫會委員、美術協會員、美術展覽會博覽會等(出品し銀賞、銅賞を受領十數回、二六年十月、聖上美術協會へ行幸の際撰により御席畫を勸め前後、皇后宮陛下、東宮殿下御前にて御席畫の恩榮を荷ふ、東京牛込區二十騎町三二)

松野清 △静岡、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒

松山龜太郎 △金屬品製造業、鍍金、彫工會員、金工協會員、美術協會員、東京芝區露月町一三
 松山省三 (舊姓渡邊) 明治一七年九月一五

廣島生、油畫、師黒田清輝、岡田三郎助、和田英作、四〇年五月美術學校洋畫科卒、東京京橋區日吉町二〇、電新橋二七四三
 松山雪童 天保一〇年一〇月一四熊本生、畫家、日畫、師矢野真敬、三五年一月、聖上熊本縣へ御臨幸の際第六師團長の命に依り、九年神風黨暴擧の實況圖及熊本舊城兵火前の實況圖を調製、天覽に供せられ現品は御嘉納あらせらる、熊本市安己橋通一六

松前三郎 號楓溪 千葉縣立佐原中學校教諭、日畫(狩野)、師菊池愛山、糸井詔三郎、圖書教育會員、千葉縣香取郡佐原町仁井宿二七九二
 松江昇 △福井、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

松里政登 △福岡、日畫、明治三二年七月美術學校日畫科卒
 松阪晴吉 △洋反物商、美術協會終身會員、圖案會員、東京日本橋區新大坂町六、電浪花長二一〇二、振替東京三九六三
 松崎巍七郎 △福島、青森縣師範學校教諭、明治四五年三月美術學校圖書師範科卒

松宮實芳 號芳年 明治一九年八月
 一、四京都生、畫家、日畫、三九年京都美術工藝學校繪畫科卒、四四年京都繪畫專門學校卒、桃花會員、京都上京區河原町夷川下

松下勅造 號雲畝 明治二一年一月
 一、島根縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木十畝、讀畫會員、島根縣飯淵川郡園村西園
 松下新作 △建築技師、建築、建築學會員、

平而圖案)、師武田五一、淺井忠、鹿子木孟郎、都島英喜、四一年七月京都高工學校圖科卒、廣島市新川場町一〇八の一
 松本光正 △彫金業、金工協會員、美術協會員、東京淺草區千束町一の八八

松本重信 元治元年五月一五尾張國生、陶器製造業(丸山堂)、美術協會員、愛知縣知多郡常滑町三三七
 松本弘 號古村 明治七年七月一
 七大分縣生、縣立大分中學校教諭、日畫及洋畫、師橋本雅邦、川端玉章、寺崎廣業、荒木寛畝、岡田三郎助、白濱徹、三五年七月美術學校圖科卒、圖書教育會幹事、大分市元大分町一三二四

幕谷四郎 △三重、明治四五年三月美術學校圖書師範科卒
 前川文嶺 號子緝 天保八年三月一
 一、京都生、畫家、日畫(四條)、師前田五嶺、京都美術協會員、後素協會員、京都下京區堺町松原下

前川佐一 號觀水 明治一〇年一月
 一二佐賀縣生、蒔繪及圖案、師川之邊一朝、川端玉章、三三年七月美術學校漆工科卒、美術學校生徒成績品展覽會にて二等賞を受、宮崎縣宮崎郡宮崎村上別府島畑町
 前田抱琳 號琳 畫家、日畫(光琳派)、東京芝區白金三光町八五

前田旭之助 明治一〇年六月一六和歌山縣生、建築技師、建築、建築學會員、大阪北區金屋町一の三二
 前田豐一 號玉華 元治元年八月一
 三、京都生、畫家、日畫(鹽川派)、師徳見友傳、羽田月洲、內國製産博覽會名譽銀牌を受、大阪南區空堀町三三

前田豐七 號秀邦 明治一五年三月

東京本郷區根津須賀町七
 松下鈴太郎 號尙信 明治八年四月二
 六、東京生、畫家、日畫(佛畫)、師松下尙悅、美術協會員、巽畫會員、東京芝區中門前町三〇一
 松島久平 號素雲 文久二年三月三
 下野國生、畫家、南畫、南宗畫會評議員、海内を歴遊すること二十有餘年、東京下谷區龍泉寺町三七九
 松本一之助 號靜堂 明治一二年三月
 一、六廣島縣生、畫家、日畫(四條)、師下宮信明、巽畫會員、廣島縣甲奴郡上下町善昌寺地内
 松本薫 號春輝 明治二〇年二月
 一、東京生、畫家、日畫(土佐)、師松本春樹、東京淺草區八幡町四
 松本敬忠 號楓湖 天保一二年九月
 四、常陸國生、畫家、日畫(容齋派)、師沖一峨、佐竹永海、菊池容齋、前美術審查員、巽畫會顧問、美術協會委員、東京淺草區茅町二の三一
 松本亦太郎 慶應元年九月一五高崎生、東京帝大文科大學教授、美術審查員、正五、文博、ドクトル。フヒロソフイエー、明治二六年七月東京帝大文科大學哲學科卒、二九年より三三年迄、實驗心理學及美術研究の爲め歐米諸國に留學す、東京本郷區
 松本喜右衛門 號春樹 天保一四年六月
 二、四江戶生、畫家、日畫(土佐)、師福島隣春、美術協會員、東京淺草區八幡町四
 松本儀八 號青藍 明治一八年一二
 月五佐賀縣生、廣島縣職工學校教諭、裝飾圖案、建築家具、

九名古屋生、畫家、日畫(土佐)、師日比野白圭、正美畫會理事、名古屋共進會贊同展覽會銅牌を受、名古屋中區館屋町三三八

前田 虎雄 號 杉谷 明治二三年一月一東京生、畫家、日畫(南北合派)、師下條桂谷、美術協會員、東京府豐多摩郡杉並村高圓寺四六九
前田 りゑ子 號 錦楓 文久三年一〇月江戸生、畫家、日畫、師狩野芳崖、橋本雅邦、松本楓湖、愛知縣海東郡富田村前田五六
前田 梅三郎 明治元年三月二八東京生、陶磁器業(商號今利屋)、國華俱樂部員、美術協會員、彫工會員、黨業協會評議員、東京京橋區桶町三

前田 圓 號 鳳 嘉永六年三月一七播磨國生、著述業、士大夫畫、美術協會員、明治一八年清國に遊び金石學を研鑽し、二三年書學會を起し、四二年健筆會を開く、四三年同好と共に素人畫を興して所謂士大夫畫の研究及繪畫の品位を増進することを圖る、東京下谷區二長町三六、營業所京橋區元數寄屋町一の三、臨池閣
前田 正名 嘉永三年三月一二鹿兒島生、帝室技藝員選擇委員、從三、勳三、美術協會名譽會員、黨業協會名譽會員、東京麹町區紀尾井町三、電長番町一七〇一美術學校洋畫撰科卒
前田 健次郎 號 香雪 天保一二年正月六江戸生、古社寺保存會委員、帝博陳列品調査委員、賜藍綬褒章、美術協會委員、彫工會理事、黨業協會評議員、鑑定會幹事、國華俱樂部幹事、考古社評議員、書畫筆蹟鑑定、藍綬褒章を附す、板一箇賞勳局より下賜、美術及美術工藝

家、洋畫、四〇年三月美術學校洋畫撰科卒、東京府豐多摩郡大久保町西大久保一八六
正木 直彦 文久二年一〇月二六和泉國堺生、東京美術學校長、美術審查會主事、從四、勳三、明治二五年六月東帝大法科大學卒、金工協會副會頭等各團體に多く關係す、東京牛込區矢來町四ノ二四號、電番町九五三
正木 金吉 東京、彫金、明治三八年七月美術學校彫金撰科卒
正清 德三郎 香川縣工藝學校教諭、鑄金、明治三三年七月美術學校鑄造撰科卒
牧 寬五郎 號 俊高 明治一二年九月三東京生、彫刻業、牙木彫、師島村俊明、彫工會委員、美術協會員、萬象會幹事、美術協會にて銅賞を受、東京本郷區駒込動坂町三二〇

牧 照藏 號 皎堂 明治一七年一二月二九大分縣生、畫家、日畫(四條)、師竹内栖鳳、菊池芳文、三〇年京都美術工藝學校繪畫科卒、大分縣大分郡日岡村新貝
牧 田重雄 號 祥哉 明治一三年三月一東京生、彫塑、四一年三月美術學校彫刻科卒、彫工會員、鑄金會員、東京下谷區西町四
牧 村 擣衣 寫真、寫真研究會員、各所寫真展覽會にて受賞多し、(北米タマ市 301 Commarce St. Takoma, Wash. U. S. A.)
牧 野 虎雄 明治二三年一二月一五新潟縣生、洋畫、第六回文展入選、大正二年三月美術學校洋畫科卒、東京赤阪區高樹町二ノ二
牧 野 伸顯 文久元年一〇月二二鹿兒島生、

の進歩に盡瘁したる功に因り、農商務大臣より功勞賞銀牌賞狀下賜、東京下谷區徒町一の三五
前田 田玉英 號 畫家、日畫、京都美術協會終身會員、京都烏丸通丸太町南入
前田 巳之助 號 京都、圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒
前田 田四郎 號 東京、彫金、明治四〇年三月美術學校金工科卒
前田 田松 號 東京高工學校教授、建築、正七、勳七、工學士、建築學會員、東京芝區金杉濱町五〇黃金井方、(獨逸留學中、Bei Frau Okamura, Wieland Str. 4. Portal II Berlin.)
前田 青村 號 畫家、日畫、紅兒會員、第五回文展褒狀第六回には三等賞を受、神奈川縣平塚町
前田 千寸 號 高知、靜岡縣沼津中學校教諭、日畫、明治三八年七月美術學校日畫科卒
前田 正八郎 號 鹿兒島、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒
前波 覺次郎 號 鶴年 號 福井縣生、畫家、日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒、研精會員、東京下谷區谷中初音町四の二〇
前澤 勇吉 號 桃郎 明治三年三月二一盛岡生、畫家、日畫(四條)、師川口月邨、研精會員、四一年東京殿下東北行啓の御仙臺市よりの獻上畫貳圖を畫仙臺市本橋町九
前島 交吉 號 東京、農商務省實業練習生、木竹彫刻、明治三三年七月美術學校彫刻撰科卒、(在佛國)
正宗 得三郎 明治一六年七月岡山縣生、畫

正三、勳一、男、美音會長、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町七六二、電芝二九一〇
牧 野 國助 號 香川、彫刻、明治四三年三月美術學校彫刻撰科卒
牧 野 左武 號 群馬縣高崎中學校教諭、日畫、明治三八年七月美術學校日畫科卒
牧 野 金太郎 號 永昭 號 畫家、日畫、日本畫會員、日月會員、美術協會員、黨業會員、東京淺草區東三筋町一
牧 野 野司 號 明治二六年千葉縣生、畫家、洋畫、師小林萬吾、和田英作、東京麻布區山元町五七、電芝三五一四
牧 野 野等 號 人子 明治一一年一月九東京生、東京日々記者、洋畫及塑像の研究、『應用家庭美術』『塑像と石膏』『繪畫獨習書』等の著あり、東京府北豐島郡浦野川村田端三一八
卷野 竹次郎 號 高秋 號 鑄造業、彫工會員、鑄金會員、美術協會員、東京本郷區根津宮永町三八
增田 久太郎 號 長野、日畫、明治四二年三月美術學校日畫科卒、佛、英、伊巡遊せり、東京日本橋區磯砲町一市橋方
增田 有信 號 宮城、彫刻、明治二七年七月美術學校彫刻撰科卒、仙臺市東二番町四四
增山 伊三郎 號 鑄金業、象型、彫工會員、美術協會員、東京下谷區仲徒町三の七〇
增山 甲子太郎 號 東里 元治元年二月六江戸生、畫家、日畫、師歐川國久、瀧和亭、東京淺草區南富坂町七

益田 眞言宗僧侶、篆刻、師益田香遠、彫工會委員、美術協會員、東京下谷區中根岸町二五四藏院

益田 友雄 號 淨友 弘化四年二月一七武藏國生、元造幣局技師、從七、勳七、彫金(銅鐵、凸版、凹版)、師加納夏雄、彫工會員、東京府北豐島郡日暮里町金杉一九三

益田 珠城 號 玉城 明治一四年一月一宮崎縣生、川端畫學校教授、女子美術學校講師、株式會社生秀館圖案部長、日畫、師川端玉章、三七年七月美術學校日畫科卒、東京小石川區久堅町七四

益田 文藏 號 煤岳 文久元年九月武藏國生、畫家、南畫、美術協會員、南宗畫會評議員、各展覽會へ出品して受賞多し、東京下谷區谷中清水町五

益田 厚 號 香遠 天保七年一〇月二八江戸生、篆刻家、祖父勤齋、父過所の法を傳へて又新意を出す、三世の篆刻家祖父創業より百餘年に及ぶ、美術協會銀賞、彫工會金賞、内閣勳業博覽會技賞を受、美術協會特別會員、東京京橋區日吉町二〇

益田 榮 號 柳外 明治一〇年四月一東京生、畫家、日畫(四條)、師池田琴峰、研精會員、異畫會評議員、研精會にて銅章を受、東京府北豐島郡日暮里町金杉二二七

益頭 尚志 號 峻南 嘉永四年二月一江戸生、畫家、美術審査員、南畫、師野口幽谷、美術協會第一部委員、東京牛込區加賀町二〇二五

マリー・イーストレーキ (米國人) 明治一九年一〇月三一東京生、語學教師及著述、洋畫、四〇年三月美術

學校洋畫科卒、女子美術展覽會にて三等賞受領、東京麴町區飯田町四の三一

毛涯 八重吉 號 江陵 慶應三年一月一七信濃國生、畫家、日畫(四條)、師福井江亭、日本畫會員、長野縣下伊那郡河野村八七五九

下司 久世 號 寬舉 明治一四年三月三高知生、畫家、日畫(四條)、師寺崎廣業、土佐美術協會員、東京府豐多摩郡大久保町東大久保三〇三

下條 正雄 號 桂谷 △天保一四年七月米澤生、海軍主計大監、東帝博評議員、貴族院議員、從四、勳四、美術協會終身會員、日本畫會名譽會員、東京麹町區元園町一の四〇、電番町八〇〇

下條 頑一郎 號 △臺灣總督府土木局營繕課、建築、建築學會員、臺北古亭街一の三

月山 彌五郎 號 貞一 天保七年二月近江國生、刀劍製作業、備前一文字傳、相州古鎌倉傳、帝室技藝員、師父月山貞吉、明治二年 聖上陛下金四十五兩賞として賜ふ、第三回勳業博覽會有功賞牌、市俄古世界博覽會褒狀並賞牌、第四回勳業博覽會有功賞を受、大阪東區鎗屋町一の一一九、工場同上

劍持 主計 號 叢雲 明治二四年六月千葉縣生、畫家、南畫、師濱中半三郎、鈴木芳山、千葉縣津郡周南村小山野三三五

ふ

不動 定一 號 立山 明治一九年四月一八兵庫縣生、畫家、日畫(四條)、師山元春舉、竹内栖鳳菊池芳文、谷口香崎、四五年三月繪畫專門學校卒、新古今美術展覽會にて二回三等賞受領、第六回文展入選、京都上京區柳馬場丸太町下松本秀之助方

府川 一雄 號 明治三年一月八東京生、彫金業、彫金(後藤派)、師府川一則、彫工會委員、東京本郷町四須賀町一〇

富士岡 重一 號 △工學士、建築、建築學會員、東京本郷區眞砂町二七小幡方

藤 茂 號 木 明治八年一〇月二〇福岡縣生、京都高工學校教授、圖案及粘土彫刻、師淺井忠、三四年三月東京高師學校圖畫手工科卒、關西美術會員、京都上京區相國寺門前町四

藤 井 達吉 號 鐸聲 明治一四年六月一四三河國生、七寶製造業、美術協會員、國華俱樂部員、吾樂會員、東京芝區二本橋西町三の七二

藤 井 康幹 號 △德島、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

藤 井 英二 號 雪田 明治九年六月二五京都生、畫家、日畫(四條)、師村瀨玉田、菊池芳文、美術協會員、第六回文展にて褒狀を受、京都下京區新町六角下三六五

藤 井 豐號 紫水 明治一二年五月六日生、東京佐賀縣工業學校教諭、正八、勳六、日畫、師橋

本雅邦、山名實義、川端玉章、三四年七月美術學校日畫科卒

藤 井 浩祐 號 明治一五年一月二九東京生、彫塑家、塑像、四〇年四月美術學校彫刻科卒、文展にて第三回、第四回共に褒狀、第五回、第六回は三等賞、名古屋美術展覽會にて二等賞、彫工會にて二等賞を受、東京府北豐島郡日暮里町日暮里一〇九七

藤 井 祐敬 號 東陵 安政二年一二月一山城國生、彫刻家、木彫及考案、勳業協理理事、彫工會理事、鑄金會幹事、國華俱樂部幹事、美術協會員、東京府北豐島郡日暮里町日暮里一〇九七

藤 原 伊之助 號 信一 弘化三年八月二三大阪生、畫家、日畫(四條)、師初代年信、鈴木松年、繪畫研究の爲め明治三七年渡米す、東京淺草區馬道町一の五ノ四

藤 原 美治郎 號 竹郷 明治五年四月一四大分縣生、熊本縣師範學校教諭、日畫、師橋本雅邦、三一年七月美術學校日畫科卒、熊本縣飽託郡池田村神田

藤 沼 不二男 號 楓石 明治一十九年四月三東京生、畫家、日畫(四條)、師松本楓湖、異畫會員、東京日本橋區若松町二〇

藤 岡 柳之助 號 龍峰 明治三年一月一六愛媛縣生、畫家、南畫、師龍龜峰、異畫會員、愛媛縣越智郡今治町寶屋二

藤 岡 龜三郎 號 △新潟、長野縣女師學校教諭、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

藤 岡 桂之助 號 秋桂 明治六年七月三〇兵庫縣生、和歌山市立商業學校教諭、日畫(四條)、二七年石川縣工業學校陶畫科卒、和歌山市雜賀町四五

藤岡金吾 △石川縣工業學校教諭、漆工、明治三三年七月美術學校漆工科卒

藤岡紫峰 △畫家、日畫、巽畫會員、東京牛込區矢來町三山里四五

藤川房造 △香川、漆工、明治三四年七月美術學校漆工科卒

藤川傳藏 號李湖 明治一九年四月二香川縣生、洋畫、師小山正太郎、四一年三月東京高師學校圖畫手工科卒

藤川勇造 △香川、農商務省實業練習生、彫刻、明治四一年三月美術學校彫刻科卒、(在佛國)

藤田嗣治 △千葉、帝國劇場背景部員、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、東京府豐多摩郡大久保南百人町三〇

藤田正忠 △愛知縣立(名古屋)第一中學校教諭、洋畫、工部美術學校繪畫科卒

藤田政次郎 號蓬壺 明治六年二月一一生、畫家、日畫(能畫)、師大西金陽、北陸繪畫協會事務員、岐阜全國繪畫展覽會銅牌受領、金澤市小橋町一五

藤田文藏 文久元年八月六因幡國生、東京美術家長、從六、彫像、師伊人ウインセンツ・ラダーサ、明治一五年六月工部美術學校彫刻科卒、米國ルイジヤナ州ニウヲルレヤンス府萬國工業博覽會有功賞受領、東京四谷區内藤町一

藤田喜久造 號紫舟 明治一八年五月二〇鳥取市生、洋畫(水彩)、滋賀縣滋賀郡那所町中庄二〇八

藤田秋塘 慶應二年五月二三京都生、畫

家、南畫、師中西耕石、池田雲樵、草場船山、林正躬、明治一九年京都府畫學校南宗科卒、南畫協會會員、各所にて屢受賞、神戸市石井村一六〇二

藤谷嘉一 △石川、彫刻(牙彫)、明治四五年三月美術學校彫刻科卒、石川縣江沼郡山代村

藤谷榮尾 號陶軒 攝津三田生、東帝博技手、古社寺保存會囑託、陶器に關する研究、建築工藝協會評議員、『日本百科大辭典』陶器之部編纂主任、東京小石川區白山御殿町一三〇

藤村知子多 明治九年一月二二東京府生、畫家、洋畫、師淺井忠、黒田清輝、ラファエル・コラン、三三年七月美術學校洋畫科卒、太平洋畫會會員、三四年六月巴里アカデミー・グラント・シヨミエールに入學、三七年七月大陸漫遊の上歸朝、東京赤坂區青山南町六の七二

藤野卓爾 號靜美 明治一四年二月二八東京生、畫家、日畫(四條)、師諸星成章、美術協會會員、日本畫會會員、東京淺草區馬道町一の二四

藤山復雄 號鶴城 明治三年一二月八京都府生、畫家、日畫(四條、圓山合派)、師幸野樸嶺、野村文學、二四年京都府畫學校普通科卒、美術協會會員、美術協會にて銅牌三回、三八年岡澤侍從武官長に從ひ滿韓戰地を視察實地寫生繪卷四卷を製し乙夜の覽に供す、又伏見宮殿下の命により戰蹟圖五面を寫、東京赤坂區檜町三

藤卷直治 號嘯月 明治一一年一月二三新潟縣生、新潟縣女師學校教諭、日畫、師橋本雅邦三〇年六月美術學校日畫科卒、兵岡市東神田町一

藤澤哲太郎 △東京、彫金、明治四四年東京

府工藝學校金銀工科卒

藤島好三郎 號玉江 明治一五年一月五宮城縣生、畫家、日畫(四條)、勳八、師遠藤速雄、關袖江、日本畫會會員、青森縣下北郡大湊村下町泉方

藤島武二 慶應三年九月一八鹿兒島生、美術學校教授、從七、油畫、肖像畫、裝飾畫、初め日畫を平山東岳、川端玉章に學び後洋畫を中丸精十郎、松岡壽、山本芳翠、黒田清輝等に學、明治三八年より四二年迄歐洲留學、F. Cornou 及 Corolus Duran の指導を受、東京本郷區駒込曙町一五

藤島耕山 △畫家、日畫、美術協會會員、東京淺草區小島町四八

藤島英輔 明治一一年二月一六山口縣生、印刷局雇、圖案、彫刻、油畫、水彩、バステル、太平洋畫會會員、東京府北豐島郡東鴨町傳中九一

藤島三郎 △福岡、明治三九年四月美術學校金工撰科卒

藤島靜村 △畫家、日畫、美術協會會員、東京本郷區根津片町二七

藤本勝往 △大藏省臨時建築部技師、建築、正七、工學士、建築學會會員、東京芝區三島町八平田方

藤本直子 號翠香 明治一八年一月二四生、畫家、日畫(南北合派)、師大出東卓、奥原晴翠、巽畫會員、美術協會會員、日本畫會會員、東京四谷區仲町三の一五

藤本萬作 號長養齋 △金屬品製作業、鑄起、金工協會會員、東京本郷區湯島天神町三の三

藤本稔 △香川、香川縣立丸龜中學校教

論、圖案、明治四四年三月美術學校圖科卒

藤本節二 號煙津 嘉永二年五月一三攝津國生、畫家、南畫、師島琴江、村田香谷、江馬天江、高田綠雲、南畫協會會員、大阪東區上本町五の一九二

藤森馨 號紫櫻 文久二年一月長野縣生、畫家、南畫、師兒玉果亭、長野縣諏訪郡上諏訪町

藤森松太郎 明治四年九月三〇伊勢國生、建築業清水組技師、建築、師岡本善太郎、鈴木禎次、大島盈株、二三年二月工手學校造家學科卒、建築學會會員、設計に成るもの京都取引所等、東京勸業展覽會(日本風紳士住宅設計)圖案出品三等賞を受、東京本所區千歲町二八

古橋柳太郎 △建築技師、建築、工學士、建築學會會員、靜岡縣駿東郡沼津町公園内

古河勝次 △東京、鑄金、明治四四年東京府工藝學校鑄金科卒

古川茂一 △石川、漆工、明治四五年三月美術學校漆工科卒、東京京橋區木挽町一の一

古田可一 號美方 △畫家、油畫、仙臺市元樽町一九

古田立次 明治一八年一月一七岡山市生、圖案、四一年四月美術學校圖科卒、デザインニシテ俱樂部員、虹會會員、東京芝區南佐久間町一の一

古田哲太郎 △石川、圖案、明治四〇年京都高工學校圖科卒、京都上京區塔之段毘沙門町上立賣上

古田正記 △熊本、日畫、明治四一年三月美術學校日畫撰科卒

古谷藤太郎 號紅麟 明治八年九月二

三滋賀縣生、畫家、日畫、裝飾畫、意匠圖案、師鈴木萬年、神坂雪佳、第五回勸業博覽會三等賞受領、京都上京區押小路千本東入

古谷 藤三 號一 晁 明治二三年八月一八京都生、學生、日畫、三八年三月京都美工學校繪畫科卒、第三回文展にて褒狀を受、京都上京區押小路千本東入二七

古谷 昭 △京都、圖案、明治四〇年京都高工學校圖科卒

古谷 次郎 號若 泉 明治二一年一月九京都府生、學生、日畫(四條)、四一年四月京都美術工藝學校繪畫科卒、京都上京區小川通中立賣下森田方

古屋 熊平 號鳳 山 明治七年四月三山梨縣生、畫家、日畫、師鷹田其石、山梨縣北巨摩郡中田村二〇三

深井 治三郎 號豐 洲 天保九年一〇月一八備前國生、畫家、日畫(四條)、師古市金峨、岡山縣御津郡一宮村八八二

深川 勇雄 △宮崎、圖案、明治四四年京都高工學校圖科卒

深田 直城 文久元年七月一四近江國生、畫家、日畫(四條)、師森川曾文、美術協會員、大阪繪畫會、各展覽會にて受賞、銀、銅牌數回、大阪東區伏見町四の九

深田 康算 △東京府生、京都帝大文科教授、美學及美術史講坐擔任、正七、文博、美學研究の爲め歐洲へ留學し、四三年九月歸朝

深野 達 號知 堂 (別號方餘學人) 從四、勳四、南畫、日本中央南宗畫會長、名古屋市住

深見 和成 △東京、洋畫、明治三七年七月美術學校洋畫科卒

船井 登久太郎 △東京、彫刻、明治三三年七月美術學校彫刻科卒、東京麹町區三番町六四

船橋 岩次郎 號舟 珉 安政六年二月二九江戶生、漆工業、詩繪、師福松抱民、漆工會商議員、聖路易萬國博覽會金賞、美術協會、漆工會にて銀賞を受、東京淺草區東三筋町七

船橋 喜一 △大阪鐵工所大連出張所長技師、建築、建築學會員、大連市西公園七號三九、電七三一

船川 清一郎 號華 洲 明治一三年六月二五京都生、畫家、日畫、師山元春舉、浪華青年畫會幹事、大阪南區天王寺細工谷町五五〇八

船越 欽哉 △建築技師、建築、工學士、建築學會員、大阪東區船越町一の二一八

船越 春民 △彫金業、彫鑿、彫工會員、金工協會員、美術協會員、競技會にて屢々高級賞を受、東京下谷區上野櫻木町三八

福井 利吉郎 明治一九年三月一〇岡山縣生、內務省古社寺保存計畫調査囑託、文學士、四三年七月京帝大文科大學哲學科卒、建築學會特別會員、東京小石川區宮下町七

福井 信之進 號江 亭 慶應元年一月江戶生、美術學校教授、川端畫學校教授、日畫(圓山)、師川端玉章、正七、元聲會員、天眞會員、日本畫會會員、美術協會員、展覽會等にて銀銅賞を受くる事數回、四三年七月 兩陛下前田侯爵邸へ行啓の際御前揮毫の榮を蒙る、東京淺草區小島町九

美術學校日畫科卒

福岡 常治郎 △建築技師、建築、工學士、建築學會員、東京府豐多摩郡大久保町西大久保二二五

福岡 雲外 明治元年三月二三豐前國生、畫家、南畫、師安田老雲、小西皆雲、僧關山、姬島竹外、日本畫會會員、南宗畫會會員、遊心會會員、大阪南區天王寺大道一の三九二五

福岡 孝悌 △天保六年二月五高知生、樞密顧問官、從二、勳一、子、美術協會名譽會員、巽畫會名譽會員、東京小石川區金富町五九、電番町六九一

福田 保濃 號玉 香 安政元年一〇月二二熊本生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、橫濱市北方町泉谷戸二九三

福田 豐子 號瀾 月 明治一七年四月三福岡生、畫家、日畫(四條)、師荒木墨仙、國香會員、巽畫會會員、東京赤坂區青山高樹町一七

福田 東吾 △城南工務所技師、建築、工學士、建築學會員、東京四谷區本村町三七

福田 淡 △岡山、漆工、明治四〇年三月美術學校漆工科卒

福田 次彦 號大 猷 明治二二年一〇月一二和歌山生、市立大阪工藝學校教諭、日畫(四條)、勳七、師竹內栖鳳、大阪美術會會員、三四年四月京都美工學校繪畫科卒、大阪府三島郡吹田町西之庄

福田 直一 △京都、圖案、明治三八年京都高工學校圖科卒

福田 浩湖 △畫家、日畫、日本畫會會員、美術協會員、東京深川區西平野町一七

福井 房

一 明治二年一月三一豐前國生、建築技師、建築、師米國建築家、師 Geo. B. Post 三一年五月組育 Cooper 工藝學校建築製圖科卒、從六、勳四、B. S. C. E. 建築學會員、設計に成るもの清國漢口日本總領事館、漢口日本人俱樂部、居留民團、武昌湖北省諮議局、漢口日本租界洋風各建築物等、東京芝區荻手町一七

福井 金次郎 號月 齋 嘉永六年一月二五江戶生、住吉神社繪所預、日畫(狩野)、師狩野永祥、大阪府東成郡墨江村長峽六二

福井 勇次 △山口、圖案、內匠寮京都出張所勤務、明治四四年京都高工學校圖科卒

福原 俊丸 △大藏省臨時建築部技師、正五、勳六、男、工學士、建築、建築學會特別會員、東京四谷區內藤町一に九

福原 隼二郎 △文部次官、文部省專門學務局長、美術審査委員長、從四、勳三、東京牛込區北町五、電番町五六四

福原 馬三郎 號霞 外 明治三年一月一〇大阪生、油畫、師田村宗立、小山正太郎、二三年三月京都畫學校洋畫科卒、太平洋畫會會員、圖書共勵會委員、霞會長、埼玉縣北足立郡浦和町三〇一

福原 謙之助 號錦 里 明治六年一〇月二二山口縣生、山口縣師範學校教諭、日畫(狩野、四條合派)、師狩野友信、川端玉章、二八年七月美術學校日畫科卒、山口縣吉敷郡山口町

福富 常二 △東京、日畫、明治四〇年五月美術學校日畫科卒

福岡 義雄 △東京、日畫、明治三六年七月

福田 宮吉 號 梅 溪 慶應三年十一月
二八美濃國生、畫家、南畫、師森琴石、南宗畫會幹事、
大阪北區伊勢町一九

福田 正次郎 △香川、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒

福田 重義 △東京市技師、建築、工學士、
建築學會員、東京麹町區富士見町四の一、電番町三四
二七

福田 周太郎 號 眉 仙 (前號夢仙) 明
治八年九月五兵庫縣生、畫家、日畫(狩野)、師久保田米仙、
橋本雅邦、二獎會員、研精會員、繪畫研究の爲め清國に赴
き長江を瀾り蜀に入り寫生旅行を了(歸朝)、東京赤坂區青
山高樹町一七

福永 公美 △(前號耕美) 畫家、日畫、鳥合
會員、異畫會員、東京牛込區神樂町二の一六

福永 佐和吉 △建築技師、工學士、建築、建
築學會員、東京麻布區山元町七

福島 甲子三 號 晚 晴 安政五年一二月
二七生、會社員、美術協會員、國華俱樂部員、東京本郷區
駒込神町七〇、電下谷四〇七

福島 克 己 △橫須賀海軍經理部技師、建築
正七、建築學會員、神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町二一三
福 島 仲 △東京、彫金、明治二九年七月
美術學校彫金科卒

福 島 章 △島根、大津市高等小學校教員
明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

福 瀧 藏 明治元年九月二九岐阜縣生、春
慶塗製造業、漆工會地方委員、巴里萬國大博覽會にて銅牌
の一等四九

小泉 永 雄 △石川、彫金、明治三〇年七月
美術學校彫金科卒

小泉 金 兵衛 號 北 村 弘化三年五月三
磐城國生、畫家、日畫(南北合法)、師蒲生羅山、熊坂適
山、渡邊小華、福島縣石城郡平町

小池 虎之助 號 荷 香 △畫家、日畫、
讀畫會員、明治繪畫會員、東京本所區龜澤町一の七

小出 魯 一郎 △千葉、日畫、明治三〇年七月
美術學校日畫科卒

小 林 市 藏 號 行 光 △鑄金業、鑄金
及蠟型、彫工會員、鑄金會員、東京下谷區東黒門町三二吉
永方

小林 德三郎 △廣島、洋畫、明治四二年三月
美術學校洋畫科卒、フニウザン會員

小林 友 吉 △東京、彫金、明治三七年七月
美術學校彫金撰科卒

小林 和 作 號 霞 村 明治二年八月
一四山口縣生、學生、日畫、師川北霞峰、四〇年三月京
都美工學校繪畫科卒、京都竹屋町西洞院西入川北方

小林 和二郎 △彫刻業、石彫、彫工會員、美術
協會員、東京下谷區谷中三崎町三

小林 多 藏 號 松 鱗 明治九年六月二
四四日市生、畫家、日畫(四條)、師磯部百麟、異畫會員、

聖路易世界博覽會にて銀牌、關西府縣聯合共進會にて銅牌を
受、岐阜縣大野郡高山町二三〇八

筆谷 儀三郎 號 等 觀 △畫家、日畫、
明治三三年七月美術學校日畫撰科卒、各展覽會にて屢々受
賞、東京牛込區大久保余丁町四〇

小糸 源太郎 明治二〇年七月一三東京生、畫
家、洋畫及彫金、四四年三月美術學校金工科卒、後ち洋畫
本科に再入學、東京府北豐島郡日暮里町谷中本九九二

小 岩 峻 △青森縣(弘前)工業學校教諭、
漆工、明治三五年七月美術學校漆工科卒

小泉 石 松 號 石 仙 明治二三年三月
二八東京生、友禪職、日畫、師近藤樵仙、東京日本橋區
濱町三の一四九

小泉 德 治 號 湘 雲 明治八年一二月
二六東京生、彫刻家、木彫(鎌倉彫)、師高村光雲、二八
年五月美術學校彫刻科卒、神奈川縣鎌倉郡大町原一八

小泉 勝 爾 號 青 堂 明治一六年八月
三〇東京府生、美術學校日畫科助手、日畫、四〇年三月美
術學校日畫科卒、研精會員、行樹社同人、日賞其他數回
受領、東京府荏原郡北品川町一五八

小泉 兼太郎 號 清 親 明治一五年一月
二水月生、彫金業、師鈴木勝平、金工協會員、金工協會銅
牌受領二回、東京下谷區竹町七

小泉 義 和 號 秀 悅 文久二年三月朔
江月生、東京品工學校染織科鳴鶴、友禪圖案及室內裝飾刺

四日市市新町
小林 泰次郎 明治二三年四月一七東京生、會
社員、洋畫(油畫、水彩)、師川村清雄、鹿子木孟郎、慶應義
塾商工科出身、神戸市東尻池鐘淵紡績會社營業部

小林 達 實 △東京、彫金、明治三七年七月
美術學校彫金撰科卒

小林 懋 △日本銀行技師、建築、建築學
會特別會員、東京小石川區大門町二

小林 雨 郊 △畫家、日畫、京都西洞院通姉
小路上

小林 又治郎 長岡生、彫刻製作業、數代の
業を繼ぐ、彫工會員、漆工會員、博覽會及共進會にて銀、銅
牌受領、新潟市東堀通十番町一

小林 萬 吾 明治三年一〇月二三香川縣生、
美術學校助教、油畫、師原田直次郎、堀越喜三郎、安藤仲
太郎、黒田清輝、三一年七月美術學校洋畫撰科卒、第五回
勸業博覽會三等賞、東京勸業博覽會二等賞、第一回及第三回
文展共に三等賞、(在巴里 Rue St. Benoit, Paris)

小林 源太郎 △東京、日畫、明治四一年三月
美術學校日畫撰科卒、東京本郷區駒込林町五七七愛靜館内

小林 福太郎 明治一五年一月九東京生、内
匠察技手、建築(特に日本建築)、師伊東、關野兩工博、三
二年三月工手學校建築科卒、設計に係るもの筑前太宰府神
社樓門、筑後風浪宮拜殿及總門、近江多賀神社拜殿等、四四
年一月日本大博覽會設計懸賞圖案を提出し三等賞金千圓
を受、東京小石川區茗荷谷町七四

小林 永次郎 △栃木、畫家、洋畫、朝報社
員、明治四一年三月美術學校洋畫科卒

小林 永興 △畫家、日畫、師富岡永洗、

東京府北豐島郡日暮里町金杉一九一

小林 徹

慶應二年一月二十九葉縣生、ア

ンチモノ製品業、金工協會評議員、彫工會評議員、輸出金

屬器組合評議員、内外博覽會にて金、銀、銅牌十數回受領、

東京淺草區瓦町二六、電下谷一六九九

小林 傳次郎 △貴金屬品製作業、美術協會員、

金工協會員、吾樂會員、東京京橋區八官町九、電新橋長一

〇三、一〇四、振替東京七八〇七

小林 新

一愛知縣生、畫家、洋畫、師小山三造、本多錦吉郎、太平

洋畫會準會員、東京麹町區下六番町一七

小林 定治郎 △東京、彫刻、明治四一年三月

美術學校彫刻撰科卒、東京淺草區下平右衛門町三

小林 喜三郎 號 吳 橋 (前號吳橋) 明

治四年八月一〇京都生、畫家、日畫(四條)、師今尾景年、

明治繪畫會幹事、文墨協會幹事、美術協會員、勸業博覽會及

其他にて銀、銅牌等多數受領、東京下谷區谷中清水町一四

小林 清

日畫(獨創人物畫)、獨逸人に洋畫を習ひ後日畫に轉ず、美

術協會員、東京麹町區富士見町五の六一

小林 金平

△大藏省臨時建築部技師、建築、

正六、勳五、建築學會員、東京四谷區單筒町五六

小林 鍾吉

明治一〇年三月一四東京生、畫

家、洋畫、師黒田清輝、三六年四月美術學校洋畫撰科卒、

光風會員、東京府荏原郡北品川宿袖夕崎五〇七

小林 正二郎

號 雨 江 明治一二年九月

三新潟縣生、彫刻業、塑造及木彫、三三年七月美術學校彫

刻撰科卒、彫工會員、新潟縣南蒲原郡加茂町

小林 松

町西田中二

小林 林 悉 △大阪住友本店技師、建築、建

築學會員、大阪南區上宮五三三六

小林 茂

一一新潟生、畫家、日畫、師梶田牛古、第六回文展に

て褒状を受、紅兒會員、東京本郷區弓町一の七

小林 俊之助 △宮城、鑄金、長崎三菱造船所

勤務、明治四五年三月美術學校鑄造科卒

小林 眞二

明治二三年三月一五群馬縣生、學

生、油畫、師長原孝太郎、跡見泰、小林鍾吉、第二回東京勸

業展覽會三等賞受領、東京府荏原郡北品川宿袖夕崎五〇七

小林 眞門

號 松 岳 明治一〇年一月

一松山生、畫家、日畫(四條)、師幸野棟嶺、野村文學、

東京四谷區南伊賀町一八

小林 意

號 高 岐 明治五年七月五

群馬縣生、神戸女學院、私立親和高女學校圖書教員、日畫、

師川村清雄、橋本雅邦、川端玉章、二八年七月美術學校日畫

科卒、二葉會員、神戸奥平野三八ノ一六

小林 誠

△金屬品製作業、鑄金、鑄金會

員、美術協會員、東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷一八九〇

小林 善兵衛 衛 嘉永四年七月晦日江戸生、△屬

工藝品製造販賣業、内外博覽會共進會等にて金、銀、銅牌十

數回、四四年實業に盡力せし功勞により綵綬褒章を賜ふ、

東京日本橋區通驛町七八、電浪花二〇〇六、振替東京一二

三三一

小橋 玉嶺

明治元年二月六岡山生、畫家、

刻撰科卒、彫工會員、新潟縣南蒲原郡加茂町

日畫(四條)、師川端玉章、天真會員、東京本郷區駒込

動坂町五五

小橋 三雄

△農商務省商品陳列館勤務、圖

案、明治四一年京都高工學校圖科卒

小西 信太郎

號 文 谿 明治一四年二月

一八京都生、畫家、日畫、師竹内栖鳳、山元春舉、菊池芳

文、三五年四月京都美術工藝學校專攻科卒、京都下京區四

條新町西入四二

小西 象一

號 長 廣 明治二五年一二

月一京都生、京都繪畫專門學校學生、日畫(四條)、師菊

池芳文、同契月、第六回文展入選、京都魚棚通西洞院西入

小西 正太郎

△秋田、洋畫及寫眞、明治三

五年美術學校洋畫科卒、寫眞研究會員、秋田縣仙北郡六

郷町

小西 重熙

號 福 年 明治二〇年一月

一五越南國生、畫家、日畫、師鈴木松年、京都御幸町通

四條南

小堀 市次郎

號 清 隆 明治六年七月二

八大阪生、府立今宮中學校教諭、洋畫、師松原三五郎、

大阪南區天王寺細工谷町五五一一

小堀 納音

號 弦 廼 舍 元治元年二月一

九下野國生、美術學校教授、美術審判員、古社寺保存會委

員、正七、日畫(土佐)、東京府北豐島郡日暮里町谷中本

一〇一三

小堀 康三

號 光 甫 明治八年一〇月

六東京生、彫刻師、牙木彫、勳七、師石川光明、彫工會

員、彫工會等にて數回受賞、東京下谷中區三崎町三七

小 沼

直 △長野、日畫、明治三九年美術

學校日畫科卒、(在英國)

小和田 武司

△東京、彫刻、明治二七年二月

美術學校彫刻撰科卒

小塚 義一郎

△靜岡、群馬縣立高女學校教諭

明治四五年三月美術學校圖書師範科卒

小室 貞

號 翠 雲 明治七年一月

群馬縣生、畫家、南畫、師田崎草雲、美術協會委員、日

本畫會幹事、文展第二回より第六回迄共に三等賞を得、其他

各畫會にて受賞多し、東京京橋區新富町七の六、電京橋一

七〇一

小室 信藏

號 秀 峨 明治三年一月

一九秋田生、愛知縣工業學校教諭、從七、圖案、師津

村洞養、小室秀俊、三三年七月東京高工學校附設工業教員

養成所工業圖科卒、中京圖案會員、美術協會員、圖案に關

する著書數種あり、名古屋中區白山町七二

小村 泰助

△埼玉、畫家、日畫、明治四一

年三月美術學校日畫撰科卒、讀畫會員

小村 賢

號 溪 雲 明治二二年一一

月二六島根縣生、畫家、日畫(四條)、師竹内栖鳳、東京

小石川區月崎町七九

小村 權三郎

號 大 雲 明治一六年一一

月九島根縣生、畫家、日畫(寫生)、師森川曾文、都路華香、

山元春舉、第六回文展にて三等賞受領、京都中長者町西入

製版印刷、師獨人ステラ、凸版、三色版、寫眞版印刷技術

專門、東洋寫眞製版印刷所印刷部主任、東京芝區南佐久間

町一の三

小 柳

清 號 紫 陌 明治一七年四月

三東京生、畫家、日畫、師川端玉章、研精會員、東京本

一三九

小山友直 △土木専門業、建築、建築學會特別會員、工學士、マスター、オブ、サイエンス、横濱市神奈川青木町上臺一八一

小山亮 號友卿 明治十二年一月五東京生、畫家、日畫(狩野、四條)、師橋本雅邦、川端玉章、三二年七月美術學校日畫撰科卒、天真會幹事、繪畫展覽會にて銅牌二回受領、東京麹町區一番町七

小山宗 號雪耕 慶應二年三月一五攝津國生、畫家、日畫(鹽川派)、師香川芳園、山田文厚、美術協會員、日本畫會員、各所展覽會にて屢々銅賞を得、東京下谷區谷中清水町一四

小山政治 號榮達 △明治十三年三月一八東京生、畫家、日畫(狩野、土佐)、洋畫を本多錦吉郎に、日畫を鈴木榮曉、小堀柄音に學、紅兒會員、巽畫會員、第五回文展にて褒狀、三八年三月上野公園にて戰畫展覽會を開き獨力數百枚を揮毫展覽に供せり、東京神田區宮本町一六

小山正太郎 安政五年正月二一越後長岡生、美術審査員、洋畫、圖案、師川上寛、佛人アベル、グリノーイ人アントニオ、フオンタネジ、明治九年工部美術學校繪畫科卒、美術に關する諸會、教育に關する諸會二十餘に關係、明治初年より洋畫の振興に從事し今日に至る其業績の大要、四年聽香讀畫館の塾頭として洋畫研究者を指導、五年兵學寮圖書教授係となり圖書教育に從事、同年始めて石版印刷術を本邦に創始す、六年初て洋式畫本刊行、九年工部美術學校の助手となり教師フオンタネジの代理として初學の教育に從事、十四年頃より洋畫排斥熱の盛なる時極力之に

反抗して洋畫の振興に勉む、十七年文部省に圖書取調會を設くるや委員となり從事、十九年東京府工藝共進會に同志を糾合し大作を出陳して洋畫の衰運を挽回し、明治美術會を起す、家塾不同舎に於て學生を薰陶す、遊學する者前後七百餘名、森有禮氏の教員試験制度を設るや試験委員となり數年之に從事、第一回、第二回内國勸業博覽會には審査官の顧問となり、第三回内國勸業博覽會以其内外博覽會毎に審査官となり之に從事す、日本に始めてパノラマ畫を作る、朝鮮、支那、印度、歐洲諸國を歴遊し研究に從事す、東京小石川區指ヶ谷町七六

小山秀民 △金屬品製作業、象眼、彫工會員、東京市牛込區揚場町九

小敷寛二 △和歌山、日畫、明治四三年美術學校日畫科卒

小松文雄 號甲川 文久二年九月二八鹿兒島生、教職、日畫(南北合法)、師佐多椿齋、鹿城鑑畫會代表者幹事、鹿兒島市平之町二五九

小松教輔 號玉春 明治二年九月一高知縣生、畫家、日畫(四條)、師高谷望園、土佐美術協會員、高知市外大川筋五四

小寺雲洞 △畫家、日畫、巽畫會員、名古屋澤井町五六

小寺健吉 △岐阜、畫家、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒、赤獎會員、東京神田區淡路町二丁目

小寺金治 △建築、建築學會員、東京麻布區霞町二四

小坂絆三 號士鐵 文久元年二月一

江戸生、小學校長、師日賀田分庵、大八木也香、美術協會員、東京府南葛飾郡一之江新田六九

小坂留太郎 △北海道、錦秋實科高女學校教諭、洋畫、大正二年美術學校圖書師範科卒

小阪義光 △金屬品製作業、鑄起、彫工會員、金工協會員、東京下谷區西黒門町四

小堺末次郎 △福岡、圖案、明治四二年京都高工學校圖書科卒

小峰邦壽 號大羽 明治六年二月一五東京生、日畫及圖案、師榎本正忠、吉田洞谷、宮岡永洗、東京神田區猿樂町一五

小宮乙女 號東溪 明治一三年四月三〇千葉縣生、畫家、日畫(南北合法)、師結城正明、森脇雲溪、美術協會員、日本畫會員、聖路易萬國博覽會銀賞、東京下谷區車坂町六二

小宮陸 號松影 慶應元年五月二九越後國生、新潟縣新發田高女學校囑託、勳八、日畫及圖案、新潟縣北蒲原郡新發田町本村二九三

小宮山 號房 滋賀、佐世保海軍製圖所勤務、圖案、明治四三年京都高工學校圖書科卒

小柴英侍 明治一七年六月七東京生、石版印刷業、美術同志俱樂部常任幹事、東京神田區東松下町一四、一六、一七、電本局三八九、同一六二九

小島六太郎 號鴻月 明治九年五月一東京生、圖案業、圖案畫自修、彩霞會幹事、圖案會評議員、東京美術工藝展覽會にて三等賞、其他各所懸賞應募當選銀盃以下受賞數回、東京日本橋區本銀町一の八

小島憲之 △第一高等學校教授、美術學校

編註講師、建築、從四、勳三、B. Arch. (Cornel Univer. N.Y.)、建築學會員、東京本郷區弓町一の二五

小島景信 號無量 明治二年四月一九靜岡生、畫家、日畫(四條)、師野村文學、美術協會員、日本畫會員、國香會員、巴里萬國博覽會名譽賞受領、東京西谷區永住町二

小島榮吉 △工學士、建築、建築學會員、東京本郷區駒込千駄木町五〇

小島喜三郎 △佐賀、圖案、明治三九年四月美術學校圖書科卒

小島久太 號鳥水 △明治八年二月二九高松生、橫濱正金銀行勤務、橫濱商業學校出身、山水美論、日本山水論、雲表、等山岳研究に關する著書多し、横濱市西戸部町八九八

小島光眞 號獨山 △岐阜、日畫、明治二七年二月美術學校日畫科卒

小茂田空明 △畫家、日畫、巽畫會員、東京本郷區弓町二の三〇大須賀方

小森研二 號研甫 明治一七年二月一七岐阜縣生、福島縣相馬中學校教諭、日畫(四條)、師川端玉章、荒木寛敏、寺崎廣業、四三年三月美術學校日畫科卒、福島縣相馬郡中村町

小森二一郎 △石川、畫家、日畫、明治四五年三月美術學校日畫科卒、東京本郷區眞砂町

小菅敬左右 △大阪、大阪市久寶高等小學校訓導、四三年三月美術學校圖書師範科卒

小杉國太郎 號未醒 明治一四年九月二八栃木縣生、畫家、油畫及挿畫、師五百城文哉、小山正

太郎、太平洋畫會評議員、第四回文展にて三等賞、第五回、第六回共に二等賞を受、留守宅東京府北豐島郡瀧野川村田端一五五(巴里留學中 14. Cite Falguiere, Paris.)

古東謙吉 △兵庫、日畫、明治四三年三月美術學校日畫科卒

古賀源四郎 號 玄洲 △佐賀、日畫、明治三八年七月美術學校日畫科卒、紅兒會員、巽畫會員、東京府荏原郡品川町南品川仙臺坂

古田土貞治 △栃木、陶器會社勤務、日畫、明治三五年七月美術學校日畫科卒、名古屋市中村則武

古宇田實 △明治一二年一月一四東京生、美術學校教授、建築、正六、工學士、三五年六月東帝大工科大学建築科卒、建築學會常議員、國華俱樂部幹事、吾樂會員、東京牛込區築土八幡町一二、電番町一六一八

古作勝之助 文久三年二月一〇下總國生、東京印刷株式會社製版部監督、アートタイプ其他各種の美術製版、星野社長の指導を受け習得す、美術新報編輯兼發行者、東京本所區綠町三の四三

古筆了仲 △鑑定、美術協會特別會員、東京下谷區仲徒町四の一九

古筆了雅 △湯淺圭造を見よ

古筆了信 △鑑定、鑑定會幹事、美術協會會員、東京下谷區竹町二七

兒玉末男 △東京、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒

兒島虎次郎 △岡山、畫家、洋畫、明治三七年七月美術學校洋畫科卒、研究の爲め永く歐洲に留學す、岡山縣都窪郡倉敷町青野後一郎方

五味和十 明治八年八月二〇長野縣生、大阪陸軍地方幼年學校助教、油畫及日畫、勳七、師橋本雅邦、黒田清輝、二四年七月美術學校洋畫科卒、大阪東區東高津南町一一六

五味清吉 (舊姓小原) 明治一九年一月一盛岡生、畫家、洋畫、師岡田三郎助、大正二年美術學校洋畫科卒、東京府豐多摩郡中野町打越二〇五六

五姓田義松 安政二年四月二八江戸生、畫家、洋畫(油畫、水彩)、師英人ワクマン、明治一三年七月佛國に航し一四年巴里レオン・ボナー私塾に通學、一旦歸朝の上二〇年渡英二三年米國を経て歸朝、第一回勸業博覽會にて二等鳳紋賞牌、佛領河内博覽會にて名譽賞牌を受、宮中より屢々高貴御肖像認め方の恩命を蒙り、其他帝國議會開院式等の光景揮毫を命ぜらる、横濱市中村町一四〇七

五姓田子之吉 號 芳柳 元治元年八月七茨城縣生、畫家、洋畫(油畫、水彩、絹地水彩)、師五姓田義松、英人ワクマン、伊人サンジョバニ、同カペレツチ、トモエ會員、本姓倉持氏初代芳柳の養子となり、其號を嗣ぐ即二代芳柳なり、東京小石川區原町三〇

後藤良 △東京生、彫刻、明治三五年七月美術學校彫刻科卒、彫工會員、東京下谷區谷中眞島町七

後藤義則 △金屬品製作業、彫金、金工協會會員、東京下谷區上根岸町九六

後藤宗利 △金屬品製作業、彫金、彫工會員、金工會員、東京下谷區徒町一の六五

後藤浪吉 △東京、日畫、明治三五年七月美術學校日畫科卒、

兒島明 △福島縣(若松)工業學校教諭、漆工、明治三一年七月美術學校漆工科卒

兒島惺二 △德島、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

兒島元三郎 △明治三七年七月美術學校圖畫講習科修了、朝鮮京城高等學校内

木造御矢三郎 號 仁山 明治五年一月一八名古屋生、彫刻業、木竹牙介彫、雜嵌、諸器具、伊勢流鞍刀劍鞘等、師木造貞門、吉川弘道、美術協會會員、愛知農工品評會開府三百年記念新古今美術展覽會にて共に銅牌を受、愛知縣愛知郡呼続村彌富一〇四

巨勢金起 號 小石 天保一四年九月二八京都生、畫家、從七、日畫(巨勢)、師岸連山、中西耕石、前東京美術學校教授、京都美術工藝學校商議員、内外國博覽會にて金、銀、銅牌其他受賞數回、著作「七十二候名花帖」四冊外數種あり、京都下京區烏丸通五條南大阪町七六

五井松次郎 號 金水 明治一二年一月二四大阪生、師久保田桃水、中川蘆月、扶桑繪畫展覽會銅賞受領、大阪北區中之島二の一〇四

五藤徳次郎 △彫刻業、美術木版、東京京橋區本材木町二の八

五島健三 △富山、畫家、洋畫、明治四〇三月美術學校洋畫科卒、東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷一七五三澤田方

五島貞雄 號 耕畝 明治一五年四月三茨城縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寛畝、讀畫會員、日本畫會員、日英博覽會にて銅賞を受、東京下谷區谷中清水町一二

後藤慶二 明治一六年一〇月二九東京生、建築、司法技師、正七、工學士、四二年七月東帝大工科大學建築科卒、建築學會會員、東京本郷區四片町一〇、ろ三

後藤工志 明治二六年二月二一東京生、學生、洋畫(水彩)、日本水彩畫會研究所出身、東京日本橋區新和泉町一

後藤榮之進 號 斐洲 慶應二年一月二六尾道生、畫家、油畫、師日比野蘇川、關西美術會員、廣陵美術會幹事、廣島市下柳町六三

後藤省吾 △和歌山、彫刻、明治二八年七月美術學校彫刻科卒

護城惠滿 號 鳳山 明治一〇年一月二二月二廣島縣生、東帝大文科大學史料編纂囑託、日畫、師橋本雅邦、三八年七月美術學校日畫科卒、東京本郷區駒込神明町一六

衣目忠 △福井、京都武田口ル彫刻所、圖案、明治四五年京都高工學校圖科卒

香田麟 號 橘 △佐賀、鑄金、明治三二年七月美術學校鑄造科卒

香田勝太 △鳥取、畫家、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、帝國劇場背景部員、コスモス會同人、第六回文展にて褒状を受、東京本郷區動坂町二八和泉方

甲谷公 △香川、漆工、明治四一年三月美術學校漆工科卒

幸野圓治郎 號 西湖 明治一四年一月五京都生、畫家、日畫(寫生)、師父幸野模嶺、竹内栖鳳、谷口香嶠、三四年三月京都美術工藝學校繪畫科卒、四一年一〇月大和地方にて陸軍大演習の節法隆寺より同寺全景

畫卷物を囑託せられ揮毫 大元帥陛下に獻上御嘉納を賜ふ、著書『草花百種』全四冊あり、京都新町姉小路北入七四

神山 英一 號 寬 暢 明治二二年八月一七、栃木縣生、水産講習所勤務、介甲象牙彫刻、師石川寛美、彫工會員、東京下谷區谷中三崎町三八

合田 一 覺 號 一 蜂 明治八年一月一、京都生、京都繪畫專門學校助教諭、日畫(四條)、師菊池芳文、三一年四月京都美術工藝學校繪畫科卒、第六回文展にて褒状を受、京都上京區鉄屋町二條下尾張町

合田 清 文 久二年五月七日生、西洋木版彫刻師(生巧館)、美術學校囑託、西洋木版、師佛人バルパン同チリヤ、音楽會員、東京府豊多摩郡澁谷町下澁谷一八四三、電芝七八二

國米 齋 嘉永四年一月一三因幡國生、畫家、日畫(四條)、師青木圓南、鳥取市東町一一

國府 種 德 號 犀 東 明治六年二月五、金澤生、内務省囑託、美術藝術應用研究、著書數種あり、東京四谷區南鯉河橋町一一

駒 杵 勤 治 明治一〇年五月二四羽前生、海軍技師、建築、從六、工學士、三五年東帝大工科大学建築科卒、建築學會員、設計に成りたるもの佐世保市役所、佐世保水交社、九十九銀行支店其他茨城縣地方に多し、佐世保市保立町一一二

米田 虎 雄 △天保一〇年正月熊本生、侍從職幹事、主獵頭、正三、勳一、男、美術鑑識、東京神田區南甲賀町三、電本局二三三六

近藤 赤 彦 號 翠 石 明治三年六月一、九丸龜生、畫家、南畫、師藤田臺石、森琴石、帝國南宗畫會幹事、大阪南區天王寺町五五二二

近藤 貞 義 號 雲 城 安政三年九月二、五若狹國生、大阪府立堺中學校教諭、日畫及洋畫、圖書教育會員、師大森龍淵、中西耕石、森川曾文、小山正太郎、松井昇、堺市甲斐町東四の六七

近藤 三 吉 號 峨 湖 明治二二年一二月一、東京生、畫家、日畫、師松本楓湖、巽畫會員、東京本郷區元町一〇二三

近藤 三 四 △彫刻、明治四二年三月美術學校彫刻撰科卒、東京下谷區入谷町三一六

近藤 樵 仙 △畫家、日畫、日本畫會員、明治繪畫會幹事、第六回文展にて褒状を受、東京町區富士見町五の七

近藤 重 一 △畫家、洋畫、東京本郷區湯島三組町四九小宮山方

近藤 十 郎 △臺灣總督府土木技師、建築、從六、工學士、建築學會員、臺北南門街二の二官舎

近藤 準 一 △三重、圖案、京都市立染織學校教諭、明治三八年京都高工學校圖科卒

近藤 浩 △山梨、畫家、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、第四回文展入選、靜岡縣庵原郡江尻海岸野別莊跡

米田 宇 一 郎 號 葛 堂 明治八年一月一、奈良縣生、奈良縣政務中學校教諭、日畫(四條)、奈良縣南葛城郡三室村二

米 谷 富 三 號 紅 浪 明治二二年一二月二〇大阪生、寫眞、寫眞研究會員、浪花寫眞俱樂部員、寫眞研究會にて二等賞を受、大阪北區龍田町三七の一

越 塚 友 吉 號 友 邦 明治八年二月一、石川縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、二葉會員、美術展覽會及五二共進會にて銅牌を得、東京本郷區龍岡町三四

今 和 次 郎 △東京、圖案、明治四五年三月美術學校圖科卒、『建築×裝飾』同人、東京小石川區小日向水道町八一

近藤 磯 五 郎 △内匠寮技師、建築、從七、建築學會員、東京牛込區加賀町二の三三

近藤 治 義 △新潟、日畫、明治四〇年三月美術學校日畫科卒

近藤 智 四 郎 號 泰 山 慶應三年一月一〇阿波國生、畫家、日畫(四條)、川端玉章、東京小石川區高田若葉町二

近藤 芳 男 明治二五年一月二〇大阪生、美術學校洋畫科在學、洋畫、師大下藤次郎、小林萬吉、光風會にて獎勵賞を受、東京小石川區江戸川町九

近藤 由 一 △圖案家、圖案、建築學會特別會員、東京本所區外手町八五

近藤 宅 治 號 石 走 明治八年一月一七東京生、國民新聞美術記者、美術評論、東京本所區表町二三

權田 廣 助 慶應元年四月一二尾張國生、七寶燒製作業(商號白龍園)、無線及油畫七寶、師林小傳治、美術協會員、内外博覽會にて數回金、銀、銅牌を受、名古屋中區白川町一〇一〇

江 藤 無 逸 弘化三月四月三大分縣生、畫家、南畫、師帆足杏雨、姫島竹外、游心會幹事、大阪北區西野田玉川町四の三六一

江 上 東 邨 嘉永二年九月一九筑後國生、畫家、師吉岡拜山、平野五岳、瀧和亭、美術協會員、巽畫會員、浮羽美術會長、福岡縣浮羽郡田主丸町三八七

江 上 景 逸 號 瓊 山 文久三年六月二一長崎生、畫家、南畫、京都美術協會員、京都押小路通東洞院東入

江 副 隆 喜 △熊本、圖案、明治三九年京都高工學校圖科卒

江 夏 三 之 助 號 英 章 明治九年六月七宮崎縣生、畫家、日畫、師川端玉章、天真會員、宮崎縣北諸縣都城町宮丸二一六

江 南 武 雄 △北海道、私立順天中學校教師、洋畫、明治三九年四月美術學校洋畫科卒、東京府北豐島郡巢鴨村六六〇

江 良 剛 治 △熊本、鑄金、明治三二年七月

江 野 三 郎 △福島、洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒

江 野 種 男 △大分、大分縣女師學校教員、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

江 藤 赤 彦 號 翠 石 明治三年六月一、九丸龜生、畫家、南畫、師藤田臺石、森琴石、帝國南宗畫會幹事、大阪南區天王寺町五五二二

江 藤 貞 義 號 雲 城 安政三年九月二、五若狹國生、大阪府立堺中學校教諭、日畫及洋畫、圖書教育會員、師大森龍淵、中西耕石、森川曾文、小山正太郎、松井昇、堺市甲斐町東四の六七

江 藤 三 吉 號 峨 湖 明治二二年一二月一、東京生、畫家、日畫、師松本楓湖、巽畫會員、東京本郷區元町一〇二三

江 藤 三 四 △彫刻、明治四二年三月美術學校彫刻撰科卒、東京下谷區入谷町三一六

江 藤 樵 仙 △畫家、日畫、日本畫會員、明治繪畫會幹事、第六回文展にて褒状を受、東京町區富士見町五の七

江 藤 重 一 △畫家、洋畫、東京本郷區湯島三組町四九小宮山方

江 藤 十 郎 △臺灣總督府土木技師、建築、從六、工學士、建築學會員、臺北南門街二の二官舎

江 藤 準 一 △三重、圖案、京都市立染織學校教諭、明治三八年京都高工學校圖科卒

江 藤 浩 △山梨、畫家、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、第四回文展入選、靜岡縣庵原郡江尻海岸野別莊跡

江 野 三 郎 △福島、洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒

江 野 種 男 △大分、大分縣女師學校教員、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

江 藤 赤 彦 號 翠 石 明治三年六月一、九丸龜生、畫家、南畫、師藤田臺石、森琴石、帝國南宗畫會幹事、大阪南區天王寺町五五二二

江 藤 貞 義 號 雲 城 安政三年九月二、五若狹國生、大阪府立堺中學校教諭、日畫及洋畫、圖書教育會員、師大森龍淵、中西耕石、森川曾文、小山正太郎、松井昇、堺市甲斐町東四の六七

江 藤 三 吉 號 峨 湖 明治二二年一二月一、東京生、畫家、日畫、師松本楓湖、巽畫會員、東京本郷區元町一〇二三

美術學校鑄金科卒 (在米國)

江村喜一郎 號 隆 章 明治六年五月四月
宇治山田生、畫家、日畫(圓山)、師磯部百麟、川端玉章、
天真會員、研精會員 東京府北豐島郡瀧野川村田端一五九
江村清三郎 △香川、日畫、明治四〇年三月
美術學校日畫科卒

江口七之輔 號 鸚 洲 明治二二年一
月三京都府生、京都市立繪畫專門學校在學、日畫、師竹
內栖鳳、山元春舉、菊池芳文、西山翠嶂、西村五雲、京都美術
協會に於て三等賞、京都府紀伊郡伏見町榎七八七

江間 良吉 號 春 聲 明治八年八月一
四靜岡縣生、畫家、洋畫、師山本芳翠、黒田清輝、三三三
七月美術學校洋畫科卒、美術學校成績品展覽會にて二等
賞、東京本郷區菊坂町二六

江澤金五郎 △貴金屬品雜貨商(商號天賞堂本
店)美術協會員、圖案會員、國華俱樂部員、東京京橋區尾張
町二の一八、電新橋特長三三三、長三一五三、一八二六、
二六八五

江崎 清 △寫真師、寫真、寫真研究會員、
東京淺草區公園五區六四、電下谷一八二

江木 定男 △寫真業、江木寫真店、東京京
橋區丸屋町三、電新橋七二七

江木 善一 △寫真業、江木本店、東京神田
區淡路町三の四、電本局七三〇
江島 吾三郎 △東京、栃木縣圖案調成所、圖
案、明治三二年七月美術學校圖科卒

會議所、三井物産會社支店等其他多し、横濱市南太田町一
九六七、電二〇〇三、東京事務所四谷區大番町三二
遠 藤 忠 雄 △新瀉、彫刻、明治三六年七月
美術學校彫刻科卒

遠 藤 諄 二 △東京、彫金、明治三六年七月
美術學校彫金科卒

遠 上 均 一 號 素 香 明治一〇年六月
一八東京生、畫家、日畫(四條)、師高橋波香、竹内栖鳳、
巽畫會評議員、美術協會員、東京下谷區二長町一五〇

圓 藤 義 雄 △廣島、香川縣女師學校教諭、
明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

手 島 精 一 △東京高工學校長、正四、勳二、
彫工會名譽會員、美術協會員、窯業協會名譽會員、東京本郷
區四片町一六、電下谷九〇

出口清三郎 明治一四年八月一二東京生、畫
家、洋畫及日畫、師狩野壽信、黒田清輝、フェルナンド・コ
ルモン、三四年七月美術學校洋畫科卒、三九年巴里美術學
校に入学二箇年在學、東京府北豐島郡日暮里町谷中本一〇
七五

寺 尾 通 夫 號 鷺 仙 明治一一年九月
一二廣島生、畫家、日畫(圓山)、美術協會員、巽畫會員、
岐阜縣繪畫展覽會にて銅牌を受、廣島市中町二三

寺 尾 熙 一 △兵庫、圖案、明治四二年三月
美術學校圖科卒
寺田孝三郎 號 溪 水 明治三二年一月

江森郷太郎 號 晴 雲 安政元年七月三
大阪生、畫家、日畫(圓山)、師森一風、森山、大阪東
區船越町二の二四

江 森 誠 號 天 壽 明治二〇年四月
埼玉縣生、畫家、日畫、師荒木寬敏、四四年三月美術學
校日畫科卒、讀畫會員、研精會員、東京府北豐島郡日暮
里町元金杉一七七八

惠澤宗三郎 號 尙 敬 明治一八年五月
一八東京生、畫家、日畫(佛畫)、師松下尙悅、美術協會
員、巽畫會員、東京芝區金杉二の三四

榎 本 省 三 △栃木縣下都賀郡立高女學校教
諭、日畫、明治四〇年三月美術學校日畫科卒

榎 本 正之助 △東京、日畫、明治三七年七
月美術學校日畫科卒
榎 本 滋 明治二二年五月一長野生、洋畫、
師岡精一、大下藤次郎、河合新藏、丸山晚霞、東京小石川區
水道端町二の一七岡橋方

海老原 章 次 △美術師、鎌金、金工協會幹
事、美術協會員、東京下谷區仲徒町三の三一、電下谷二三
八一

海老原 茂 △群馬、東京私立攻玉會中學校
教員、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒
海老名 明 四 △愛知、洋畫、明治三三年七月
美術學校洋畫科卒

遠 藤 於 菫 號 工 々 生 慶應元年一二
二八信濃國生、建築技師、建築、正七、工學士、明治二
七年七月東帝大工科大学造家學科卒、建築學會員、設計に
成るもの横濱正金銀行天津支店、横濱銀行集會所、横濱商業

寺田 英 俊 △東京、洋畫、第二回文展入選
寺 内 信 一 號 半 月 文久三年七月周
防國生、從七、彫刻(大理石)及製陶、師伊人ウ、ンセンツ、
ラダーザ、明治一六年六月工部美術學校彫刻科卒、佐賀縣
西松浦郡有田町一一一三

寺 松 國 太 郎 號 坦 齋 明治九年六月二
〇岡山縣生、關西美術院教師、洋畫、師田中久衛、小山正
太郎、淺井忠、太平洋畫會員、關西美術會評議員、關西美術
會にて二等賞、第四回文展にて褒狀を受、京都上京區寺町仁
王門上開名寺内

寺 澤 孝 太 郎 明治一八年一月二秋田縣生、畫
家、油畫、太平洋畫會員、第三回文展にて賞狀を受、東京
下谷區谷中初音町四の二六

寺 崎 武 男 △東京、洋畫、農商務實業練習
生、明治四〇年三月美術學校洋畫科卒、(在伊國)

寺 崎 廣 業 號 宗 山 (別號天龍軒主又
天龍山人) 慶應二年二月二五羽後國秋田生、美術學校教
授、美術審查員、日畫、正六、師小室秀俊、平福穂庵、美術
協會員、巽畫會顧問、研精會顧問、國華俱樂部幹事、内國博覽
會其他展覽會にて金、銀牌等十數回受領、東京小石川區關
口町一八〇、電番町特長二六一九

寺 島 島 如 △富山、金工、明治四五年三月
美術學校金工科卒、(在米國紐育 403, Westminister St.
Province, R. J.)

寺 島 俊 一 號 衣 桁 明治二〇年六月

一四東京生、畫家、日畫(狩野、四條)及水彩、師木田寬
栗、橋本雅邦、寺崎廣業、巽畫會員、眞美會にて二等賞、三等
賞を得、東京本郷區湯島六の二八
寺瀨常吉、△彫刻業、美術協會員、彫工會
員、東京下谷區谷中三崎町四九上野方

あ

阿部正雄、號霞堂、明治九年一月二
月二五群馬縣生、畫家、日畫、師森霞嶺、荒木寬畝、日本畫
會員、研精會員、群馬縣勢多郡荒砥村荒口
阿部榮藏、號胤齋、明治十一年一
月三米澤生、銅像置物裝飾品製作業、鑄金及彫塑、師阿部
繁次郎、米原雲海、彫工會員、金工協會員、鑄金會委員、彫
工會銅賞、銀賞二回、聖路易萬國博覽會にて銀賞、美術展覽會
にて銅賞を受、作品中の大作は丈餘の佛像、津輕爲信公銅
像、丸善書店門口の手長足長、福岡大森醫博銅像等、東京府
北豐島郡日暮里町日暮里八二二
阿部光治、△新瀉、彫刻、明治三三年七月
美術學校彫刻科卒
阿部清太郎、號春峰、明治一〇年九月
二四福岡縣生、畫家、日畫(四條)、師深田直城、菊池芳
文、京都美術協會員、京都美術協會にて三等賞二回、文展
第二回に三等賞、第三回、第六回は褒狀を受、京都東洞院通
姉小路上
阿出川庄藏、號眞水、明治一〇年一
月二四東京生、畫家、日畫(四條)、師柴田眞、久保田桃
水、野村文學、美術協會員、東京京橋區南八丁堀一の一七

安立玉樹、號果堂、明治一六年一〇
月二五愛知縣生、畫家、日畫(四條)、師河村光文、愛知
縣愛知郡御器所村七本松一〇九
安達喜次郎、△大倉土木組建築技師、建築、
建築學會員、東京赤坂區福吉町新開地一
安宅安五郎、明治一六年四月二二新潟生、畫
家、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、第六回文
展にて褒狀を受、東京本郷區曙町一六桑島方
安藤東一郎、△富山、洋畫、明治四二年三月
美術學校洋畫科卒、東京麻布區霞町二七
安藤時藏、△畫家、日畫、明治二八年七月
美術學校日畫科卒、東京四谷區單箭町二八齋藤方
安藤時藏、△建築、建築學會員、東京麻布
區龍土町五八
安藤了、△愛知、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒
安藤義茂、△愛媛、德島縣立中學校教諭、
明治四四年三月美術學校圖師範科卒
安藤復藏、△東京、畫家、洋畫、第一回文
展入選、東京芝區三田四國町二番、一二
安藤幸四郎、△兵庫、圖案、三越吳服店京都
支店勤務、明治四二年京都高工學校圖科卒
安藤喜代吉、△圖案業、美術協會員、東京小
石川區小日向水道町一の一〇森川方
安藤重兵衛、安政三年一〇月尾張國生、七寶
製造販賣業、美術協會員、美術協會每年開催展覽會審査員、
内外博覽會に出品優等賞を得、名古屋中區矢場町五之切
一、工場同上、電一一六六

安

安藤重壽、△七寶製造販賣業、美術協會員、
彫工會員、内閣博覽會等に出品優等賞を得、東京京橋區元
數寄屋町四の一、電新橋長一〇二三
安藤靜也、明治一四年三月三岐阜縣生、畫
家、油畫、師小山正太郎、三六年七月美術學校洋畫科卒、
大阪東區東雲町二の二〇六
安藤末熊、△熊本、鑄金、明治四三年東京
府工藝學校鑄金科卒
相羽彦次郎、△彫刻、明治四一年三月美術學
校彫刻科卒、東京赤坂區青山南町五の二八
相田寅彦、明治二一年一月一五若松市生、
畫家、洋畫(油畫及水彩)、師岡精一、河合新藏、大下藤次
郎、丸山晚霞、第三回及第四回文展にて褒賞を受、東京小
石川區若荷谷町一〇〇若龍庵
藍野精一、△千葉、圖案、明治四三年三月
美術學校圖畫師範科卒
跡部直治、△東京、日畫、明治四四年美術
學校日畫科卒
跡見勝子、號玉枝、安政六年四月二
八江戸生、畫家、奏任待遇、日畫(四條)、師長谷川玉峰、
宮原易安、美術協會員、内外國博覽會、繪畫共進會等にて銀
銅牌十數回受領、東京神田區今川小路三の六
跡見、泰、明治一七年五月二三東京生、跡
見女學校主、油畫、師黒田清輝、光風會員、三六年七月美
術學校洋畫科卒、文展第一回、第二回、第三回にて每會三
等賞受領、東京小石川區柳町二七、電番町四七〇
跡見瀧子、號花蹊、天保一一年四月
九大阪生、跡見女學校長、動六、日畫(圓山、南宗)、師石

安

垣東山、植野麓山、圓山應立、日根野對山、明治四五年七月
八多年女子教育上の功勞を嘉せられ勳六等寶冠章を賜ふ、美
術協會員、東京小石川區柳町二七、電番町四七〇
跡見三次郎、△東京、日畫、明治三二年七
月美術學校日畫科卒
味方昇、號海山、文久三年三月一
五新潟生、畫家、南畫(筆を用はず指頭を以て描く)、師田
能村直入、研究の爲め嘗て清國に遊ぶ、小倉市田町二の八
有井綱治、號祥雲、明治一七年一月
一五兵庫縣生、畫家、日畫(四條)、師竹内栖鳳、三八年
三月京都美術工藝學校繪畫科卒、第四回文展にて褒狀を得、
京都府愛宕郡下鴨村宮崎三九
有友一朗、號菴溪、嘉永五年四月一
六美作國生、畫家、日畫(師狩野宗信、塘雲田、美術協會員、
巽畫會員、研精會員、明治二八年七月第四回内閣勸業
繪畫展覽會にて銅牌三回受領、東京本郷區千駄木町三五
有賀平治、號浩湖(舊姓武川)、明治
六年六月二山形縣生、千葉縣立大多喜中學校教諭、三九年
八月美術學校圖畫講習科修了、圖畫教育會員、千葉縣夷隅
郡大多喜町四一九
有田三郎、號玉城、明治五年一〇月
一四和歌山生、畫家、大阪石版會社圖案部長、日畫(寫
生、南宗)、師榎本遊谷、森川曾文、望月玉泉、美術協會員、
巽畫會員、大阪東區南久太郎町一の二二五
有田四郎、明治一八年七月七熊本生、畫家
油畫、四二年三月美術學校洋畫科卒、東京小石川區丸山
町四、(南洋旅行中)

有安 助二 △神奈川、福島縣私立石川中學校教員、日畫、明治三八年七月美術學校日畫科卒

有馬 龍秀 △佐賀縣立有田工業學校教諭、日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒

有島 生馬 △(舊名壬生馬) 畫家、洋畫、前年繪畫研究の爲め歐洲(留學明治四二年歸朝、東京麹町區下六番町一〇、電番町二六二)

有元 寧馨 明治一六年一〇月二三兵庫縣生、有彩漆器圖案の研究、油畫、師淺井忠、フムウザン會員、東京芝區濱松町二の二

有元 轍三 號 五村 明治三年一〇月二九岡山縣生、三重縣工業試驗場技師、正八、勳七、日畫及圖案、師狩野友信、橋本雅邦、二七年七月美術學校日畫科卒、美術協會員、津市下部町山上二〇

有元 信 號 吳洲 明治一九年一二月七岡山縣生、畫家、日畫(四條、容齋派)、師小林吳崎、岡田華蓮、異畫會員、四三年岡山縣地方陸軍大演習舉行の際在所に供し奉りし岡山後樂園の實景を模寫し献納す、岡山縣勝田郡新野村山形七二四

在原 重壽 號 古玩 文政二二年八月四江月生、畫家、日畫(土佐)、師荒井尚春、美術協會員、日本畫會員、漆工會員、繪畫共進會銅牌、第二回勸業博覽會銅牌、美術協會銅牌數回、漆工會銅牌五回受領、東京神田區今川小路一の一

青山 好孝 號 翠光 明治二三年八月五大阪生、日畫(四條)、師菊池芳文、後素協會員、大阪北區堂島二の一七七、電東二八二二

青山 扶 號 島根 日畫、明治四四年三月

青木 彝藏 明治五年四月一二熊本生、熊本縣立中學濟々豐教諭、洋畫、師小山正太郎、熊本市新屋敷町一四二

青木 朝二 號 栖古 明治一〇年九月一四岐阜縣生、畫家、日畫(四條)、勳八、師服部石僊、異畫會員、名古屋南伏見町二の一四

青木 佐織 △福井、圖案、明治三八年京都高工學校圖科卒

青木 仙年 △畫家、日畫、師鈴木松僊、大阪南區天王寺北山町五四六ノ二

青 樹清 號 逸岳 明治一六年一月二六愛知縣生、畫家、日畫(四條)、師今尾景年、異畫會員、東京下谷區谷中清水町一

栗野 觀鳳 △畫家、日畫、異畫會員、第三回文展にて褒状を受、大阪南區空堀善安筋東北角

栗野 保次郎 號 千秋 明治一六年一月八茨城縣生、茨城縣立下妻中學校教員、日畫(四山)及洋畫、師坂本雲谷、移川浩哉、吉岡班嶺、圖畫共勵會員、茨城縣眞壁郡下妻町四九一

赤羽 知足 △長野、日畫、明治二八年七月美術學校日畫科卒

赤津 隆助 號 光邦 明治一三年一月二福島縣生、東京府青山師範學校教諭、日畫及洋畫、師橋本雅邦、東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷五七〇

赤塚 兵左衛門 號 自得 明治四年三月東京生、漆工業、蒔繪、蒔繪を父に、畫を狩野久信に學、漆工會評議員、美術協會委員、國華俱樂部幹事、内外國博覽會、美術展覽會にて金賞八回、銀賞二回其他受賞多し、東京

美術學校日畫科卒

青山 熊治 明治一九年五月兵庫縣生、畫家、油畫、師山本芳翠、黒田清輝、岡田三郎助、和田英作、高木誠一、東京勸業博覽會二等賞、白馬會白馬賞、第四回文展三等賞、五回には二等賞を受、東京芝區櫻田町一九長尾方

青山 武一郎 號 泰石 元治元年七月一三松江生、日本雙啞技藝會本部教員、南畫及彫塑、木象嵌彫刻發明者、畫を野口幽谷、彫刻を内藤陽一に學、美術協會員、第三回勸業博覽會銅牌、凱旋記念五二共進會進步銀牌、東京勸業博覽會銀牌、日英博覽會にて銀牌を受、明治一九年日本啞雙の教育の始より文部省の命に依り官立雙啞學校教員となり各種の技藝を研究し木象嵌を發明す、東京小石川區久堅町四七

青柳 金之助 號 琴 慶應三年五月一群馬縣生、畫家、南畫、師兒玉果亭、美術協會員、南宗畫會員、群馬縣足利郡桃野村月夜野三五

青木 春之助 號 春海 明治六年二月九長野縣生、畫家、洋畫、師小山正太郎、繪畫研究の爲め三八年八月北米に赴き、南米に移り濠洲に赴き北米を経て歐洲に航し柏林に至り巴里に遊び倫敦に入り印度古滯母新嘉坡を経て大正二年一月歸朝す此間實に九年、長野縣上高井郡井上村

青木 義清 弘化四年二月二八大和國生、金銀銅器師、京都美術協會終身會員、精金會員、内外博覽會及展覽會にて銀牌五箇、銅牌七箇を受、京都下京區本町七の六

青木 外吉 △石川、石川縣工業學校教諭、明治三四年七月美術學校木彫科卒、彫工會員、金澤市本多町五番丁二

芝區新錢座町一六

赤松 麟作 明治一一年一〇月二〇岡山縣生、畫家、洋畫、三二年七月美術學校洋畫科卒、白馬會にて白馬賞、第五回文展にて褒状を受、大阪北區北梅田町四二二

赤城 泰舒 明治二二年六月三〇靜岡縣生、畫家、洋畫、東京小石川區小日向水道端町二の一六

明石 祥雲 明治元年三月一二大阪生、畫家、日畫、兵庫縣明石郡明石町大藏谷

足立 鳩吉 安政五年九月二二名古屋生、内匠寮技師、建築、師ゼー、コンドル、正六、勳五、建築學會員、東京四谷區左門町二七、電番町一五四二

足立 啓梧 號 梧軒 明治一〇年一月二東京生、不川縣金澤第一中學校教諭、日畫、師橋本雅邦、明治三五年七月美術學校日畫科卒

足立 龜太郎 號 碧圃 安政六年七月二〇出雲國生、彫刻師、木彫、彫工會員、第五回勸業博覽會にて二等賞牌を受、島根縣八東郡川津村西川津四四六

足立 厚實 △東京、木彫、明治三四年七月美術學校木彫科卒

足立 恭三 號 朗々 明治一六年六月一二東京生、時事新報美術擔當記者、三七年三月東京專門學校文學科卒、東京四谷區荒木町二

足立 季彦 △高知、日畫、明治四四年三月美術學校日畫科卒

我妻 榮吉 △山形、三重縣立(津)第一中學校教諭、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

姊崎 正治 明治六年七月京都生、東帝大文科大學教授、從五、文藝、文藝會委員、哲學、二九年七

月東帝大文科大學哲學科卒、著書『美の宗教』伊太利紀行
『花つみ日記』等あり、東京小石川區指ヶ谷町七八
新井 完 明治一八年六月二七姫路生、畫
家、洋畫、四三年三月美術學校洋畫科卒、東京四谷區須賀
町四四

新井周次郎 號 芳宗 文久三年二月五
江月生、畫家、日畫(浮世畫)、師大蘇芳年、二世新井芳
宗を襲ぐ、東京芝區公園地一〇號一

荒井寬十郎 號 寬方 明治一二年八月
三橋木縣生、國華社勤務、日畫(人物)、師水野年方、異
畫會員、文展にては第二回、第三回共に三等賞、第四回第五
回共に褒状を受、東京下谷區中根岸町一〇八

荒川 潔 △福岡、福岡縣立小倉高女學校
教諭、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

荒木 寬 畝 天保二年六月一六江月生、畫家
美術審査員、正五、勳六、日畫(南北合派)、師荒木寬快、
帝室技藝員、英國ローヤル・ソサイチー・オブ・アーツ會員、美
術協會特別會員、讀畫會頭、美術協會にて金賞、聖路易萬國
博覽會にて銀賞、日英博覽會にて名譽大賞を受、其他受賞多
し、東京本郷區彌生町三

荒木 米 號 月 畝 明治六年二月一
五橋木縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬畝、讀畫
會員、女子美術協會にて銅賞を受、高崎市通町

荒木 耀之助 號 義之 明治三年一〇月
五東京生、畫家、日畫(土佐)、師山名貫義、美術協會員、
神奈川縣鎌倉町亂橋材木座一二〇九

荒木 鐸 號 寬友 △嘉永二年一二
月生、畫家、從七、日畫(南北合派)、師荒木寬一、山本琴

博覽會にて三等賞、内閣製産品評會にて名譽銀牌、戰捷記念
博覽會にて一等賞を受、大阪南區天王寺區法院町五六九五

天野慶次郎 △貴金屬美術工藝品製作業、金
工協會幹事、内外博覽會及競技會にて金、銅牌等を得る事
數回、東京淺草區西島越町二、工場同上、電下谷長二五
五〇、振替東京一六六二一

天野玉 號 明治一四年二月二九島根縣生、
畫家、日畫(圓山)、師望月玉泉、川端玉章、天真會員、東
京小石川區下宮坂町一九川端内

天草友 號 神來 △熊本、畫家、
日畫、明治二八年美術學校日畫科卒、(在朝鮮京城)

油井 忠 助 △福島、洋畫、明治四一年三月
美術學校洋畫科卒、アト俱樂部員、福島市中町二三

鑑谷勝三郎 號 大天 明治一三年八月
二一北海道生、雜誌『多都美』編輯主任、日畫、師松本楓
湖、異畫會員、東京下谷區上根岸町五九堀井方

淺井德治郎 號 有鄰 明治四年九月一
名古屋生、畫家、洋畫、師田村宗立、淺井忠、二三年三月
京都畫學校洋畫科卒、自然畫會幹事、ハレ洋畫會員、關西
美術會員、工藝品展覽會全國繪畫共進會にて三等賞を受、
名古屋東區西魚町二の八六

淺井 忠 傳 號 鴻村 明治一三年七月
七東京生、圖案業、日畫(四條)、師福井江亭、東京淺草
區千束町二の一四〇

淺井勝治郎 號 寬哉 嘉永五年二月四
江月生、水産講習所勤務、介甲牙角、木竹玉石彫刻、彫刻
を櫻井法一に繪畫を松本楓湖に學、彫工會商議員、美術協會
委員、國華俱樂部員、第一回勸業博覽會鳳紋賞牌、巴里萬

谷、日本畫會評議員、美術協會員、内閣勸業博覽會其他諸會
にて賞牌を受くる事十數回、東京麻布區森元町一の二八

荒木軍治郎 號 立堂 明治六年四月若
松生、和歌山縣立粉河中學校教員、日畫(四條)、師星曉
村、川端玉章、和歌山縣那賀郡粉河町

荒木 泰 彦 △京都、圖案、明治四三年京都
高工學校圖科卒

荒木 悌二郎 號 十 畝 明治五年九月三
長崎縣生、女師學校教授、前美術審査員、從六、日畫(南
北合派)、師荒木寬畝、美術協會委員、日本畫會幹事、讀畫
會顧問、國華俱樂部幹事、聖路易萬國博覽會にて銀牌、美術
協會にて銀牌、日英博覽會にて金牌を受、東京本郷區彌生
町三

荒木 矩 △京都美術工藝學校教諭、繪畫
專門學校助教諭、文展京都出品協會理事、京都新古美術品
展覽會審査幹事、京都表具競技會審査長、文展事務囑託、京
都中長者町新町西入

荒木 彦 造 △岐阜、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒

荒木 守純 號 探 令 安政四年一月一
〇羽前國生、畫家、日畫(狩野)、師狩野探美、美術協會
委員、日本畫會幹事、博覽會共進會等にて銀、銅牌、東京殿下
御座船内部裝飾畫、東宮御所御壁畫、後樂園玉座御杉戸揮毫
等仰付らる、東京下谷區谷中清水町二〇、電下谷四三三七

天沼 俊一 △奈良縣技師、建築、從六、勳
五、工學士、建築學會員、奈良市春日野町

天岡 均 一 明治八年一〇月一四兵庫縣生、
彫塑及鑄造業、三〇年七月美術學校彫刻科卒、第五回勸業

國博覽會銀牌、市俄古世界博覽會にて名譽賞、其他競技會等
にて賞牌數箇受領、皇后陛下彫刻競技會(行啓の際席上彫
刻の光榮に浴す、前年永く正倉院御物整理掛を命ぜられ、明
治三八年一月美術學校の選抜により介甲彫刻技師として、
巴里カイヤル商會に聘せられ、滞在中ソシエテ・サロン美
術展覽會に製作品を出し、四〇年二月同地を辭し歸途倫敦、
香港、上海地方をも巡遊歸朝、四一年二月農商務省より介甲
應用法試験の爲水産研究所員彫刻教授を命ぜらる、東京
下谷區谷中三崎町四八

淺井 松 彦 △東京、有樂座附演劇研究員、
洋畫、明治四五年三月美術學校洋畫科卒

淺井 左右五郎 號 魚友 明治一五年六月
一愛知縣生、日畫、師織田杏齋、異畫會員、愛知縣中島
郡一宮町新町二乙七

淺井 定 吉 △東京、鑄金、明治四一年三
月美術學校鑄金科卒

淺井 勇 義 號 蘇來 明治二年二月九
福岡縣生、畫家、日畫(四條)、師中野春翠、久留米市原
古賀町一九五

淺井 重 一 △大阪、明治三九年九月美術學
校圖畫講習科修了

淺田 政 一 號 鶴文 明治四年二月一
三京都府生、畫家、日畫(四條)、師森川曾文、京都美術
協會員、京都下京區鞍屋町三條上

淺野 春 二 △京都、日畫、明治三五年七
月美術學校日畫科卒

淺野 房次郎 號 快泉 明治二年三月四
愛知縣生、桃山中學校教員、洋畫(油畫、水彩)、師伊藤快

彦、關西美術會員、關西美術會銅牌を受、大阪東區南之町
一一三

淺野勇治郎 號北軒 明治七年七月二
八愛知縣生、從七、勳六、功五、彫塑、師高村光雲、石川
光明、三〇年七月美術學校彫刻科卒、大阪南區上本町七の
五二六四

淺野鏗三郎 號柳崖 明治五年四月八
金澤生、石川縣七尾中學校教諭、南畫及洋畫、師鈴木華
邨、山本光一、岸浪柳溪、北陸繪畫協會幹事、二一年北陸繪
畫共進會一等賞、二等賞を受、石川縣鹿島郡七尾町相生七二
員、東京下谷區西町三、に八

朝蔭圓次郎 號其明 △彫刻、明治四
二年三月美術學校彫刻科卒、彫工會員、東京神田區昌平
河岸二八、電下谷二三八

朝倉文夫 明治一六年三月二大分縣生、彫
塑家、四〇年三月美術學校彫刻科卒、文展第二回にて二
等賞、第三回三等賞、第四回二等賞、第五回、第六回共に三等
賞を得、東京下谷區谷中天王寺町三〇、工場同上

朝倉五郎 △茨城、日畫、明治四二年六月
美術學校日畫科卒

朝日發號 明治二二年一月二
二八江戶生、彫刻業、甲貝木牙彫刻、師石川光明、美術
協會委員、内外博覽會、共進會にて屢々賞牌を受、東京下
谷區谷中初音町四の一三

麻生茂 △千葉、洋畫、明治四二年三月
美術學校洋畫科卒

旭敏雄 △京都、圖案、明治四三年京都
旭敏雄

城內村
秋山要治 △北海道、彫刻、明治三二年七
月美術學校彫刻科卒

秋山丑吉 號華嵩 明治二二年七月一
一千葉縣生、畫家、南畫、勳七、師渡邊華石、美術協
會員、南宗畫會員、千葉縣香取郡常盤村南玉造一三二三

秋山國太郎 號千畝 明治二二年一月
六埼玉縣生、農業、日畫(南北合派)、師荒木寬敏、日本
畫會員、埼玉縣南埼玉郡大相模村西方三一

秋山清太郎 號逸雲 文久元年四月一
五武藏國生、畫家、南畫、師田崎草雲、巽畫會員、埼玉
縣北埼玉郡風巢村二〇九九

秋山清吉 號雪峰 明治一三年八月
一五千葉縣生、畫家、勳八、日畫(四條)、師池田琴峰、
美術協會員、千葉縣安房郡北條町長須賀

秋元興朝 號蔚堂 △安政四年五月
江戶生、從三、子、貴族院議員、美術協會名譽會員、彫工會
名譽會員、東京神田區北甲賀町六、電本局七二二

鮎澤秀夫 △長野、彫刻、明治二九年七月
美術學校彫刻科卒、長野縣諏訪郡上諏訪町一〇八一

館谷定次郎 號有民 明治二二年五月一
五高岡生、彫金業、師岩代嘉七郎、池戶民國、彫工會員、
金工協會員、美術協會員、競技會及展覽會にて銀牌一箇、銅牌
四箇を受、東京京橋區木挽町二の一三

雨森辨次郎 號文園 明治一一年三月
一六京都生、畫家、日畫(四條)、師前川文嶺、京都下京
區魚之棚通高倉東入

雨森菊太郎 號蝶夢 安政五年九月七

高工學校圖科卒
一五四

旭玉山 △天保一二年生、彫刻業、牙木
彫、美術協會特別會員、京都美術協會終身會員、彫工會特別
會員、京都上京區室町通下立賣上

秋葉鎌三郎 △東京、洋畫、明治四〇年三月
美術學校洋畫科卒

秋保親美 號鳳川 明治九年八月二
八山形縣生、新潟縣三條中學校教諭、日畫、三五年七月美
術學校日畫科卒、新潟縣南蒲原郡本成寺村

秋保安治 △東京府立職工學校長、正七、
建築學會特別會員、東京小石川區原町六一

秋吉金德 △秋吉建築事務所主、建築、建
築學會員、神戶市中山手通四、電二七三七

秋月復郎 號可山 慶應三年一二月
二八宮崎縣生、漆工家、蒔繪及繪畫、本多錦吉郎に洋畫
を橋本雅邦、川端玉章、荒木寬敏に日畫を、小川松民に蒔繪を
學、二七年二月美術學校漆工科卒、美術學校校友會にて一
等賞、眞美會にて銅牌を受、三〇年岩手縣金色堂大修繕の監
督、三三年美術品及工藝品調査の爲農商務省より巴里に出
張を命ぜらる、歸途倫敦を經二年有餘にて歸朝、四三年三月
鐵道院より新製御料車漆裝飾主任監督の囑託を受、神奈川
縣鎌倉郡川口村片瀬

秋野外也 號參雨 明治一一年五月
五愛知縣生、前北京西城工業學堂圖畫教習、正八、勳六、
日畫(狩野)、三五年七月美術學校日畫科卒、美術學校
友會にて一等賞を受

秋山任 △茨城、福岡縣立中學傳習館教
員、明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒、福岡縣山門郡

京都生、會社員、京都美術協會終身會員、裝美會幹事、京
都上京區東三本木中之町、電一〇八四

蘆原曠 △畫家、洋畫、明治三六年七月
美術學校洋畫科卒、太平洋畫會員、(在米國)

蘆野楠山 △印師、篆刻、彫工會員、美術協
會員、鑑定會幹事、東京日本橋區大傳馬町二の二、電浪花
一二九

蘆野廣 △印師、彫刻、明治四一年三月
美術學校彫刻科卒、東京日本橋區大傳馬町二の二、電浪花
一二九、工場本郷區駒込林町

蘆澤鴻次 △香川、彫金、明治三一年七月
美術學校彫金科卒

蘆名三八 號晴畝 慶應三年一月二
〇仙臺生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬敏、東京本
郷區駒込林町二一六

佐取輝三 號晃陵 明治三三年一二
月二六栃木縣生、學生、日畫、師高橋廣湖、巽畫會員、
栃木縣足利郡吾妻村高橋

佐藤磐 △東京、彫金、明治三四年七月
美術學校彫金科卒

佐藤以撤 號紫烟 明治七年一二月
一六岩手縣生、畫家、南畫、師瀧和亭、衣笠豪谷、南宗畫
會幹事、各地展覽會等に出出品受賞二十餘回、東京下谷區
谷中清水町一五

佐藤一秀 △金屬品製作業、彫金、彫工會

佐藤平太郎 號 泉 鄉 明治一三年三月

二大分縣生、洋畫、師小山正太郎、上原六四郎、岡山秀吉、四一年三月高師學校圖畫手工科卒、鹿兒島教育意匠品共進會金、銀、銅牌を受、鹿兒島市上之園町二七

佐藤豐次郎 △建築技師、建築、建築學會員、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷村九一〇

江月生、彫金家、師榎本壽明、金工協會員、内外博覽會にて銀、銅牌等受賞十數回、東京本所區若宮町四

佐藤利三郎 △香川、彫刻、德島縣工業學校教諭、明治三五年七月美術學校彫刻撰科卒

一〇岐阜縣生、畫家、日畫(寫生)、師山田松溪、小林英嶺大橋翠石、日本畫會員、巽畫會員、中央南宗畫會員、岐阜全國繪畫共進會銀牌其他受賞、岐阜市神田町八の四六七八

佐藤八郎 △東京、彫刻、明治三三年七月美術學校彫刻撰科卒、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷村原宿六三

二五甲斐國生、長野縣諏訪中學校教諭、日畫、師川端玉章巽畫會員、巽畫會三等賞を受、長野縣諏訪郡上諏訪湯之脇

佐藤政五郎 號 如 湖 △鑄金業、蠟型鑄金會員、彫工會員、金工協會員、東京下谷區谷中三崎町三一

町立高女學校教諭、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒案、明治三四年七月美術學校圖科卒

佐藤謙太郎 △秋田、和歌山縣東牟婁郡新宮

佐藤健四郎 △大阪府清水谷高女學校教諭、圖

佐藤福侍 號 華 江 △寫真師、東京麹町區飯田町二の五三、電番町三四一

佐藤功一 △早稻田大學理工科教授、建築、工學士、建築學會常議員、東京本郷區春木町三の二七、電下谷五七二五

佐藤榮三郎 △宮城、日畫、明治二九年七月美術學校日畫科卒

佐藤哲三郎 明治二二年五月五新湯生、畫家、洋畫、四五年三月美術學校洋畫科卒、第六回文展にて三等賞を受、東京本郷區湯島天神町三の二

佐藤旭真 慶應三年陸前國生、畫家、日畫(四條)、師柴田是真、東京府南足立郡千住町南千住五六

佐藤金五郎 號 樵 山 嘉永三年九月一仙臺生、陸軍技手、南畫、勳七、師鈴木帆雨、仙臺市本荒町三八

佐藤金次郎 △東京、彫刻、明治四一年三月美術學校彫刻撰科卒、彫工會員、東京府北豐島郡日暮里町金杉一三六

佐藤七之助 △山形、島根縣濱田高女學校教諭、明治四四年三月美術學校圖畫師範科卒

佐藤省吾 △静岡、彫金、明治四三年三月美術學校金工科卒

佐藤正次郎 △香川、圖案、明治三八年京都高工學校圖科卒

佐藤靜子 △私立女子美術學校校長、男爵夫人、東京府北豐島郡栗鴨町元駒込二三〇、電下谷三七七

美術學校洋畫撰科卒

佐藤廣吉 號 敬 美 明治二五年九月二三東京生、學生、日畫(圓山)、師川端玉章、東京府北豐島郡瀧野川村田端四〇七山田方

美術學校洋畫撰科卒、東京下谷區谷中上三崎南町四三

佐藤茂助 △第十二師團經理部技師、從七、工學士、建築、建築學會員、小倉市馬借町七九桑野方

六福島縣生、縣立山口中學校教諭、日畫、師川村雨谷川端玉章、三七年七月美術學校日畫撰科卒、山口縣吉敷郡片岡小路九九八

佐川慎太郎 號 百 畝 明治九年三月一五橫濱生、圖案業、日畫、師荒木寬政、讀畫會員、圖案會員、東京芝區金杉濱町七一

一〇德島縣生、畫家、南畫、師姫島竹外、巽畫會員、大阪北區上福島中四の番外三一四

佐竹竹松 號 永 邨 弘化二年二月二三福島縣生、畫家、日畫(南北合法)、師馬弓碧潭、佐竹永海、美術協會委員、日本畫會委員、美術協會其他にて銀牌一箇、銅牌十數箇を得、聖上行啓の際御前揮毫の榮を荷ふ、東京本所區小泉町三二

二宮城縣生、畫家、勳八、日畫(四條、圓山)、巽畫會員、東京府西多摩郡東秋留村光福寺内

佐竹義一 號 永 畹 明治一三年二月

佐竹銀十郎 號 永 陵 明治五年五月二

五東京生、畫家、日畫(南北合派)、師養父佐竹永湖、美術協會委員、日本畫會幹事、各展覽會、共進會等にて銀牌數箇、銅牌十數箇、第六回文展にて三等賞を受、聖上美術協會へ行啓の際御前揮毫の榮を荷ふ、東京日本橋區矢之倉町四、電浪花一五五三

佐立七次郎 △日本郵船會社建築顧問、建築、工學士、建築學會員、東京麹町區富士見町五の一六

第六回文展にて褒狀を受

佐野利器 △東帝大工科大學助教授、建築從六、工學士、建築學會員、(獨國留學中、Bel. Frau Rosenkide. Aushacher Str. 24. W. Berlin)

佐野常榮 號 至 心 明治二二年二月三金澤生、和歌山縣黑江町立漆器學校教諭、蒔繪及日畫(四條)、師川之邊一朝、三七年七月美術學校漆工科卒、黑江意匠會副會長、和歌山縣海草郡日方町二一一

佐野武吉 號 精 石 明治四年七月二七岡山縣生、兵庫縣姫路高女學校教諭、日畫(四條)及水彩畫、師松本楓湖、大橋雅彦、兵庫縣飾磨郡市殿村神谷二〇

佐野有年 △京都、日畫、第二回及第三回文展入選

佐野昭 慶應二年一〇月二六江月生、内匠察御用掛、正七、勳六、西洋彫刻、師ウインセンツ・ラグーザ、明治一五年六月工部美術學校彫刻科卒、東京麻布區森元町一の二七

佐野幸 號 琴 岳 明治一一年一月

二大阪生、畫家、南畫、師行銀玉江、森琴石、大阪美術會委員、帝國南畫會幹事、大阪北區北野茶屋町一九七美術學校洋畫科卒

佐野喜太郎 號 峰雪 明治四年八月石川縣生、新潟縣南蒲原郡立三條商工學校教諭、陶磁器及染織物圖案、師井手馬太郎、島田佳矣、荒木寬敏、三五年七月東京高工學校附設工業教員養成所工業圖科卒、大日本圖案協會一等賞、二等賞、五等賞を得、新潟縣南蒲原郡三條町生、畫家、日畫、師瀧和亭、花鳥に長じ殊に櫻花を善くす東京牛込區東五軒町四七

佐久間 健 壽 號 鐵園 嘉永三年一月二二仙臺生、畫家、美術審査員、日畫(北宗)、家世々仙臺藩畫員にして業を父に受、美術協會員、東京神田區駿河臺紅梅河岸一號、電本局二二二乙

佐久間 俊 號 秋崖 明治一七年二月一八東京府生、室內裝飾及各種圖案、日畫(狩野)、師野村文學、岡倉秋水、日月會員、東京府豐多摩郡中野町原技師、建築、建築學會員、東京深川區公園地七號

佐々木 高保 弘化二年正月九京都生、漆器業、業父佐々木高治に受、漆工會特別會員、美術協會員、東京神田區松永町二三

齋藤五百枝 △千葉、畫家、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒、東京小石川區小日向臺町一の四四

齋藤 豐作 明治一三年六月埼玉縣生、畫家、洋畫、師黒田清輝及ラファエル、コラン、三八年七月美術學校洋畫科卒、三九年より佛國に留學、四三年歸朝、東京小石川區小日向臺町一の四四

齋藤 知雄 △東京、島根縣杵築中學校教員、洋畫、明治四五年三月美術學校洋畫科卒

齋藤 景明 號 松雲 明治四年一月九仙臺生、書畫教授、南畫及鐵筆、獨學、東京麻布區山元町三六、電芝四四七七

齋藤 與里治 號 與里 明治一八年九月三埼玉縣生、畫家、洋畫、三九年二月歐洲遊學、四二年九月歸朝、フニウザン會員、東京小石川區雜司ヶ谷町九一

齋藤 太一郎 號 松洲 明治三年五月二一大阪府生、畫家、日畫、師鈴木百年、同松年、東京小石川區江戸川町一五

齋藤 薰 號 畝 △畫家、日畫、師荒木寬敏、讀畫會員、東京淺草區山谷町四一

佐々木 惣三郎 △福井 日畫、明治三四年七月美術學校日畫科卒

佐々木 恒清 號 青葉村 △奈良生、大阪府立北野中學校教諭、日本美術の研究、文學士、明治三九年七月東帝大文科大學史學科卒

佐々木 直哉 △慶手、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒

佐々木 榮多 △神奈川、彫刻、明治三八年七月美術學校彫刻科卒、(在米國)

佐々木 三六 號 長江 萬延元年一二月二二福井生、正八、洋畫、前年伊太利チニリン府美術學校に留學す、金澤市材木町五の三六

佐々木 璋 號 松 △新潟、日畫、明治四〇年三月美術學校日畫科卒

佐々木 美山 明治九年八月八廣島生、畫家、日畫(四條)、師里見雲嶺、藤島耕山、大橋翠石、巽畫會員、二〇年米國に漫遊三七年歸朝

佐々木 守 號 泉溪 明治四年七月八金澤生、北海道廳立札幌高女學校助教諭、勳七、日畫(狩野)、師佐々木泉之、佐々木泉山、狩野壽信、北斗畫會幹事、北海道札幌區北一條西七の一

佐々木 義雄 明治二三年四月二四東京生、畫家、油畫、師小山正太郎、太平洋畫會員、東京下谷區谷中真島町一

佐瀨 得三 號 醉梅 (別號心齋) 慶應三年江戸生、報知新聞美術擔當記者、國華俱樂部幹事、東京芝區下高輪町五五

左脇 至言 號 波登磨 嘉永六年六月八

齋藤 八十八 △畫家、洋畫、第四回文展入選、東京府荏原郡大井町一三〇五

齋藤 謙 △東京、東帝博物館技手、明治二五年二月美術學校特別課程修、著書「支那畫家人名辭書」、「支那畫家落款印譜」等あり、東京下谷區上野櫻木町二六

齋藤 正治 號 吳月 明治二二年一月一東京生、畫家、日畫(四條)、師小林吳崎、望月金風、東京深川區富川町三二

齋藤 久孝 △芝浦製作所技師、建築、建築學會員、東京本郷區駒込曙町一六、電下谷五二六七

齋藤 秀岳 △東京、彫金、明治二七年二月美術學校彫金科卒

齋藤 巖 號 修亭 (別號天幽) 明治一〇年一二月二三栃木縣生、畫家、南畫、師兒玉果亭、美術協會員、東京下谷區上根岸町八九

里村 對岳 △東京、日畫、第一回文展入選、澤藤 太郎 △千葉、彫刻、明治二九年七月美術學校彫刻科卒、千葉縣安房郡岩井村二部區一

澤井 萬吉 號 竹 櫻 明治一一年一二月二三大阪生、商業、日畫(四條)、師今尾景年、深田直城、大阪東區寺山町四九六、電南一六三四

澤部 清五郎 △京都、畫家、洋畫、第一回文

展入選

澤田蒼谷 安政三年二月武藏國生、農業
南畫、師川村雨谷、美術協會員、埼玉縣入間郡南古谷村
久下月八〇

澤田次作 △漆器業、詩繪、漆工會員、美術
協會員、金澤市觀音町一の八

澤田誠一郎 兼 兼 堂 △京都、圖案、
明治三八年七月美術學校圖科卒、前年佛國に遊學歸朝して
圖案所を設く

澤津昌利 △島根、三越吳服店意匠部勤務
日畫、明治三六年七月美術學校日畫科卒

澤村昌勝 號 冬 岳 △石川、石川
縣工業學校助教、勳七、日畫、師久保田米傳、山田敬中、
澤村專太郎 號 胡 夷 明治一七年一月
一滋賀縣生、美術學校講師、國華社編輯部主任、美學及美
術史、文學士、四二年七月京帝大文科大學卒、東京京橋區
南小田原町四の五

澤口悟一 △宮城、工業試驗場勤務、漆工
明治三九年七月美術學校漆科科卒

澤山寛民 △畫家、日畫、美術協會員、明
治繪畫會にて三等賞(二回)を受、東京小石川區小日向臺町
三の四六

澤木彦門 號 春 水 明治六年一月
一三福井生、漆工及蒔繪、師川之邊一朝、金井拾吉、三
二年美術學校漆工科卒、熊本縣飽託郡春竹村一五九九

酒井靖 號 唯 一 (別號抱祝) 明治
一一年四月二東京生、畫家、日畫(光琳派)、師酒井道一、
巽畫會員、美術協會員、東京下谷區下根岸町六一

阪崎 田 明治二〇年三月兵庫縣生、東京
朝日美術擔當記者、四三年七月早稻田大學英文科卒、東京
牛込區辨天町六

坂井戒爾 △東京、洋畫、明治四四年三
月美術學校洋畫科卒

坂井藍涯 明治六年五月五岐早縣生、畫家
日畫(四條、狩野)、師橋本雅邦、松本楓湖、今尾景年、巽畫
會員、美術院展覽會にて銀牌、美術協會にて銅賞を受、岐阜
縣不破郡荒崎村一六

坂井義三郎 號 犀 水 明治四年三月一
三金澤生、雜誌美術新報及美術畫報主幹、藝術の鑑賞的研
究、著書『畫聖ラファエル』、東京本郷區湯島切通坂町三五
廣瀬方

坂田圭藏 號 習 軒 明治二年六月一
五姫路生、畫家、南畫及圖案、師菅小琴、大阪南區西之
町九一

坂内瀧之助 △福島、日畫、明治四一年三月
美術學校日畫科卒

坂口 純 △明治八年五月一〇字都宮生、
美術學校助教、鑄金、三一年七月美術學校鑄造科卒、鑄
金會員、彫工會員、東京本郷區駒込林町八一

坂卷耕漁 月岡辨之助を見よ

坂本恭 號 雲 谷 明治四年一一茨
城縣生、畫家、勳七、功五、南畫、師川村雨谷、美術協
會員、日清、日露の戦役に從ひ『砲煙彈雨日誌』を著し、天
覽の榮を賜ふ、東京下谷區谷中坂町一三

坂本繁二郎 明治一五年三月二久留米生、畫
家、洋畫(油畫、水彩)、師森三美、小山正太郎、太平洋畫會

一六〇

酒井惟一 號 椿 溪 嘉永四年一月
四尾張國生、農業、日畫(四條)、師松吉樵溪、奥村石閣、
愛知縣丹羽郡大口村小口一三六

酒井祐之助 △酒井建築事務所主、建築、(B
of Japan)建築學會員、東京芝區市町八三、電芝一二
三六

酒井宮松 號 石 水 嘉永六年正月一
二倍濃國生、農業、南畫、師宗星石、長野縣上伊那郡宮
田村四六一

酒井新次郎 △石川、圖案、明治四五年京都
高工學校圖科卒

酒泉眞一 號 杏 村 明治一〇年一一
月一五水戸生、茨城縣水海道中學校教諭、南畫、師松平
雪江、茨城縣結城郡水海道町新町

酒卷仁兵衛 △(舊名貞吉)栃木、圖案、明治
四二年三月美術學校圖科卒

阪井 辨 號 久良岐 明治二年一月二
四橋濱生、著述家、一種の俳畫を餘技とす、風流無名畫
會幹事、研精會特別會員、東京麹町區富士見町六の二〇

阪井紅兒 明治六年四月一四東京生、畫家、
日畫(狩野)及洋畫、師安田米齋、橋本雅邦、圖案會幹事、
東京牛込區南樓町七一

阪田萬助 號 耕 雪 明治四年一月六
金澤生、畫家、日畫、師尾形月耕、巽畫會員、大正美術會
員、日月會にて日月賞、大阪工藝博覽會にて銅賞を受、
大阪北區眞砂町三

阪谷良之進 △岡山、圖案、明治四三年三月
美術學校圖科卒、内務省古社寺保存會勤務

員、第四回文展にて褒狀第五回には三等賞を受、東京府北豐
島郡雜司ヶ谷村三六

柳原春之助 號 佳 山 △京都、畫家、
日畫、明治四四年三月京都繪畫專門學校卒

柳原若山 明治二三年二月一七京都生、京
都繪畫專門學校在學、日畫、師竹内栖鳳、第六回文展にて
褒狀を受、京都上京區御幸町御池北入輪屋町三九三

柳原安造 號 紫 峰 明治二〇年八月
八京都生、畫家、日畫、師山元春舉、菊池芳文、竹内栖鳳、
京都美術工藝學校及繪畫專門學校卒、四二年三月京都美術
展覽會にて銅賞、第四回文展にて褒狀、第五回にて三等賞を
受、京都上京區御幸町押小路下

相摸金三郎 △洋畫、第二回及第四回文展入
選、東京芝區金杉新濱町一中村方

眞田久吉 △東京、洋畫、明治四二年三
月美術學校洋畫科卒、フユウザン會員

櫻井知足 明治二三年六月二七北海道生、
洋畫、師黒田清輝、葵橋洋畫研究所出身、第六回文展入
選、東京麹町區平河町六の一四黒田方

櫻井忠剛 △畫家、油畫、關西美術會員、
兵庫縣川邊郡尼ヶ崎町

櫻井小太郎 明治三年九月一一東京生、建築
技師、建築、從五、勳四、英國建築學士(A.R.I.B.A.)二
三年倫敦大學建築科卒、英國王立建築學士會院會員、建築
學會員、大正元年八月大阪市役所設計工事圖案二等賞當選、
東京牛込區新小川町三の一五、電番町四一四五

櫻井榮藏 明治二年七月二一東京生、貴金
屬品製造業(商號大和屋)、美術協會員、彫工會員、内外

木村 茂 鹿兒島縣川内中學校教諭、圖案
 明治三八年京都高工學校圖科卒、鹿兒島縣薩摩郡東水引村
木内友吉 號 省 吾 明治一五年七月
 一五東京生、木桑嶽、家業を祖父木内喜八及父木内半吉
 に承く、美術協會員、國華俱樂部員、東京本所區向島小梅
 町二五〇

木内直秋 文久元年五月朔阿波國生、畫家、
 南畫、師田能村直入、明治二〇年京都府畫學校卒、關西
 南宗畫會幹事、徳島佐古小裏町一〇五〇
木子幸三郎 △内匠寮技師、建築、從六、
 建築學會員、東京府豊多摩郡千駄谷村原宿一八〇、電芝
 一三三

木下多聞 △東京、彫刻、明治四一年三
 月美術學校彫刻科卒
木下謙次郎 號 翠 雨 明治元年六月一
 七鳥取縣生、農業、南畫、師藤田台石、美術協會員、
 鳥取縣西伯郡八幡村東八幡

木下光太郎 號 山 橋 (前號觀雲) 明治
 一六年四月五大阪生、畫家、日畫(圓山)、師川端玉章、
 産業博覽會にて銅賞を受、大阪府東成郡住吉安立町一〇一九
木下眞藏 △熊本、明治二六年七月美術學
 校特別課程卒
木下空太郎 太田正雄を見よ
木澤禎 △和歌山、彫刻、明治三一年
 七月美術學校彫刻科卒

木島文次郎 號 櫻 谷 明治一〇年三月
 六京都生、畫家、日畫、師今尾景年、京都美術協會員、
 文展に於ける受賞は第一回、第二回、第五回、第六回共に二等

賞、第三回、第四回共に三等賞とす、京都御池兩替町角
木元平太郎 △中學圖畫科教員、明治二五年
 七月美術學校特別課程卒、圖案會幹事、東京小石川區林
 町五七
木本芝仙 △畫家、日畫、明治繪畫會員、
 東京牛込區東五軒町一二

鬼頭隆三郎 號 道 周 明治七年一月七
 名古屋生、畫家、日畫(狩野)、師鬼頭道恭、橋本雅邦、
 二葉會員、巽畫會員、全國繪畫共進會にて銅賞、美術協會に
 て數度銅賞、名古屋青年畫會にて銅賞を受、東京麹町區平
 河町四の一

喜多恒太郎 號 暉 月 元治元年四月二
 一備前國生、畫家、日畫(四條、圓山)、師中川蘆月、
 巽畫會員、大阪南區下寺町二丁目堀初橋南入
喜多村悦三 △茨城、洋畫、明治三四年七
 月、美術學校洋畫科卒、

來海篤次郎 明治九年三月一〇松江市生、前
 北京工業學堂教習、塑像、陶磁器彫刻、師荒川龜齋、竹内
 久一、三八年七月美術學校彫刻科卒、彫工會員、鹿兒
 島市清水町慶田製陶所内
切替孝恭 號 敬 邦 明治九年一二月
 二八千葉縣生、畫家、日畫(狩野)、師橋本雅邦、巽畫會
 員、二葉會出品三等賞三回受賞、千葉縣市原郡姉崎町立
 野一

桐谷長之助 號 洗 鱗 明治一〇年九月
 一新潟縣生、畫家、日畫、師富岡永洗、橋本雅邦、四〇
 年三月美術學校日畫科卒、千葉縣東葛飾郡市川町眞間

(研究の爲め渡印中)

清原重一 △徳島、洋畫、明治四五年三
 月美術學校洋畫科卒

清見陸郎 號 六 浪 明治一九年一〇
 月一東京生、著述家、美術評論、東京府豊多摩郡高
 田村雜司ヶ谷三六
清島長次 △長崎、日畫、明治四四年三
 月美術學校日畫科卒

北蓮藏 明治九年七月一〇岐阜縣生、畫
 家、帝國劇場背景部主任、油畫、師山本芳翠、黒田清輝、
 三一年七月美術學校洋畫科卒、東京府豊多摩郡澁谷町下澁
 谷豐澤一八四七

北原千祿 △香川、金工、明治四四年三
 月美術學校金工科卒、東京芝區兼房町一二四岡方
北川金麟 △畫家、日畫(鹽川派)、師垣内
 雲麟、美術協會員、東京下谷區上根岸町八二

北川力松 號 鼓 山 明治一七年一〇
 月二〇石川縣生、畫家、日畫(狩野)、勳八、巽畫會員、
 三八年研究の爲め清國に赴き三九年歸朝、石川縣能美郡寺
 井村

北川義雄 △沖繩、朝鮮總督府鐵道局龍山
 工務課勤務、圖案、明治四五年京都高工學校圖科卒
北垣確 號 靜 處 明治七年一〇月
 二二北海道生、正五、日畫、師谷鏡臣、三三年四月京都
 美術工藝學校繪畫專攻科卒、日本繪畫協會其他にて銀賞三
 回、銅賞五回受賞、三七年二月見學の爲め支那、印度を経て
 歐米を漫遊し同年二月歸朝、京都上京區土手町
北垣巳之助 號 公 美 明治八年三月一

○京都生、滋賀縣女師學校教諭、日畫(四條)、師北垣公
 麟、大津市笹屋町一

北上竹次 號 峻 山 (或は俊山 明治
 一四年二月二一北海道函館生、畫家、日畫、師下村親山、
 巽畫會員、美術院展覽會にて銅牌三回、研精會にて銅牌、第
 六回文展にて褒狀を受、三二年三月日本美術院卒、東京
 下谷區上野櫻木町二八

北上末吉 明治一六年三月一北海道函館生、
 畫家、勳八、油畫、師小林萬吾、東京赤阪區青山南町五
 の四二
北室清一郎 △徳島、圖案、明治四〇年京都
 高工學校圖科卒

北村六右衛門 號 百 泉 明治五年二月一
 四大阪府生、畫家、南畫、師姫島竹外、大阪西區泉尾町
 四九
北村友吉 號 正 信 明治二二年一月
 三新潟縣生、彫刻家、彫塑、大理石彫刻及洋畫、彫刻を北
 村四海に學び餘は太平洋畫會研究所に於て修業す、東京府
 北豐島郡瀧野川村田端三五二

北村直次郎 號 四 海 明治四年二月一
 二長野生、彫塑家、師北村正信、太平洋畫會員、彫工
 會にて二等賞、美術協會にて二等賞、第二回文展にて三等賞、
 同第五回にて褒狀を受、三三年佛國へ留學、三五年歸朝、
 東京府北豐島郡瀧野川村田端三五二

北村耕造 △建築請負業清水組技師、建築
 工學士、建築學會員、東京四谷區右京町八
北村三省 △石川、圖案、明治四二年京都
 高工學校圖科卒、

北村重樹 △栃木、洋畫、明治四一年三月
美術學校洋畫科卒

北村修道 號靈南 安政元年八月一
三日月生、帝國通信社員、美術工藝專門記者、東京赤阪區
靈南坂町四

北村西望 明治一七年一月一六長崎縣生、
塑造、四〇年三月京都美術工藝學校彫刻科卒、四五年三月美
術學校彫刻科卒、京都美術協會にて三等賞、文展第三回及
第五回にて褒狀受領、(熊本隊入營中)

北野富太郎 號恒富 明治一三年五月
二八金澤生、畫家、日畫、巽畫會員、大正美術會員、第
五回文展にて三等賞を受、大阪南區鏡谷仲之町五二

北山晃文 號杏堂 明治二年八月一
八青森縣生、青森縣立八月中旬學校圖畫教師、油畫、關藩共
勵會幹事、青森縣三戸郡八戸町番町一

北山清太郎 號紫巒 明治二年三月
三和歌山生、雜誌「現代の洋畫」主幹、洋畫(水彩) 師大下
藤次郎、東京牛込區水道町五三、振替東京四三三七三

北古賀順橘 △佐賀、洋畫、明治四三年三月
美術學校洋畫科卒

北澤虎造 △建築技師、建築、建築學會員
東京府豐多摩郡澁谷町中澁谷南平一五四三、電芝四一八二

北澤保次 號樂天 明治九年七月二
〇東京生、雜誌「樂天」主筆、漫畫、東京赤阪區榎
坂町四、電芝四三八一

北島淺一 △佐賀、洋畫、明治四五年三
月美術學校洋畫科卒

吉川準 號靈華 明治八年五月四
日

菊池香三 △巖手、愛知縣立第五中學校教
諭、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒

菊池輝子 號舜琴 明治一四年二月
二七千葉生、畫家、日畫(四條)、師村瀨玉田、寺崎廣業、
美術協會員、東京麹町區下二番町四七

菊池左馬太郎 號素空 明治六年九月二
〇京都生、畫家、日畫(東西折衷)、師幸野模嶺、後三年
門研究の爲め歐洲を巡遊す、正八、勳六、二三年京都畫學校
全科卒、公私の會に出品したる事なし、京都上京區瓦町

菊池貴一郎 號廣重 嘉永元年三月二
江月生、畫家、日畫(浮世繪)、立齋廣重の後を襲ぐ、東
京日本橋區本町一の一七

菊川熊高 號九華 明治九年九月一
四三重縣生、兵庫縣洲本中學校教諭、日畫(四條)、師磯
部百麟、兵庫縣津名郡洲本町山下一四

菊澤六兵衛 △埼玉、日畫、明治四五年三
月美術學校日畫科卒

岸民五郎 號融岳 明治一八年二月
六山形縣生、畫家、南畫、美術協會員、日本畫會員、山
形縣西村山郡寒河江町丙二九七

岸熊吉 △福井縣、官幣大社稻荷神社修
理工事係、圖案、明治四一年三月美術學校圖科卒、京都黒
門通元誓願寺下二七

岸九岳 弘化二年五月六京都生、栃木縣
圖案調製所技師、日畫(岸派)、師岸連山、岸竹堂、美術協
會員、越前守岸駒孝曾世員畫家なり、東京府豐多摩郡澁谷
町上澁谷三五

東京生、畫家、日畫(土佐)、王朝時代の古畫及自然を研究
す、美術協會歴史部商議員、第五回文展にて褒狀を受、東
京小石川區大塚町二四

菊地鑄太郎 安政六年一〇月二江月生、彫刻
家、石膏模型製作、師伊人ウインセンツ・ラダー、明治一
五年六月工部美術學校彫刻科卒、東京赤阪區高樹町一五、
振替東京一八三五四

菊地整吾 明治一一年四月一宮城縣生、山
梨縣師範學校教諭、油畫、三七年四月美術學校圖畫講習科
修了

菊池完爾 號契月 明治一二年一
月一四長野縣生、京都繪畫專門校助教諭、日畫、師兒
玉果亭、内海吉堂、菊池芳文、京都美術協會員、繪畫展覽會
等にて銀銅牌受賞十數回、文展第二回は二等賞、第三回は三
等賞、第四回は二等賞、第六回は三等賞受領、京都下京區錦
小路新町東入四

菊池武茂 號魯岳 安政二年九月二
八高知生、畫家、南畫、師名紳逸峰、神戸市楠町四の二
三七

菊池常次郎 號芳文 文久二年九月一
七大阪生、京都繪畫專門學校教授、美術審查員、從七、日
畫、師滋野芳園、幸野模嶺、京都美術協會終身會員、京
都下京區錦小路新町東入四

菊池啓三郎 號華秋 明治二年五月
一六山形縣生、畫家、日畫(狩野)、師川合玉堂、巽畫會
員、第二回東京勸業展覽會三等賞受領、東京下谷區谷中初
音町四の一六

菊池五郎 △茨城、洋畫、明治四二年三
月

岸光景 △天保一〇年九月一五江月生、
圖案家、帝室技藝員、美術協會特別會員、京都美術協會特別
會員、彫工會學藝委員、國華俱樂部員、東京下谷區池之端七
軒町五二

岸畑久吉 △三重、畫家、油畫、明治二八
年七月美術學校洋畫科卒

岸原哲藏 △長崎、秋田市工業徒弟學校教
諭、彫金、明治四一年六月美術學校金工撰科卒

岸上幾造 △奈良、圖案、明治四四年京都
高工學校圖科卒

岸田劉生 明治二四年六月一五東京生、畫
家、油畫、師黒田清輝、フニウザン會員、東京府豐多摩郡
大久保町西大久保四五七

岸田三郎 △大阪、圖案、明治三九年京都
高工學校圖科卒

岸浪靜司 號柳溪 安政二年一月
三日月生、畫家、日畫(南北合派)、師福島柳圃、田崎紳震
美術協會其他にて受賞多し、東京麹町區飯田町六の二一

金光堂守親 號燕石 元治元年三月三
備前國生、彫金業、彫金(奈良風)、父三世守親に學、大
阪東區船越町二の五九

錦光山宗兵衛 △明治元年二月京都生、製陶
業、京都美術協會終身會員、關西美術會員、美術協會員、内
外國博覽會にて多數高級賞を得、京都下京區錦小路東洞院
東入、電長二二六

岸九岳 弘化二年五月六京都生、栃木縣
圖案調製所技師、日畫(岸派)、師岸連山、岸竹堂、美術協
會員、越前守岸駒孝曾世員畫家なり、東京府豐多摩郡澁谷
町上澁谷三五

湯原 徳造 號 柳 畝 明治一八年三月
一三山形縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木十畝、讀
畫會員、東京本郷區根津宮永町三五

湯川 芳山 號 東洲 明治一一年一月
二四東京下谷區生、彫金業、師海野勝珉、彫工會員、金工
協會員、金工協會等に、屢、銀牌、銅牌を受、東京本郷區
湯川天神町一の八六

湯川 甲三 號 建築技師、建築、建築學會
員、東京下谷區上根岸町八八

湯川 愛之助 號 松堂 (別號業壽) 明治
元年六月一〇紀伊國生、畫家、日畫(寫生)、師鈴木松年、
歴、高貴より揮毫仰付られ最近「岩倉公事蹟大繪卷」を認め
上納す、作品を公開展覽會等に出したることなし、大阪南
區鯉谷西町一〇五

湯田 和平 號 玉水 明治一二年八月
一六若松市生、畫家、動八、日畫(圓山)、師川端玉章、
天真會員、福島教育館展覽會にて一等賞を受、東京府北豐
島郡葉鴨村池袋一〇〇山川邸内

湯田 文吉 號 文生 明治一六年長野
生、畫家、日畫、師寺崎廣業、巽會會員、長野市東町
一一二

湯淺 一郎 號 明治元年一月一八群馬縣生、
畫家、洋畫、師山本芳翠、黒田清輝、三一年七月美術學校
洋畫科卒、三八年歐洲へ遊び、四三年一月歸朝、東京
赤阪區榎坂町五

湯淺 圭造 號 (古筆了雅) 安政三年
三月一八江戸生、書類鑑定士、正七、書畫鑑定、古筆宗家
了悦より免許傳を受けたる唯一人、鑑定會幹事、美術協
會員、國華俱樂部員、東京本郷區湯島新花町八五、當下谷
四九一一

弓削 鹿二郎 號 南滿洲鐵道株式會社勤務、建
築技師、建築、建築學會員、大連市兒玉町三の四

柚木 房吉 號 福岡、鍍金、明治三五年七月
美術學校鍍金科卒

柚木 久太 號 岡山、畫家、洋畫、(巴里留
學中)

由井 彦太郎 號 西洋染物業(惠美須工場)、國
華俱樂部幹事、東京本所區柳島町一九、電本所八二七、同
長八二二

由木尾 平兵衛 號 雪 雄 萬延元年二月一
五金澤生、蒔繪師、業を父に承く、美術協會委員、漆工會
員、巴里萬國博覽會にて金牌を受、東京麹町區上六番町
四二

結城 林藏 號 東京高工學校教授、從六、寫
眞、寫眞研究會會員、東京下谷區徒町三の四五

結城 貞松 號 素明 號 明治八年一二
月東京生、美術學校教授、動七、日畫、師川端玉章、三〇
年七月美術學校日畫科卒、先聲會員、天真會員、第五回及
第六回文展にて褒狀を受、東京本郷區駒込林町一七七

祐森 六郎 號 京都、京都美術工藝學校教
諭、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

目黒 博 號 萩 處 文久二年二月二
八陸前國生、動八、日畫(四條)及洋畫(油畫、水彩)、師茂
庭竹泉、小山正太郎、滋賀縣蒲生郡八幡町本町四の二六

毛受 小八郎 號 樂齋 明治五年五月二
四大阪生、農業、南畫、師森琴石、大阪府北河内郡住道
村尼ヶ崎二

三尾 與喜藏 號 岐阜、明治四三年三月美術學
校圖畫師範科卒

三尾 秀太郎 號 吳石 明治一八年五月
一〇東京生、畫家、日畫(四條) 師大橋翠石、巽會會員、
日月會幹事、東京勸業博覽會にて三等賞を受、東京淺草區
安部川町四

三上 知治 號 畫家、油畫、太平洋畫會員、
第三回及第五回展にて褒狀を受、東京本郷區駒込動坂町六
三城山方

三上 治三郎 號 漆器業、京都美術協會終身會
員、美術協會員、漆工競技會等にて受賞多し、京都下京區
高辻通柳馬場四入、電長四四八

三吉 武二 號 京都、圖案、明治三八年京都
高工學校圖科卒

三好 信 號 藍石 天保九年一月二
一伊豫國生、畫家、南畫、師兒島竹處、大阪東區錦屋町一丁目

三好 綱亭 號 畫家、日畫、日本畫會員巽
畫會員、東京本郷區湯島天神町一の七八

三好 賢古 號 青蓮子 (別號竹香) 天保
一〇年一〇月一五阿波國生、畫家、日畫(大和繪)、師守
住貫魚、住吉内記廣賢、神戸市中町通四の一一二

三好 眞長 號 香川、東京府工藝學校助教諭
心得、金工、明治四四年三月美術學校金工撰科卒、東京芝
區兼房町二二西岡方

三井 良 號 明治二二年東京生、畫家、洋
畫、師黒田清輝、葵橋洋畫研究所幹事、東京神田區仲猿
樂町三の一

三井 由太郎 號 古溪 明治八年五月四
滋賀縣生、栃木縣佐野中學校教諭心得、洋畫、師在原古
玩、小堀頼音、三六年七月美術學校洋畫撰科卒、栃木縣安
蘇郡佐野町金井七八

三井 犀二郎 號 飯山 明治一四年一一
月二〇香川縣生、畫家、南畫、師田能村直入、日本南宗
〇會員、京都東竹屋町川端東

三橋 信吉 號 千葉、神奈川縣小田原中學校
教諭、日畫、明治四〇年七月美術學校日畫科卒

三橋 永輔 號 永齋 (又定運、鎌山の
別號を用、弘化二年正月一一生、鎌倉彫家元、神佛人木像、
鎌倉彫、漆器及畫、父康慶に學、勸業博覽會花紋賞、妙技賞
受領、神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町

三橋 清 號 彫刻、明治三二年七月美術學
校彫刻科卒、京都下京區八坂上町一七福正院

三橋 四郎 號 建築技師、陸軍經理學校講
師、建築、工學士、建築學會員、設計に成るもの東京順天

堂病院、日本橋大倉書店、京橋泰明小學校等、建築に關する著書數種あり、東京牛込區南山伏町八、電番町三二七八、工務所京橋區南鍋町一九

三二 村 耕 三二 △漆工、明治三二年七月美術學校漆工科卒、京都竹屋町通鉄屋町西入
三三 村 雅 一 號 雅 堂 明治一七年二月四高松市生、石川縣立工業學校教諭、圖案、四〇年三月美術學校圖科卒、圖案會員、第六回商品展覽會にて銅賞を受、金澤市石浦新町三北村方

三二 間 隆 次 △美術石版銅版各種製版印刷業、東京京橋區銀座三ノ一七、電長京橋五三七
三三 木 龜 治 郎 號 文 華 文久三年四月二六江戸生、畫家、日畫(四條)、師中野其明、佐竹永湖、野村文學、美術協會員、巽畫會員、東京本郷區湯島四の二〇
三三 木 辰 三 郎 明治一八年一〇月五京都生、大阪住友總本店臨時建築部員、一般圖案及建築裝飾、師淺井忠、四一年七月京都高工學校圖科卒、關西美術會員、大阪東區北濱町五丁目住友總本店

三三 木 榮 川 △漆工、明治四三年三月美術學校漆工科卒、(在暹羅盤谷府 Pong. Klong, Mahanak Canal, Bangkok, Siam.)
三三 並 花 弟 △畫家、油畫、フニウザン會員
三三 浦 柳 三 郎 號 光 風 明治元年一〇月五中京生、美術學校助手、牙彫、師石川光明、東京芝區白金三光町五三
三三 浦 自 也 △嚴手、縣立青森中學校教諭、日畫、明治三三年七月美術學校日畫科卒
三三 浦 鍊 二 △三菱合資會社員、建築、建築

學會員、東京赤阪區青山高樹町二ノ二一
三二 浦 常 彌 號 巖 嶺 慶應二年二月柴田是真、福岡市荒戸町四番丁二二三
三三 浦 孝 號 北 峽 △東京、日畫、明治三八年七月美術學校日畫科卒
三三 浦 哲 △東京、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒
三三 浦 玉 亭 △畫家、日畫、美術協會員、巽畫會員、東京本郷區春木町三の二
三三 浦 峰 明 明治一八年一〇月二一廣島市生、洋畫(油畫、水彩)、師中津守夫、村上英雅、圖書教育會員
三三 浦 二 郎 △大阪、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒
三三 浦 常 山 明治三年八月一一新潟縣生、陶器業、陶器(常山燒)及南畫、畫を服部波山、彫刻を初代廣常山に學、彫工會員、勸業博覽會花紋賞牌を始め各所に受賞、新潟縣佐渡郡相川町一の三九
三三 浦 心 子 號 英 蘭 △明治一三年東京生、畫家、南畫、師兒玉果亭、東京本郷區湯島天神町一の四、電下谷五五一六
三三 國 久 △新潟、洋畫、明治四五年三月美術學校洋畫科卒
三三 宅 皆 山 △京都、學生、日畫、京都吉田町繪畫專門學校內
三三 宅 克 己 明治七年一月八德島縣生、畫家(水彩)、師大野幸彦、原田直次郎、光風會員、東京勸業博

家、日畫(四條)、師川端玉章、巽畫會員、三二年七月美術學校日畫科卒、勸業博覽會及美術協會出品受賞數回、四三年四月見學の爲め歐米を歴遊し秋歸朝す、大阪府東成郡天王寺天下茶屋遊園地
御木本 幸 吉 慶應二年三月一〇志摩國生、裝身具製作販賣、賜縁授褒章、美術協會員、諸外國博覽會等に出品し毎に高級賞大賞牌を受領す、東京京橋區銀座四の三、電京橋長三五、三六、三七 振替東京一二四〇〇、工場廻町區内幸町一の三、電新橋三九
明 珍 恒 男 △東京、木彫、明治三六年七月美術學校彫刻科卒、東京淺草區東元町二一
溝 口 直 介 △明治一七年九月四東京生、陸軍技師、建築、師中村、塚本、關野、伊東諸博士及佐野工學士、從七、工學士、四三年七月東帝大工科大學建築科卒、建築學會員、東京府北豐島郡巢鴨町一の一七、電番町一三八四

溝 口 安之助 △鑄物業(商號龍文堂)、鑄金、京都美術協會終身員、金工協會員、京都下京區富小路四條通大文字町
溝 口 禎 次 郎 △東帝博物館部次長、日畫、明治二七年二月美術學校日畫科卒、彫工會學藝委員、巽畫會顧問、東京牛込區喜久井町一八
溝 淵 盛 美 △高知、洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒
水 沼 靜 △東京、金工、明治四五年三月美術學校金工撰科卒
水上 龜 太郎 號 香 邨 明治九年九月一四滋賀縣生、圖案家、染物圖案、繪畫を山本雪堂に學、京

覽會にて二等賞、第二回及第三回文展にて三等賞、第二回勸業展覽會にて三等賞を受、歐洲寫生旅行をなしたること三回米國へ二回、東京府豐多摩郡淀橋町柏木四〇七
三三 宅 米 吉 萬延元年五月一三和歌山生、東京高師學校教授、東帝博評議員、同歴史部長囑託、正五、勳五、文博、考古學會長、東京小石川區原町一〇三
三三 宅 宅 三 △岡山、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒
三三 宅 雄 一 郎 號 雪 嶺 △萬延元年五月金澤生、雜誌「日本及日本人」主筆、文博、明治一六年七月東帝大文科大學哲學科卒、著書多し、東京赤阪區新坂町八二
三三 宅 清 三 郎 號 吳 曉 元治元年三月一京都生、畫家、日畫(四條)、師森川曾文、後業協會委員、京都美術協會員、各所博覽會展覽會にて銀、銅牌受領多し第四回文展にて褒狀を受、京都上京區釜座二條下七〇四
三三 崎 彌 三 郎 △京都、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒
三三 島 蕉 窓 △畫家、日畫(容齋派) 師菊池容齋、東京下谷區車坂町
三三 隅 禎 三 郎 △山口、鳥取縣師範學校教諭、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒
美 作 武 雄 △熊本、縣立熊本高女學校教諭、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫科卒
御 園 金 貞 △静岡、圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒
御 厨 純 一 △佐賀、洋畫、明治四五年三月美術學校洋畫科卒
御 船 綱 手 明治九年一月一二岡山縣生、畫

都美術協會員、關西圖案會參事員、東京及京都美術協會其
他各所展覽會にて受賞十數回、京都下京區繪師新町西入
不動町一七六

水 上 泰 生 明治一五年福岡縣生、畫家、日
畫、師荒木墨仙、寺崎廣業、三九年四月美術學校日畫科卒、
福岡縣筑紫郡住吉村春吉三番町七二八

水 田 敬 號 竹 圃 明治一六年二月
一四大阪生、畫家、南畫、師堀島竹外、研究の爲嘗て清
國に遊ぶ、第六回文展にて褒状を受、大正美術會員、大阪
東區博勞町一の五

水 谷 千代吉 號 芳 年 △畫家、日畫、
畫會員、第六回文展一科入選、名古屋西區本重町一丁目
水 谷 鐵 也 號 佳 園 明治九年長崎縣
生、美術學校助教授、彫刻、塑造、師森川杜園、和田貫水、
三五年六月美術學校製造科卒、東京本郷區駒込神明町五〇

水 谷 四 郎 △長野、日畫、明治三九年四月
美術學校日畫撰科卒

水 野 轉 號 梅 崖 嘉永二年一二月
一九遠江國生、畫家、南畫、師吉田柳溪、渡邊小華、日本
畫會員、靜岡縣小笠郡佐倉村三三三

水 野 熊 次 郎 號 朗 △埼玉縣生、鑄金、
彫刻、金澤市鑄金家九代目水野源六の養子となる、
第三回文展入選、金澤市長土堀町

水 野 萬 資 號 椿 園 文久三年三月五
名古屋生、私立明倫中學校教諭、名古屋陸軍地方幼年學校
教師、洋畫(油畫、水彩畫)、名古屋中區小林町

水 野 哲 讓 號 文 華 明治七年四月八

三月京都美術工藝學校繪畫科卒 京都府與謝郡宮津町鶴賀
二〇

滿谷國四郎 △明治七年一月岡山縣生、畫家
前美術審査員、洋畫、師小山正太郎、太平洋畫會員、聖
路易博覽會にて銅牌、東京勸業博覽會にて一等賞を受、三
三年外遊、三五年歸朝、四年一月再び外遊、大正三年一
月三外遊歸、東京府北豐島郡日暮里町日暮里一一一八、
師伊人ピクロー及キヨツネ、西郷南洲翁の肖像畫を描くを
得意とす、(清國漫遊中)

光 村 利 藻 △銀行員、寫眞、美術協會終身
會員、神戸市北長狭通五の四六、電長六六五

光 安 源 次 郎 號 樵 僊 明治一三年八月
二七福岡生、日畫(四條)、師竹内栖鳳、奈良縣南葛飾郡
御所町大宮二四

峰 岸 久 五 郎 號 寶 哉 △文久元年一
月一七陸前國生、彫刻業、介甲彫嵌、師承なし獨學、美術
協會員、漆工會員、各種展覽會にて受賞十餘回、東京下谷
區谷中清水町二二

凌 源 太 郎 △德島、圖案、明治四五年京
都高工學校圖科卒

南 龜 太 郎 號 米 岳 明治三年新潟縣
生、巽畫會幹事、東京下谷區竹町二七、電下谷三三三五

南 薰 造 明治一六年七月二一廣島縣生、
畫家、洋畫(油畫、水彩)、師黒田清輝、岡田三郎助、藤島武
二、長原孝太郎、英人ボロー・ジョンソン、四〇年三月美術學

廣島縣生、畫家、日畫(四條)、師藤井松林、京都下京區
下寺町五條下二一木覺寺内

廣島縣生、畫家、日畫(四條)、師藤井松林、京都下京區
下寺町五條下二一木覺寺内

水 野 鐘 之 助 號 香 圃 弘化三年一月一
江月生、畫家、日畫(四條及南北合派)、京都美術協會終身
會員、京都圓山鷲尾町一九

水 野 準 平 號 以 文 明治二三年四月
二三靜岡縣生、洋畫(水彩、油畫)、初め太平洋繪畫研究所
後日本水彩畫會研究所にて學、第四回文展にて褒状を受、
東京小石川區小日向水道町一〇〇還國寺内

水 野 秀 方 △明治八年生、畫家、日畫(浮
世派)、師水野年方、東京下谷區谷中天王寺町

水 越 達 也 號 松 南 明治二二年八月
一三神戶生、畫家、日畫、師山元春舉、谷口香崎、神坂雪
佳、四三年四月京都美術工藝學校圖科卒、美工會員、京
都下寺町五條下本覺寺境内中島方

水 木 兵 太 郎 △石川、京都高工學校助教授、
圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

水 島 爾 保 布 △畫家、日畫、明治四一年三月
美術學校日畫撰科卒、行樹社員、東京下谷區上根岸六九

水 島 勘 介 號 笠 瀆 明治一四年八月
九京都府生、兵庫縣工業學校教諭、日畫及室内裝飾圖案、
四一年七月京都高工學校圖科卒、神戸市兵庫六開通八丁目
電一五三三

水 島 倉 吉 號 笠 村 明治七年九月京
都府生、京都府立第四中學校教諭、日畫、師鈴木松年、
鈴木瑞彦、三宅吳曉、山元春舉、菊池芳文、竹内栖鳳、三六年

校洋畫科卒、四〇年歐洲に遊學し四三年四月米國を経て
歸朝、第四回文展にて三等賞、第五回、第六回共に二等賞を受
廣島縣賀茂郡内海町、(東京宿所 府下千駄ヶ谷町三五二)

南 幸 作 號 蕉 堂 明治二七年八月
一四長岡生、畫家、日畫、師松本楓湖、東京下谷區竹町
二七

南 順 助 號 寬 明 明治四年五月山
口縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木寬一、美術協會
員、東京府豐多摩郡中野町三六五一

箕田 萬 龜 太 郎 號 玉 章 慶應三年八月一
八京都生、畫家、日畫(岸派)、師祖父霞峰、父玉齋、京都
圖書教育會幹事、京都上京區間之町二條上夷町四

宮 原 常 二 郎 △塑造、明治三七年七月美術學
校彫刻科卒、東京小石川區西夕原町二の二七

宮 原 顯 藏 △愛媛、彫刻、明治三五年七
月美術學校彫刻科卒

宮 智 宗 八 號 一 男 △彫金業、布
目象眼、彫工會員、金工協會員、美術協會員、東京本所區小
梅瓦町七三

宮 地 三 郎 明治一七年一月二二高松生、圖
案及洋畫、師淺井忠、武田五一、三九年七月京都高工學校
圖科卒、奈良縣南葛城郡忍海村三三三

宮 尾 麟 慶應元年四月二四高知縣生、臺
灣北港製糖會社取締役、建築、師山口工博、建築學會員、
設計に成るもの臺灣總督官邸、大阪黨業株式會社、日支テ
レシダ商會大阪支店、大阪尼崎汽船部等、臺灣北港街、
電三

宮 川 半 之 助 號 半 山 安政六年六月一

京都府生、陶磁器製造販賣業、師宮川香山、美術協會員、
内外博覽會等にて受賞、二十餘回、横濱市南太田町一六三
一、電一七八六

宮川安信 △滋賀、洋畫、明治四一年三月
美術學校洋畫科卒

宮川香山 號眞 葛 天保一三年一
月五京都生、陶磁器製造(眞葛燒)、帝室技藝員、師宮川
長藏、美術協會特別會員、窯業協會評議員、内外博覽會共
進會其他にて受賞金銀牌名譽大賞等六十餘回、賜綵綬褒章、
横濱市南太田町一六三一、工場同上、電一七八六

宮川守吉 號春汀 明治六年一月
一愛知縣生、博文館編輯局員、日畫(風俗畫)、東京芝
區高輪南町五三

宮田六左衛門 嘉永六年七月二〇江戸生、和洋
木版、彫刻印刷(長文館)、業を父に受、美術協會委員、彫工
會商議員、木版業顧問、木版業徒弟獎勵委員長、内外博覽
會にて銀賞八箇、腕銀賞二箇、銅賞七箇を受、祖先以來累代
木版彫刻を業とし現代十世に抵る、東京京橋區松川町一、
電京橋二五一七

宮永剛太郎 號東山 明治元年九月一
九石川縣生、陶磁匠、陶磁器、漆器、銅器、彫刻等、佛朗西
共和國オフシエー・ド・アカデミー記章を有す、美術協會
員、京都美術協會員、窯業協會員、利榮壽博覽會及聖路易萬
國博覽會にて金牌、京都美術展覽會、日英博覽會にて銀牌
を受、京都上京區三條通粟田大極殿前通

宮内幸太郎 明治五年一〇月下總國生、寫真
師、師中島待乳 第五回内國勸業博覽會其他にて審査員た
ること數回、各寫真展覽會等にて得たる金銀、銅費等十數
宮本一七郎 △廣島、彫刻、從七、明治二七
年二月美術學校彫刻科卒

宮本長治 △大阪市技師、建築、工學士、
建築學會員、大阪北區會根崎上町三の一七九

宮本勝 △金銀彫刻七寶商、(商號宮本商
行)、國華俱樂部員、東京京橋區彌左衛門町二、電新橋二
〇九七

宮本包則 △天保元年八月二五伯耆國生、
刀劍家、帝室技藝員、(慶應三年三月能登守に任ぜらる)、
長船の名匠横山祐包に師事す、金工協會特別員、皇室御歷
代の御佩劍、伊勢大廟其他各國大社の寶劍を作り、英國高
貴の依頼を受け各種の太刀を製作す、東京本郷區駒込神明
町四〇二

宮本秀四郎 △東京、彫金、明治四四年東京
府工藝學校金銀工科卒

宮本英男 △香川、圖案、明治四二年京都
高工學校圖科卒
右田豐彦 號年英 (別號精齋) 文久
三年六月一七豐後國生、畫家、日畫(浮世派)、師月岡芳
年、國澤新九郎、東京芝區田町七

斯波淳六郎 △石川、内務省宗教局長、古社
寺保存會委員、正四、勳三、東京四谷區鹽町三の四三、電
番町一五六七
志賀九十郎 △北海道、栃木縣足利高女學校
教諭、明治四五年三月美術學校圖畫師範科卒

簡、日本寫真會幹事、寫真研究會員、國華俱樂部員、東
京本郷區湯島天神町三の二、電下谷七四二、振替東京二
六〇

宮坂春章 長野、日畫、明治四二年三月美
術學校日畫科卒

宮崎豐次 △石川、美術協會主事、東京勸業
協會理事、東京小石川區原町一四七

宮崎嘉績 △朝鮮駐劄軍經理部技師、建築、
正六、勳四、建築學會員、朝鮮龍山南區東柳二四官舎

宮崎信量 號桃齋 明治六年一月一
五埼玉縣生、畫家、南畫、師初野柳陰、美術協會員、埼
玉縣大里郡熊谷町字榮町

宮崎彌太郎 號金峰 明治二〇年一
月二熊本市生、圖畫巡回教師、洋畫(油畫、水彩)、師小山
正太郎、圖畫教育會員、熊本市東寺原町六七

宮崎秀勇 △福岡縣立直方高女學校教諭、
洋畫、明治四二年三月美術學校洋畫科卒

宮崎省吾 △畫家、洋畫、東京小石川區
高田老松町四一石塚方

宮崎傾山 安政二年九月豐後國生、畫家、
南畫、師後藤碩田、山海を跋渉する事三十年、東京本所區
兩國回向院内

宮城文子 號秀霞 明治二三年八月
三〇東京生、畫家、日畫、師奧原晴翠、月田玉秀、巽畫會
員、東京小石川區關口駒井町一六

宮島熊三 明治一九年三月二三東京生、畫
家、油畫、師黒田清輝、東京麴町區平河町五の一七、電番
町七〇五

志賀正人 △畫家、洋畫、第三回文展入
選、東京下谷區谷中三崎南町四四

志賀貞三郎 △金澤市生、特許局審査官補、
日畫、明治二八年七月東京美術學校日畫科卒、東京府豐多
摩郡大久保町西大久保三四九

志賀重昂 號矧川 △文久三年九月
一五岡崎生、著述家、札幌農學校出身、農學士、『日本風
景論』等著書多し、東京赤坂區靈南坂町三四、電芝二二四

志賀靜山 △大阪、日畫、明治二七年七月
美術學校日畫科卒

志賀瑞芳 號小岳 嘉永六年一月一
一七大阪生、眞宗僧侶、南畫、師橋本桂園、大阪南宗畫
會及製産博覽會にて銅牌を受、大阪北區今井町二

滋賀重列 慶應二年六月一六京都生、東京
高工學校教授、建築、從五、勳六、M. Arch. B. S. in Arch.
明治二六年七月北米イリノイス大學建築科卒、建築學會常
議員兼編輯員、設計に成るもの東京高工學校、盲啞學校
等、東京神田區和泉町一ノ一六

清水六兵衛 號祥嶺 明治八年三月六
京都生、陶磁器製造業、日畫(四條)、師幸野棟嶺、京都美
術協會終身會員、窯業協會員、陶磁器試驗場商議員、京都上
京區五條橋東五の三〇、工場同上、電六九八、振替大阪一
三〇

清水仁三郎 △建築技師、建築、建築學會
員、東京芝區下高輪町二二、電芝一八五三

清水勝藏 明治元年八月二三京都生、海外
輸出玩具製作、京都美術協會員、内外博覽會にて金牌五箇
銀牌八箇を受、京都下京區富小路通四條南入二二、電長二

七九、振替大阪五一三二

清水龜藏 △香川縣立工藝學校教諭、彫金、明治二九年七月美術學校彫金科卒

清水貫一 △東京、洋畫、第三回文展入選、東京小石川區林町四三今井方

清水太助 號東風 明治一〇年三月一東京生、彫塑、師石川光明、四三年四月美術學校彫刻科卒、東京下谷區谷中三崎町五〇

清水大助 △畫家、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫科卒、東京本郷區湯島三組町八〇

清水たつ子 明治一二年八月滋賀縣生、福島縣立高女學校教諭、日畫、三七年三月女子美術學校日畫科卒、國香會女子部員

清水辰三郎 元治元年八月一七金澤生、書畫骨董商(愛雅堂)、書畫鑑定、美術協會員、東京神田區連雀町一八、電長本局一六九六

清水釘吉 △建築請負業清水組監督、建築、工學士、建築學會員、東京神田區北甲賀町一七、電本局三八、工業事務所京橋區南鞘町一四、電長京橋一五二、同一五三

清水潔 △新潟、山形縣新庄中學校教諭日畫、明治四五年三月美術學校日畫科卒

清水清三郎 △建築請負業清水組技師、建築、建築學會員、神奈川縣鎌倉郡由井ヶ濱一之鳥居前井阪方

清水石僊 嘉永元年四月一〇生、陶器製造業、美術協會員、內國勸業博覽會等にて屢々銀、銅賞を受、岐阜縣不破郡赤坂町子安一四〇

椎原兵市 △大分、圖案、明治四〇年京都高工學校圖科卒

高工學校圖科卒

椎塚春子 號蕉華 明治一七年二月二四東京生、畫家、日畫(浮世畫)、師水野年方、村田丹陵、各所展覽會にて屢々受賞、東京下谷區谷中天王寺町三六

椎名常次郎 號僊山 明治六年四月一北海道生、畫家、日畫(狩野)師久保田米僊、橋本雅邦、二葉會員、巽畫會員、日本美術院、二葉會にて二三回受賞、東京芝區白金臺町一の七八

白井長吉 號小石 明治八年三月八靜岡縣生、中學校教員、南畫、師杉山小谷、靜岡縣濱名郡濱松町

白井保次郎 號雨山 元治元年三月一伊豫國生、美術學校教諭、美術審查員、從六、勳六、彫刻師佛人アンシヤルベル、明治二六年七月美術學校彫刻科卒、彫塑同窓會常任委員、彫工會(出品金賞、東京勸業博覽會(出品一等賞を受、三四年九月研究の爲め歐洲へ留學、三七年三月歸朝、東京本郷區千駄木町一八五

白井武四郎 號明浦 明治一六年一〇月二二岡山縣生、畫家、日畫(四條)、師今尾景年、後素協會員、日月會にて日月賞を受、大阪南區天王寺細工谷町五四九〇

白岩正雄 慶應元年四月八美作國生、海軍技師、建築、從七、明治二一年七月工手學校建築科卒、建築學會員、設計にかゝるもの廣島高師學校、鹿兒島高農學校鹿兒島大林區醫等、神奈川縣鎌倉郡鎌倉町倉屋敷七六五

白瀧幾之助 明治六年三月一七兵庫縣生、畫家、油畫、師山本芳翠、黒田清輝、R. W. Vonnoh (米人) E. R. Hughts (英人) R. Collin (佛人)、三一年七月美術學校洋畫科卒、光風會員、第五回博覽會にて三等賞、三七年より四三年まで歐米留學、第五回文展にて褒狀、巴里萬國大博覽會にて褒狀を受、東京府荏原郡大森町山王二八一〇

白柳虎雄 號榮畝 明治二三年八月五靜岡縣生、畫家、日畫(南北合派)、師荒木十畝、調畫會員、東京本郷區彌生町三荒木畫塾内

白山福松 號松哉 嘉永六年九月二二江戸生、美術學校教諭、帝室技藝員、正六、蒔繪、能登屋伊三郎に象眼及蒔繪を學び、小林萬次郎に蒔繪塗圖案等修業、美術協會員、漆工會員、國華俱樂部員、海外各國大博覽會にて名譽大賞敷回を初め、其他競技會等にて出品し受賞金、銀、銅賞數十度、東京京橋區木挽町一の一一、工場同上、電京橋一七三四

白崎龜次郎 △金屬品製作業、彫金、彫工會員、鑄金會員、美術協會員、東京府北豐島郡日暮里町谷中本一一一五

白仁敏郎 △佐賀、佐世保海軍製圖所員、圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒

芝興平 號景川 明治七年五月一

七東京生、畫家、日畫(四條)、師今尾景年、明治繪畫會幹事、漆工競技會圖案出品銅賞、美術協會銅賞(二回)全國繪畫共進會銀賞、正派同志會繪畫共進會二等賞、第六回文展にて褒狀を受、東京牛込區市ヶ谷加賀町二の二四

柴原孫四郎 △兵庫、圖案、明治四一年京都高工學校圖科卒

柴原魏造 號魏象 明治一八年七月一四岡山縣生、京都美術工藝學校助教諭心得、日畫、師竹内栖鳳、三八年京都美工學校繪畫科卒、京都上京區今出川寺町東入一丁目米屋町一〇

柴垣 號蜃城 慶應三年三月一大阪生、畫家、日畫(四條)、師深田直城、大阪繪畫會員、大阪西區西橫堀南通一〇〇

柴垣鼎太郎 △文部技師(建築課)、建築、從六、工學士、建築學會員、東京本郷區元町一の三、電下谷一六九八

柴田市太郎 號成真 明治一八年一二月二八東京生、蒔繪師、蒔繪(是真風)、師池田泰眞、莊司竹眞、漆工青年會幹事、聯合府縣共進會等にて二等賞、三等賞を得、東京淺草區上平右衛門町一一

柴田晚葉 號大津市生、畫家、日畫、師渡邊公觀、山元春舉、明治四五年三月京都繪畫專門學校卒、第六回文展入選、京都吉田町一條通川端東入木下方

柴田勝次 △愛知、朝鮮京城漢城高女學校教諭、明治四三年三月美術學校圖畫師範科卒

柴田龜太郎 號令哉 嘉永三年九月一

四江月生、蒔繪師、蒔繪(是真風)、師柴田是真、美術協
會特別會員、漆工會特別會員、第一回勸業博覽會にて風紋
賞牌、第三回にて妙技二等賞、其他美術協會漆工會等にて銅
牌等多數受領、東京淺草區上平右衛門町一

柴田常吉 △愛知縣生、三越吳服店寫真部
長、寫真、寫真研究會員、國華俱樂部、東京赤坂區田町一
の二、電新橋一七〇四

柴田普門 號竹亭 明治元年五月二
九東京生、僧侶、南畫、師萩原石齋、高橋雲亭、美術協會
員、東海繪畫協會員、靜岡市安西町一の七一瑞光寺

柴田三郎 △山口縣、都新聞社員、洋畫
明治四三年三月美術學校洋畫撰科卒、東京小石川區大塚仲
町五六

柴田繁吉 號墨城 慶應三年一二月
二八備後國生、海軍書記、勳七、南畫、師平尾竹霞、柳田
斗墨川村雨谷、巽畫會員、橫須賀市不入斗町七二七

柴田次山 △畫家、日畫、美術協會員、巽
畫會員、東京牛込區矢來町五

柴田節藏 △千葉、畫家、洋畫、第二回文
展入選、東京府豐多摩郡淀橋町柏木一一八

柴山秀子 明治二三年一月六名古屋生、
洋畫、四二年一月露都パシチレーニエ美術學校入學、大
正二年四月卒業歸朝、名古屋市東區宮土塚町三の七

柴崎恒信 △愛媛、畫家、洋畫、明治三
四年七月美術學校洋畫科卒、東京本郷區曙町一三三

鹽川文鵬 △畫家、日畫(鹽川派)、第一回
文展入選

鹽田力藏 △東京、美術批評、東京本郷區
月美術學校洋畫撰科卒

淨土太四郎 △富山、彫刻、明治四一年三
月美術學校彫刻撰科卒、東京府北豐島郡瀧野川村田端

庄田完 號耕峰 明治一〇年九月
二五東京生、畫家、日畫、師尾形月耕、展覽會博覽會等
にて銅牌受領數回、巽畫會員、東京府北豐島郡日暮里町金
杉一三四

庄田常喜 號鶴友 明治一二年九月
二八奈良縣生、京都繪畫專門學校助教諭、勳七、功七、日
畫(寫生)、師山元春舉、三一年四月京都美工學校繪畫科
卒、第四回、第五回、第六回文展にて褒狀を受、京都美術
協會特別會員、京都上京區東洞院通丸九町南八

庄野宗之助 號伊甫 明治九年九月一
〇福岡縣生、畫家、洋畫、師淺井忠、長崎市東中町四八
高島方

庄子勇 △宮城、洋畫、明治四四年三月
美術學校洋畫科卒

小代爲重 文久元年一〇月一佐賀生、教
官、從七、勳七、油畫、師百武兼行、明治一六年工部美術
學校洋畫科卒、東京麻布區三河臺町二三

莊司餘四郎 號竹真 安政元年三月二
八江戶生、畫家、日畫(四條)、及蒔繪漆繪、師柴田是真、
美術協會員、勸業博覽會共進會等に銅牌受賞十餘箇、兩陸
下及東宮殿下競技會(行幸の際御前畫の榮を荷ふ、東京淺
草區下平右衛門町六

正司惠一 △山口縣技師、建築、工學士、
建築學會員、山口縣吉敷郡山口町後河原
惺々 曉文 齋藤金治を見よ

込林町一九八
鹽田弓吉 號竹翁 文久三年一二月
二七陸前國生、北海道廳立上川中學校教諭、南畫、師松
坂采圃、小西皆雲、圖書共勵會員、北海道上川郡旭川町六
條通一二の右一

鹽田眞 △駿河國生、正七、勳四(佛國
勳三)、美術協會特別會員、彫工會特別會員、圖案會顧問、巽
畫會顧問、國華俱樂部幹事、其他各會に關係す、東京下谷
區仲徒町四の三一

鹽津唯一郎 號親次 元治元年四月一
三出雲國生、金工業、彫金、師加納夏雄、海野勝珉、金工
協會員、各所にて屢々受賞、松江市白濁魚町一〇

鹽月善吉 △宮崎、大阪市浪華高等小學校
訓導、明治四五年三月美術學校圖書師範科卒

鹽澤角之助 △栃木、彫刻、明治四四年三月
美術學校彫刻撰科卒

鹽崎一郎 號逸陵 明治一七年一
月一高岡市生、畫家、日畫(印象派)、師寺崎廣業、四〇
年三月美術學校日畫科卒、研精會委員、巽畫會員、各展覽
會等にて受賞數回、東京本郷區駒込町一〇〇

鹽崎利平 △鑄造業、鑄金、美術協會員、
金工協會員、高岡市本船町七六

鹽見競 △岡山、前濟國兩江師範學堂教
師、洋畫、明治三五年七月美術學校洋畫科卒、東京本郷區
駒込富士前町三九

鹿野秋浦 △畫家、日畫、東京深川區常
盤町二の四中山方

城勉一郎 △巖手、洋畫、明治三四年七
紹美英之助 號榮祐 △彫金業、鑄
起、明治三六年七月美術學校彫金撰科卒、京都美術協會終
身會員、京都寺町四條南入一〇

設樂貞雄 △神戸建築工務部所長、建築、
建築學會員、兵庫縣武庫郡西須磨村、電五八

品田末藏 號正壽 明治三年五月三
〇新潟縣生、貴金品製作販賣業、鑄起、勳七、師鈴木長
二齋、金工協會員、彫工會員、金工協會其他展覽會にて數
度銅賞を受、東京小石川區水道端町一の二三、電番町二二
三三

十二町貞吉 號函來 明治一四年四月
八高岡生、富山縣工業會技師、圖案、三八年七月美術學校
圖科卒、美術展覽會にて銅賞、第一回圖案展覽會にて一等
賞を受、著作「茶瓶形式百種」あり、高岡市桶屋町四二

篠原兼吉 號紅鳥 明治二四年二月
一一東京生、畫家、日畫、師伊東紅雲、小林古徑、巽畫會
員、東京府北豐島郡瀧野川村中里二〇五

篠原圓次 △長野、日畫、明治四五年三月
美術學校日畫科卒

篠澤五郎 號蕉窓 明治八年一〇月
二五長野縣生、畫家、日畫(南北合派)、師瀧和亭、巽畫
會員、長野縣北佐久郡岩村田町四五〇

信田了平 △富山、圖案、明治四五年三月
美術學校圖科卒

島成榮 號成園 △明治二六年生
日畫(風俗畫)、師北野恒富、第六回文展にて褒狀を受、大
阪南區鍛冶屋町二七

島 齊 △東京、圖案、明治四一年三月
美術學校圖科卒

島 元治郎 號 伊川 明治九年一〇月
岐阜縣生、小學校教員、日畫(四條)、師渡邊秋溪、仁林聖
仙、竹内栖鳳、京都府葛野郡大内村八條

島 友春 △千葉縣立高女學校教諭、日畫、
明治二七年二月美術學校日畫科卒
島 里喜藏 △福井縣立小濱中學校教諭、明
治二五年七月美術學校特別課程卒

島 佳矣 號 雪湖 △明治三年七月
一三金澤生、美術學校教授、從六、勳六、圖案、二七年二
月美術學校日畫科卒、美術協會員、彫工會學藝委員、東京
芝區伊皿子町四五

島 卓二 明治一九年三月六愛知縣生、畫
家、油畫、師黒田清輝、東京小石川區大塚窪町、四〇、三
河郷友會

島 東稻 號 素言 明治二年七月二
八名古屋生、市吏員、日畫(土佐)、師木村金秋、各展覽
會にて屢々受賞、名古屋市中區上前津町六九

島 延一 △畫家、日畫、明治繪畫會員、
東京淺草區向柳原町一の一七

島 信太郎 號 神水 明治四年九月二
一富山市生、畫家、南畫(墨竹研究)、師大西金陽、美術
協會員、富山市西中野町二四二
島 節衣子 號 玉舟 明治一七年一月

四東京生、畫家、日畫(狩野)、師跡見玉枝、島田墨仙、三
六年三月女子美術學校撰科卒、
巽畫會員、東京芝區三田
臺町一の三〇

島 田 豐 號 墨仙 明治三年一月一
福井市生、畫家、日畫(狩野)、師島田雪谷、太平廣正、橋
本雅邦、二葉會幹事、第五勸業博覽會其他展覽會にて銀牌
銅牌等多數受領、東京芝區三田臺町一の三〇

島 津 隆 號 隆翠 明治二年一月
二山梨縣生、畫家、日畫(浮世畫)、師錦木清方、荒木十
畝、巽畫會員、東京府北豐島郡日暮里町金杉一〇〇二

島 宗磨 號 雄 明治一一年三月二九新潟縣生、
彫型、日本陶器會社勤務、勳七、三五年七月美術學校彫刻
科卒、彫工會員、名古屋市中區白壁町三の一

島 村瀧太郎 號 抱月 明治四年一月一
〇島根縣生、早稻田大學教授、文藝委員會委員、雜誌「早
稻田文學」主幹、美術批評、二七年七月東京專門學校文學科
卒、東京府豐多摩郡戸塚村諏訪六五

島 内賢 號 松南 明治一四年二月
一〇高知縣生、畫家、日畫、師橋本雅邦、梶田牛古、二葉
會員、巽畫會員、文展第一回には三等賞、第三回、第四回、
第五回には同じく褒狀を二葉會にて金賞を受、東京牛込區
南橫町四五

島 崎友輔 號 柳塙 明治元年二月四
東京生、畫家、日畫(南北合派)、師櫻井久、竹本石亭、松
本楓湖、川端玉章、美術協會員、日本畫會員、元聲會員、川
端畫學校教員、勸業博覽會等にて銀牌、銅牌を受くること數

五、電芝一七二二
下 林 繁 夫 △熊本、日畫、明治四三年三月
美術學校日畫科卒

下 岡 蓮 杖 △文政六年二月伊豆下田生、日
畫(狩野)及寫眞、畫は狩野黄川に學び、寫眞は米入ヒュース
ケンとウシシに傳授を受、之れ本邦寫眞師の嚆矢となす、
東京府知事より寫眞界に盡したる功勞により木盃を賞賜さ
る、東京淺草區公園五區四九

下 田新左衛門 號 春興 明治一五年一月
二八靜岡縣生、別格官幣社湊川神社主典、日畫、師磯部
百麟、川端玉章、神戸市多門通三丁目湊川神社第一號官邸

下 村 晴三郎 號 觀山 明治六年四月
生、畫家、美術審査員、正七、日畫、師橋本雅邦、二七
年二月美術學校日畫科卒、二葉會理事、三六年歐洲に留學
し三八年歸朝、橫濱市北方町一五〇

下 村 米治郎 號 松山 明治一七年九月
一大阪生、畫家、日畫(寫生)、勳八、師高田岸馨、浪華
青年畫會員、大阪西區南堀江下通一の八

下 村 悅太郎 號 清時 (別號豐山) △彫
刻家、彫工會員、日本彫刻會員、美術協會員、橫濱市北方町
一五〇

下 村 純 孝 號 爲山 (別號不羈) 慶應
元年五月二一伊豫國生、畫家、洋畫、東京本郷區臺町二
七鳳明館

霜 田 利 平 △埼玉、熊本縣山鹿實科高女學
校教諭、明治四五年美術學校圖畫師範科卒

霜 島 正三郎 △東京、圖案、明治三八年京都
高工學校圖科卒、(外國留學中)

回、文展にては第一回、第二回共に三等賞、第四回には褒狀
とす、東京本郷區彌生町二
島 本徳兵衛 安政五年四月一九生、美術品商、
美術協會員、彫工會特別會員、各所博覽會及展覽會等に於
て屢々受賞、東京府知事より多年斯界貢獻の勞により木盃
賞賜さる、東京本郷區切通坂町一〇、電下谷二二一

○東京府生、畫家、日畫、師尾形月耕、東京淺草區七
軒町三
繁 宮 實 朗 號 久遠 明治八年五月八
山梨縣生、農業、日畫(四條)及洋畫(油畫水彩)、師小
山正太郎、川端玉章、巽畫會員、山梨縣北巨摩郡小淵澤村
二〇八八

茂 庄五郎 △茂建築事務所主、建築、建築
學會員、大阪北區東梅田町、電東四九五四
重 田 進 十郎 △愛媛、鑄金、明治三八年七月
美術學校鑄造撰科卒

澁 井 龜 治 號 雲 齡 明治一〇年八月
二七栃木縣生、畫家、日畫(南北合派)、師寒川雲景、荒木
寛畝、巽畫會員、栃木縣那須郡伊王野村三二
澁 谷 昇 明治七年八月二富山縣生、刺繡
品製造業、美術協會員、金澤刺繡組合評議員、金澤市森下
町四〇

執行 宗 雄 號 半田 嘉永元年一月
一三佐賀市生、畫家、南畫、師村田香谷、美術協會員、
大阪府豐能郡池田村林口一三一〇
執行 弘 道 △會社員、從五、勳六、圖案會
顧問、國華俱樂部幹事、美術協會員、東京麻布區飯倉町一の

進藤 吾一 明治二〇年五月一六神戶生、畫家、洋畫、師範井忠剛、黒田清輝、第六回文展入選、葵橋研究所員、東京下谷區谷中初音町一〇阿部方

新海竹太郎 明治元年二月五山形生、彫刻家、美術審査員、勳七、彫塑、太平洋畫會會員、建築學會特別會員、東京本郷區瀨生町三

新谷 慶藏 號 鐵 慶應三年一月一〇福岡縣生、銀治業、南畫、刀劍、銀治(元相州傳)、師木村崑、福岡縣田川郡糸田村大熊四〇九五、一

神中 糸子 號 子 東京、畫家、洋畫、第一回文展入選、東京本郷區四須賀町五

樋口

樋口 正太郎 號 雪湖 安政五年正月二〇江戶生、通信博物館員、正七、勳六、日畫(南北合宗)及圖案、師酒井雪谷、川上冬崖、美術協會員、研究の爲足跡全國に遍く清國及歐洲にも歴遊す、東京淺草區西三筋町六一

樋口 治 實 號 陶庵 嘉永四年二月六佐賀縣生、製陶業、含珠燒製作、美術協會員、第三回勳業博覽會進歩賞及有功賞、市俄古世界大博覽會名譽金牌、其他受賞多し、佐賀縣杵島郡西川登村小田志山三一

樋口 英三 號 英三 兵庫、圖案、明治四三年京都高工學校圖科卒

樋口 久子 明治二七年二月二七奈良縣生、日畫(四條)、師熊谷直彦、東京本郷區湯島三組町二〇、電下谷四七二四

樋口 武 號 武 明治二〇年二月三愛媛縣生、西條高女學校教員、日畫(四條)、女子美術學校日畫科卒、愛媛縣新居郡西條町

日尾 由太郎 號 閑翠 明治五年九月二五金澤生、畫家、日畫(風俗畫)、師富岡永洗、東京神田區五軒町一四

日吉 守 號 守 朝鮮京城中學校教諭、圖案、明治四二年六月美術學校圖科卒

日高 源吉 號 東岳 明治八年一月三福岡縣生、畫家、日畫(南北合宗)、師麻生東谷、瀧和亭、美術協會員、福岡縣田川郡金川村月之輪八九五

日高 胖 號 胖 大阪住友總本店臨時建築部技師、建築、工學士、建築工學會員、大阪府豐能郡池田町室町五〇

日比 翁助 號 翁助 萬延元年久留米生、株式會社三越吳服店專務取締役、國華俱樂部員、東京府荏原郡北品川宿三三九、電芝一三三三

日比 忠彦 號 忠彦 京帝大理工科教授、正五、工博、建築、建築學會特別會員、京都上京區河原町二條上

日比野 勇次郎 號 蘇川 元治元年八月一八日名古屋生、廣島陸軍地方幼年學校教員、油畫、師小山三造、廣陵美術會會員、廣島市鐵砲町一八〇

日田 武馬 號 武馬 香港、彫刻、明治四五年美術學校彫刻科卒

廣岩 廣太郎 號 蕙圃 明治八年三月三

○豐橋生、畫家、洋畫、油畫、水彩、トモエ會員、豐橋市花田町二三四、電三五九

廣岡伊兵衛 號 無線 明治七年九月一京都生、友禪染製造業、美術協會員、京都美術協會評議員、關西美術協會評議員、織物協會員、友禪圖案會評議員、内外國博覽會及共進會にて名譽金賞及一等賞を受、京都下京區室町五條上、電二四〇

廣川榮三郎 號 嘯月 慶應三年七月二二福岡生、福岡縣師範學校教諭、日畫(狩野)、師橋本雅邦、明治二四年七月美術學校特別課程卒、福岡縣筑紫郡住吉村春吉新屋

廣田 正 號 雲月 明治一三年一月二三新潟縣生、美術彫刻業、日英博覽會にて金賞を得、新潟縣西蒲原郡燕町一二七

廣田 百 號 豐 明治九年一月二七石川縣生、畫家、日畫(寫生)、師岸浪柳溪、竹内栖鳳、後素協會員、巽畫會員、第五回文展にて褒狀を受、京都榎木町通千本東入七二

廣谷和喜知 號 水石 明治一七年一月七金澤生、畫家、日畫、師川合玉堂、北陸繪畫協會幹事、金澤市味噌藏町下中町一三

廣谷恒太郎 號 雲樵 明治八年四月一三廣島市生、畫家、日畫(寫生)、師里見雲嶺、菊池芳文、巽畫會員、廣陵美術會幹事、京都下京區下河原八阪庚申堂前北入

廣江精一郎 號 霞舟 明治二三年二月一九京都生、畫家、日畫、師山元春嶽、菊池芳文、竹内栖鳳、川北霞峰、三一年三月京都美術工藝學校日畫科卒、京

都新古美術展覽會にて二回銅賞を得、第五回及第六回文展にて褒狀を受、京都上京區柳馬場竹屋町下棚橋方

廣瀨長三郎 號 長江 明治一七年一月六東京生、畫家、日畫、師結城正明、紅兒會員、國畫玉成會にて三等賞を受、東京日本橋區鐵砲町一四

廣瀨竹石 號 竹石 東京日本橋區鐵砲町一四京府豐多摩郡戸塚村下戸塚三五二

廣瀨 濟 號 東畝 明治八年二月二六高知縣生、東京高工學校圖科助教授、日畫、師天野瘦石、荒木寬畝、美術協會員、日本畫會委員、讀畫會幹事、美術協會其他外國博覽會にて數回銀、銅牌を受、東京下谷區上野櫻木町三四

廣瀨 勝平 號 勝平 明治一〇年兵庫縣生、畫家、洋畫(油畫、水彩)、師山本芳翠、黒田清輝、三二年七月美術學校洋畫撰科卒、大阪洋畫會會員、大阪南區天王寺町松ヶ鼻町

廣瀨 尋常 號 尋常 高知、圖案、明治四二年三月美術學校圖科卒

弘中 儀一 號 儀一 橫須賀海軍經理部技師、建築、工學士、正七、建築學會員

人見 彌 號 彌 愛知、畫家、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒、赤松會同人

人見 鐵三 號 鐵三 滋賀、圖案、明治三九年四月美術學校圖科卒、東京四谷區仲町二の一一

人見 勇市 號 勇市 京都、日畫、第三回文展にて三等賞を受

人見 雪彦 號 雪彦 京都、洋畫、明治三九年四月美術學校洋畫科卒

土方 久元 號 秦山 天保四年一〇

月一六高知生、大臣禮遇、正二、勳一、伯、美術協會頭、研精會頭、文學協會頭、東京小石川區林町六二、電番町一六〇

東田 四作 △富山、圖案、明治四二年京都高工學校圖科卒

緒崎 太郎 號 英 朋 明治一四年八月二五東京生、畫家、日畫(風俗畫)、師右田年英、川端玉章、鳥合會員、東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村原宿二〇三

平井 富夫 △東京、日畫、明治三〇年七月美術學校日畫科卒

平井 直水 △畫家、日畫、美術協會員、各所展覽會等にて受賞多し、大阪北區小松原町三八〇

平井 卓 號 吳 鳳 明治一六年三月埼玉縣生、畫家、日畫(四條)、師川端玉章、川合玉堂、小林吳崎、巽畫會員、千葉縣千葉町朝日五五六

平井 武雄 明治一五年八月三一北海道生、畫家、洋畫、四〇年三月美術學校洋畫科卒、前年米國に遊學、東京芝區汐留町二〇一、電新橋一二六二

平井 爲成 △香川、洋畫、明治四五年三月美術學校洋畫科卒

平井 鐵次郎 號 立 明 明治二年八月一〇東京生、私立橫濱高女學校教師、日畫(狩野及南宗)、師木村立齋、荒木寬畝、橫濱市南太田町一八七五

平井 喜間太 號 梅 嵩 明治六年五月五愛知縣生、農業、南畫、師山本梅莊、南畫協會員、愛知縣知多郡阿久比村草木二六

平井 秀三 號 煤 仙 明治二二年一月五京都生、畫家、日畫、四二年三月京都美術工藝學校繪畫科卒

二東京生、正五、日畫、師川合玉堂、三九年四月美術學校 畫撰科卒、巽畫評議員、東京協會幹事、東京勸業博覽會銅賞、第二回勸業展覽會銅牌、第四回文展にて褒狀を受、東京神田區駿河臺袋町一二、電本局九二八

平田 茂規 號 月 方 明治二〇年一月一九福岡縣生、畫家、日畫(風俗畫)、師水野年方、晴崎英朋、福岡市濱町二一

平田 重太郎 號 重 光 安政三年正月二〇江戸生、室內裝飾品製作業、鏈起、美術協會委員、金工協會幹事、彫工會委員、内外博覽會其他にて金、銀、銅賞二十餘回受賞、東京神田區末廣町一七、電下谷三六七九

平塚 駒次郎 號 文久三年一〇月二二江戸生、銅像銅器製作業(廣耀齋)、師村田政次郎、彫工會員、金工會員、彫工會にて臘銀賞、銅賞を受、美術學校鑄造科助手勤務中楠公、西郷銅像等の製作に關與す、東京府北豐島郡日暮里町二〇、工場同上

平野 六郎 號 霞 裳 明治六年四月一〇愛知縣生、常滑町立陶器學校教諭、粘土模型、三七年七月東京高工學校窯業撰科卒、窯業協會員、美術協會員、愛知縣知多郡常滑町九八九

平野 虎吉 號 晃 岳 明治九年五月八大阪生、畫家、日畫、師平野光瑛、浪華繪畫青年會幹事、浪華繪畫青年會主催競技會にて銅賞を得、大正美術會員、大阪南區難波新川二の六九八

平野 馨 二 △愛知、洋畫、明治四一年三月美術學校洋畫撰科卒

平櫛 倬太郎 號 田 仲 明治五年四月一〇岡山縣生、彫塑、木彫、師中谷省古、高村光雲、彫刻會

科本科專攻科研究科卒、京都美術協會にて銅牌、日英博覽會にて銅賞、文展第三回、第四回、第六回にて三等賞、第五回にて褒狀を受、京都下京區寺町四條下大雲院內

平原 孝文 △明治一九年東京生、洋畫、第四回文展入選、東京赤阪區靈南坂町六

平林 俊吉 △三重縣師範學校教諭、明治三八年三月美術學校圖畫講習科修了

平林 由松 號 探 溟 嘉永二年四月一五相模國生、印刷局彫刻課工手、日畫(狩野)、師樋口探賞を受くる事十數回、東京赤阪區丹後町五一

平尾 經 號 竹 霞 安政三年五月一〇丹波國生、畫家、南畫、師渡邊那措、田能村直入、南畫協會幹事、京都下京區室町三條南島帽子屋町二六

平尾 善治 △奈良、圖案、明治四〇年京都高工學校圖科卒

平岡 直平 △静岡、鑄金、明治四二年三月美術學校鑄造撰科卒

平岡 權八郎 △東京、畫家、油畫、第四回文展にて三等賞を受、東京京橋區竹川町二一、電特新橋二〇五、同二〇六、同二〇七

平川 松喜 號 冬 嶺 慶應元年四月二八肥後國生、奈良縣郡山中學校教諭、日畫、無師獨修、奈良縣生駒郡郡山町南郡山

平田 宗幸 △嘉永四年三月一二江戸生、美術學校囃託、銀金、美術協會員、金工協會員、東京下谷區二長町五一

平田 榮二 號 松 堂 明治一五年二月

員、美術協會委員、彫工會員、美術協會、彫工會等にて金銀銅牌數回、第五回文展にて三等賞を受、東京下谷區谷中茶屋町九

平山 成信 △安政元年一二月静岡生、別當美術審査員、正三、勳二、彫工會名譽會員、鑄金會名譽會員、美術協會終身會員、東京小石川區原町三一、電番町六七六

平山 謙一 △新潟縣柏崎中學校教諭、日畫、明治三九年四月美術學校日畫科卒

平福 貞藏 號 百 穂 明治一〇年一二月秋田縣生、國民新聞社員、日畫、師川端玉章、三二年七月美術學校日畫撰科卒、元聲會員、音樂會員、東京府豐多摩郡澁谷町上澁谷一二五

平坂 彌三 號 芳 文 文久三年三月一五越中國生、彫刻業、牙木彫、師吉田芳明、彫工會員、彫工會、美術協會等にて屢々銀、銅賞を受、富山縣下新川郡泊町平柳一一四

平木 彌一郎 號 清 光 △金澤市生、日畫、明治三九年四月美術學校日畫撰科卒、東京淺草區松葉町七二

平木 政次 號 柳 靜 安政六年八月一〇一江戸生、東京高師學校圖畫科教員、洋畫、師初代五姓田芳柳、五姓田義松、太平洋畫會研究所委員、東京下谷區上野花園町七

平島 譽 號 蘆 洲 明治九年三月三山梨縣生、畫家、南畫、師小松益謙、美術協會員、山梨

縣北巨摩郡秋田村大八田二〇九

平瀬作五郎 △安政年間福井生、京都理科大學助、用器畫、用器畫及一般畫學に關する著書あり、京都府葛野郡花岡村御室堅町五

彦坂繁三郎 明治七年八月二四靜岡市生、靜岡縣山中學校教諭、洋畫、師牧野克次、靜岡縣田方郡葦山村山木

正田芳沼 △京都、畫家、日畫、第三回文展にて三等賞を受、京都東洞院三條下

引田志摩 △東京、洋畫、第二回文展入選、師石丸春牛、村田東圃、美術協會員、遊心會顧問、受賞高級賞金、銀銅牌等十數箇、大阪北區中之島六丁目

一〇筑前國生、畫家、南畫、師石丸春牛、村田東圃、美術協會員、遊心會顧問、受賞高級賞金、銀銅牌等十數箇、大阪北區中之島六丁目

母里源次郎 號茂松 安政六年六月一日出雲國生、商業、日畫、師兩森精翁、島根縣鏡川郡平田町一〇九九

茂木習古 △畫家、洋畫、東京本所區橫綱町一の三

茂木福次郎 號永洲 安政五年正月一日六武藏國生、畫家、日畫(南北合法)、師萩原春山、松本楓湖、美術協會員、巽畫會員、埼玉縣大里郡太田村永井太田一九九

毛呂眞號桑陰 安政元年九月四日武藏國生、畫家、南畫、師皆川柳進、美術協會員、群馬縣

の主なるもの後藤伯、品川子、西郷元師、川村海軍大將、川路大警視銅像等其他繪多し、東京小石川區原町一九、工場同上

元澤鐵次郎 △東京、彫塑、第二回及第三回文展入選

望月桂 △東京、洋畫、明治四三年三月美術學校洋畫撰科卒

望月學號金鳳 弘化三年三月三日大阪生、畫家、美術審查員、日畫(圓山、四條、合法)、師森二鳳、西山芳園、美術協會委員、各所展覽會にて金、銀、銅牌等多數受領、東京淺草區松清町四二

望月太郎號香郁 明治一一年六月六日六山梨縣生、畫家、南畫、師永井香圃、美術協會員、南宗畫會員、東京牛込區余丁町五五保養館

望月玉溪 △畫家、日畫、京都美術協會終身會員、美術協會員、京都上京區室町通丸太町下

望月銃三郎 △靜岡、彫金、明治二八年七月美術學校彫金科卒

望月純三號山畝 明治一七年四月二八東京生、畫家、日畫、師荒木十畝、讀畫會員、東京下谷區南大門町四

望月青鳳 明治一十九年四月一五東京生、畫家、日畫(圓山、四條合派)、師望月金鳳、各所展覽會にて銀、銅牌を第三回、第六回文展にては褒狀を受、東京淺草

新田郡世良田村八六

毛利卓三號梅友 明治四年三月一日六名古屋生、畫家、南畫、師田能村直入、中央南宗畫會幹事、名古屋中區下茶屋町丙九二

毛利教武 △東京、彫刻家、木彫、明治三六年七月美術學校彫刻撰科卒、彫工會員、第一回文展にて三等賞を受、東京淺草區小島町一九

毛利教定 △東京、日畫、明治三八年七月美術學校日畫科卒

諸星連一郎號成章 明治三年九月一日五千葉縣生、畫家、川端畫學校教授、日畫(南宗、圓山、四條)、師川端玉章、美術協會委員、國華俱樂部員、日本畫會幹事、明治繪畫會幹事、文藝協會委員、公私諸會にて銀、銅牌を受くる事多數、先年兩陛下、東京殿下美術展覽會(行幸の際御前に於て揮毫の榮を賜ふ、東京小石川區原町一〇)

諸澤虎雄 △秋田、東京京橋區月島小學校訓導、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫科卒

本橋茂信號峰雪 明治四年九月九日東京生、畫家、日畫(狩野)及圖案、師狩野永惠、美術協會員、東京日本橋區濱町一の二一

本吉勝造 △北海道、洋畫、明治四四年三月美術學校洋畫撰科卒

本野精吾 明治一五年九月三〇東京生、京都高工學校教授、建築及工藝、正七、工學士、三九年七月東帝大工科大學建築科卒、建築學會會員、前年歐洲に留學、京都上京區東三本木一の六

本山辰吉號白雲 明治四年九月一日高知縣生、彫刻家、師高村光雲、彫工會評議員、製作品

區松清町四二

森磯雄號鳳聲 慶應三年五月一日四丹後國生、彫刻家、彫塑、木石彫鑿金製作、無師獨修、美術協會委員、彫工會委員、鑄金會特別贊助員、內外國博覽會及各展覽會にて金、銀、銅牌三十餘點受領、東京本郷區駒込町一〇一

森藤一郎號吐月 明治一四年五月二日五滋賀縣生、畫家、日畫、師竹内栖鳳、京都上京區御池通油小路西入竹内

森林太郎號鵬外 萬延元年正月一日九石見國生、美術審查員、文藝委員會委員、陸軍醫總監、正四、勳二、功三、醫博、文博、東京本郷區駒込千駄木町二一、電下谷九四六

森嘉錄號半景 安政五年四月八日尾張國生、畫家、南畫、師森琴石、山本梅莊、愛知縣栗郡栗栗村島九九

森嘉兵衛號半逸 嘉永元年四月八日尾張國生、畫家、南畫、日本畫會員、岐阜市笹土居町、電二六〇

森勝治郎號琴岳 文久三年四月二日四生、香川縣立丸龜高女學校教諭、日畫(四條)、師矢野圭洲、丸龜市中府町二五三

森廉號廣陵 明治七年一二月前橋市生、畫家、日畫(南北合派)、師森霞殿、寺崎廣業、日本畫會員、各所展覽會にて銀、銅牌を受、東京下谷區池之端七軒町二八

森松二一郎號露月 明治一八年九月一五和歌山縣生、畫家、日畫、師森養齋、竹内栖鳳、徳田